

熊本県子どもの生活に関する実態調査
調 査 報 告 書

令和6年7月
熊 本 県

目 次

I 調査概要	
1. 調査目的.....	2
2. 調査対象者.....	2
3. 調査内容.....	2
4. 調査方法.....	2
5. 調査期間.....	2
6. 回収状況.....	2
7. 調査結果の留意点.....	2
II 調査結果（単純集計：保護者）	
1. 属 性.....	3
2. 経済状況.....	8
3. 生活環境.....	16
4. 教育環境.....	22
5. 社会環境.....	26
6. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化.....	28
III 調査結果（単純集計：子ども）	
1. 属 性.....	31
2. 生活環境.....	32
3. 教育環境.....	50
4. 社会環境.....	61
5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化.....	63
IV 調査結果（クロス集計：保護者）	
1. 本調査における相対的貧困率.....	67
2. 属 性.....	68
3. 経済状況.....	78
4. 生活環境.....	91
5. 教育環境.....	107
6. 社会環境.....	114
7. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化.....	118
V 調査結果（クロス集計：子ども）	
1. 属 性.....	124
2. 生活環境.....	125
3. 教育環境.....	160
4. 社会環境.....	181
5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化.....	184
VI 調査結果分析、課題と方向性	
1. 経済状況.....	198
2. 生活環境.....	199
3. 教育環境.....	201
4. 社会環境.....	202
5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化.....	203
6. まとめ.....	205

I 調査概要

1. 調査目的

熊本県では、子どもの将来のために必要な環境整備と教育の機会確保を図り、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、各種支援施策を展開しています。

こうした背景に基づき、経済面や社会的な理由などによる困難を含めた実態を把握し、課題に適切に対応していくための基礎資料とするため、本調査を実施しました。

2. 調査対象者

県内の公立小学校 5 年生の子ども及び保護者（全数）

県内の公立中学校 2 年生の子ども及び保護者（全数）

3. 調査内容

資料編の調査票のとおり

4. 調査方法

- ・ 調査票（WEB アンケート）の回答用 QR コードが記載された依頼文を市町村を通じ各学校に配付し、各学校から調査対象者に配付。
- ・ 調査対象者は、学校や家庭等で WEB アンケートに回答を入力。

5. 調査期間

令和 5 年 8 月 25 日（金）～令和 5 年 10 月 14 日（土）

6. 回収状況

		対象者数	有効回答数	回答率
小学校 5 年生	保護者	15,843	6,705	42.3%
	子ども	15,843	6,819	43.0%
	計	31,686	13,524	42.7%
中学校 2 年生	保護者	15,613	5,463	35.0%
	子ども	15,613	7,963	51.0%
	計	31,226	13,426	43.0%
不明 (回答なし)	保護者		19	
	子ども		22	
	計		41	
全 体	保護者	31,456	12,187	38.7%
	子ども	31,456	14,804	47.1%
	計	62,912	26,991	42.9%

7. 調査結果の留意点

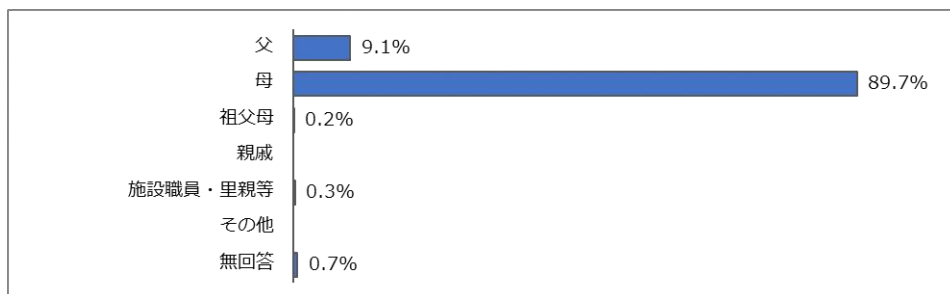
- ・ 本報告書内のグラフや表の値は、有効回答数に対するそれぞれの回答割合を示しています。
- ・ 各設問における考察について、小学校 5 年生や中学校 2 年生の子どもなどの回答者種別で回答傾向に差異等が見られない場合は、回答者全体の傾向等を記載しています。
- ・ 経済状況別クロス集計は、保護者調査票の間 3（世帯人数）及び間 24（世帯合計所得）のいずれも回答した方を母数としており、世帯類型別は、保護者調査票の間 4（世帯同居者の種別）に回答した方を母数としているため、各全体数は異なります。

II 調査結果（単純集計：保護者）

1. 属 性

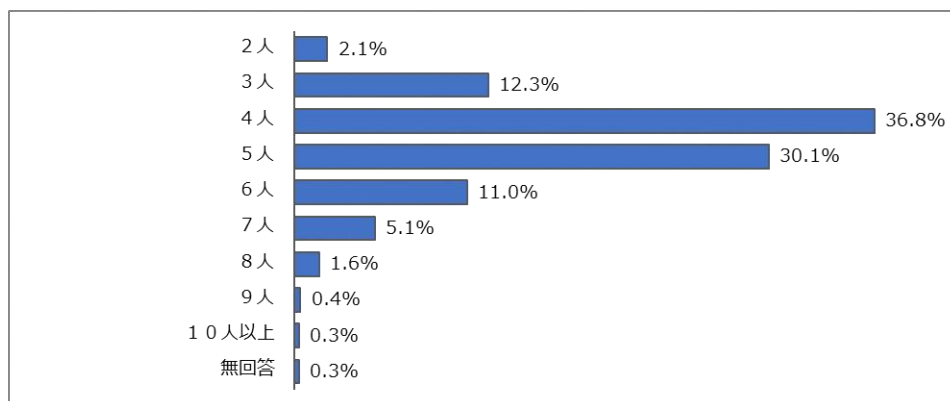
■ 2. この調査に回答いただいている方は、お子さんに対してどのようなお立場（続柄）になりますか。

- ・ 「母」の回答が89.7%で最も高く、続いて「父」が9.1%、「祖父母」が0.3%、「施設職員・里親等」が0.3%の順に高くなっている。



■ 3. あなたが同居されている世帯の人数（あなたとお子さんを含めた人数）は何人ですか。

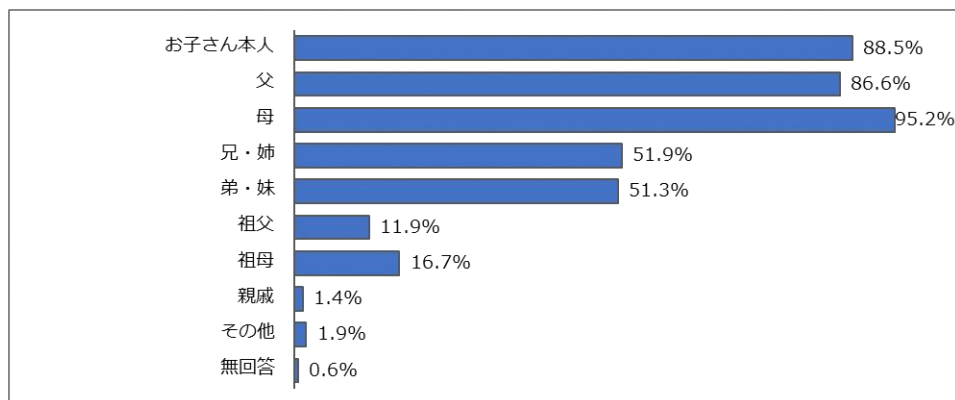
- ・ 回答者全体では、「4人」が36.8%で最も高く、「5人」が30.1%、「3人」が12.3%、「6人」が11.0%、「7人」が5.1%、「2人」が2.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割弱程度が「4人～5人」が同居する世帯であった。



■ 4. 世帯で同居されている方を選んでください。

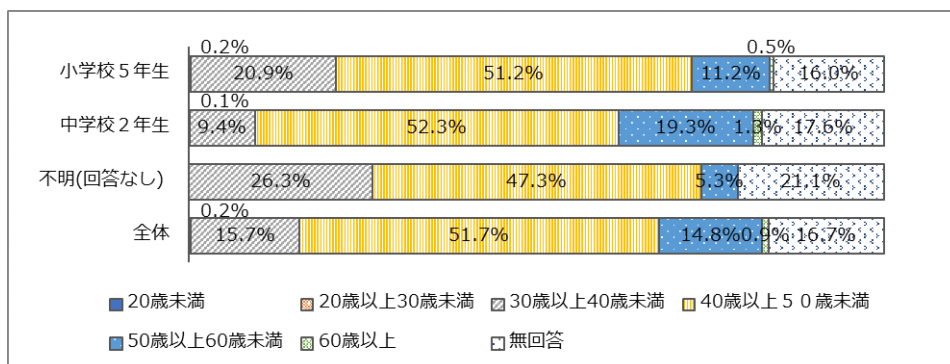
お子さんから見た続き柄であてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「母」が 95.2%で最も高く、「父」が 86.6%、「兄・姉」が 51.9%、「弟・妹」が 51.9%、「祖母」が 16.7%、「祖父」が 11.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の子どもの 5 割程度が「兄弟姉妹」と同居し、1 割から 1 割強程度が「祖父母」と同居している。



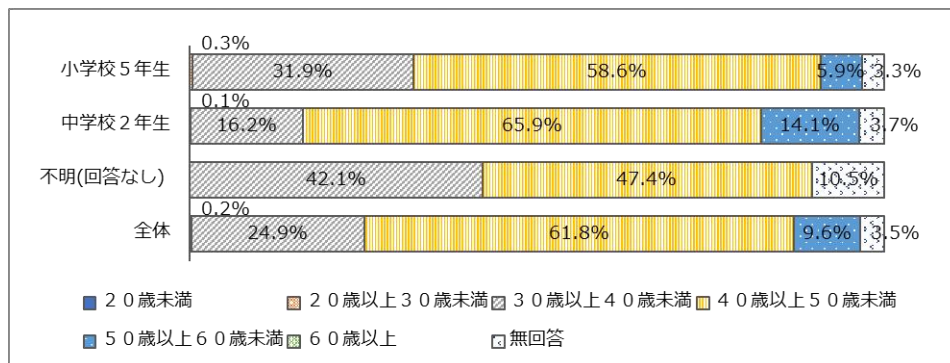
■ 5. お子さんの父の現在の年齢についてお答えください。

- ・ 回答者全体では、「40 歳以上 50 歳未満」が 51.7%と最も高く、「30 歳以上 40 歳未満」が 15.7%、「50 歳以上 60 歳未満」が 14.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 5 割程度が「40 歳以上 50 歳未満」であった。



■ 6. お子さんの母の現在の年齢についてお答えください。

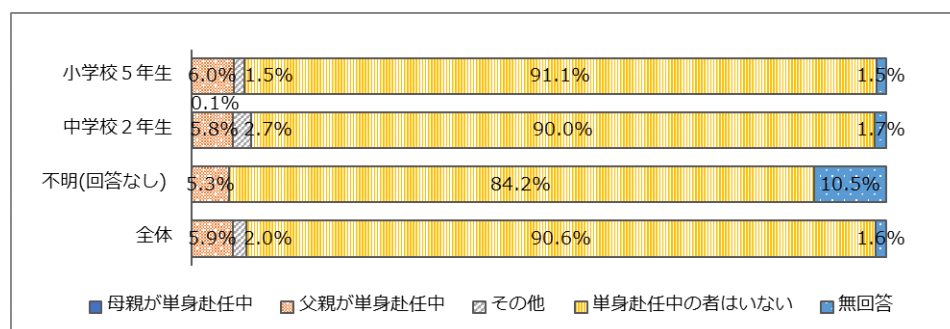
- ・ 回答者全体では、「40 歳以上 50 歳未満」が 61.8%と最も高く、「30 歳以上 40 歳未満」が 24.9%、「50 歳以上 60 歳未満」が 9.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 6 割程度が「40 歳以上 50 歳未満」であり、「父」よりも 1 割程度多い結果となった。



■ 7. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

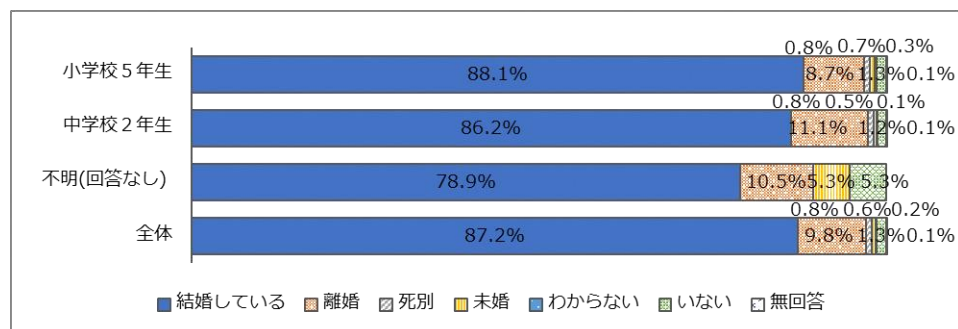
あてはまるもの全て選択してください。

- ・ 回答者全体では「単身赴任中の者はいない」が 90.6%と最も高く、「父親が単身赴任中」が 5.9%、「その他」が 2.0%の順に高くなっている。



■ 8. お子さんと同じし、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

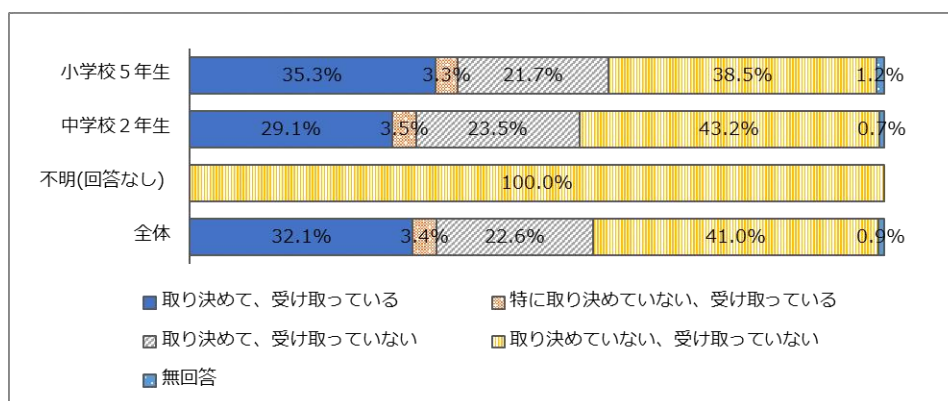
- ・ 回答者全体では「結婚している」が 87.2%と最も高く、「離婚」が 9.8%、「いない」が 1.3%の順に高くなっている。



■ 8 - 2. 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。 また養育費を現在受け取っていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

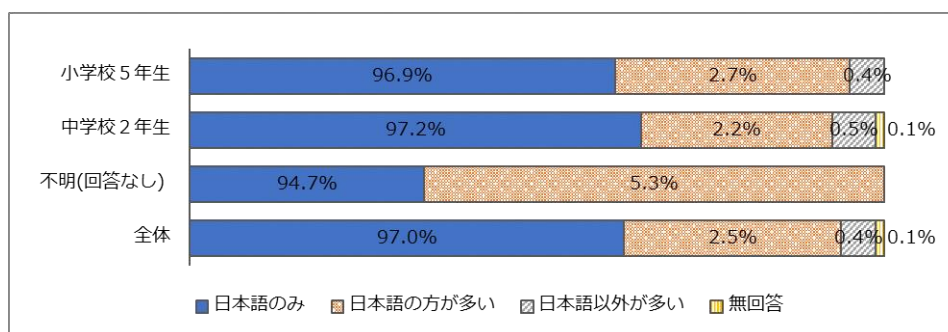
- ・ 回答者全体では、「取り決めていない、受け取っていない」が41.0%で最も高く、「取り決めて、受け取っている」が32.1%、「取り決めて、受け取っていない」が22.6%、「特に取り決めていない、受け取っている」が3.4%の順になっている。
- ・ このことから、回答者の半数を超える6割程度が「受け取っていない」であった。



■ 9. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「日本語のみを使用している」が97.0%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.5%の順に高くなっている。



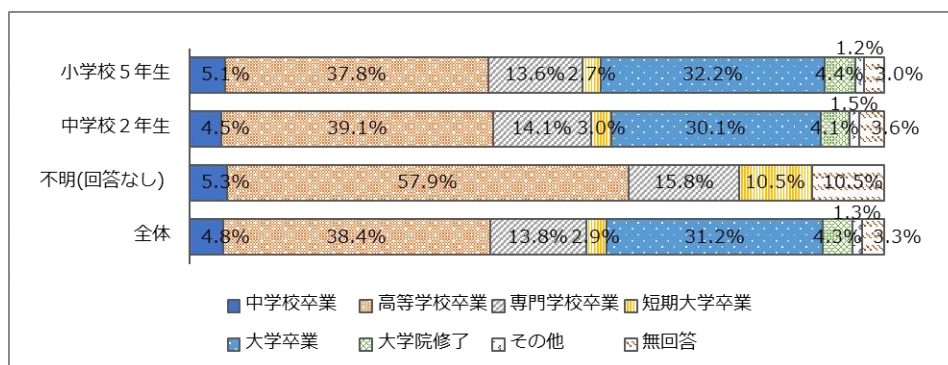
■10. お子さんの父の最終学歴を教えてください。

■11. お子さんの母の最終学歴を教えてください。

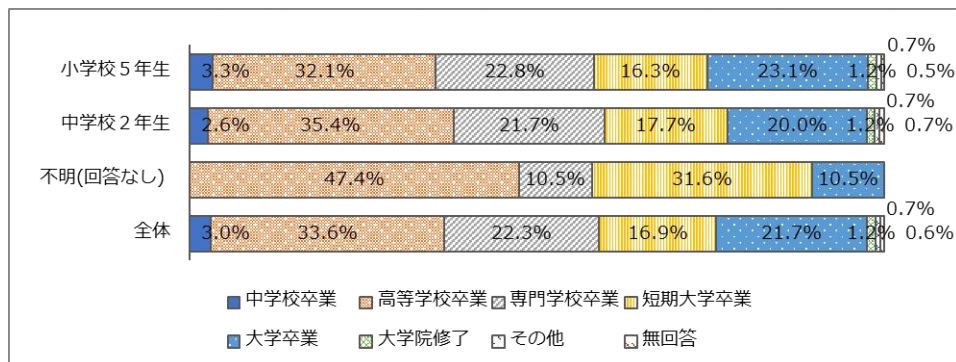
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 父について、回答者全体では、「高等学校」が38.4%で最も高く、「大学」が31.2%、「専門学校」が13.8%、「中学校」が4.8%、「大学院」が4.3%、「短期大学」が2.9%の順に高くなっている。
- ・ 母について、回答者全体では、「高等学校」が33.6%で最も高く、「専門学校」が22.3%、「大学」が21.7%、「短期大学」が16.9%、「中学校」が3.0%、「大学院」が1.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、父について、回答者の4割程度が「中学校～高等学校」、1割強程度が「専門学校～短期大学」、3割強程度が「大学～大学院」であった。
- ・ また、母について、回答者の3割強程度が「中学校～高等学校」、4割程度が「専門学校～短期大学」、2割程度が「大学～大学院」であり、父母間で最終学歴に差が見られた。

(父)



(母)



2. 経済状況

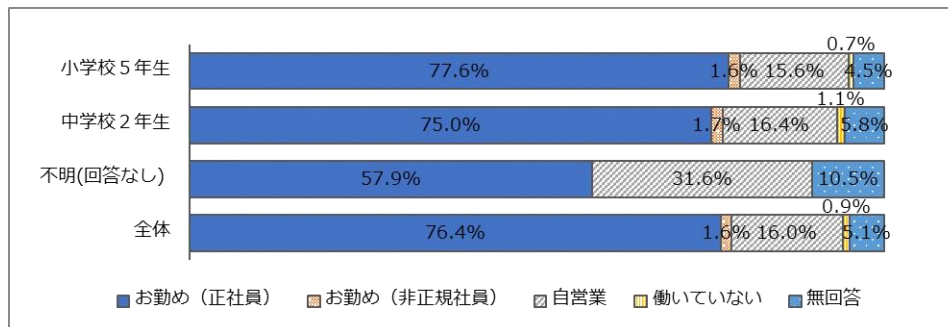
■12. お子さんの父の現在の就業状況を教えてください。

■13. お子さんの母の現在の就業状況を教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 父について、回答者全体では、「お勤め（正社員）」が76.4%で最も高く、「自営業」が16.0%、「お勤め（非正規社員）」1.6%、「働いていない」が0.9%の順に高くなっている。
- ・ 母について、回答者全体では、「お勤め（非正規社員）」が42.0%で最も高く、「お勤め（正社員）」が37.5%、「働いていない」が10.8%、「自営業」が8.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、父は回答者の9割強程度が「就業者」、母も回答者の9割弱程度が「就業者」ではあるが、「お勤め」の場合で父母の非正規率は大きく異なる。
- ・ なお、就業率について回答者全体では「父」が94.0%、「母」が88.4%となっている。そのうち非正規率は、「父」が1.7%に対し、「母」が47.5%と5割弱程度と高い割合となっている。

(父)



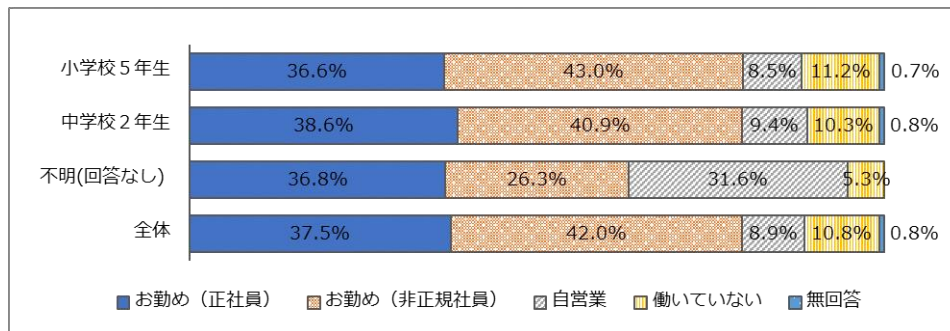
	小学校5年生		中学校2年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
お勤め（正社員、正規職員）	5,186	77.6	4,091	75.0	11	57.9	9,288	76.4
お勤め（パート、アルバイト、非正規職員等）	104	1.6	93	1.7	0	0.0	197	1.6
自営業	1,045	15.6	892	16.4	6	31.6	1,943	16.0
働いていない	50	0.7	58	1.1	0	0.0	108	0.9
無回答	303	4.5	314	5.8	2	10.5	619	5.1
計	6,688	100.0	5,448	100.0	19	100.0	12,155	100.0

H29

R5

就業率	就業率
87.6%	94.0%
非正規社員率	非正規社員率
3.0%	1.7%

(母)



	小学校5年生		中学校2年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
お勤め（正社員、正規職員）	2,449	36.6	2,102	38.6	7	36.8	4,558	37.5
お勤め（パート、アルバイト、非正規職員等）	2,877	43.0	2,228	40.9	5	26.3	5,110	42.0
自営業	568	8.5	512	9.4	6	31.6	1,086	8.9
働いていない	747	11.2	560	10.3	1	5.3	1,308	10.8
無回答	47	0.7	46	0.8	0	0.0	93	0.8
計	6,688	100.0	5,448	100.0	19	100.0	12,155	100.0

H29

就業率
85.0%
非正規社員率
50.0%

R5

就業率
88.4%
非正規社員率
47.5%

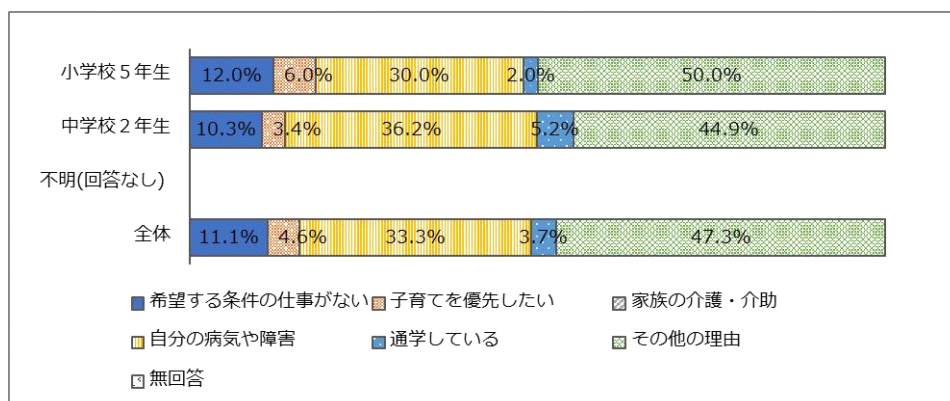
■12-2. 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

■13-2. 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

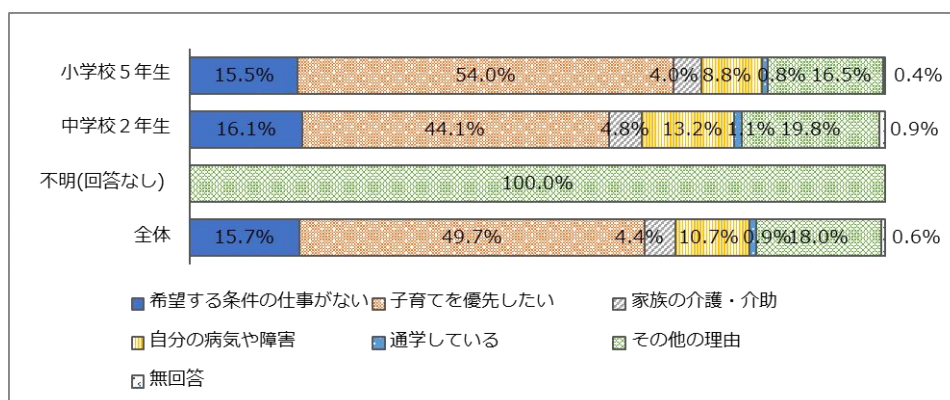
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 父について、回答者全体では、「その他の理由」が47.3%で最も高く、「自分の病気や障害」が33.3%、「希望する条件の仕事がない」が11.1%、「子育てを優先したい」が4.6%、「通学している」が3.7%の順に高くなっている。
- ・ 母については、回答者全体では、「子育てを優先したい」が49.7%で最も高く、「その他の理由」が18.0%、「希望する条件の仕事がない」が15.7%、「自分の病気や障害」が10.7%、「家族の介護・介助」が4.4%、「通学している」0.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、父は「その他の理由」が5割弱程度、また「自分の病気や障害」が3割程度であるが、母は「子育てを優先したい」が5割程度となっており、働いていない理由が異なる。

(父)

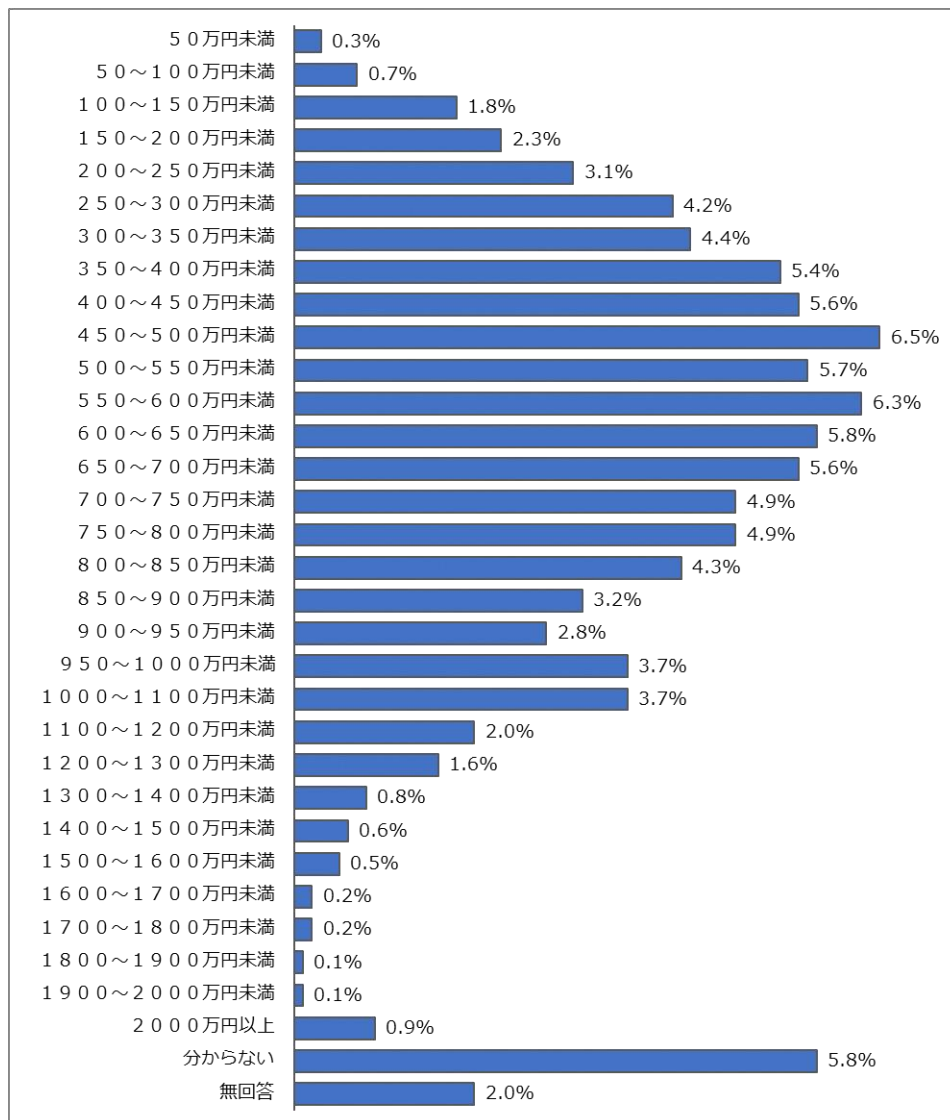


(母)



■24. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

- ・ 回答者全体では、「450～500 万円未満」が 6.5%で最も高く、「550～600 万円未満」が 6.3%、「600～650 万円未満」が 5.8%、「500～550 万円未満」が 5.7%、「400～450 万円未満」と「650～700 万円未満」が 5.6%、「350～400 万円未満」が 5.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 4 割が「350～700 万円」であった。

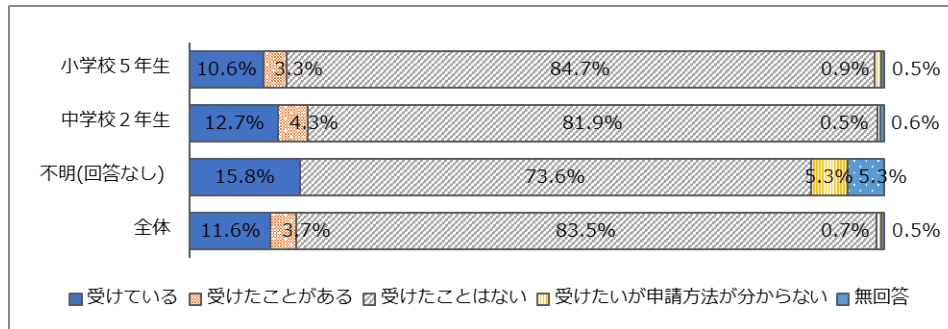


25. あなたの世帯では、以下の手当や援助等を受けたり、窓口等を利用していますか。

a～fの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

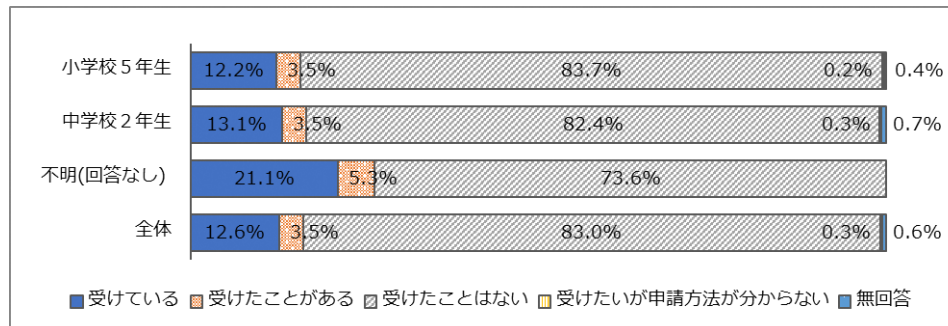
■25－a. 就学援助費

- ・ 回答者全体では、「受けたことはない」が83.5%で最も高く、「受けている」が11.6%、「受けたことがある」が3.7%、「受けたいが申請方法が分からない」が0.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の1割強程度が「受けている、受けたことがある」であった。



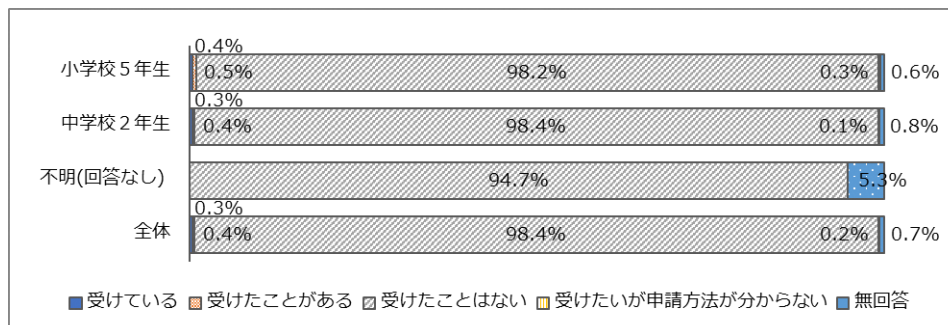
■25－b. 児童扶養手当

- ・ 回答者全体では、「受けたことはない」が83.0%で最も高く、「受けている」が12.6%、「受けたことがある」が3.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の1割強程度が「受けている、受けたことがある」であった。



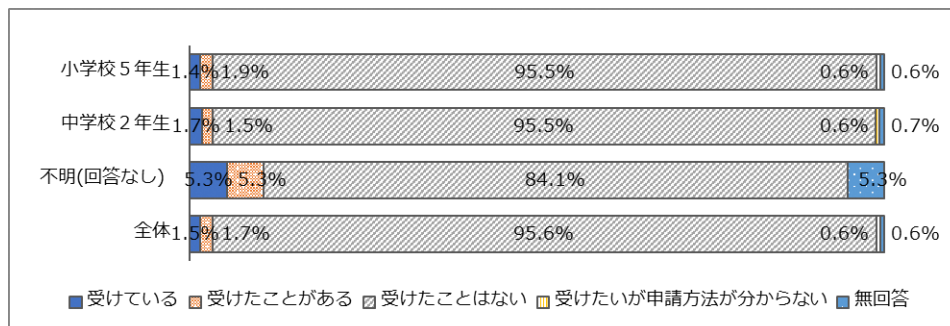
■25－c. 生活保護

- ・ 回答者全体では、「受けたことはない」が98.4%で最も高く、「受けたことがある」0.4%、「受けている」0.3%、「受けたいが申請方法が分からない」0.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者のほとんどが「受けたことはない」という回答であった。



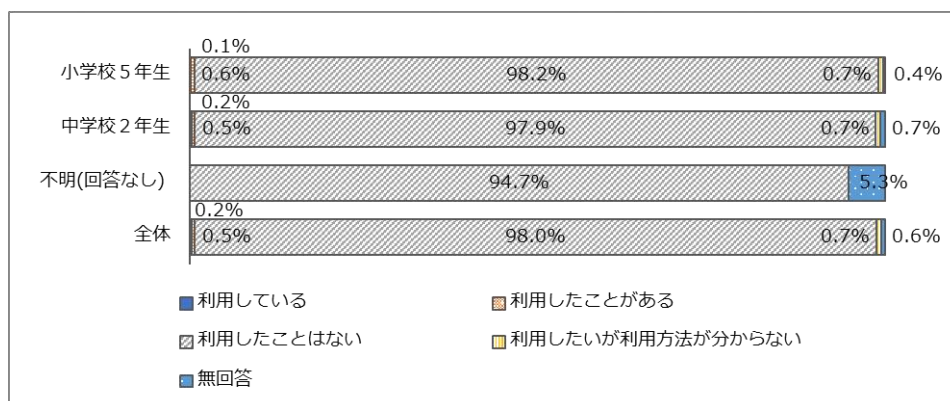
■25－d．行政からの貸付金

- ・ 回答者全体では、「受けたことはない」が95.6%で最も高く、「受けたことがある」が1.7%、「受けている」が1.5%、「受けたいが申請方法が分からない」が0.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者のほとんどが「受けたことはない」という回答であった。



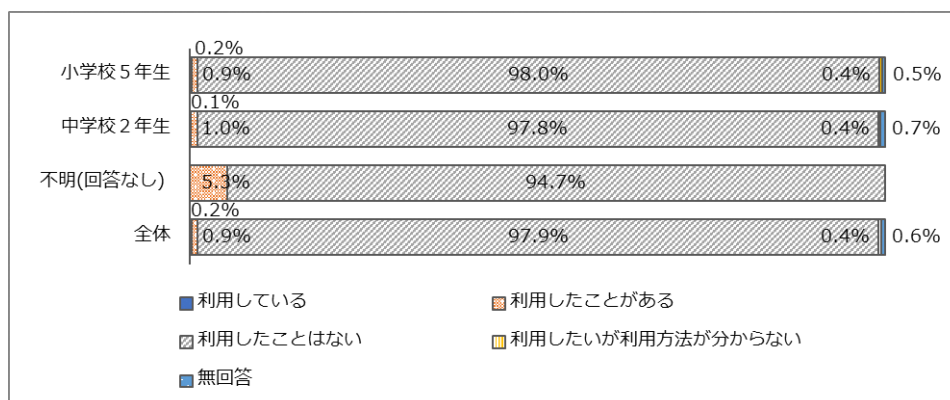
■25－e．生活困窮者の 自立支援相談窓口

- ・ 回答者全体では、「利用したことはない」が98.0%と最も高く、「利用している」が0.7%、「利用したことがある」が0.5%、「利用したいが利用方法が分からない」が0.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者のほとんどが「利用したことはない」という回答であった。



■25－f．母子家庭等就業・自立支援センター

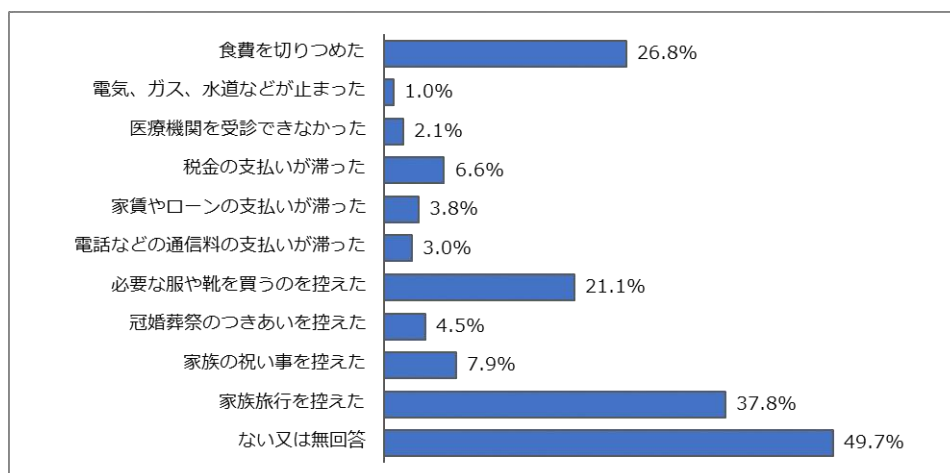
- ・ 回答者全体では、「利用したことはない」が97.9%と最も高く、「利用したことがある」が0.9%、「利用したいが利用方法が分からない」が0.4%、「利用している」が0.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者のほとんどが「利用したことがない」という回答であった。



■26. あなたの世帯では、経済的理由で、次のような経験をしたことがありますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「家族旅行を控えた」が37.8%で最も高く、「食費を切りつめた」が26.8%、「必要な服や靴を買うのを控えた」が21.1%、「家族の祝い事を控えた」が7.9%、「税金の支払いが滞った」が6.6%、「冠婚葬祭のつきあいを控えた」が4.5%、「家賃やローンの支払いが滞った」が3.8%、「電話などの通信料の支払いが滞った」が3.0%、「医療機関を受診できなかった」が2.1%、「電気、ガス、水道などが止まった」が1.0%の順に高くなっている。

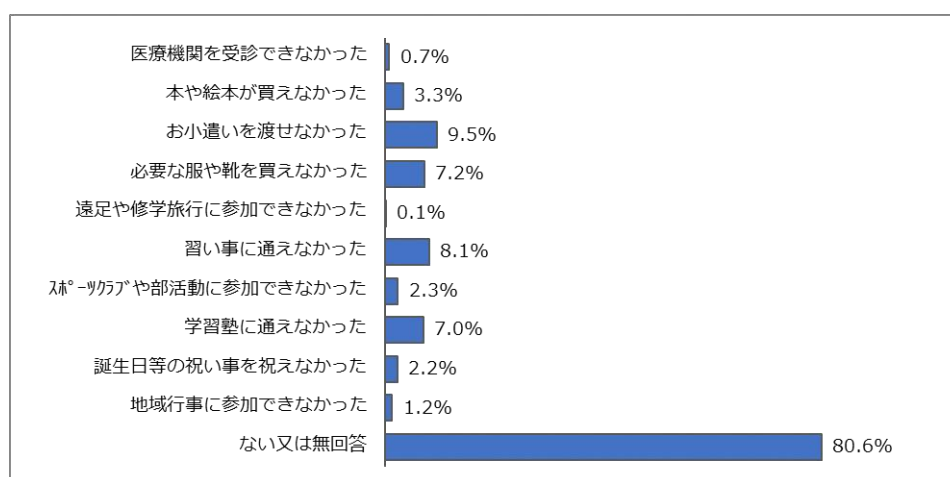


	小学校5年生		中学校2年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
食費（嗜好品を除く）を切りつめた	1,730	25.9	1,521	27.9	6	31.6	3,257	26.8
電気、ガス、水道などが止まった	60	0.9	63	1.2	1	5.3	124	1.0
医療機関を受診できなかった	138	2.1	117	2.1	0	0.0	255	2.1
税金の支払いが滞った	432	6.5	373	6.8	2	10.5	807	6.6
家賃やローンの支払いが滞った	250	3.7	203	3.7	3	15.8	456	3.8
電話などの通信料の支払いが滞った	203	3.0	156	2.9	3	15.8	362	3.0
必要な服や靴を買うのを控えた	1,376	20.6	1,190	21.8	3	15.8	2,569	21.1
冠婚葬祭のつきあいを控えた	296	4.4	249	4.6	1	5.3	546	4.5
家族の祝い事を控えた	513	7.7	446	8.2	1	5.3	960	7.9
家族旅行を控えた	2,479	37.1	2,109	38.7	8	42.1	4,596	37.8
ない又は無回答	3,384	50.6	2,655	48.7	7	36.8	6,046	49.7
計	6,688	-	5,448	-	19	-	12,155	-

■27. あなたの世帯では、経済的理由で、お子さんが希望したにも関わらず次の経験をしたことがありますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「お小遣いを渡せなかった」が9.5%と最も高く、「習い事に通えなかった」が8.1%、「必要な服や靴を買えなかった」が7.2%、「学習塾に通えなかった」が7.0%、「本や絵本が買えなかった」が3.3%、「スポーツクラブや部活動に参加できなかった」が2.3%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い上位3項目について、小学校5年生の保護者は「習い事に通えなかった」が8.7%と最も高く、「お小遣いを渡せなかった」が8.6%、「必要な服や靴を買えなかった」が6.6%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生の保護者は「お小遣いを渡せなかった」が10.8%と最も高く、「学習塾に通えなかった」が8.3%、「必要な服や靴を買えなかった」が8.0%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生の保護者とで回答傾向に差異が見られた。



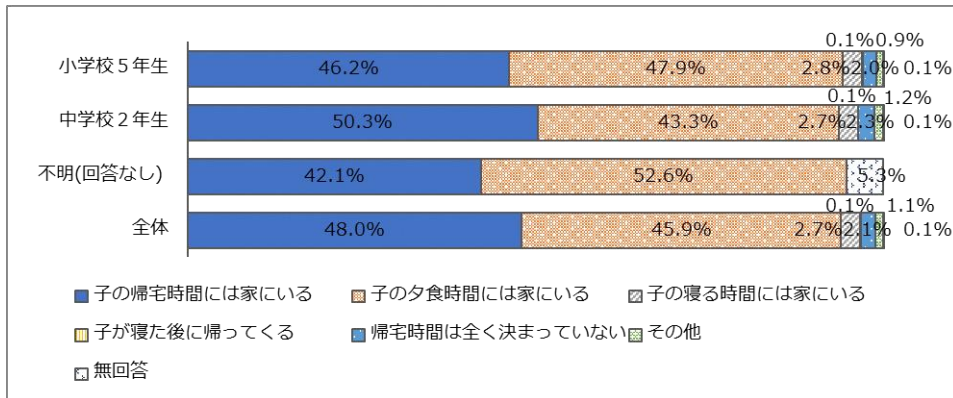
	小学校5年生		中学校2年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
医療機関を受診できなかった	46	0.7	42	0.8	0	0.0	88	0.7
本や絵本が買えなかった	242	3.6	158	2.9	1	5.3	401	3.3
お小遣いを渡せなかった	572	8.6	586	10.8	1	5.3	1,159	9.5
必要な服や靴を買えなかった	442	6.6	437	8.0	2	10.5	881	7.2
遠足や修学旅行に参加できなかった	6	0.1	6	0.1	0	0.0	12	0.1
習い事に通えなかった	581	8.7	399	7.3	3	15.8	983	8.1
スポーツクラブや部活動に参加できなかった	175	2.6	105	1.9	0	0.0	280	2.3
学習塾に通えなかった	400	6.0	454	8.3	1	5.3	855	7.0
誕生日等の祝い事を祝えなかった	138	2.1	131	2.4	2	10.5	271	2.2
地域行事に参加できなかった	82	1.2	67	1.2	0	0.0	149	1.2
ない又は無回答	5,432	81.2	4,350	79.8	16	84.2	9,798	80.6
計	6,688	-	5,448	-	19	-	12,155	-

3. 生活環境

■14. あなたの世帯で、お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で多いものを選んでください。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「子の帰宅時間には家にいる」が48.0%で最も高く、「子の夕食時間には家にいる」が45.9%、「子の寝る時間には家にいる」が2.7%、「帰宅時間は全く決まっていない」が2.1%、「その他」が1.1%、「子が寝た後に帰ってくる」が0.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割強程度が「子の帰宅時間には家にいる、子の夕食時間には家にいる」であった。

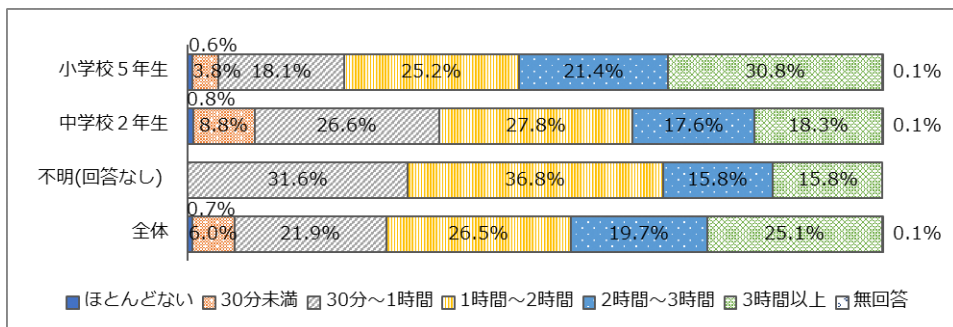


■15. あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は、平日1日あたりどのくらいですか。

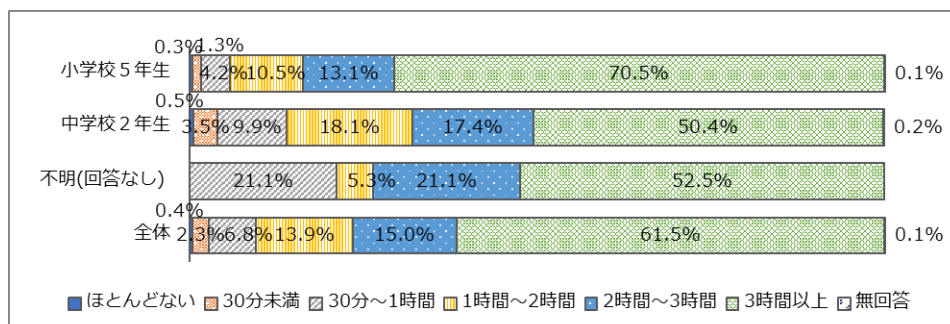
■16. あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は、休日1日あたりどのくらいですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 平日について、回答者全体では「1時間～2時間」が26.5%で最も高く、「3時間以上」が25.1%、「30分～1時間」21.9%、「2時間～3時間」19.7%、「30分未満」6.0%、「ほとんどない」0.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、平日について回答者の3割程度が「1時間未満」、4割強程度が「1時間～3時間」、2割強程度が「3時間以上」であった。



- ・ 休日について、回答者全体では「3 時間以上」が 61.5%で最も高く、「2 時間～3 時間」が 15.0%、「1 時間～2 時間」が 13.9%、「30 分～1 時間」が 6.8%、「30 分未満」が 2.3%、「ほとんどない」が 0.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、休日については、回答者の 1 割弱程度が「1 時間未満」、3 割弱程度が「1 時間～3 時間」、6 割程度が「3 時間以上」であった。

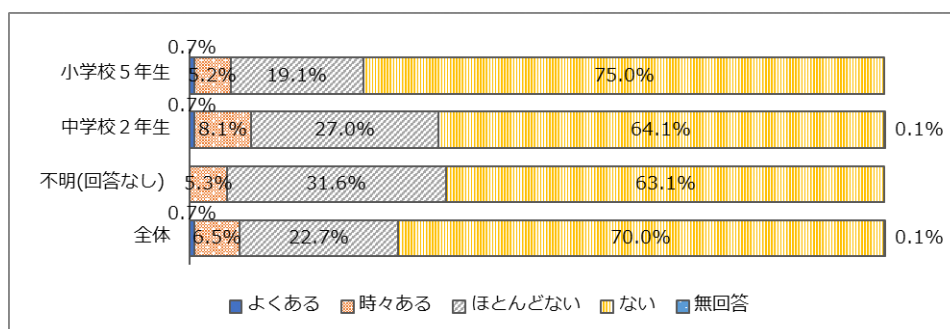


18. あなたの世帯では、以下のようなことがどの程度ありますか。

a～c の項目それぞれについて、あてはまるものを 1 つ選択してください。

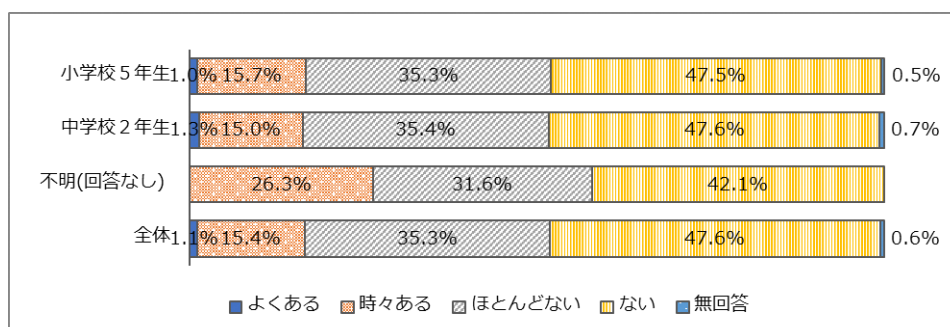
■18－a. 子どもだけで夜間に留守番をする。

- ・ 回答者全体では、「ない」が 70.0%で最も高く、「ほとんどない」が 22.7%、「時々ある」が 6.5%、「よくある」が 0.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 1 割弱程度が「よくある、時々ある」であった。



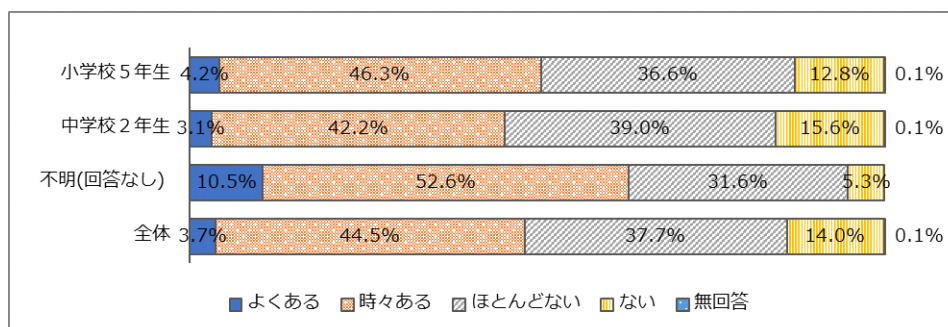
■18－b. 子どもの前で保護者が大喧嘩をする。

- ・ 回答者全体では、「ない」が 47.6%で最も高く、「ほとんどない」が 35.3%、「時々ある」が 15.4%、「よくある」が 1.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 1 割強程度が「よくある、時々ある」であった。



■18－c. 保護者の不安やイライラ等の感情を子どもに向けてしまう。

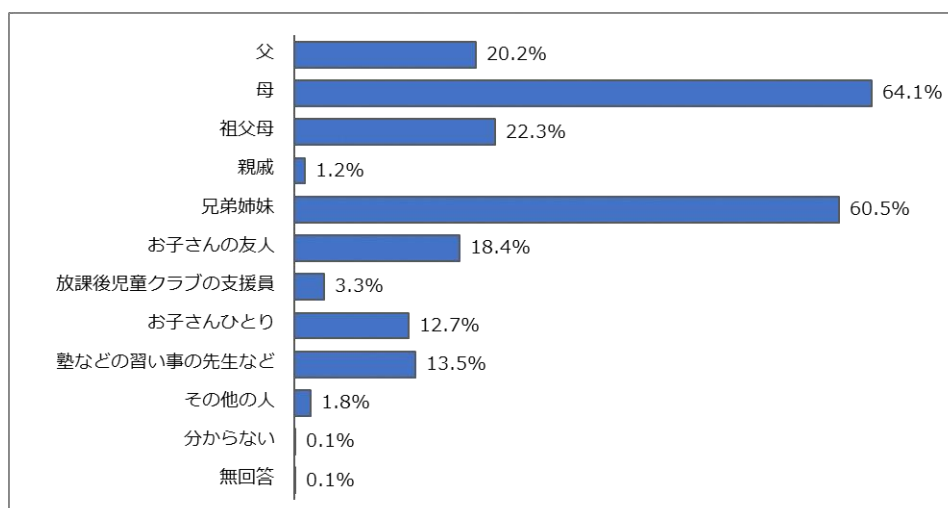
- ・ 回答者全体では、「時々ある」が44.5%で最も高く、「ほとんどない」が37.7%、「ない」が14.0%、「よくある」3.7%の順で高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割弱程度が「よくある、時々ある」であった。



■19. あなたのお子さんは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。

あてはまるものを全て選択してください。

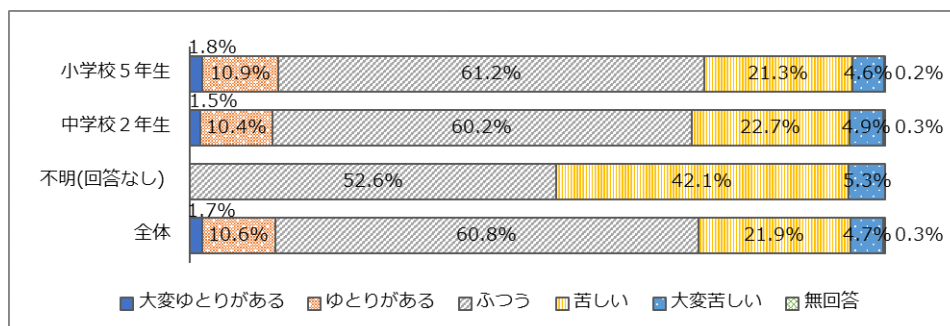
- ・ 回答者全体では、「母」が64.1%で最も高く、「兄弟姉妹」が60.5%、「祖父母」が22.3%、「父」が20.2%、「お子さんの友人」が18.4%、「塾などの習い事の先生など」が13.5%、「お子さんひとり」が12.7%、「放課後児童クラブの支援員」が3.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割程度が「母」または「兄弟姉妹」であった。



■30. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答全体では、「ふつう」が60.8%で最も高く、「苦しい」が21.9%、「ゆとりがある」が10.6%、「大変苦しい」が4.7%、「大変ゆとりがある」が1.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割強程度が「苦しい～大変苦しい」であった。

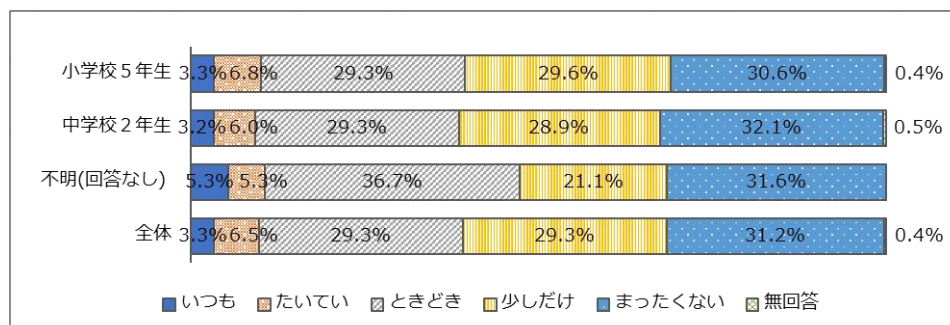


31. 次のa～fの質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。

a～fの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

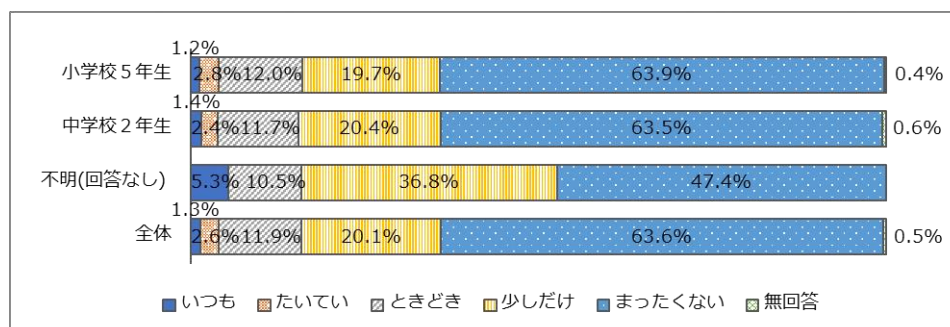
■31－a. 神経過敏に感じた。

- ・ 回答者全体では、「まったくない」が31.2%で最も高く、「ときどき」「少しだけ」が共に29.3%、「たいてい」が6.5%、「いつも」が3.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割強程度が「いつも～少しだけ」であった。



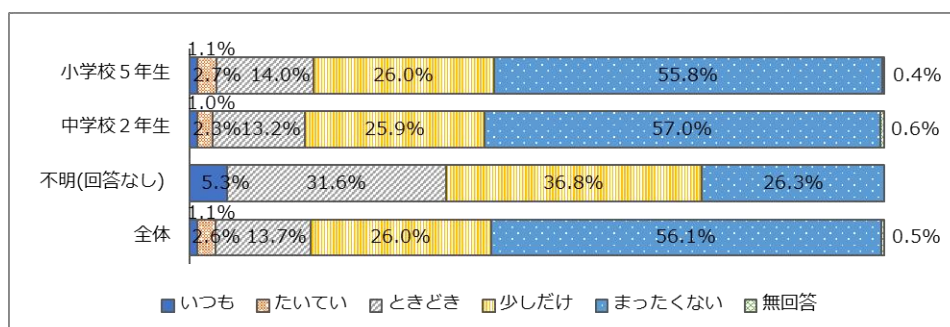
■31－b. 絶望的に感じた。

- ・ 回答者全体では、「まったくない」が63.6%で最も高く、「少しだけ」が20.1%、「ときどき」が11.9%、「たいてい」が2.6%、「いつも」が1.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割強程度が「いつも～少しだけ」であった。



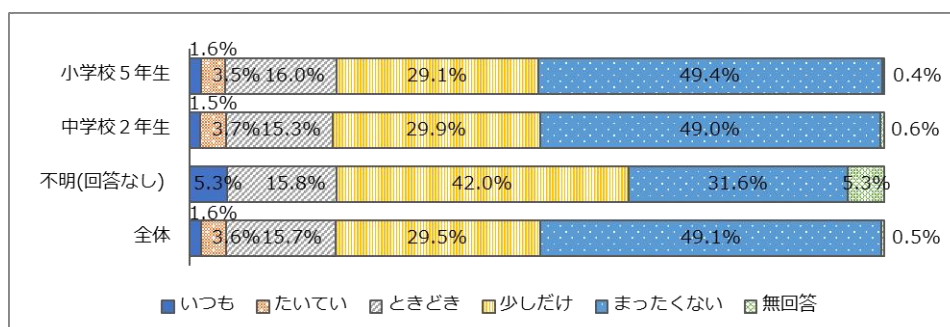
■31－c. そわそわ、落ち着かなく感じた。

- ・ 回答者全体では、「まったく」が56.1%で最も高く、「少しだけ」が26.0%、「ときどき」が13.7%、「たいてい」が2.6%、「いつも」が1.1%の順で高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割弱程度が「いつも～少しだけ」であった。



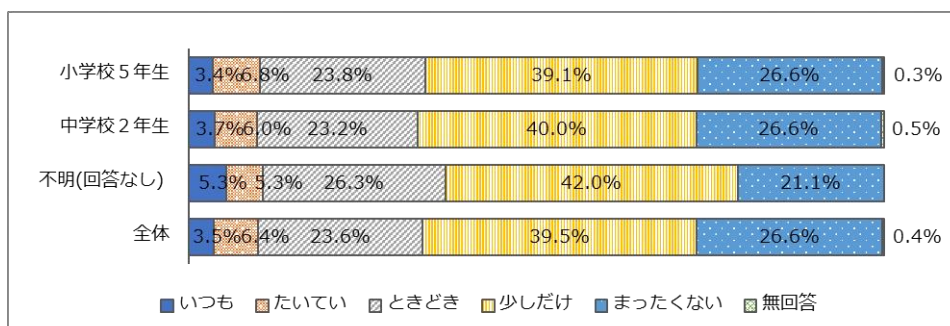
■31－d. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた。

- ・ 回答者全体では、「まったく」が49.1%で最も高く、「少しだけ」が29.5%、「ときどき」が15.7%、「たいてい」が3.6%、「いつも」が1.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、5割程度が「いつも～少しだけ」であった。



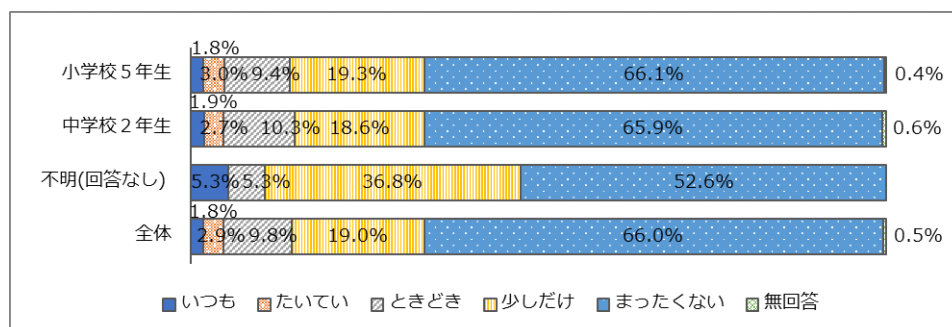
■31－e. 何をするのも面倒だと感じた

- ・ 回答者全体では、「少しだけ」が39.5%で最も高く、「まったく」が26.6%、「ときどき」が23.6%、「たいてい」が6.4%、「いつも」が3.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割強程度が「いつも～少しだけ」であった。



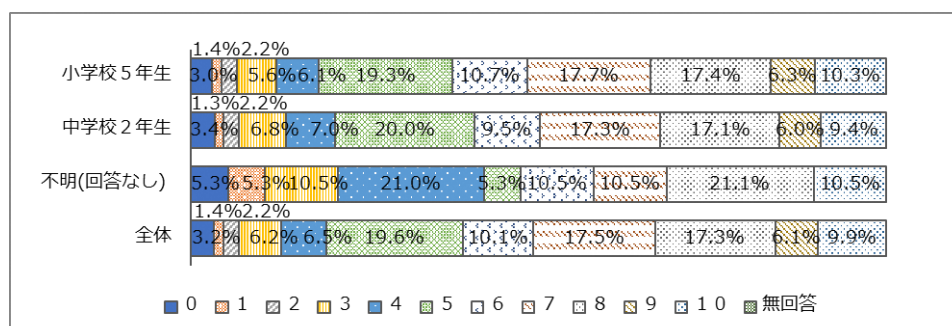
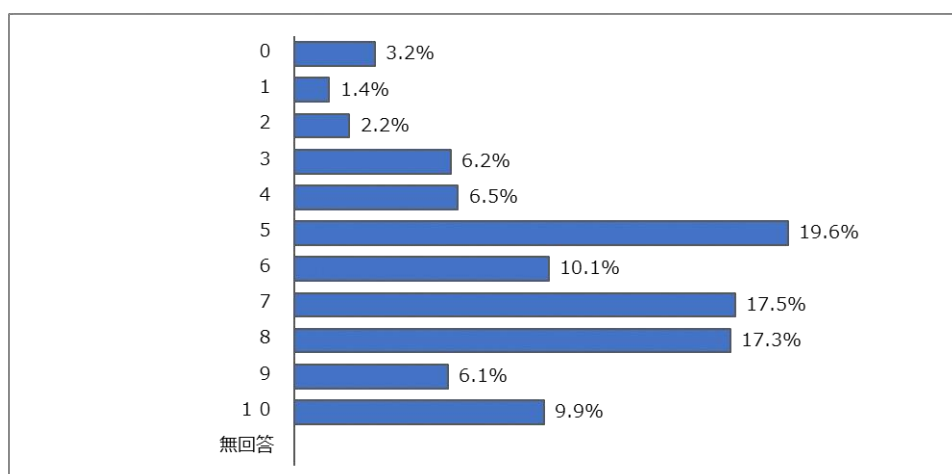
■31－f. 自分は価値のない人間だと感じた

- ・ 回答者全体では、「まったくない」が66.0%で最も高く、「少しだけ」が19.0%、「ときどき」が9.8%、「たいてい」が2.9%、「いつも」が1.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割強程度が「いつも～少しだけ」であった。



■32. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

- ・ 回答者全体では、「5」が19.6%で最も高く、「7」が17.5%、「8」が17.3%、「6」が10.1%、「10」が9.9%、「4」が6.5%、「3」が6.2%、「9」が6.1%、「0」が3.2%、「2」が2.2%、「1」が1.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割程度が「1～5」、6割程度が「6～10」であった。



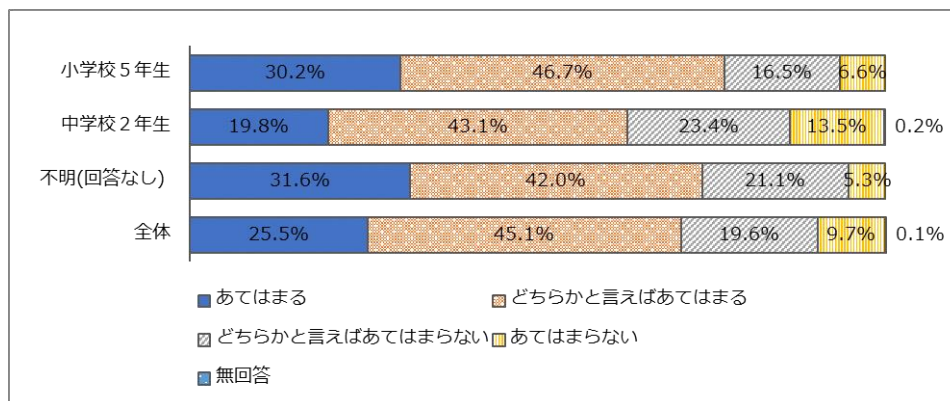
4. 教育環境

17. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどのくらい当てはまりますか。

a～dの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

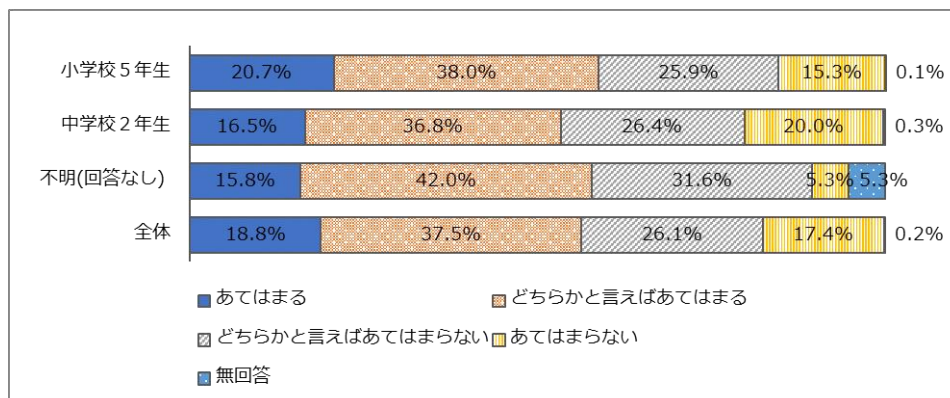
■17-a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている。

- ・ 回答者全体では、「どちらかと言えばあてはまる」が45.1%で最も高く、「あてはまる」が25.5%、「どちらかと言えばあてはまらない」が19.6%、「あてはまらない」が9.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割程度が「あてはまる～どちらかと言えばあてはまる」であった。
- ・ なお、「あてはまる～どちらかと言えばあてはまる」について、小学校5年生では7割強程度、中学校2年生では6割程度となっており、回答傾向に差異が見られた。



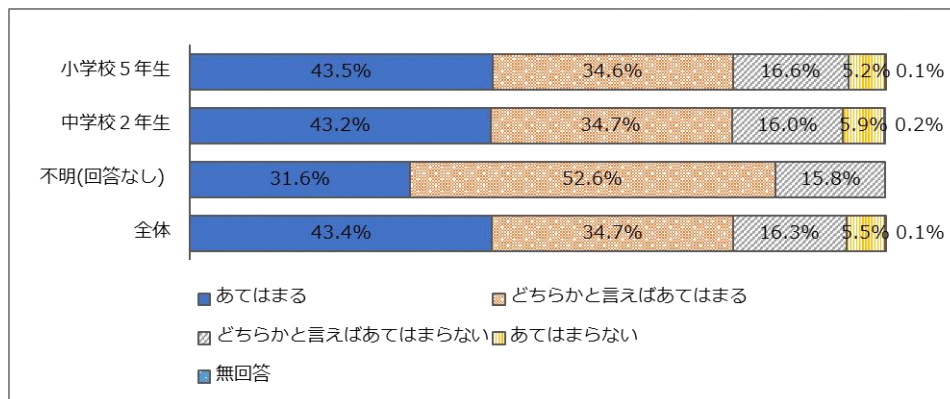
■17-b. お子さんに本や新聞を読むように勧めている。

- ・ 回答者全体では、「どちらかと言えばあてはまる」が37.5%で最も高く、「どちらかと言えばあてはまらない」が26.1%、「あてはまる」が18.8%、「あてはまらない」が17.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割強程度が「あてはまる～どちらかと言えばあてはまる」であった。



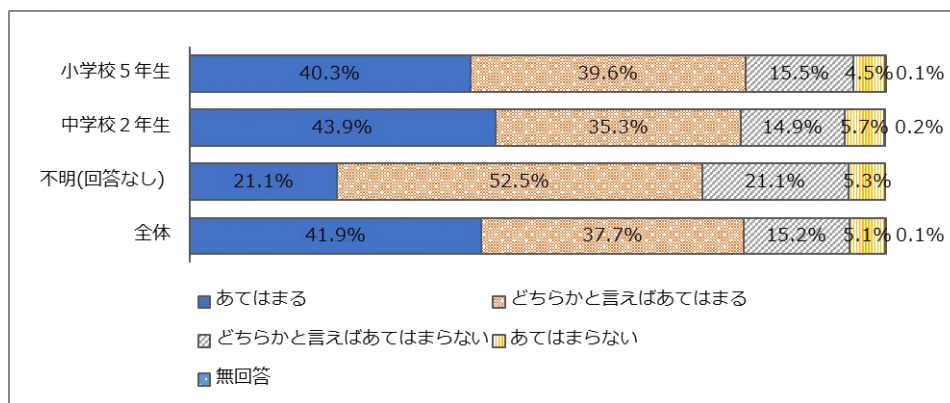
■17－c．お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた。

- ・ 回答者全体では、「あてはまる」が43.4%、「どちらかと言えばあてはまる」が34.7%、「どちらかと言えばあてはまらない」が16.3%、「あてはまらない」が5.5%の順で高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割弱程度が「あてはまる～どちらかと言えばあてはまる」であった。



■17－d．お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる。

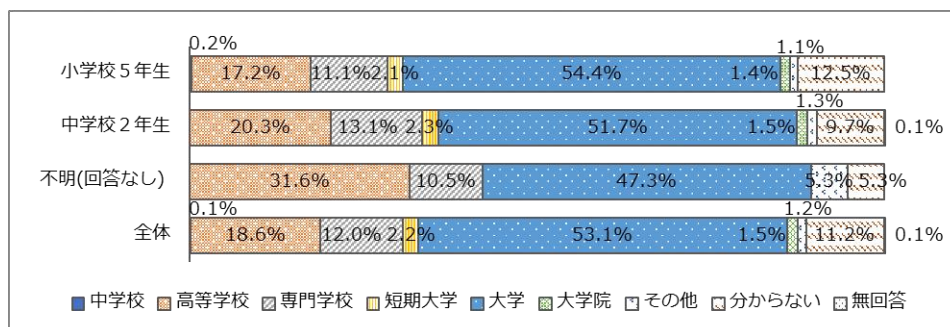
- ・ 回答者全体では、「あてはまる」が41.9%、「どちらかと言えばあてはまる」が37.7%、「どちらかと言えばあてはまらない」が15.2%、「あてはまらない」5.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、8割程度が「あてはまる～どちらかと言えばあてはまる」であった。



■20. あなたは、お子さんをどの学校まで進学させたいと希望されていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

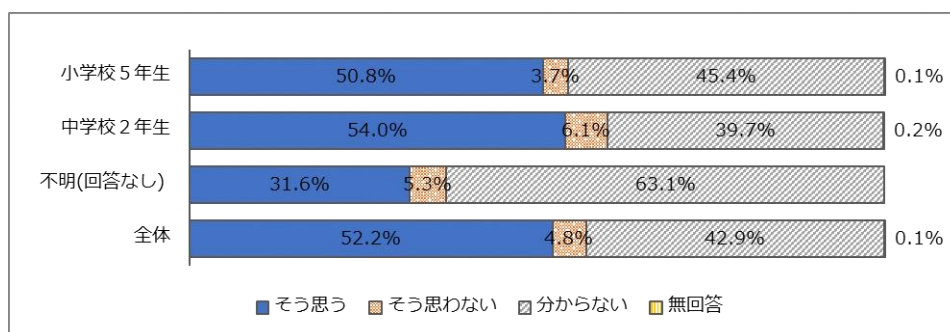
- ・ 回答者全体では、「大学」が53.1%で最も高く、「高等学校」が18.6%、「専門学校」が12.0%、「分からない」が11.2%、「短期大学」が2.2%、「大学院」が1.5%、「その他」が1.2%、「中学校」が0.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割程度が「中学校～高等学校」、1割強程度が「専門学校～短期大学」、5割強程度が「大学～大学院」であった。



■21. あなたは、前の問で回答した希望どおり、お子さんが進学できそうだとお考えですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

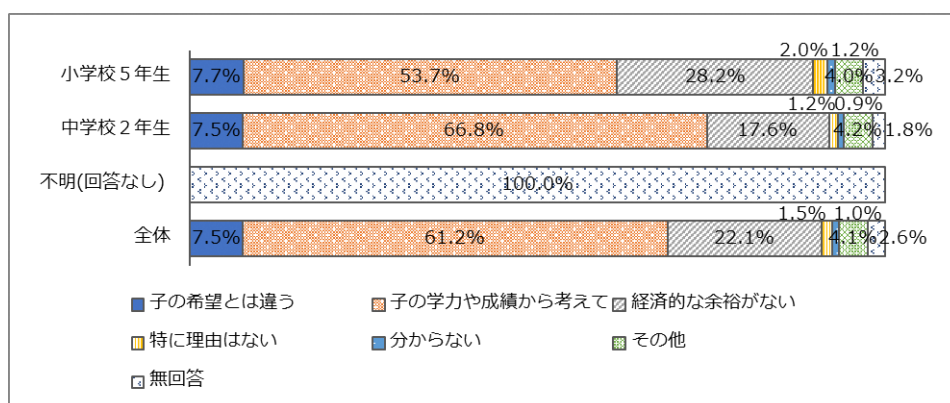
- ・ 回答者全体では、「そう思う」が52.2%で最も高く、「分からない」が42.9%、「そう思わない」が4.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割程度が「そう思う」であった。



■21-2. そう思わないと回答した理由について教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「子の学力や成績から考えて」が61.2%で最も高く、「経済的な余裕がない」が22.1%、「子の希望とは違う」が7.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割程度が「子の希望とは違う、子の学力や成績から考えて」の子ども自身に関する要因であるのに対し、2割程度が「経済的な余裕がない」の保護者（世帯）に関する要因であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位2項目について、小学校5年生は、「子の学力や成績から考えて」が53.7%、次いで「経済的な余裕がない」が28.2%の順に高くなっており、同様に中学校2年生の保護者でも「子の学力や成績から考えて」が66.8%、次いで、「経済的な余裕がない」が17.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、小学校5年生と中学校2年生の保護者は、回答の傾向は同じであるものの、中学校2年生の保護者の方がより「子の学力や成績から考えて」の子ども自身に関する要因を挙げた割合が高いことが考えられる。

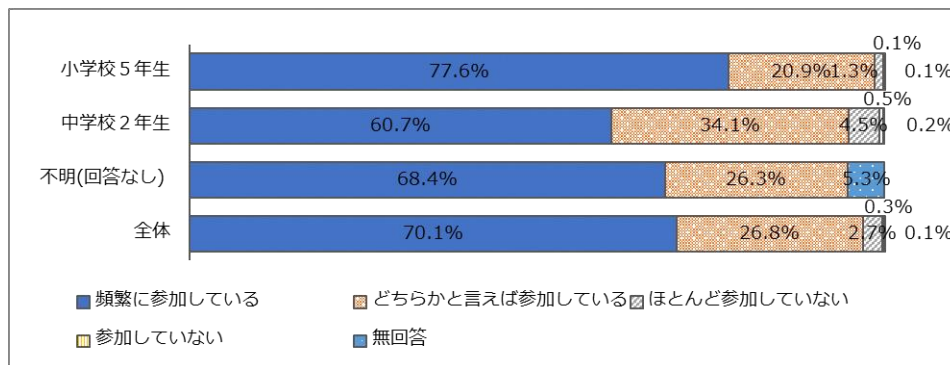


5. 社会環境

■22. あなたは、授業参観や運動会など、お子さんの学校行事にどの程度参加していますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

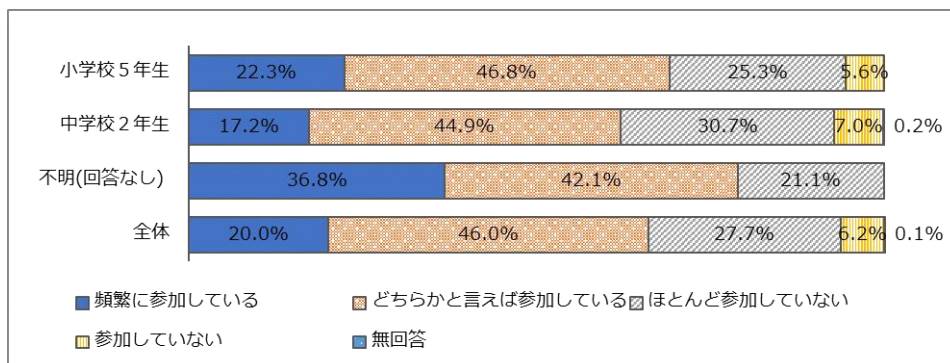
- ・ 回答者全体では、「頻繁に参加している」が70.1%で最も高く、「どちらかと言えば参加している」が26.8%、「ほとんど参加していない」が2.7%、「参加していない」が0.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割強程度が「頻繁に参加している、どちらかと言えば参加している」であった。
- ・ なお、小学校5年生と比較して、中学校2年生において保護者の参加率が低下している。



■23. あなたは、地区の祭りなど、地域の行事にどの程度参加していますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

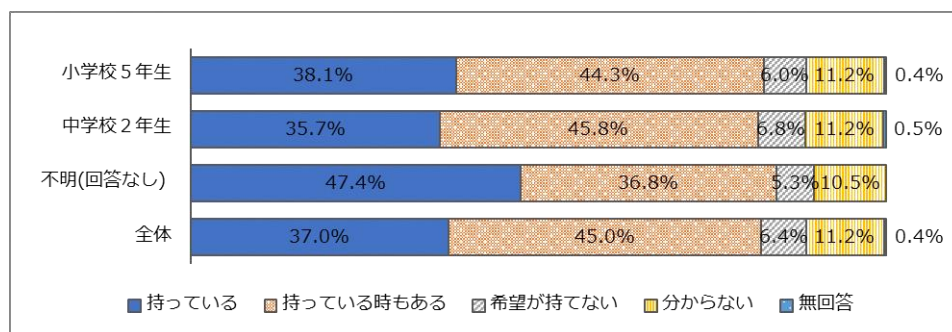
- ・ 回答者全体では、「どちらかと言えば参加している」が46.0%で最も高く、「ほとんど参加していない」が27.7%、「頻繁に参加している」が20.0%、「参加していない」が6.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割強程度が「頻繁に参加している、どちらかと言えば参加している」、3割程度が「ほとんど参加していない、参加していない」であった。
- ・ なお、小学校5年生と比較して、中学校2年生において保護者の参加率が低下している。



■28. あなたは、自分の将来に対して前向きな希望を持っていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

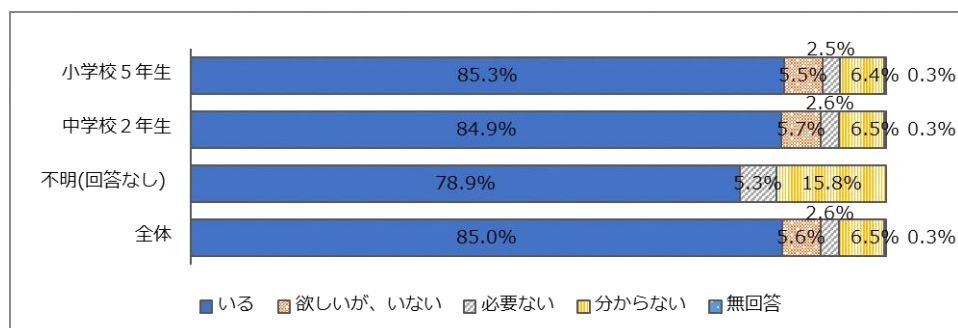
- ・ 回答者全体では、「持っている時もある」が45.0%で最も高く、「持っている」が37.0%、「分からない」が11.2%、「希望が持てない」が6.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割程度が「持っている、持っている時もある」、1割弱程度が「希望が持てない」であった。



■29. あなたは、悩みや子育ての相談などをできる人はいますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「いる」が85.0%で最も高く、「分からない」が6.5%、「欲しいが、いない」が5.6%、「必要ない」が2.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割強程度が「いる」、1割弱程度が「欲しいが、いない」であった。



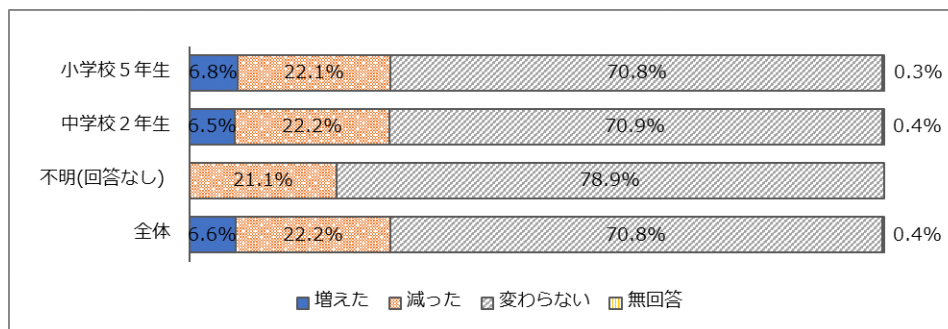
6. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化

33. 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校による前（2020年2月）に比べてどのように変わったと思いますか。（a～fそれぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。）

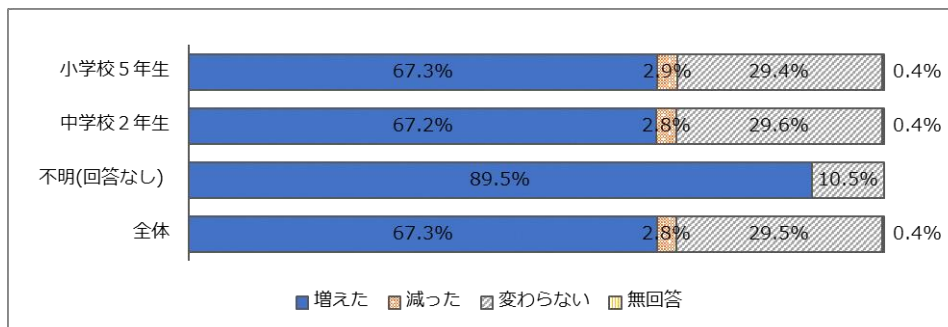
■33－a.世帯全体の収入の変化

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が70.8%、「減った」が22.2%、「増えた」が6.6%の順で高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割程度が「減った」であった。



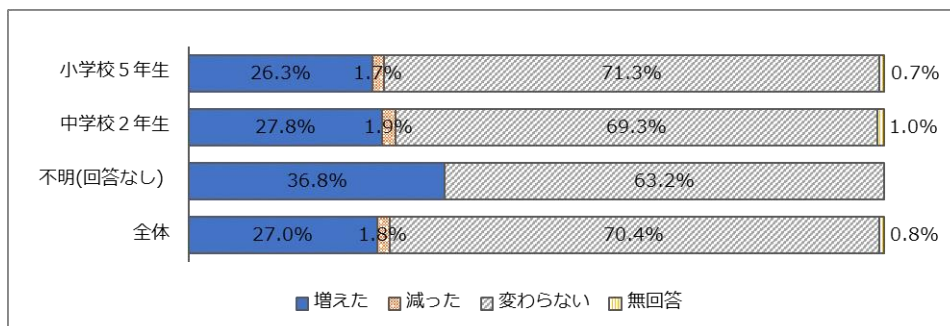
■33－b.生活に必要な支出の変化

- ・ 回答者全体では、「増えた」が67.3%で最も高く、「変わらない」が29.5%、「減った」が2.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割弱が「増えた」であった。



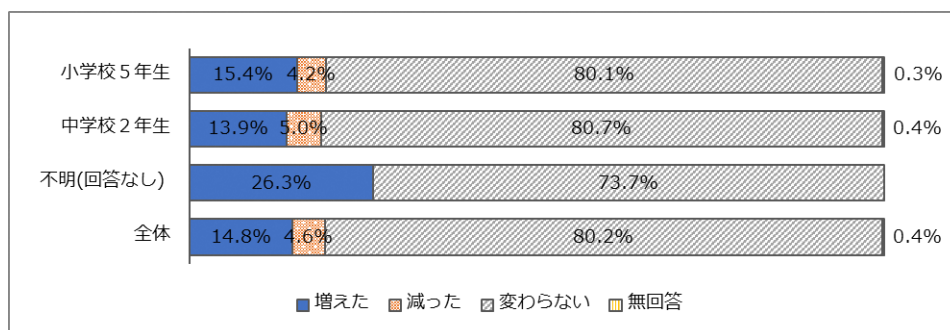
■33－ c.お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が70.4%で最も高く、「増えた」が27.0%、「減った」が1.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割程度が「変わらない」である一方で、3割弱程度が「増えた」であった。



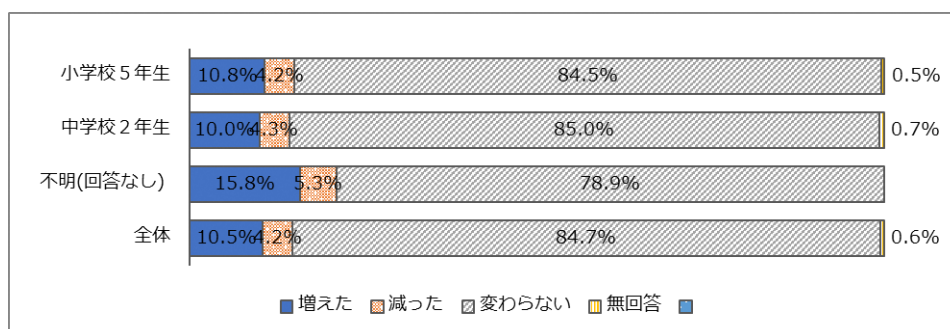
■33－ d.お子さんと話をすること

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が80.2%で最も高く、「増えた」が14.8%、「減った」が4.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割程度が「変わらない」である一方で、1割強程度が「増えた」であった。



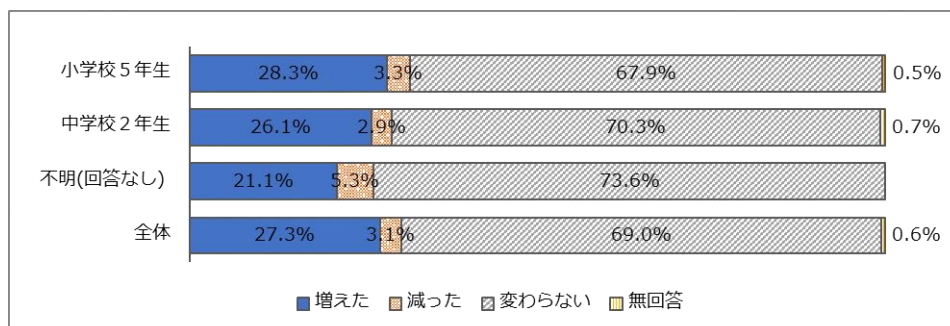
■33－ e.家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が84.7%で最も高く、「増えた」が10.5%、「減った」が4.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割程度が「変わらない」である一方、1割程度が「増えた」であった。



■33－ f.あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が69.0%で最も高く、「増えた」が27.3%、「減った」3.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、7割程度が「変わらない」である一方、3割弱程度が「増えた」であった。



III 調査結果（単純集計：子ども）

1. 属 性

■ 1. 学年

- ・ 回答者全体では、「小学校 5 年生」が 46.1%、「中学校 2 年生」が 53.8%、「不明（回答なし）」が 0.1%であった。

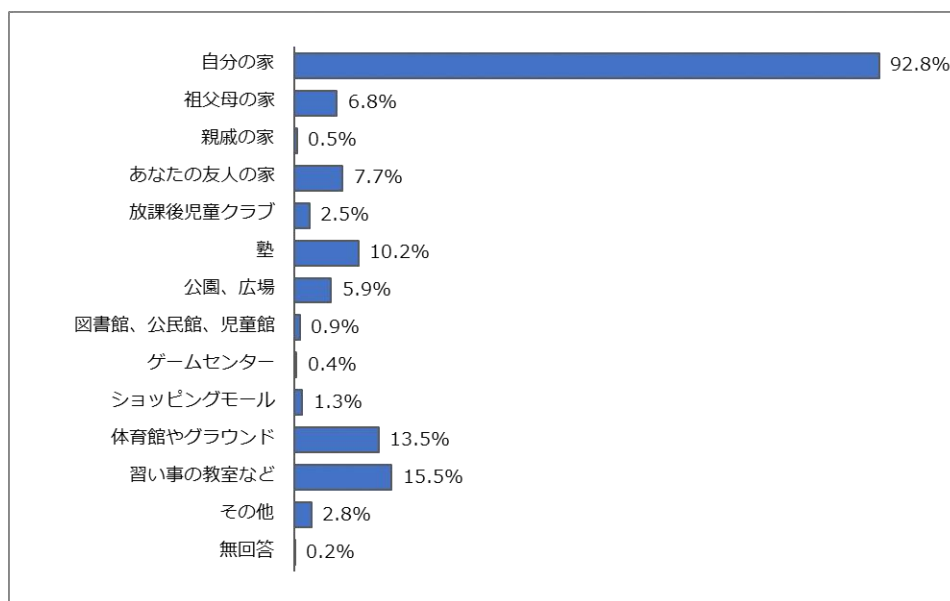
	小学校 5 年生		中学校 2 年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
小学 5 年生	6,819	100.0	-	-	-	-	6,819	46.1
中学校 2 年生	-	-	7,963	100.0	-	-	7,963	53.8
無回答	-	-	-	-	22	100.0	22	0.1
計	6,819	100.0	7,963	100.0	22	100.0	14,804	100.0

2. 生活環境

■10. あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にどこですごしていますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「自分の家」が92.8%で最も高く、「習い事の教室など」が15.5%、「体育館やグラウンド」が13.5%、「塾」が10.2%、「あなたの友人の家」が7.7%、「祖父母の家」が6.8%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い上位5項目について、小学校5年生と中学校2年生いずれも「自分の家」が最も高いが（小学校5年生：92.1%、中学校2年生：93.3%）、小学校5年生は、「習い事の教室など」が23.1%、「あなたの友人の家」が12.0%、「公園、広場」が9.9%、「祖父母の家」が9.4%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は、「体育館やグラウンド」、「塾」、「習い事の教室など」、「祖父母の家」の順に高く、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。

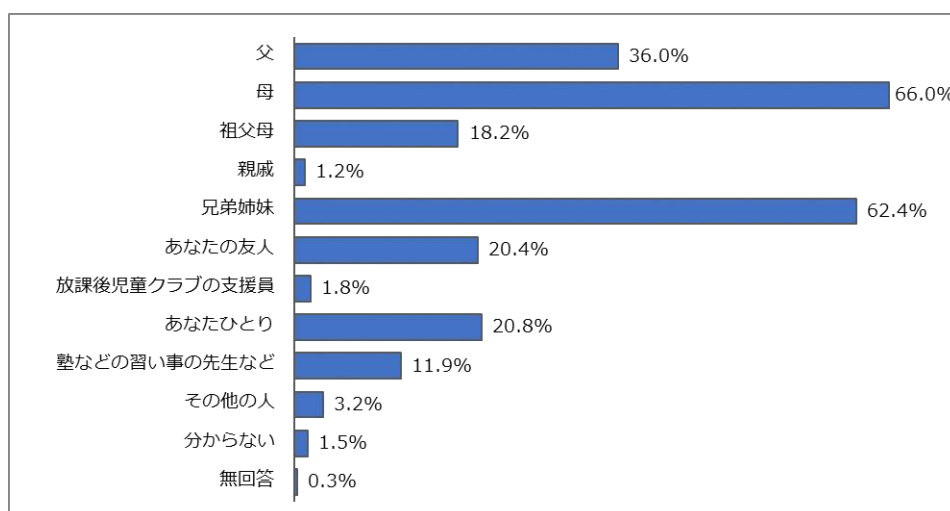


	小学校5年生		中学校2年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
自分の家	6,283	92.1	7,432	93.3	18	81.8	13,733	92.8
祖父母の家	640	9.4	362	4.5	1	4.5	1,003	6.8
親戚の家	45	0.7	26	0.3	0	0.0	71	0.5
あなたの友人の家	815	12.0	317	4.0	3	13.6	1,135	7.7
放課後児童クラブ	325	4.8	46	0.6	0	0.0	371	2.5
塾	575	8.4	933	11.7	2	9.1	1,510	10.2
公園、広場	676	9.9	199	2.5	5	22.7	880	5.9
図書館、公民館、児童館	84	1.2	50	0.6	0	0.0	134	0.9
ゲームセンター	34	0.5	27	0.3	1	4.5	62	0.4
ショッピングモール	108	1.6	87	1.1	0	0.0	195	1.3
体育館やグラウンド	616	9.0	1,386	17.4	0	0.0	2,002	13.5
習い事の教室など	1,575	23.1	709	8.9	5	22.7	2,289	15.5
その他	195	2.9	221	2.8	3	13.6	419	2.8
無回答	16	0.2	12	0.2	1	4.5	29	0.2
計	6,819	-	7,963	-	22	-	14,804	-

■ 11. あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にだれとすごしていますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「母」が 66.0%で最も高く、「兄弟姉妹」が 62.4%、「父」が 36.0%、「あなたひとり」が 20.8%、「あなたの友人」が 20.4%、「祖父母」が 18.2%、「塾などの習い事の先生など」11.9%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い上位 7 項目について、小学校 5 年生と中学校 2 年生いずれも「母」が最も高く（小学校 5 年生：67.6%、中学校 2 年生：64.6%）、「兄弟姉妹」（小学校 5 年生：64.4%、中学校 2 年生：60.7%）、「父」（小学校 5 年生 35.4%：、中学校 2 年生：36.4%）の順に高くなっているが、次いで小学校 5 年生は「祖父母」が 21.9%、「あなたの友人」が 21.2%、「あなたひとり」が 15.6%、「塾などの習い事の先生など」が 12.9%の順になっているのに対し、中学校 2 年生では、「あなたひとり」が 25.2%、「あなたの友人」が 19.7%、「祖父母」が 15.1%、「塾などの習い事の先生など」が 11.1%の順に高く、小学校 5 年生と中学校 2 年生で回答傾向に差異が見られた。

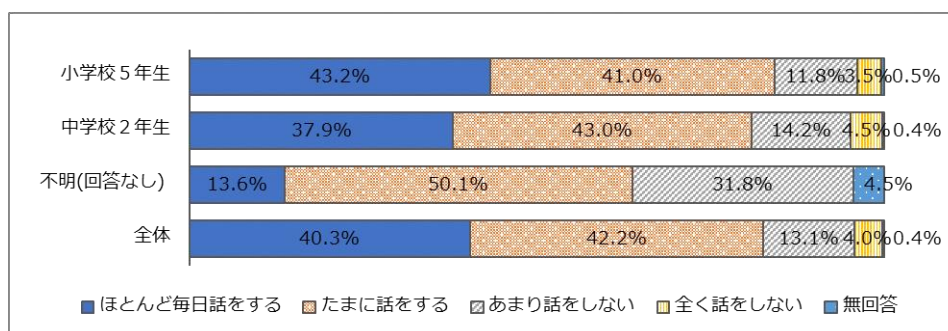


	小学校 5 年生		中学校 2 年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
父	2,416	35.4	2,901	36.4	8	36.4	5,325	36.0
母	4,612	67.6	5,145	64.6	13	59.1	9,770	66.0
祖父母	1,492	21.9	1,199	15.1	7	31.8	2,698	18.2
親戚	96	1.4	78	1.0	0	0.0	174	1.2
兄弟姉妹	4,392	64.4	4,834	60.7	13	59.1	9,239	62.4
あなたの友人	1,448	21.2	1,569	19.7	4	18.2	3,021	20.4
放課後児童クラブの支援員	231	3.4	29	0.4	0	0.0	260	1.8
あなたひとり	1,065	15.6	2,005	25.2	4	18.2	3,074	20.8
塾などの習い事の先生など	882	12.9	882	11.1	4	18.2	1,768	11.9
その他の人	207	3.0	260	3.3	0	0.0	467	3.2
分からない	84	1.2	138	1.7	2	9.1	224	1.5
無回答	21	0.3	18	0.2	1	4.5	40	0.3
計	6,819	-	7,963	-	22	-	14,804	-

■12. あなたは、保護者の方と学校の出来事について話をしますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

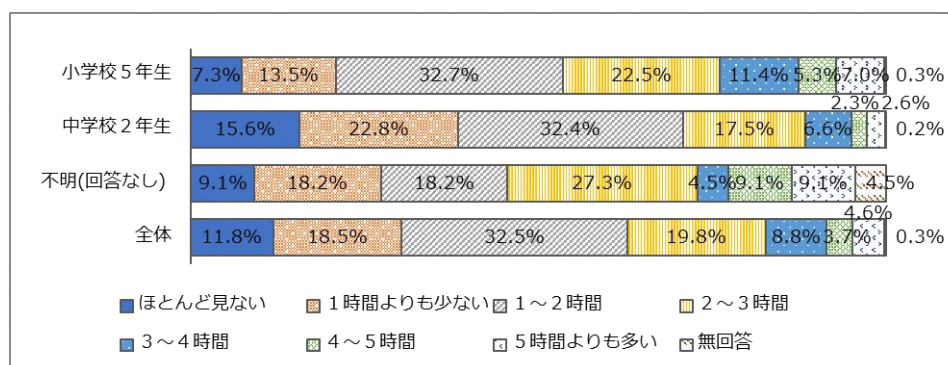
- ・ 回答者全体では、「たまに話をする」が42.2%で最も高く、「ほとんど毎日話をする」が40.3%、「あまり話をしない」が13.1%、「全く話をしない」が4.0%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割程度が「ほとんど毎日話をする」、同じく4割程度が「たまに話をする」、1割程度が「あまり話をしない、全く話をしない」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位2項目について、小学校5年生は「ほとんど毎日話をする」が43.2%、「たまに話をする」が41.0%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「たまに話をする」が43.0%、「ほとんど毎日話をする」が37.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、保護者との会話の頻度は、小学校5年生の方が、中学校2年生と比べて高い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■13. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいテレビを見ますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

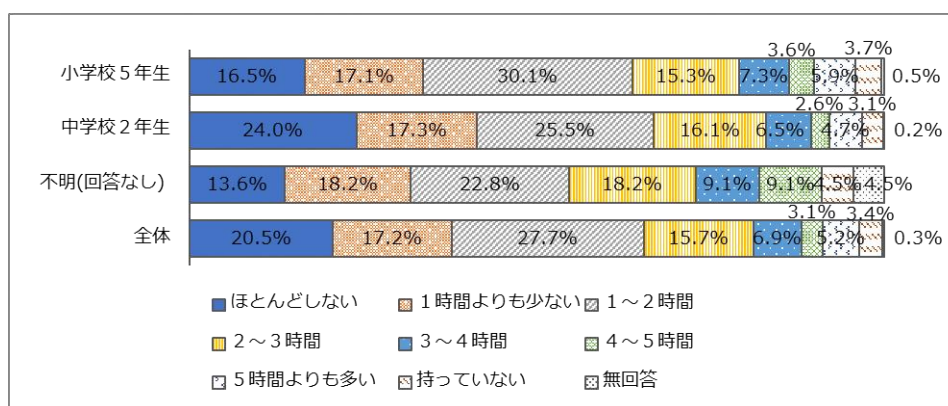
- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が32.5%で最も高く、「2～3時間」が19.8%、「1時間よりも少ない」が18.5%、「ほとんど見ない」11.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割程度が「1時間未満」、5割程度が「1～3時間」、2割弱程度が「3時間以上」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位4項目について、小学校5年生と中学校2年生いずれも「1～2時間」が最も高く（小学校5年生：32.7%、中学校2年生：32.4%）、次いで小学校5年生では「2～3時間」が22.5%、「1時間よりも少ない」が13.5%、「3～4時間」が11.4%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「1時間よりも少ない」が22.8%、「2～3時間」が17.5%、「ほとんど見ない」が15.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、テレビの視聴時間は、小学校5年生の方が、中学校2年生と比べて長い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■14. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいゲームをしますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

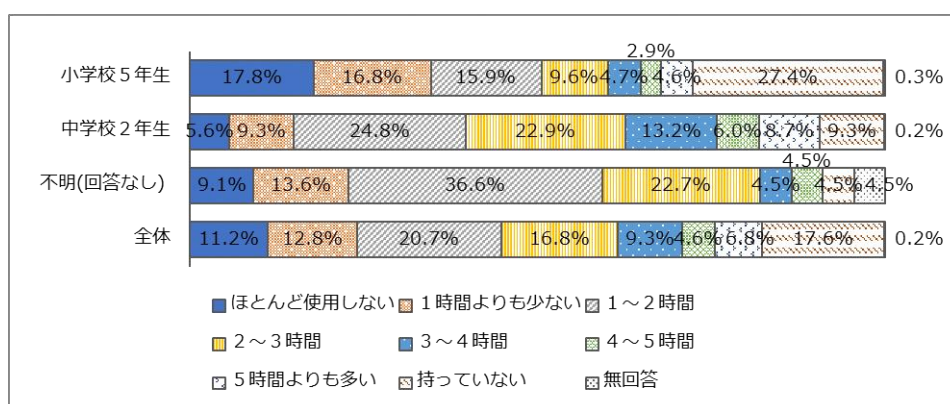
- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が27.7%で最も高く、「ほとんどしない」が20.5%、「1時間よりも少ない」が17.2%、「2～3時間」が15.7%、「3～4時間」が6.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割程度が「1時間未満」、同じく4割程度が「1～3時間」、2割弱程度が「3時間以上」であった。
- ・ なお、回答割合が高い3項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「1～2時間」が最も高く（小学校5年生：30.1%、中学校2年生：25.5%）、次いで小学校5年生は「1時間よりも少ない」が17.1%、「ほとんどしない」が16.5%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「ほとんどしない」が24.0%、「1時間よりも少ない」が17.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、ゲームの利用時間は、小学校5年生の方が、中学校2年生と比べて長い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■15. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらい携帯電話を使用しますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

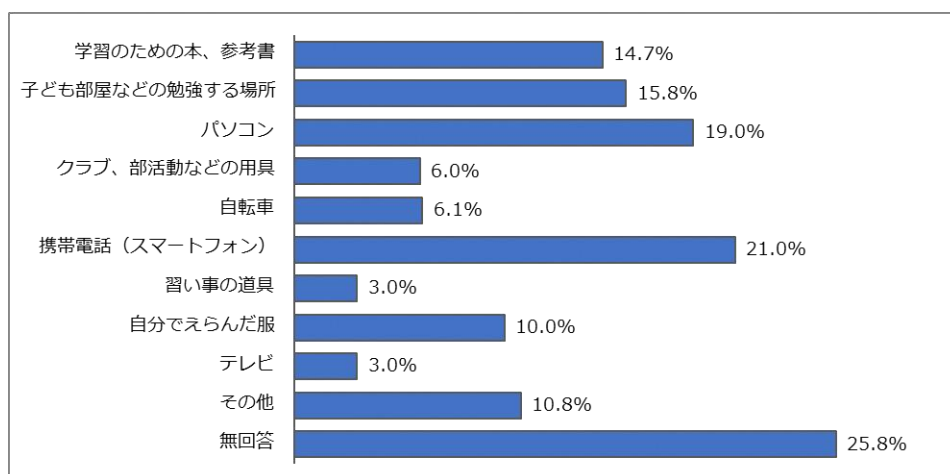
- ・ 回答者全体では、「1～2 時間」が 20.7%で最も高く、「持っていない」が 17.6%、「2～3 時間」が 16.8%、「1 時間よりも少ない」が 12.8%、「ほとんど使用しない」が 11.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 2 割強程度が「1 時間未満」、4 割弱程度が「1～3 時間」、2 割程度が「3 時間以上」であった。また、2 割弱程度が「持っていない」であった。
- ・ なお、回答割合が高い順位 4 項目について、小学校 5 年生は「持っていない」が 27.4%で最も高く、「ほとんど使用しない」が 17.8%、「1 時間よりも少ない」が 16.8%、「1～2 時間」が 15.9%の順に高くなっているのに対し、中学校 2 年生は「1～2 時間」が 24.8%、「2～3 時間」が 22.9%、「1 時間よりも少ない」が 13.2%、「持っていない」が 9.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、携帯電話の使用時間は、小学校 5 年生で短く、中学校 2 年生で長い傾向があり、小学校 5 年生と中学校 2 年生で回答傾向に差異が見られた。



■16. あなたが必要と思っけていても、持っていないものはありますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「携帯電話（スマートフォン）」が21.0%で最も高く、「パソコン」が19.0%、「子ども部屋などの勉強する場所」が15.8%、「学習のための本、参考書」が14.7%、「その他」が10.8%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い順位5項目について、小学校5年生は「携帯電話（スマートフォン）」が27.6%と最も高く、次いで「子ども部屋などの勉強する場所」が18.0%、「パソコン」が17.9%、「その他」が12.7%、「学習のための本、参考書」が9.4%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「パソコン」が19.9%、「学習のための本、参考書」が19.2%、「携帯電話（スマートフォン）」が15.4%、「子ども部屋などの勉強する場所」が14.0%、「自分でえらんだ服」が12.3%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。

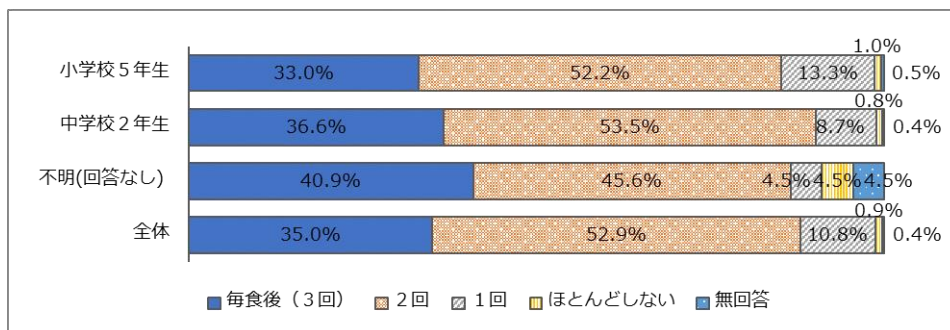


	小学校5年生		中学校2年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
学習のための本、参考書	642	9.4	1,526	19.2	2	9.1	2,170	14.7
子ども部屋などの勉強する場所	1,226	18.0	1,113	14.0	2	9.1	2,341	15.8
パソコン	1,218	17.9	1,587	19.9	7	31.8	2,812	19.0
クラブ、部活動などの用具	321	4.7	572	7.2	0	0.0	893	6.0
自転車	512	7.5	387	4.9	2	9.1	901	6.1
携帯電話（スマートフォン）	1,882	27.6	1,225	15.4	2	9.1	3,109	21.0
習い事の道具	256	3.8	188	2.4	0	0.0	444	3.0
自分でえらんだ服	497	7.3	981	12.3	2	9.1	1,480	10.0
テレビ	243	3.6	202	2.5	3	13.6	448	3.0
その他	868	12.7	733	9.2	3	13.6	1,604	10.8
無回答	1,682	24.7	2,136	26.8	5	22.7	3,823	25.8
計	6,819	-	7,963	-	22	-	14,804	-

■17. あなたは、毎日どのくらい歯みがきをしますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

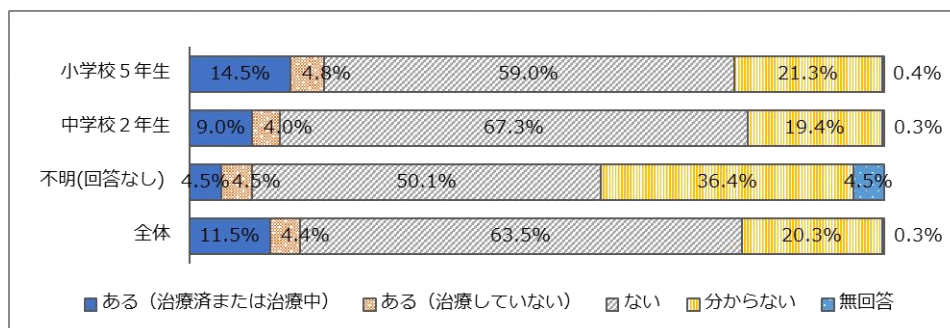
- ・ 回答者全体では、「2回」が52.9%と最も高く、「毎食後（3回）」が35.0%、「1回」が10.8%、「ほとんどしない」が0.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割程度が「2回」、3割強程度が「毎食後（3回）」、1割程度が「1回以下」であった。



■18. あなたには、現在むし歯がありますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

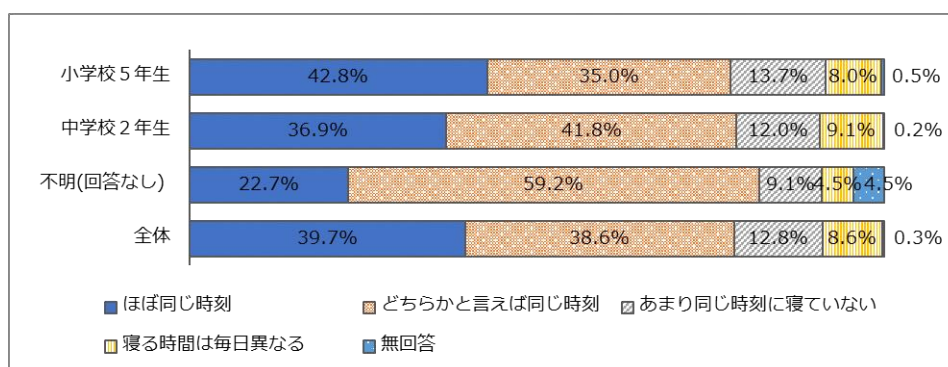
- ・ 回答者全体では、「ない」が63.5%で最も高く、「分からない」が20.3%、「ある（治療済みまたは治療中）」が11.5%、「ある（治療していない）」が4.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割程度が「ない」である一方、1割強程度が「ある（治療中・治療済）」、2割程度が「分からない」であった。



■19. あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に寝ていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

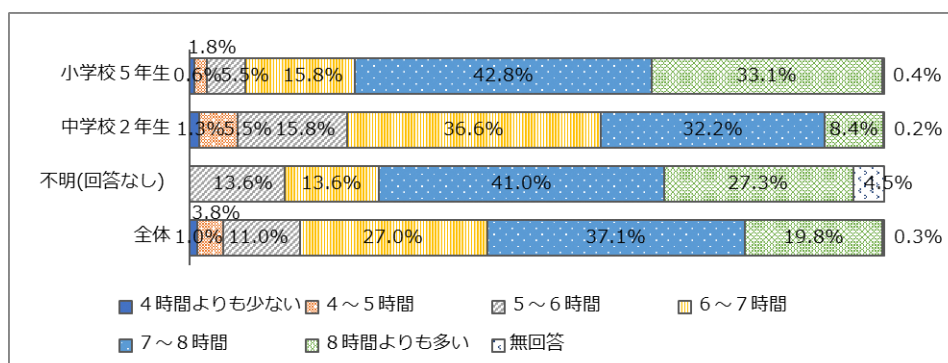
- ・ 回答者全体では、「ほぼ同じ時刻に寝ている」が 39.7%、「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」が 38.6%、「あまり同じ時刻に寝ていない」が 12.8%、「寝る時間は毎日異なる」が 8.6%の順で高くなっている。
- ・ このことから、回答者の 8 割程度が「ほぼ同じ時刻に寝ている」、2 割程度が「あまり同じ時刻に寝ていない、寝る時間は毎日異なる」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位 2 項目について、小学校 5 年生は「ほぼ同じ時刻」が 42.8%、次いで「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」が 35.0%であるのに対して、中学校 2 年生は「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」が 41.8%、次いで「ほぼ同じ時刻」が 36.9%であり、小学校 5 年生と中学校 2 年生で回答傾向に差異が見られた。



■20. あなたは、平日(月～金曜日) は、平均して何時間くらい寝ていますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

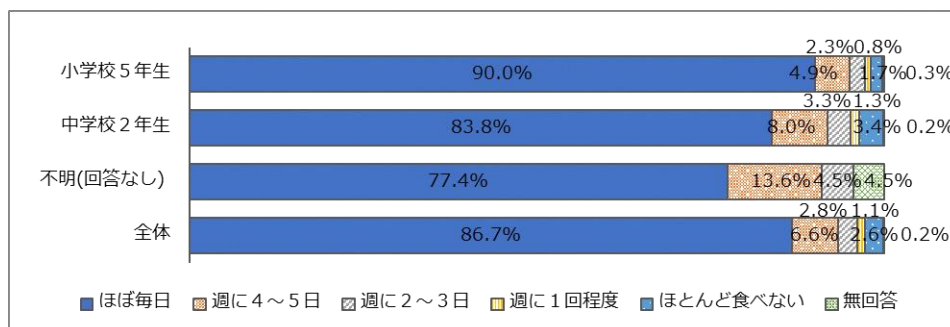
- ・ 回答者全体では、「7～8 時間」が 37.1%で最も高く、「6～7 時間」が 27.0%、「8 時間より多い」が 19.8%、「5～6 時間」が 11.0%、「4～5 時間」が 3.8%、「4 時間よりも少ない」が 1.0%の順で高くなっている。
- ・ このことから、2 割程度が「6 時間未満」、6 割程度が「6～8 時間」、2 割程度が「8 時間以上」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位 4 項目について、小学校 5 年生は「7～8 時間」が 42.8%で最も高く、次いで「8 時間より多い」が 33.1%、「6～7 時間」が 15.8%、「5～6 時間」が 5.5%の順に高くなっているのに対し、中学校 2 年生は「6～7 時間」が 36.6%で最も高く、次いで「7～8 時間」が 32.2%、「5～6 時間」が 15.8%、「8 時間より多い」が 8.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、小学校 5 年生が「7 時間以上寝ている」が 8 割程度となっているのに対し、中学校 2 年生で「7 時間以上寝ている」が 4 割程度となっており、小学校 5 年生と中学校 2 年生で回答傾向に差異が見られた。



■21. あなたは、週にどのくらい朝食を食べますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

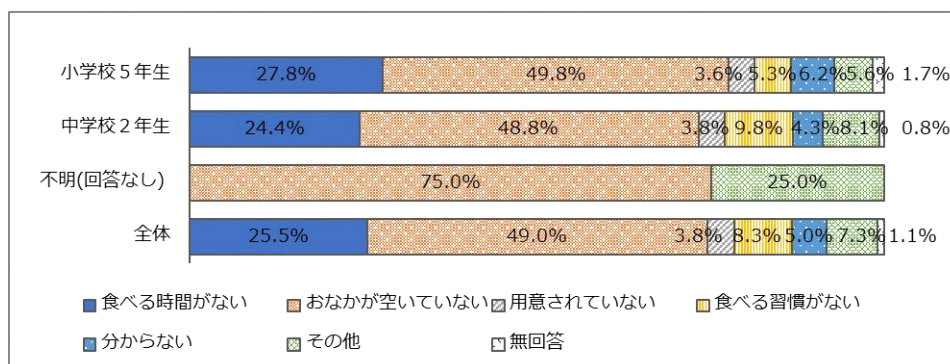
- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が86.7%で最も高く、「週に4～5日」が6.6%、「週に2～3日」が2.8%、「ほとんど食べない」が2.6%、「週に1回程度」が1.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割弱程度が「ほぼ毎日」、1割程度が「ほぼ毎日ではない」であった。



■21-2. あなたが朝食を食べない理由を教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

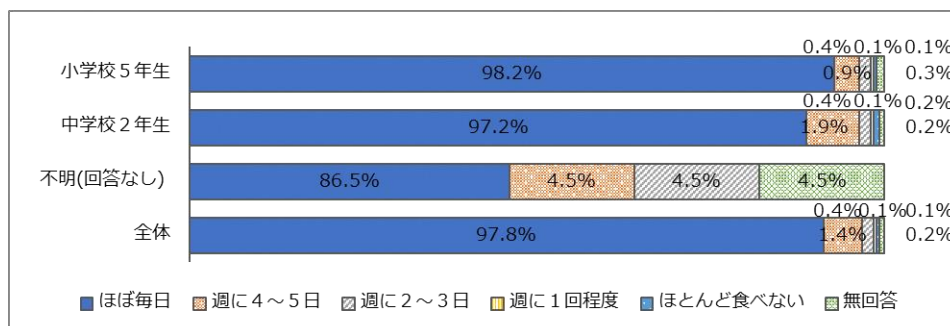
- ・ 回答者全体では、「おなかが空いていない」が49.0%で最も高く、「食べる時間がない」が25.5%、「食べる習慣がない」が8.3%、「その他」が7.3%、「分からない」が5.0%、「用意されていない」が3.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割弱程度が「食べる時間がない」、5割程度が「空腹ではない」、1割程度が「用意されていない、食べる習慣がない」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位6項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「おなかが空いていない」が最も高く（小学校5年生：49.8%、中学校2年生：48.8%）、次いで「食べる時間がない」が（小学校5年生：27.8%、中学校2年生：24.4%）、小学校5年生は「分からない」が6.2%、「その他」が5.6%、「食べる習慣がない」が5.3%、「用意されていない」が3.6%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「食べる習慣がない」が9.8%、「その他」が8.1%、「分からない」が4.3%、「用意されていない」が3.8%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



■22. あなたは、週にどのくらい夕食を食べますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

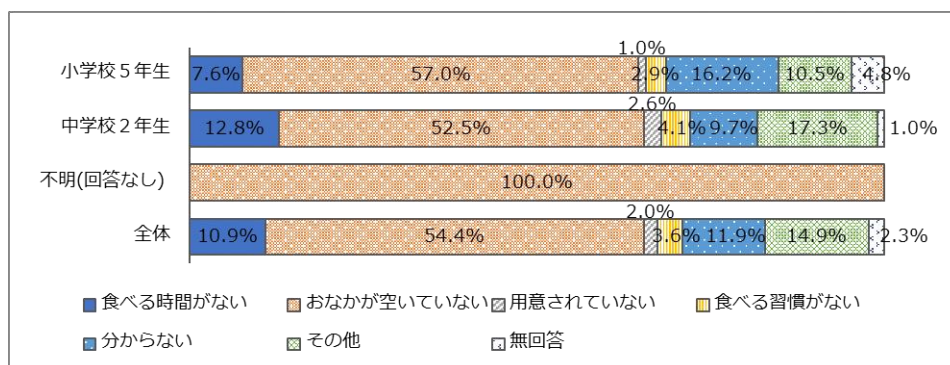
- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が97.8%で最も高く、「週 4～5 日」が1.4%、「週 2～3 日」が0.4%、「週に1 日程度」が0.1%、「ほとんど食べない」が0.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者のほとんどが「ほぼ毎日」であった。



■22-2. あなたが夕食を食べない理由を教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

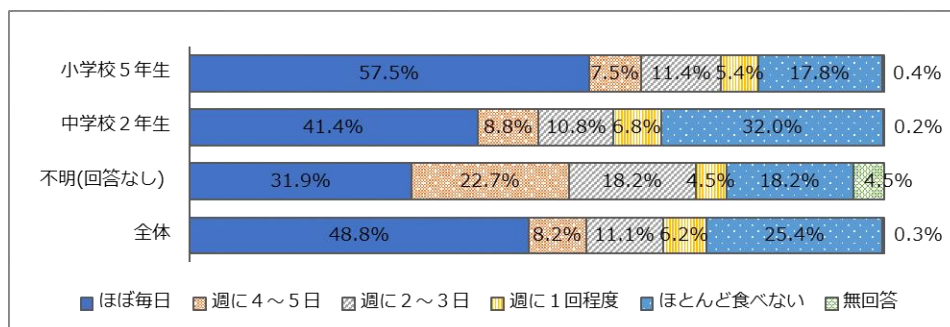
- ・ 回答者全体では、「おなかが空いていない」が54.4%で最も高く、「その他」が14.9%、「分からない」が11.9%、「食べる時間がない」が10.9%、「食べる習慣がない」が3.6%、「用意されていない」が2.0%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の1割程度が「食べる時間がない」、5割強程度が「おなかが空いていない」、1割弱程度が「用意されていない、食べる習慣がない」であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位3項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「おなかが空いていない」が最も高いが（小学校5年生：57.0%、中学校2年生：52.5%）、小学校5年生は「分からない」が16.2%、「その他」が10.5%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「その他」が17.3%、「食べる時間がない」が12.8%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



■23. あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に朝食を食べますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

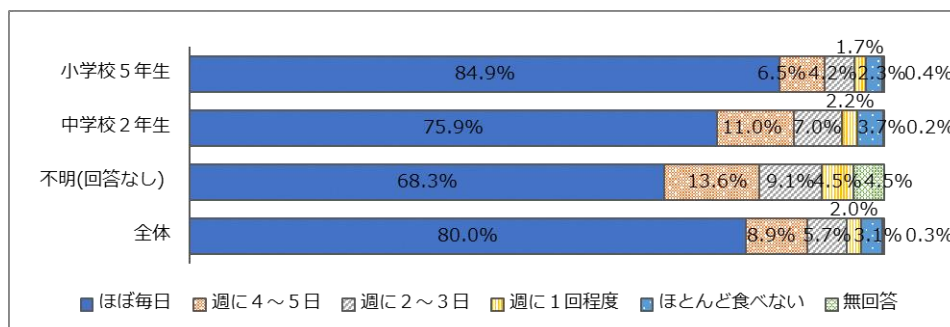
- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が48.8%で最も高く、「ほとんど食べない」が25.4%、「週に2～3日」が11.1%、「週に4～5日」が8.2%、「週に1回程度」が6.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割弱程度が「ほぼ毎日」、1割弱程度が「週4～5日」、2割弱程度が「週に1～3日」、3割弱程度が「ほとんど食べない」であった。
- ・ なお、保護者と一緒に朝食を食べる頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



■24. あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に夕食を食べますか。

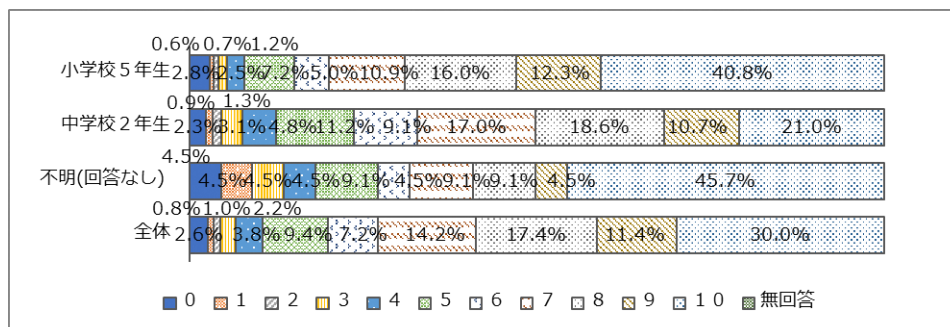
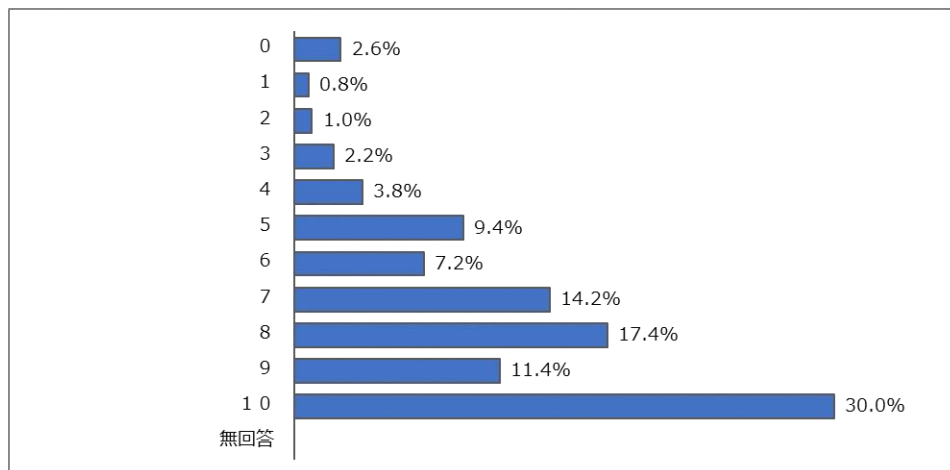
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が80.0%で最も高く、「週に4～5日」が8.9%、「週に2～3日」が5.7%、「ほとんど食べない」が3.1%、「週に1回程度」が2.0%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割が「ほぼ毎日」、1割弱程度が「週に4～5日」、1割弱程度が「週に1～3日」であった。
- ・ なお、保護者と一緒に夕食を食べる頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



■28. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

- ・ 回答者全体では、「10」が30.0%で最も高く、「8」が17.4%、「7」が14.2%、「9」が11.4%、「5」が9.4%、「6」が7.2%、「4」が3.8%、「0」が2.6%、「3」が2.2%、「2」が1.0%、「1」が0.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割弱程度が「1～5」、8割程度が「6～10」であった。
- ・ なお、回答で「6～10」が占める割合は、小学校5年生の方が、中学校2年生と比べて高い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。

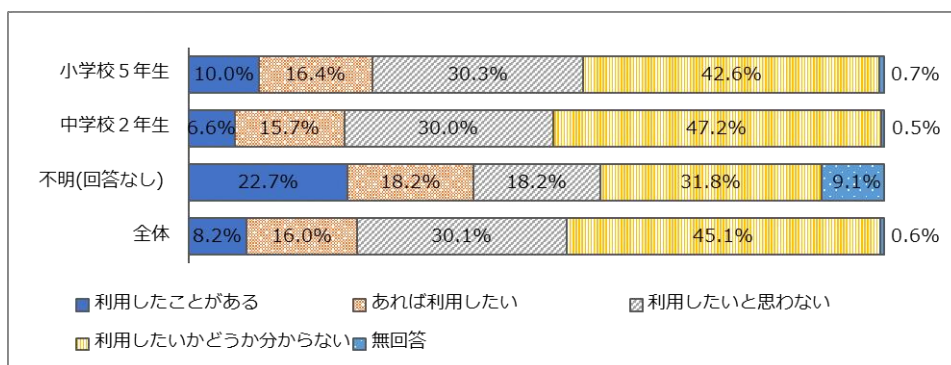


30. あなたは、次の a～c のような場所を利用したことがありますか。

■30－a.（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）

あてはまるものを1つ選択してください。

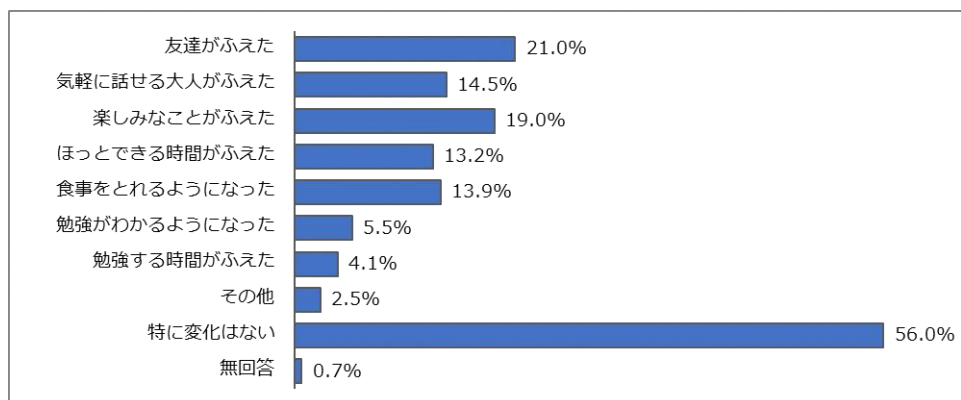
- ・ 回答者全体では、「利用したいかどうか分からない」が45.1%で最も高く、「利用したいと思わない」が30.1%、「あれば利用したい」が16.0%、「利用したことがある」が8.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、1割程度が「利用したことがある」、9割程度が「利用したことはない」であった。



■30－a－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「特に変化はない」が56.0%で最も高く、「友達がふえた」が21.0%、「楽しいことがふえた」が19.0%、「気軽に話せる大人がふえた」が14.5%、「食事をとれるようになった」が13.9%、「ほっとできる時間がふえた」が13.2%、「勉強がわかるようになった」が5.5%、「勉強する時間がふえた」が4.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、2割程度が「友達がふえた」、2割程度が「楽しいことがふえた」、1割程度が「気軽に話せる大人がふえた」であった。

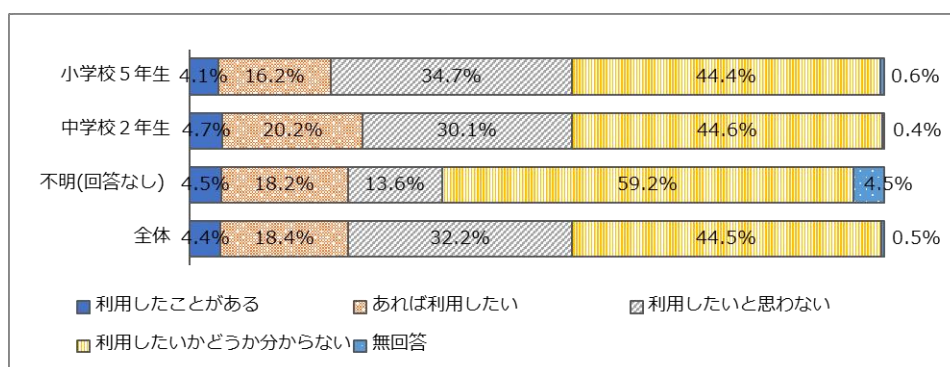
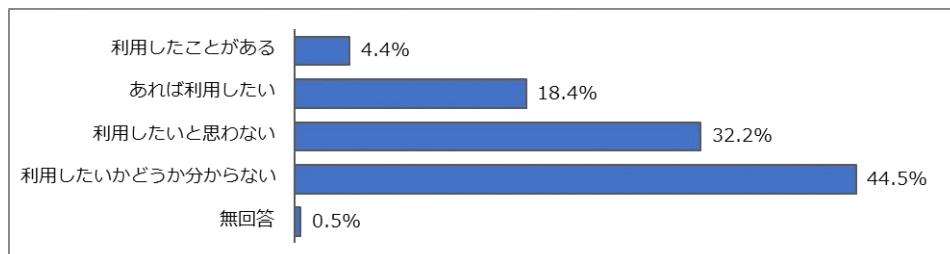


	小学校5年生		中学校2年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
友達がふえた	163	24.0	90	17.2	1	20.0	254	21.0
気軽に話せる大人がふえた	106	15.6	68	13.0	1	20.0	175	14.5
生活の中で楽しいことがふえた	150	22.1	80	15.3	0	0.0	230	19.0
ほっとできる時間がふえた	103	15.2	56	10.7	0	0.0	159	13.2
栄養のある食事をとれるようになった	108	15.9	60	11.5	0	0.0	168	13.9
勉強がわかるようになった	52	7.7	15	2.9	0	0.0	67	5.5
勉強する時間がふえた	30	4.4	20	3.8	0	0.0	50	4.1
その他	14	2.1	16	3.1	0	0.0	30	2.5
特に変化はない	351	51.7	322	61.5	4	80.0	677	56.0
無回答	7	1.0	2	0.4	0	0.0	9	0.7
計	679	-	524	-	5	-	1,208	-

■30－b.勉強を無料でみてくれる場所

あてはまるものを1つ選択してください。

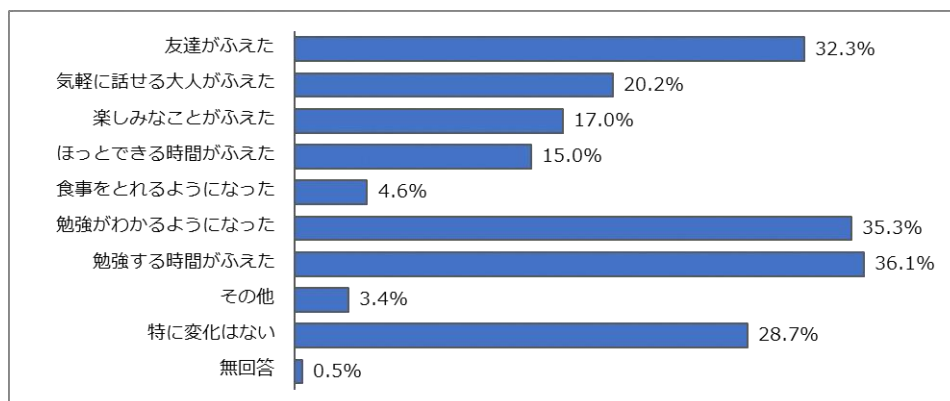
- ・ 回答者全体では、「利用したいかどうか分からない」が44.5%で最も高く、「利用したいと思わない」が32.2%、「あれば利用したい」が18.4%、「利用したことがある」が4.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、9割強程度が「利用したことはない」であった。



■30－b－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「勉強する時間がふえた」が36.1%で最も高く、「勉強がわかるようになった」が35.3%、「友達がふえた」が32.3%、「特に変化はない」が28.7%、「気軽に話せる大人がふえた」が20.2%、「楽しいことがふえた」が17.0%、「ほっとできる時間がふえた」が15.0%、「食事をとれるようになった」が4.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、4割弱程度が「勉強する時間がふえた」、4割弱程度が「勉強がわかるようになった」、3割程度が「友達がふえた」であった。

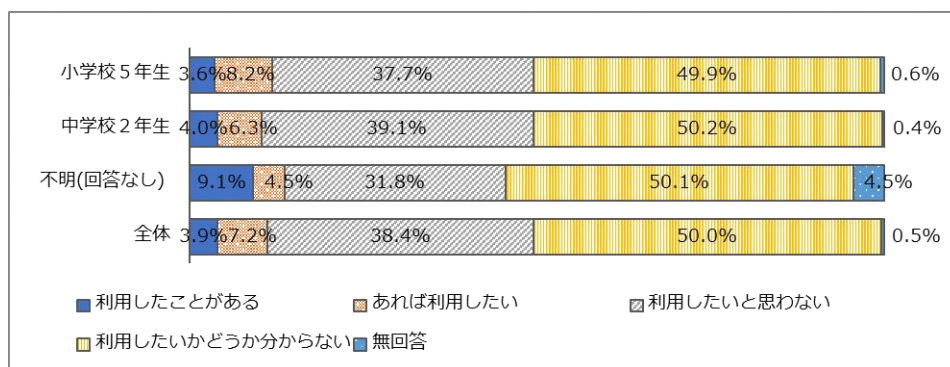
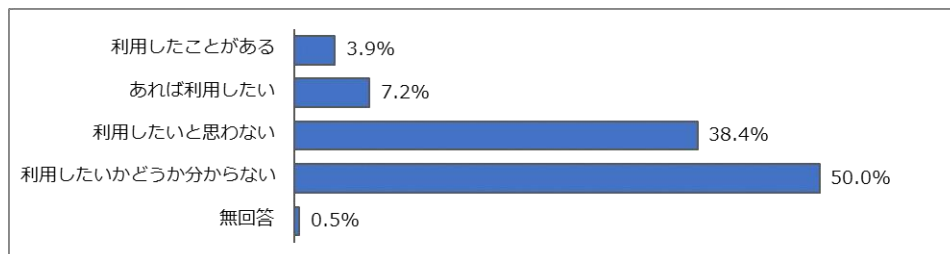


	小学校5年生		中学校2年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
友達がふえた	112	40.4	99	26.3	0	0.0	211	32.3
気軽に話せる大人がふえた	72	26.0	60	16.0	0	0.0	132	20.2
生活の中で楽しいことがふえた	65	23.5	46	12.2	0	0.0	111	17.0
ほっとできる時間がふえた	61	22.0	37	9.8	0	0.0	98	15.0
栄養のある食事をとれるようになった	17	6.1	13	3.5	0	0.0	30	4.6
勉強がわかるようになった	100	36.1	130	34.6	1	100.0	231	35.3
勉強する時間がふえた	86	31.0	149	39.6	1	100.0	236	36.1
その他	8	2.9	14	3.7	0	0.0	22	3.4
特に変化はない	71	25.6	117	31.1	0	0.0	188	28.7
無回答	3	1.1	0	0.0	0	0.0	3	0.5
計	277	-	376	-	1	-	654	-

■ 30－c. (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)

あてはまるものを1つ選択してください。

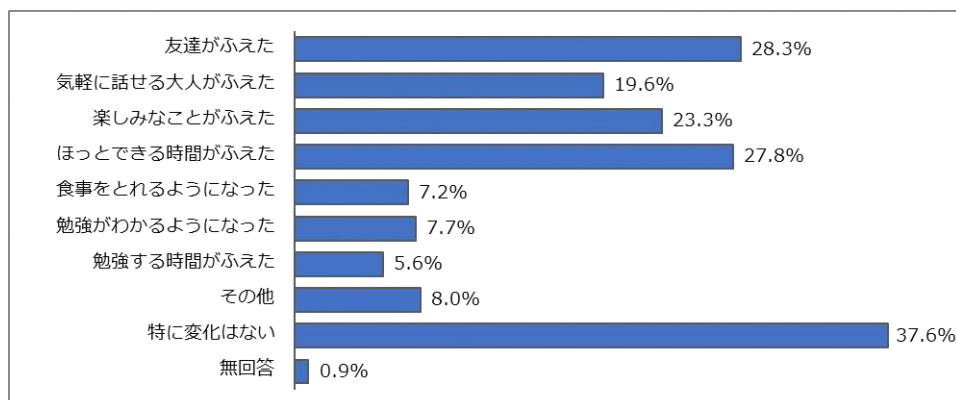
- ・ 回答者全体では、「利用したいかどうか分からない」が50.0%で最も高く、「利用したいと思わない」が38.4%、「あれば利用したい」が7.2%、「利用したことがある」が3.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、9割強程度が「利用したことはない」であった。



■30－c－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「特に変化はない」が37.6%で最も高く、「友達がふえた」が28.3%、「ほっとできる時間がふえた」が27.8%、「楽しいことがふえた」が23.3%、「気軽に話せる大人がふえた」が19.6%、「その他」が8.0%、「勉強がわかるようになった」が7.7%、「食事をとれるようになった」が7.2%、「勉強する時間がふえた」5.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、4割弱程度が「特に変化はない」、3割程度が「友達がふえた」と「ほっとできる時間がふえた」であった。



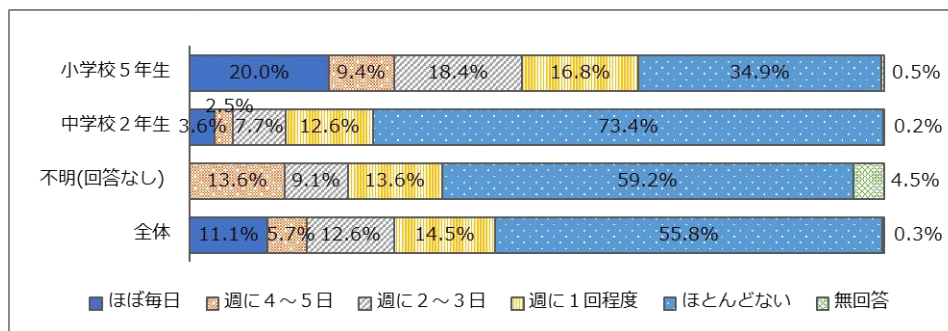
	小学校5年生		中学校2年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
友達がふえた	81	32.7	81	25.2	0	0.0	162	28.3
気軽に話せる大人がふえた	57	23.0	54	16.8	1	50.0	112	19.6
生活の中で楽しいことがふえた	79	31.9	53	16.5	1	50.0	133	23.3
ほっとできる時間がふえた	82	33.1	76	23.6	1	50.0	159	27.8
栄養のある食事をとれるようになった	28	11.3	12	3.7	1	50.0	41	7.2
勉強がわかるようになった	26	10.5	18	5.6	0	0.0	44	7.7
勉強する時間がふえた	15	6.0	17	5.3	0	0.0	32	5.6
その他	15	6.0	31	9.6	0	0.0	46	8.0
特に変化はない	71	28.6	144	44.7	0	0.0	215	37.6
無回答	5	2.0	0	0.0	0	0.0	5	0.9
計	248	-	322	-	2	-	572	-

3. 教育環境

■ 2. あなたは、週にどのくらい保護者の方に宿題（勉強）を見てもらいますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

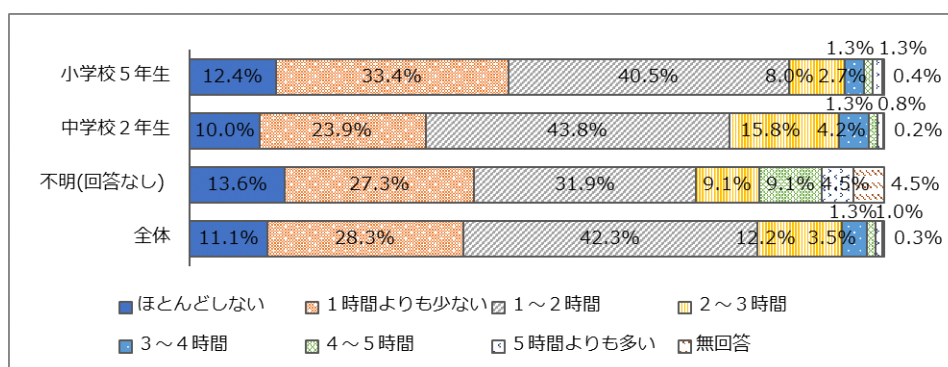
- ・ 回答者全体では、「ほとんどない」が55.8%で最も高く、「週に1回程度」が14.5%、「週に2～3日」が12.6%、「ほぼ毎日」が11.1%、「週に4～5日」が5.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、2割弱程度が「ほぼ毎日、週に4～5日」、3割弱程度が「週に1～3日」、5割強程度が「ほとんどない」であった。
- ・ なお、回答割合が多い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「ほとんどない」が最も高いが（小学校5年生：34.9%、中学校2年生：73.4%）、小学校5年生は「ほぼ毎日」が20.0%、「週に2～3日」が18.4%、「週に1回程度」が16.8%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「週に1回程度」が12.6%、「週に2～3日」が7.7%、「ほぼ毎日」が3.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、保護者に宿題（勉強）を見てもらう頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生で「週に1回以上」が6割強程度であるのに対し、中学校2年生で3割弱程度であるなど、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■ 3. あなたは、平日（月～金曜日）は、学校の授業以外にどのくらい勉強しますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

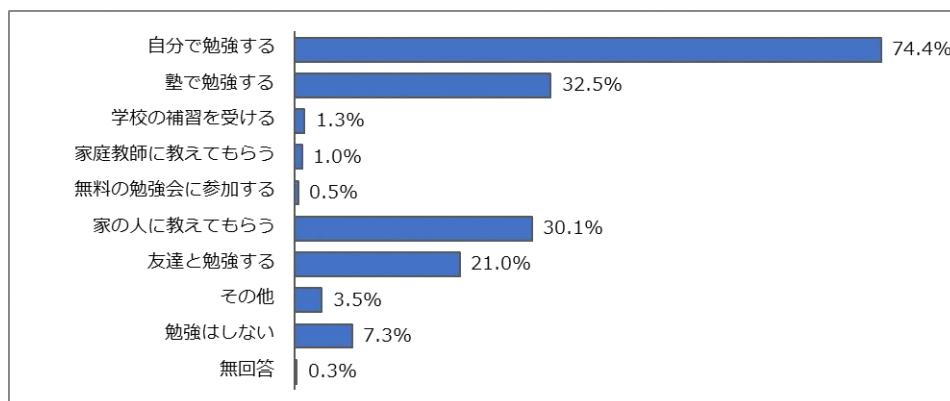
- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が42.3%で最も高く、「1時間よりも少ない」が28.3%、「2～3時間」が12.2%、「ほとんどしない」が11.1%、「3～4時間」が3.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割程度が「1時間未満」、5割強程度が「1～3時間」、1割弱程度が「3時間以上」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「1～2時間」が最も高く（小学校5年生：40.5%、中学校2年生：43.8%）、次いで「1時間よりも少ない」であるが（小学校5年生：33.4%、中学校2年生：23.9%）、小学校5年生が「ほとんどしない」が12.4%、「2～3時間」が8.0%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「2～3時間」が15.8%、「ほとんどしない」が10.0%の順に高くなっている。
- ・ このことから、平日における学校の授業以外での勉強時間は、小学校5年生の方が、中学校2年生と比べて短くなっており、小学校5年生で「2時間以上」が1割強程度であるのに対し、中学校2年生で2割程度であるなど、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■ 4. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「自分で勉強する」が 74.4%で最も高く、「塾で勉強する」が 32.5%、「家の人に教えてもらう」が 30.1%、「友達と勉強する」が 21.0%、「学校の授業以外で勉強はしない」が 7.3%の順に高くなっている。

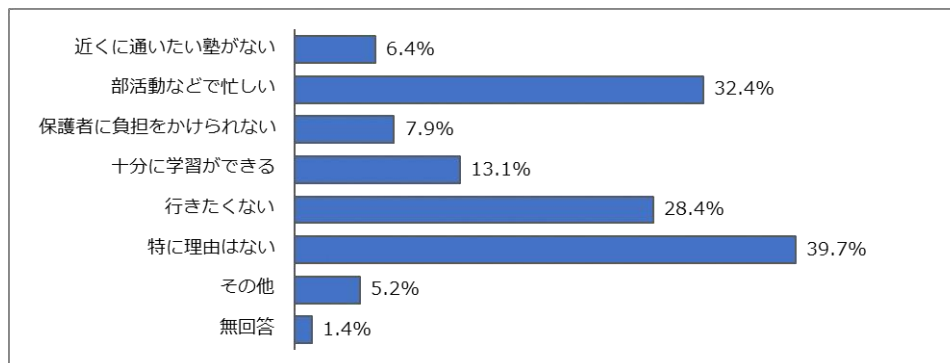


	小学校 5 年生		中学校 2 年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
自分で勉強する	4,634	68.0	6,368	80.0	16	72.7	11,018	74.4
塾で勉強する ※通信制の家庭学習教材を含みます	1,808	26.5	2,990	37.5	6	27.3	4,804	32.5
学校の補習を受ける	110	1.6	86	1.1	2	9.1	198	1.3
家庭教師に教えてもらう	41	0.6	108	1.4	0	0.0	149	1.0
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	34	0.5	39	0.5	0	0.0	73	0.5
家の人に教えてもらう	2,757	40.4	1,695	21.3	6	27.3	4,458	30.1
友達と勉強する	1,188	17.4	1,909	24.0	6	27.3	3,103	21.0
その他	309	4.5	208	2.6	0	0.0	517	3.5
学校の授業以外で勉強はしない	599	8.8	476	6.0	2	9.1	1,077	7.3
無回答	26	0.4	15	0.2	1	4.5	42	0.3
計	6,819	-	7,963	-	22	-	14,804	-

■ 4－2. 塾に通っていない理由を教えてください。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「特に理由はない」が 39.7%で最も高く、「スポーツクラブや部活動などで忙しいから」が 32.4%、「行きたくないから」が 28.4%、「通わなくても十分に学習できるから」が 13.1%、「保護者に月謝の負担をかけられないから」が 7.9%、「近くに通いたい塾がないから」が 6.4%の順に高くなっている。

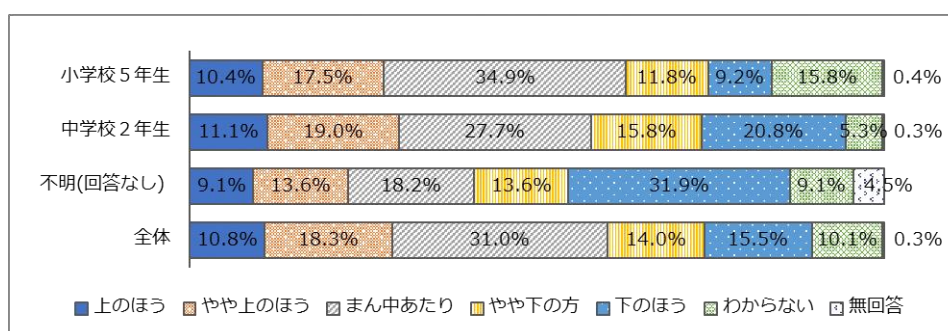
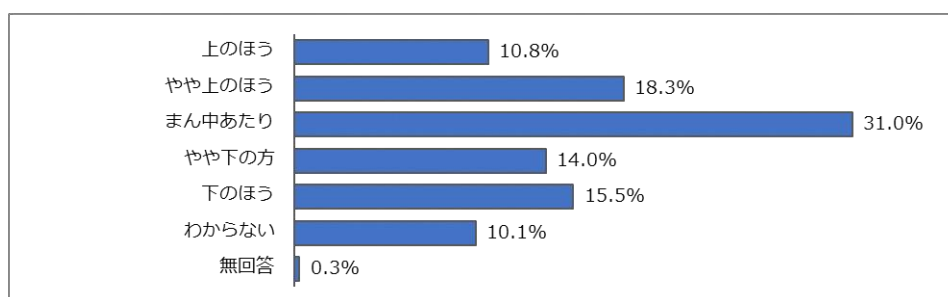


	小学校 5 年生		中学校 2 年生		無回答		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
近くに通いたい塾がないから	315	6.4	310	6.4	2	13.3	627	6.4
スポーツクラブや部活動などで忙しいから	1,459	29.5	1,722	35.4	4	26.7	3,185	32.4
通いたいが、保護者に月謝の負担をかけられないから	278	5.6	498	10.2	1	6.7	777	7.9
通わなくても十分に学習ができるから	739	14.9	554	11.4	0	0.0	1,293	13.1
行きたくないから	1,236	25.0	1,558	32.0	3	20.0	2,797	28.4
特に理由はない	2,074	41.9	1,822	37.4	9	60.0	3,905	39.7
その他	278	5.6	237	4.9	0	0.0	515	5.2
無回答	75	1.5	58	1.2	0	0.0	133	1.4
計	4,952	-	4,871	-	15	-	9,838	-

■ 5. あなたの成績はクラスの中でどのくらいだと思いますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

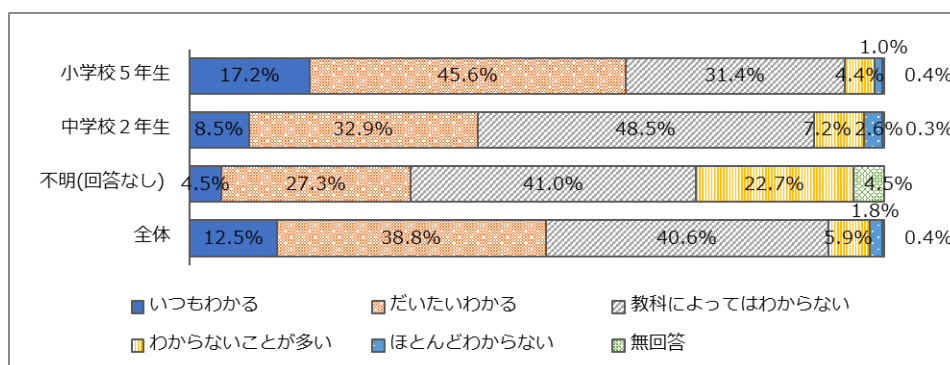
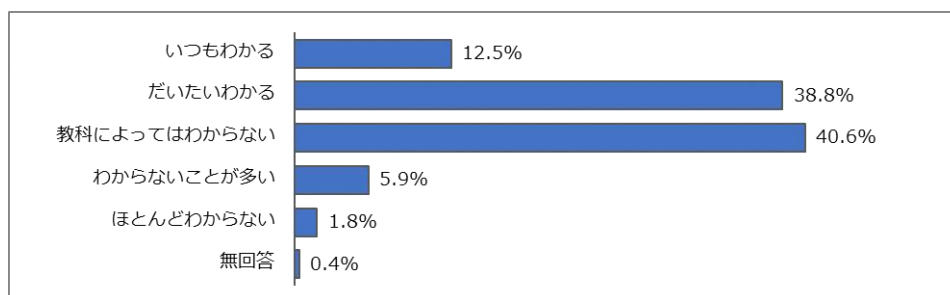
- ・ 回答者全体では、「まん中あたり」が31.0%で最も高く、「やや上のほう」が18.3%、「下のほう」が15.5%、「やや下のほう」が14.0%、「上のほう」が10.8%、「わからない」が10.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、3割程度が「やや上のほう～上のほう」、3割程度が「まん中あたり」、3割程度が「やや下のほう～下のほう」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「まん中あたり」が最も高く（小学校5年生：34.9%、中学校2年生：27.7%）、小学校5年生は「やや上のほう」が17.5%、「わからない」が15.8%、「やや下のほう」が11.8%、「上のほう」が10.4%、「下のほう」が9.2%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「下のほう」が20.8%、「やや上のほう」が19.0%、「やや下のほう」が15.8%、「上のほう」が11.1%、「分からない」が5.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■ 6. あなたは、学校の授業が分からないことがありますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

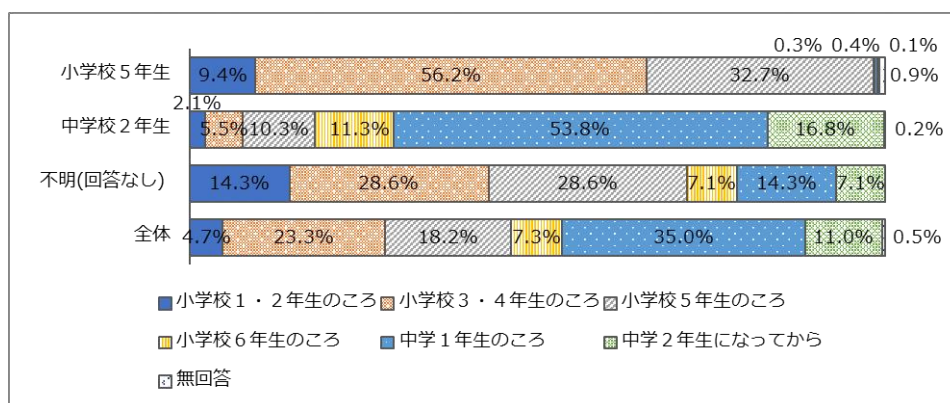
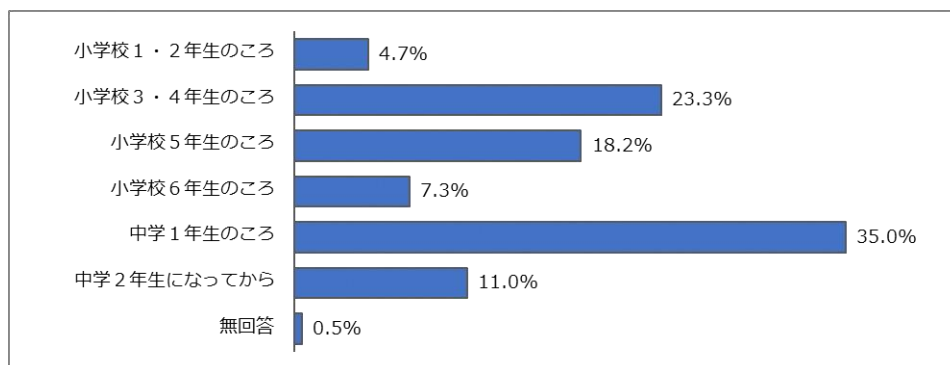
- ・ 回答者全体では、「教科によってはわからない」が 40.6%で最も高く、「だいたいわかる」が 38.8%、「いつもわかる」が 12.5%、「わからないことが多い」が 5.9%、「ほとんどわからない」が 1.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、5割程度が「わかる、だいたいわかる」、5割弱程度が「わからないことがある」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生は「だいたいわかる」が 45.6%、「教科によってはわからない」が 31.4%、「いつもわかる」が 17.2%、「わからないことが多い」が 4.4%、「わからない」が 1.0%であるのに対し、中学校2年生は「教科によってはわからない」が 48.5%、「だいたいわかる」が 32.9%、「いつもわかる」が 8.5%、「わからないことが多い」が 7.2%、「ほとんどわからない」が 2.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、学校の授業が分からないことがある割合が中学校2年生で高く、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■ 6－2. いづれから授業が分からないことがあるようになりましたか。

あてはまるものを1つ選択してください。

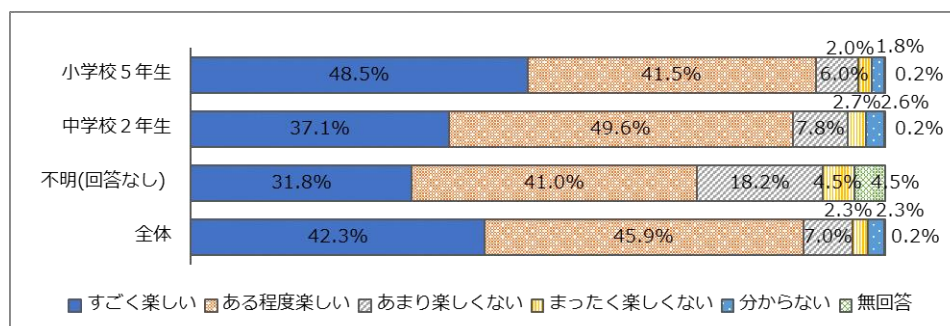
- ・ 小学校5年生の回答割合では「小学校3・4年生のころ」が56.2%で最も高く、「小学校5年生のころ」が32.7%、「小学校1・2年生のころ」が9.4%の順で高くなっている。
- ・ また、中学校2年生の回答割合では「中学1年生のころ」が53.8%で最も高く、「中学2年生になってから」が16.8%、「小学校6年生のころ」が11.3%、「小学校5年生のころ」が10.3%の順で高くなっている。



■ 7. あなたは、学校は楽しいと思いますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

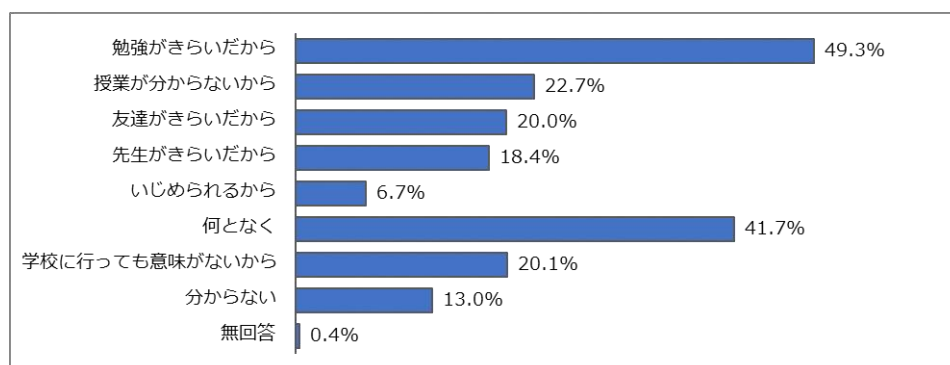
- ・ 回答者全体では、「ある程度楽しい」が45.9%で最も高く、「すごく楽しい」が42.3%、「あまり楽しくない」が7.0%、「まったく楽しくない」と「分からない」が2.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割程度が「楽しい」、1割程度が「楽しくない」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生は「すごく楽しい」が48.5%、次いで「ある程度楽しい」が41.5%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生は「ある程度楽しい」が49.6%、次いで「すごく楽しい」が37.1%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



■ 7-2. あなたがそう思う理由を教えてください。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「勉強がきらいだから」が 49.3%で最も高く、「何となく」が 41.7%、「授業が分からないから」が 22.7%、「学校に行っても意味がないから」が 20.1%、「友達がきらいだから」20.0%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、「勉強がきらいだから」が最も高く（小学校 5 年生 53.2%：、中学校 2 年生：46.6%）、「何となく」（小学校 5 年生：36.1%、中学校 2 年生：45.4%）、「授業が分からない」（小学校 5 年生：20.4%、中学校 2 年生：24.3%）、次いで小学校 5 年生が「友達がきらいだから」が 18.7%、「学校に行っても意味がないから」が 17.6%、「先生が嫌いだから」が 14.7%の順に高くなっているのに対し、中学校 2 年生は「学校に行っても意味がないから」が 21.7%、「先生がきらいだから」が 21.0%、「友達がきらいだから」が 20.8%の順に高く、小学校 5 年生と中学校 2 年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。

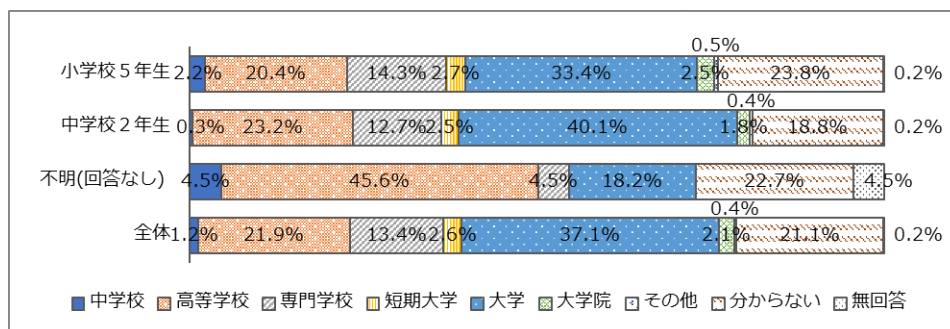


	小学校 5 年生		中学校 2 年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
勉強がきらいだから	290	53.2	387	46.6	3	60.0	680	49.3
授業が分からないから	111	20.4	202	24.3	0	0.0	313	22.7
友達がきらいだから	102	18.7	173	20.8	1	20.0	276	20.0
先生がきらいだから	80	14.7	174	21.0	0	0.0	254	18.4
いじめられるから	51	9.4	41	4.9	0	0.0	92	6.7
何となく	197	36.1	377	45.4	1	20.0	575	41.7
学校に行っても意味がないから	96	17.6	180	21.7	2	40.0	278	20.1
分からない	73	13.4	105	12.7	1	20.0	179	13.0
無回答	0	0.0	6	0.7	0	0.0	6	0.4
計	545	-	830	-	5	-	1,380	-

■ 8. あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

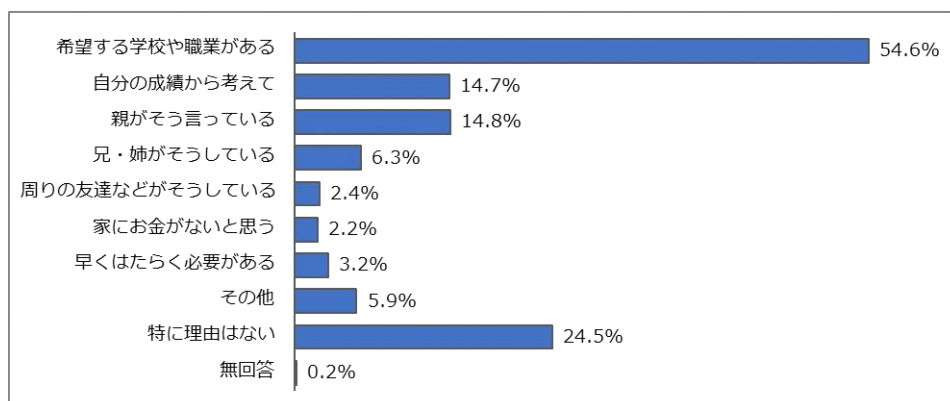
- ・ 回答者全体では、「大学」が37.1%で最も高く、「高等学校」が21.9%、「分からない」が21.1%、「専門学校」が13.4%、「短期大学」が2.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割強程度が「中学校～高等学校」、2割弱程度が「専門学校～短期大学」、4割程度が「大学～大学院」であった。



■ 8－2. その理由を教えてください。

あてはまるものを全て選択してください。

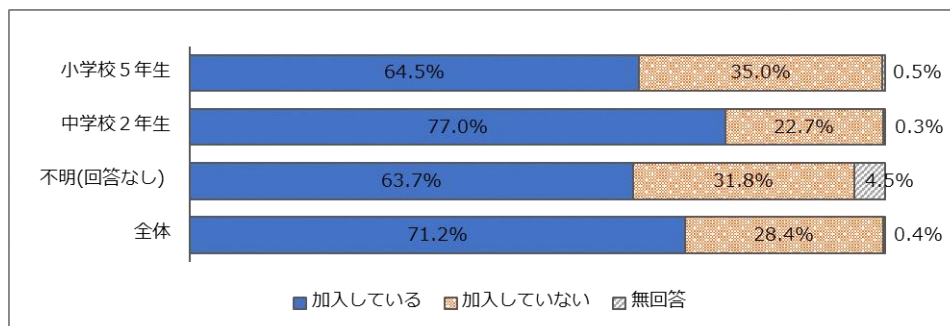
- ・ 回答者全体では、「希望する学校や職業があるから」が 54.6%で最も高く、「特に理由はない」が 24.5%、「親がそう言っているから」が 14.8%、「自分の成績から考えて」が 14.7%、「兄・姉がそうしているから」が 6.3%、「その他」が 5.9%、「早くはたらく必要があるから」が 3.2%の順になっている。
- ・ このことから、回答者の 7 割程度が「希望する学校や職業があるから、自分の成績から考えて」、3 割程度が「親がそう言っているから～早くはたらく必要があるから」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、「希望する学校や職業があるから」が最も高く（小学校 5 年生 53.3%：、中学校 2 年生：55.7%）、「特に理由はない」（小学校 5 年生 25.4%：、中学校 2 年生：23.8%）、次いで小学校 5 年生は「自分の成績から考えて」が 13.8%、「親がそう言っているから」が 11.6%、「その他」が 6.5%の順に高くなっているのに対して、中学校 2 年生は「親がそう言っているから」が 17.5%、「自分の成績から考えて」が 15.4%、「兄・姉がそうしているから」が 7.4%の順に高く、小学校 5 年生と中学校 2 年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



	小学校 5 年生		中学校 2 年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
希望する学校や職業があるから	2,762	53.3	3,591	55.7	5	31.3	6,358	54.6
自分の成績から考えて	714	13.8	993	15.4	6	37.5	1,713	14.7
親がそう言っているから	600	11.6	1,129	17.5	1	6.3	1,730	14.8
兄・姉がそうしているから	255	4.9	477	7.4	0	0.0	732	6.3
まわりの先輩や友達がそうしているから	75	1.4	201	3.1	0	0.0	276	2.4
家にお金がないと思うから	123	2.4	133	2.1	2	12.5	258	2.2
早くはたらく必要があるから	196	3.8	177	2.7	2	12.5	375	3.2
その他	335	6.5	347	5.4	1	6.3	683	5.9
特に理由はない	1,314	25.4	1,536	23.8	6	37.5	2,856	24.5
無回答	12	0.2	6	0.1	0	0.0	18	0.2
計	5,182	-	6,452	-	16	-	11,650	-

■ 9. あなたは、スポーツクラブや部活動に参加していますか。

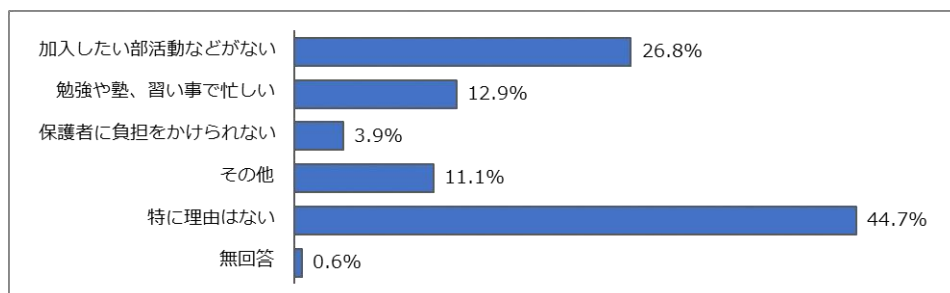
- ・ 回答者全体では、「加入している」が71.2%で最も高く、「加入していない」が28.4%であった。
- ・ また、小学校5年生に比べ中学校2年生の方が、スポーツクラブ等に参加している割合が高かった。



■ 9-2. 加入していない理由を教えてください。

あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 回答者全体では、「特に理由はない」が44.7%で最も高く、「加入したい部活動などがない」が26.8%、「勉強や塾、習い事で忙しい」が12.9%、「その他」が11.1%、「保護者に負担をかけられない」が3.9%の順に高くなっている。

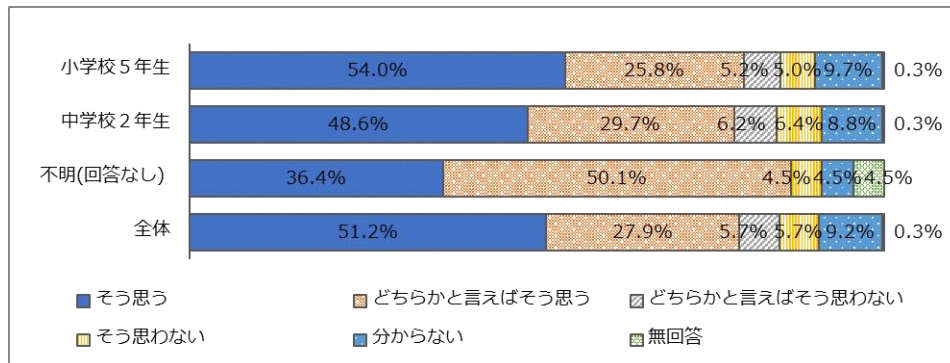


	小学校5年生		中学校2年生		不明(回答なし)		全体	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
加入したいスポーツクラブや部活動がないから	566	23.7	556	30.8	1	14.3	1,123	26.8
勉強や塾、習い事で忙しいから	303	12.7	237	13.1	3	42.9	543	12.9
加入したいが、保護者に月謝の負担をかけられないから	111	4.7	54	3.0	0	0.0	165	3.9
その他	245	10.3	222	12.3	0	0.0	467	11.1
特に理由はない	1,145	48.0	727	40.3	3	42.9	1,875	44.7
無回答	15	0.6	9	0.5	0	0.0	24	0.6
計	2,385	-	1,805	-	7	-	4,197	-

4. 社会環境

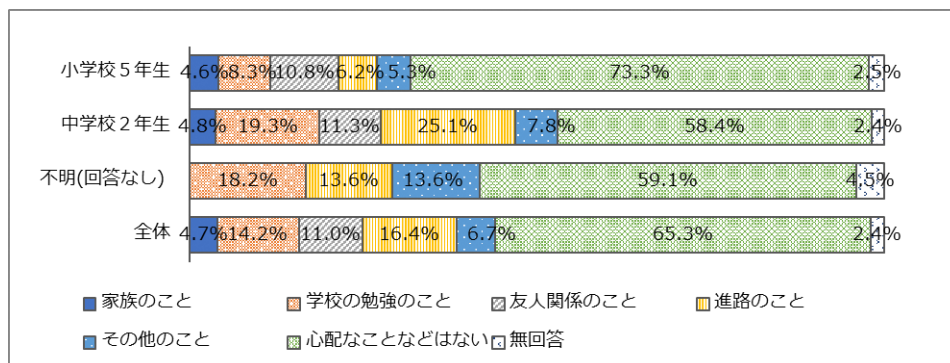
- 25. あなたは、将来のためにも、今、スポーツ・特技をがんばりたいと思いますか。
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「そう思う」が51.2%で最も高く、「どちらかと言えばそう思う」が27.9%、「分からない」が9.2%、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」が5.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、8割程度が「そう思う」、2割程度が「そう思わない、分からない」であった。



- 26. 今なやんでいることや心配なこと、困っていることやだれかに相談したいことはありますか。
あてはまるものを全て選択してください。

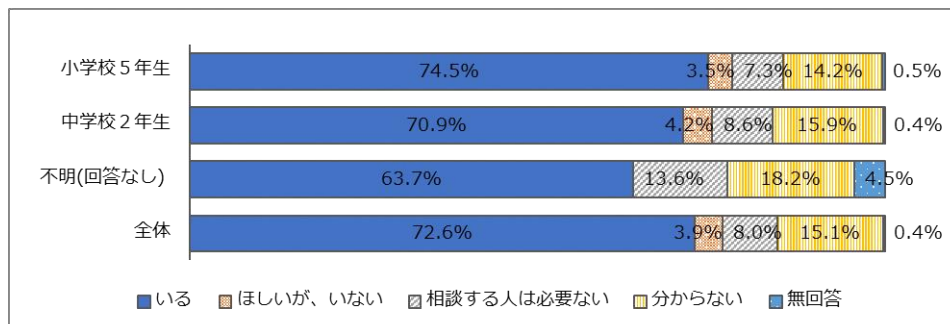
- ・ 回答者全体では、「心配なことなどはない」が65.3%で最も高く、「進路のこと」が16.4%、「学校の勉強のこと」が14.2%、「友人関係のこと」が11.0%、「その他のこと」が4.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、5割程度が「心配なこと、困っていることがある」、7割弱程度が「心配なこと、困っていることがない」であった。
- ・ なお、小学校5年生に比べ中学校2年生の方が、心配なこと、困っていることの割合が高く、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



■27. あなたは、なやみなどを相談できる人はいいますか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 回答者全体では、「いる」が72.6%で最も高く、「分からない」が15.1%、「相談する人は必要ない」が8.0%、「ほしいが、いない」が3.9%の順に高くなっている。



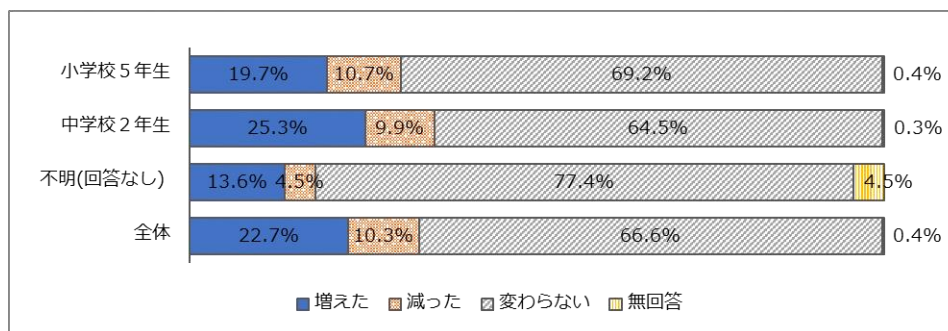
5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化

29. 新型コロナウイルス感染症の影響について

あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月）に比べてどのように変わったと思いますか。（a～gそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。）

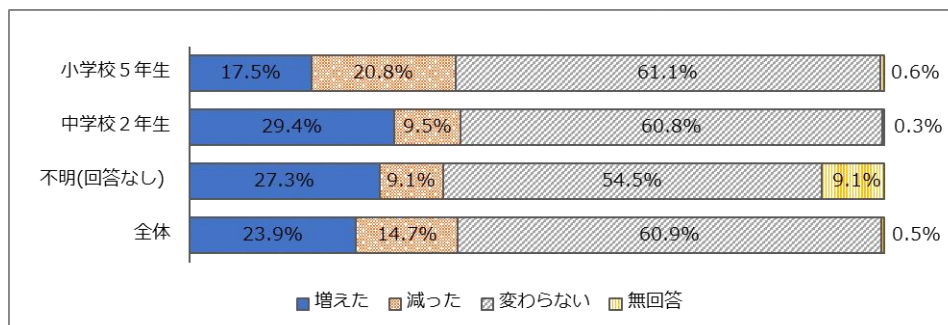
■29－a.学校の授業以外で勉強する時間

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が66.6%で最も高く、「増えた」が22.7%、「減った」10.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、7割程度が「変わらない」、2割程度が「増えた」、1割程度が「減った」であった。



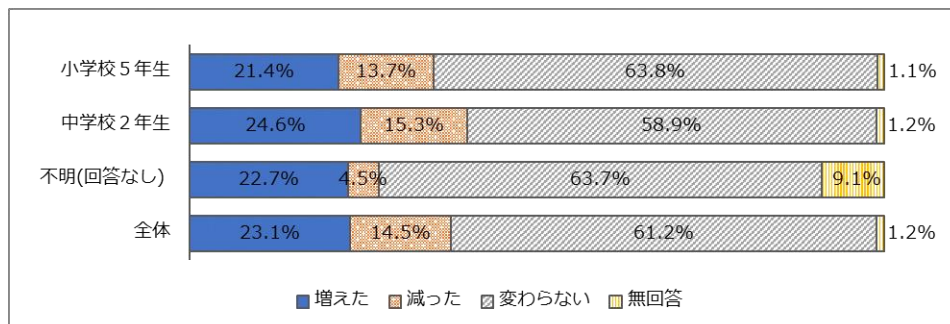
■29－b.学校の授業でわからないと感じること

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が60.9%で最も高く、「増えた」が23.9%、「減った」14.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、6割程度が「変わらない」、2割強程度が「増えた」、1割強程度が「減った」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「変わらない」が最も高いが（小学校5年生：61.1%、中学校2年生：60.8%）、小学校5年生は「減った」が20.8%、「増えた」が17.5%の順に高くなっているのに対して、中学校2年生は「増えた」が29.4%、「減った」9.5%の順に高くなっており、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



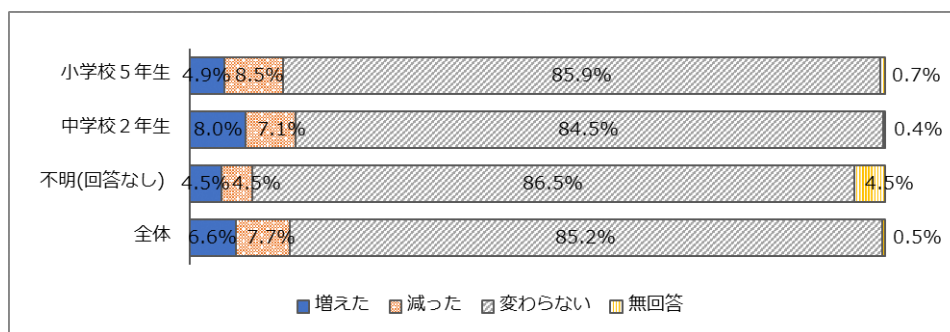
■ 29－ c .地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が61.2%で最も高く、「増えた」が23.1%、「減った」が14.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、6割程度が「変わらない」、2割強程度が「増えた」、1割強程度が「減った」であった。



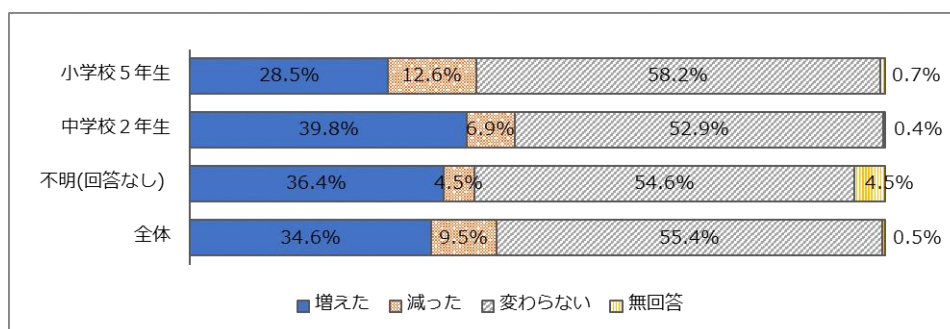
■ 29－ d .食事を抜く回数

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が85.2%で最も高く、「減った」が7.7%、「増えた」が6.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、8割強程度が「変わらない」、1割弱程度が「増えた」、1割弱程度が「減った」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「変わらない」が最も高いが（小学校5年生：85.9%、中学校2年生：84.5%）、小学校5年生は「減った」が8.5%、「増えた」が4.9%の順に高くなっているのに対して、中学校2年生は「増えた」が8.0%、「減った」7.1%の順に高くなっており、小学校5年生と中学校2年生で回答傾向に差異が見られた。



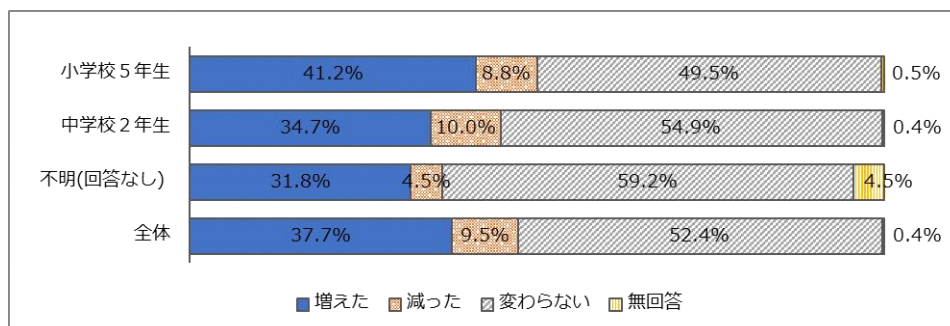
■29－ e.夜遅くまで起きている回数

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が55.4%で最も高く、「増えた」が34.6%、「減った」が9.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、6割弱程度が「変わらない」、3割強程度が「増えた」、1割程度が「減った」であった。
- ・ なお、回答割合が高い項目について、小学校5年生と中学校2年生のいずれも「変わらない」が最も高いが（小学校5年生：58.2%、中学校2年生：52.9%）、次いで「増えた」であり（小学校5年生：28.5%、中学校2年生：39.8%）、「減った」の順であった（小学校5年生：12.6%、中学校2年生：6.9%）。
- ・ このことから、夜遅くまで起きている回数は、「増えた」が小学校5年生で3割程度、中学校2年生が4割程度と1割程多いことから回答傾向に差異が見られた。



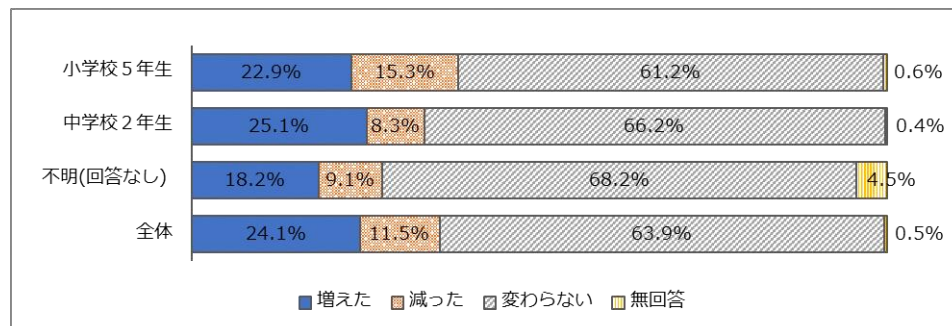
■29－ f.親以外の大人や友達と話をすること

- ・ 回答者全体では、「変わらない」が52.4%で最も高く、「増えた」が37.7%、「減った」が9.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、5割程度が「変わらない」、4割程度が「増えた」、1割程度が「減った」であった。



■ 29－g.イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

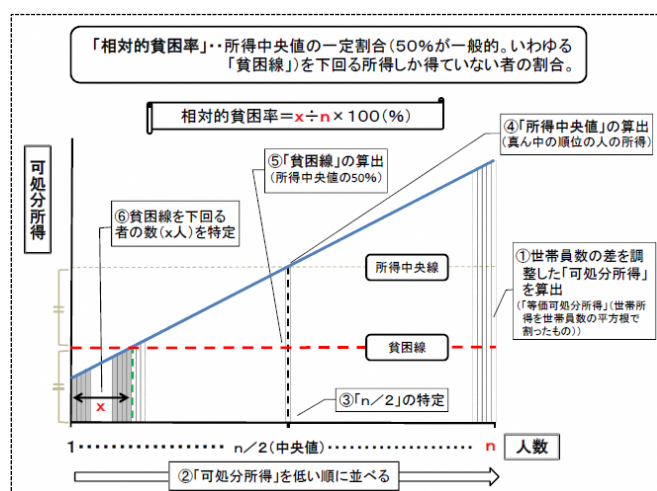
- ・ 回答者全体では、「変わらない」が63.9%で最も高く、「増えた」が24.1%、「減った」が11.5%の順に高くなっている。
- ・ このことから、6割強程度が「変わらない」、2割強程度が「増えた」、1割程度が「減った」であった。



IV 調査結果（クロス集計：保護者）

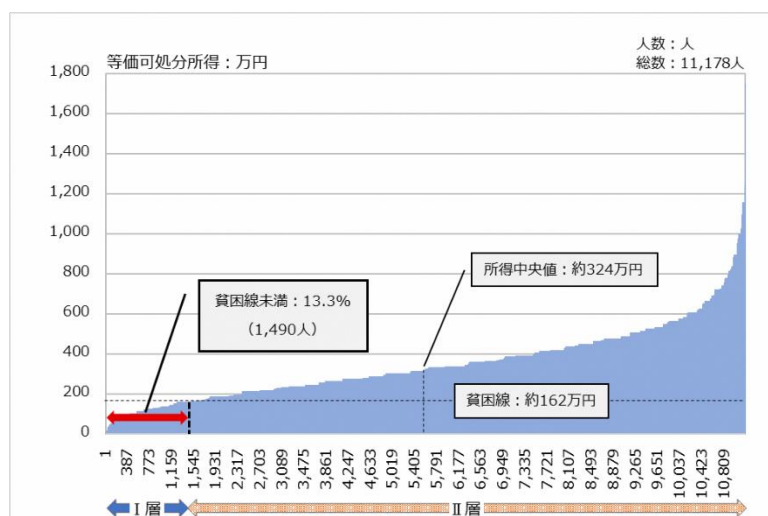
1. 本調査における相対的貧困率

- ・ 本調査において世帯全員を合わせた所得を調査しているが、当該所得のみで世帯の困窮状態を測ることはできず、多面的に測る指標として、国民生活基礎調査における相対的貧困率の算出手法に沿って、「等価可処分所得」及びそれを基に区分した困窮度を用いている。
- ・ 国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合のことである。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいい、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づき算出されている。（具体的な算出方法は以下のとおり）



- ・ 上記算出手法に沿って本調査における相対的貧困率を算出した結果、貧困線を下回る者の割合は 13.3% となり、ひとり親世帯※では 40.9% であった。なお、調査対象者や調査手法等が異なるため単純に比較できるものではないが、参考として、令和3年国民生活基礎調査における全国の子どもの貧困率は 11.5%、大人が一人の世帯では 44.5% となっている。

※ 本調査におけるひとり親世帯は、母子世帯（子どもの母と同居し、父と同居していないと回答した世帯）及び父子世帯（子どもの父と同居し、母と同居していないと回答した世帯）を合わせた世帯のこと



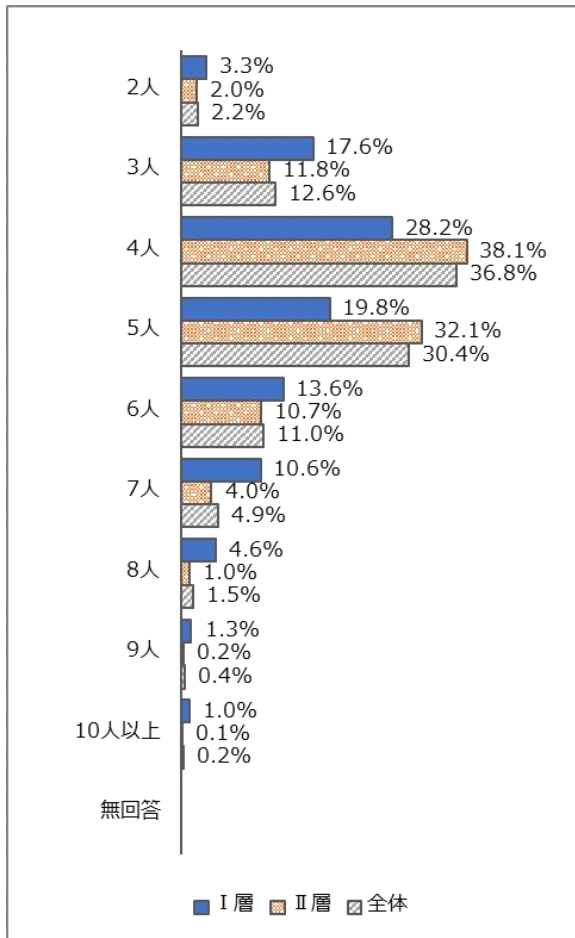
- ・ 以下、本調査における経済状況とのクロス集計においては、貧困線を下回る層（13.3%）に属する回答者をⅠ層、それ以外の回答者をⅡ層と区分し、集計・分析を行っている。

2. 属 性

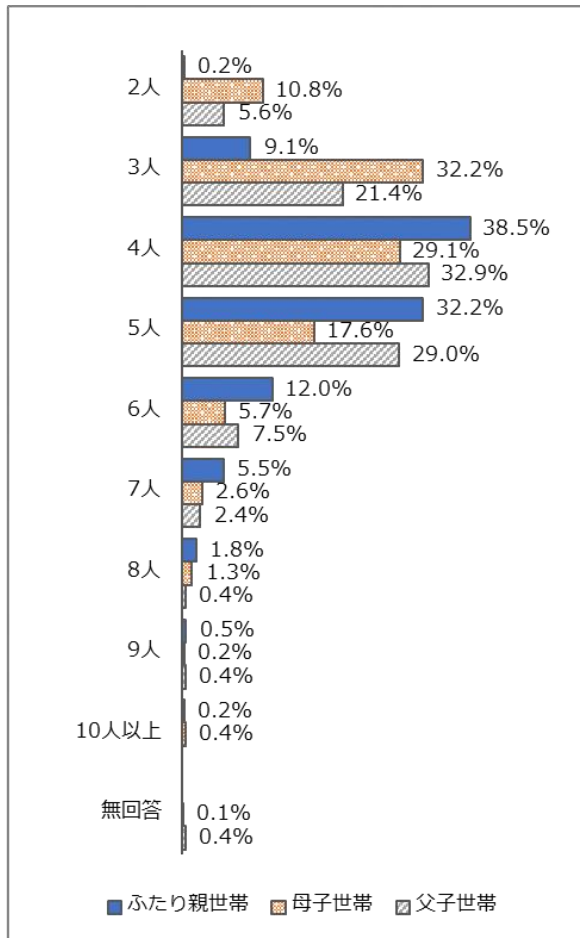
■ 3. あなたが同居されている世帯の人数（あなたとお子さんを含めた人数）は何人ですか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、「3人」と回答した割合はⅠ層の方が高く、「4人」～「5人」と回答した割合はⅡ層の方が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯では「4人」～「5人」、母子世帯では「2人」～「3人」、父子世帯では「3人」～「5人」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

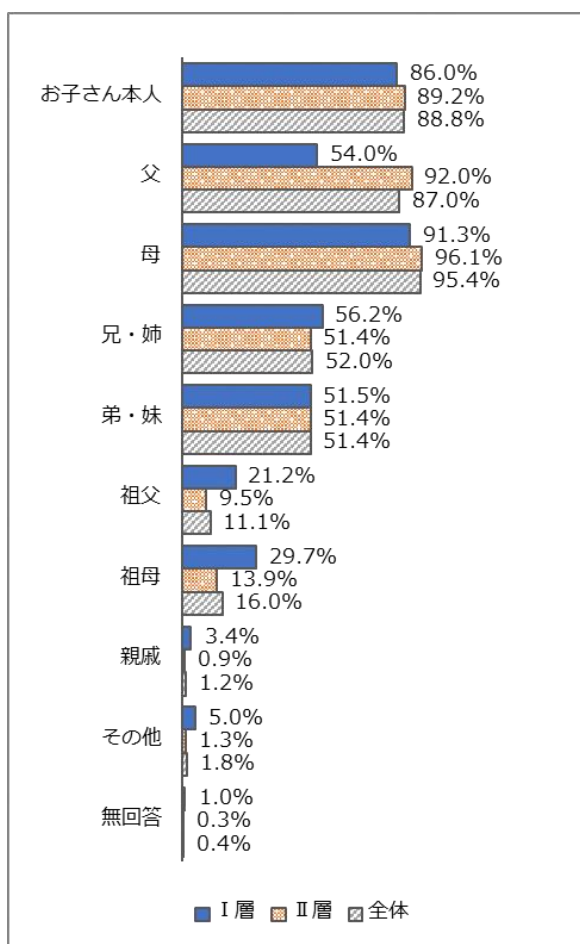


■ 4. 世帯で同居されている方を選んでください。

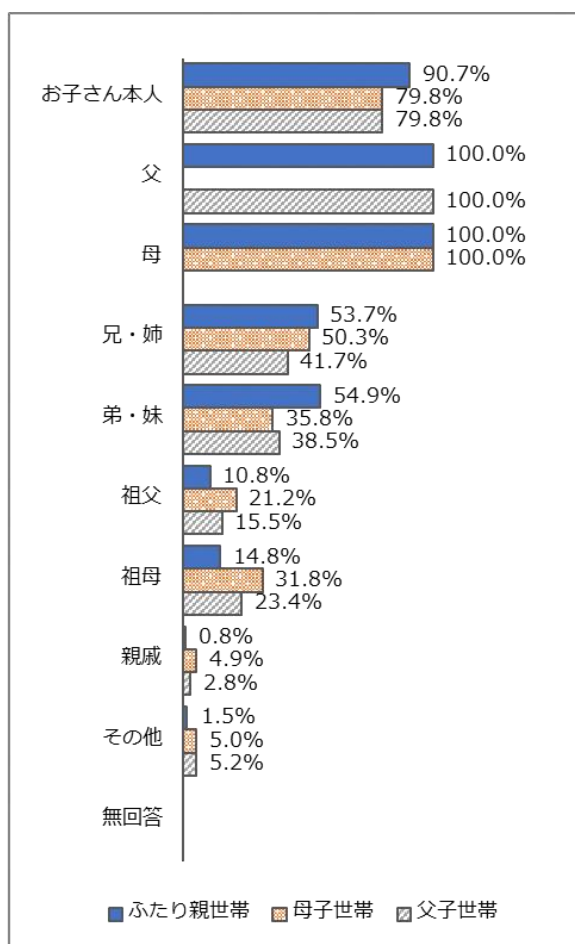
お子さんから見た続き柄であてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「父」が同居していない割合が高く（母子世帯が多い）、また「祖父・祖母」と同居している割合も高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯では「兄・姉」又は「弟・妹」と同居していない割合が高く、「祖父」又は「祖母」と同居している割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



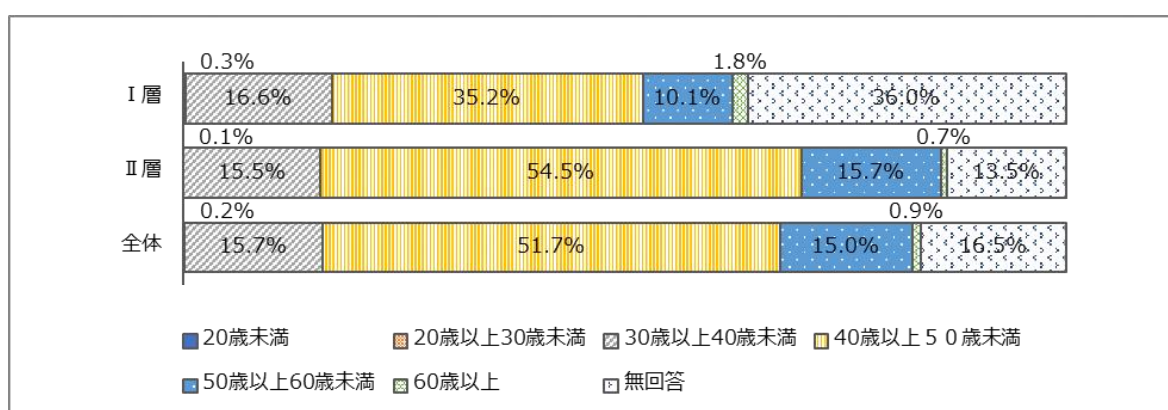
■ 5. お子さんの父の現在の年齢についてお答えください。

■ 6. お子さんの母の現在の年齢についてお答えください。

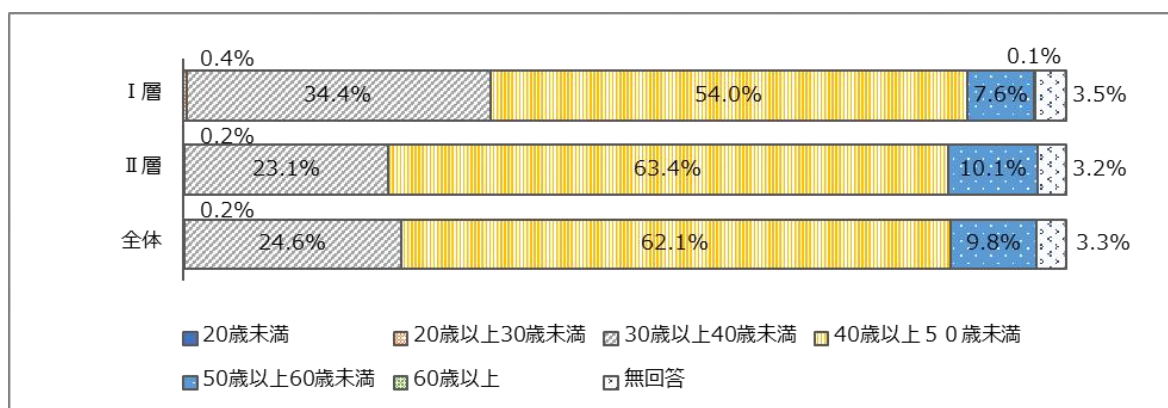
- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層とⅡ層ともに「40歳以上50歳未満」の割合が最も高くなっている。（Ⅰ層では無回答の割合が高い）
- ・ また、母について、「30歳以上40歳未満」がⅠ層はⅡ層より1割程度高い割合になっている。
- ・ このことから、特に母の年齢と世帯の経済状況に関係性が見られる。
- ・ なお、世帯類型別について、母子世帯又は父子世帯では父又は母と同居していないためか、母子世帯における父や父子世帯における母の年齢の「無回答」の割合が高い。

<経済状況別>

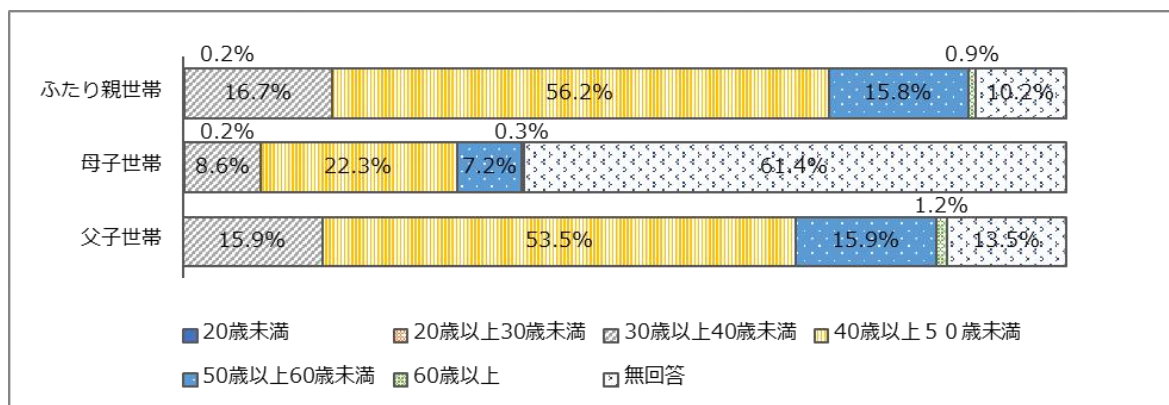
(父)



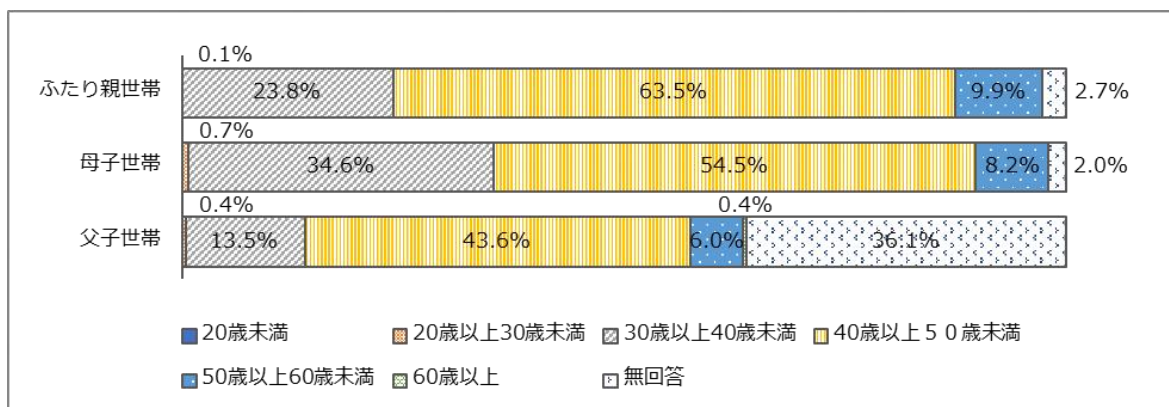
(母)



<経済状況別>
(父)



(母)

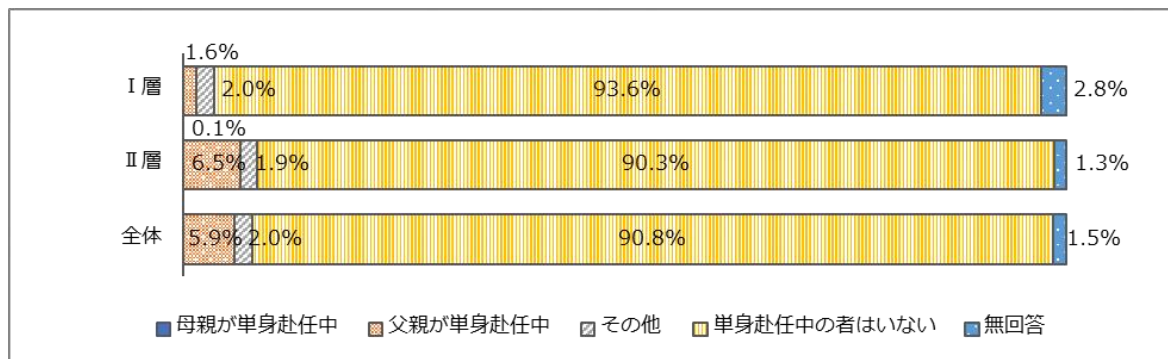


■ 7. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

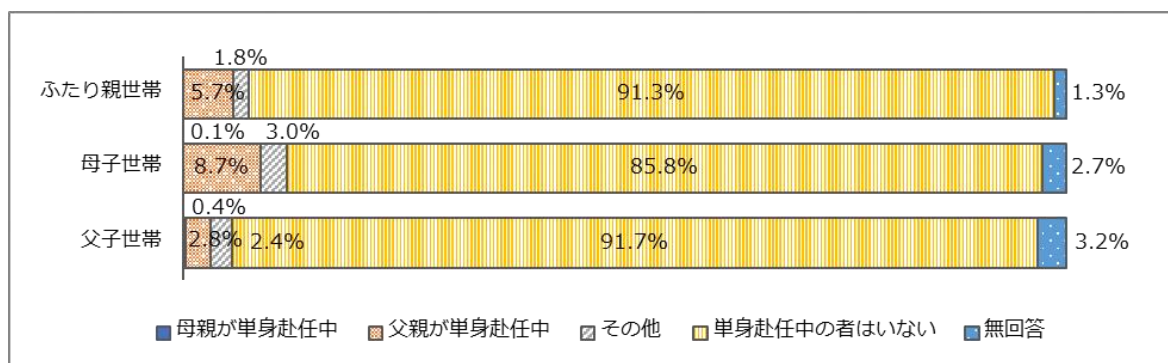
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別及び世帯類型別において顕著な差は見られなかった。

<経済状況別>



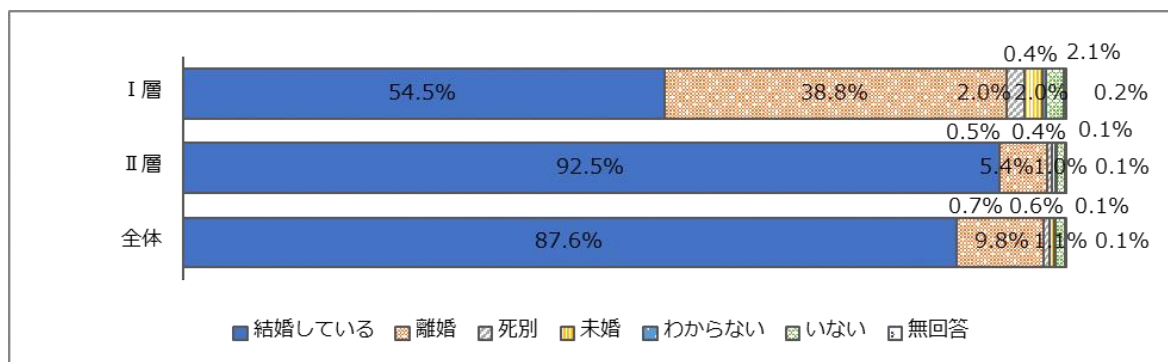
<世帯類型別>



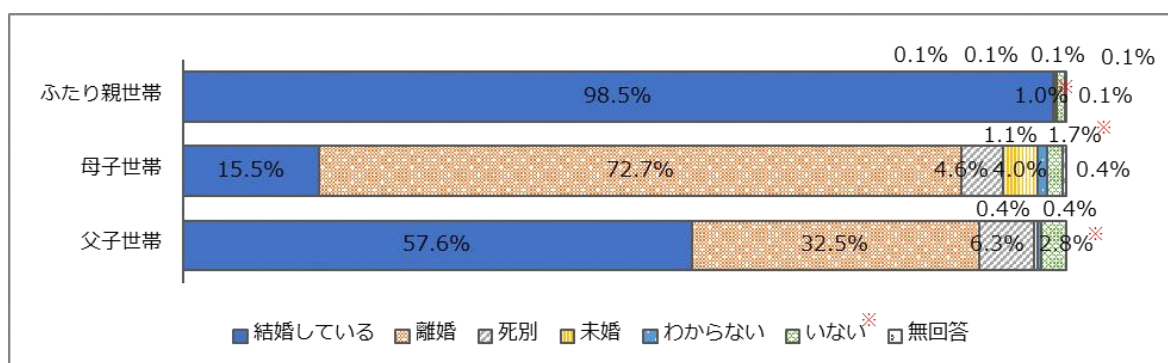
■ 8. お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「離婚」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯では「結婚している」の割合が高く、母子世帯及び父子世帯では「離婚」の割合が高くなっており、特に母子世帯においては顕著である。

<経済状況別>



<世帯類型別>

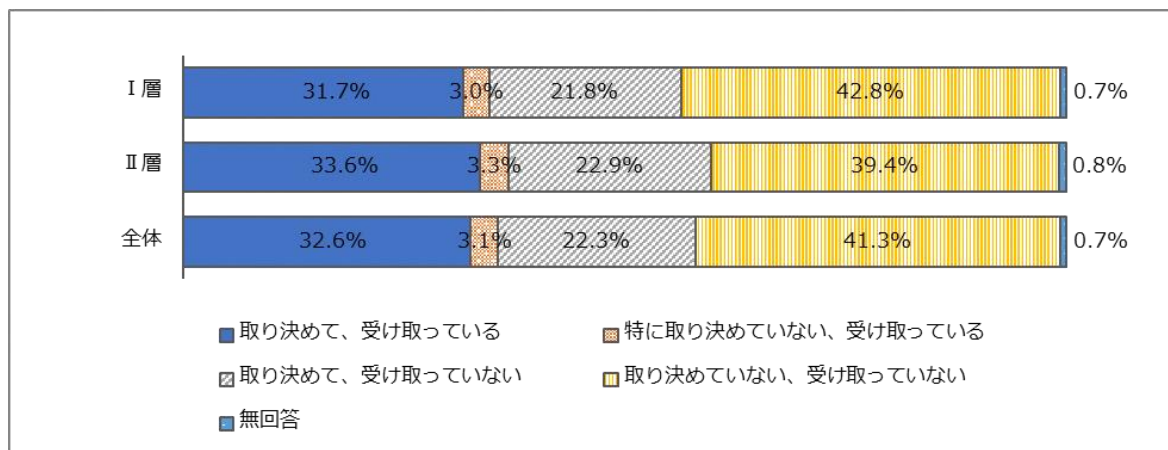


■ 8－2. 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。 また養育費を現在受け取っていますか。

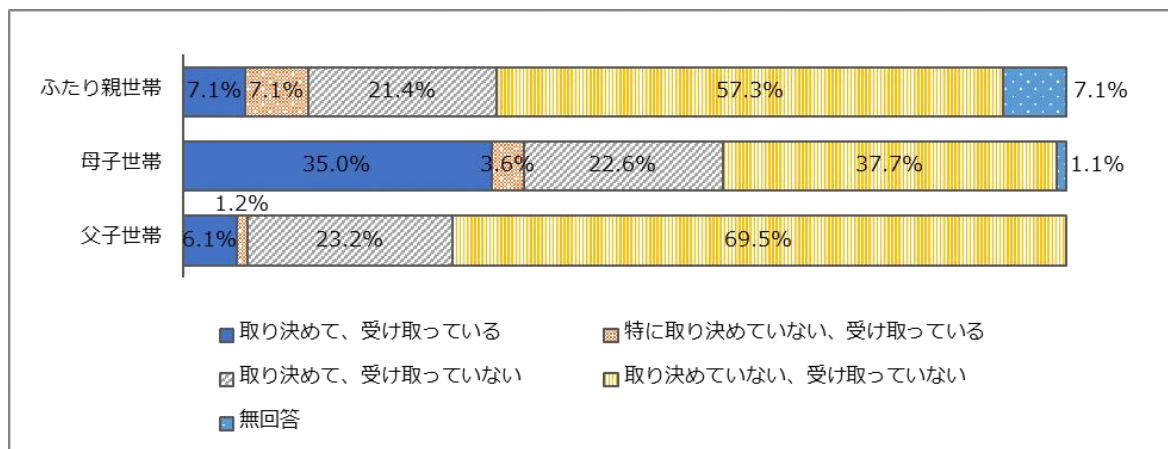
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別において顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯及び父子世帯では「取り決めていない、受け取っていない」の割合が高く、母子世帯では「取り決めて、受け取っている」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

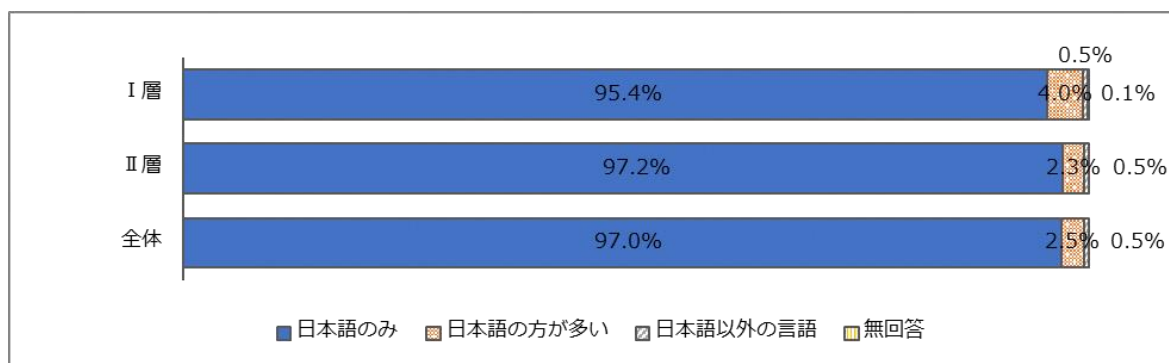


■ 9. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

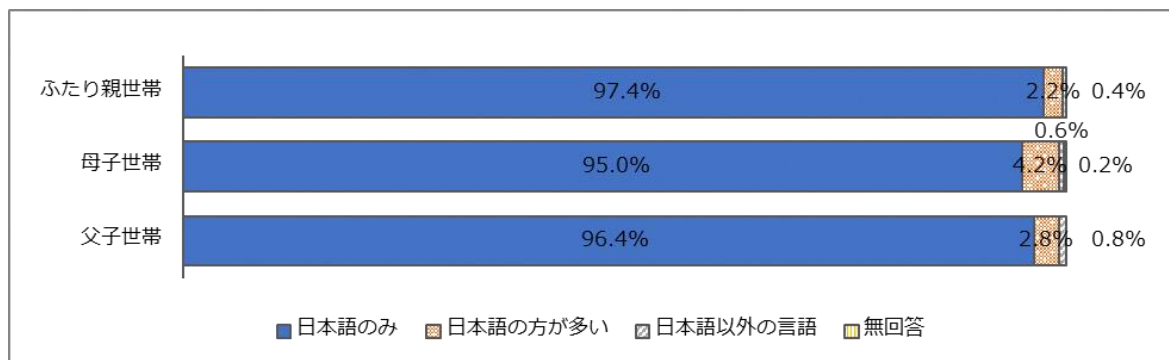
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「日本語の方が多い」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯では「日本語の方が多い」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



■10. お子さんの父の最終学歴を教えてください。

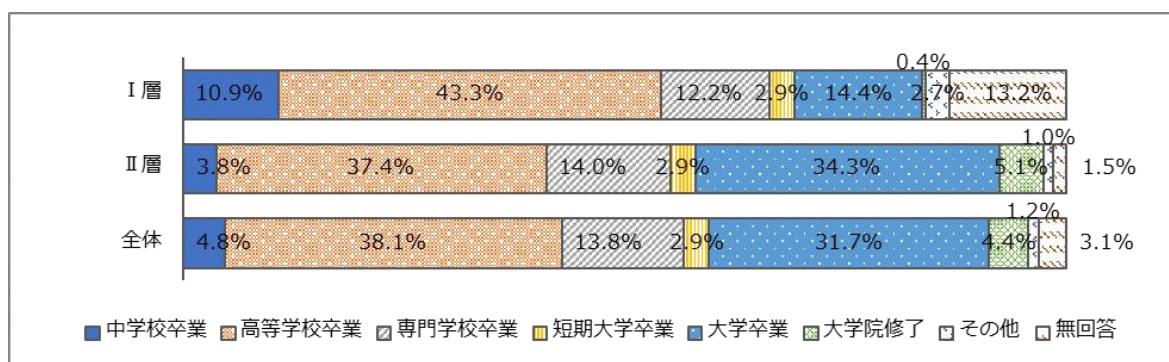
■11. お子さんの母の最終学歴を教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

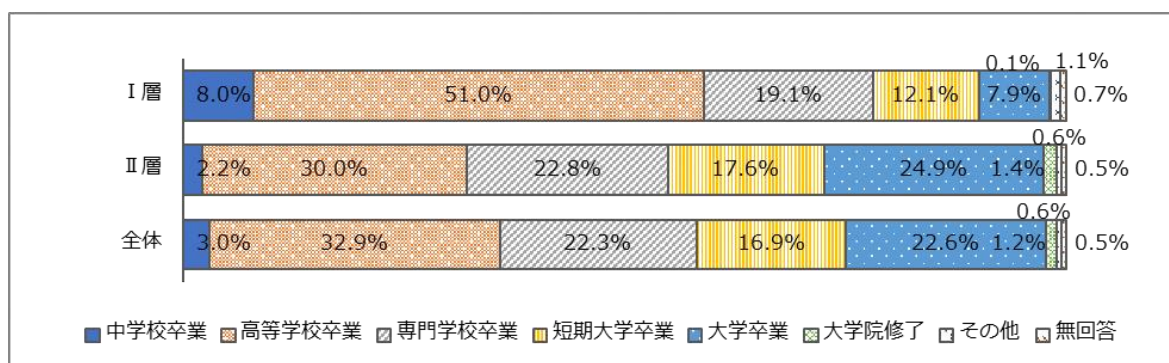
- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層では「中学校卒業」の割合が高く、Ⅱ層では「大学卒業」の割合が高くなっている。
- ・ また、母について、Ⅰ層では「中学校卒業」、「高等学校卒業」の割合が高く、Ⅱ層では「専門学校卒業」、「短期大学卒業」、「大学卒業」の割合が高くなっている。
- ・ このことから、父母の最終学歴と世帯の経済状況に関係性が見られる。
- ・ なお、世帯類型別について、母子世帯又は父子世帯では父又は母と同居していないためか、母子世帯における父や父子世帯における母の最終学歴の「無回答」の割合が高く、父子世帯の父、母子世帯の母ともに「高等学校卒業」の割合が最も高くなっている。

<経済状況別>

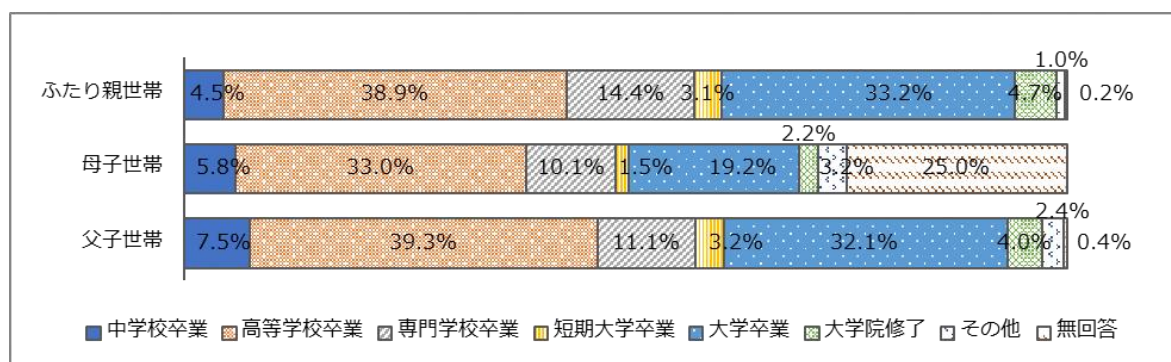
(父)



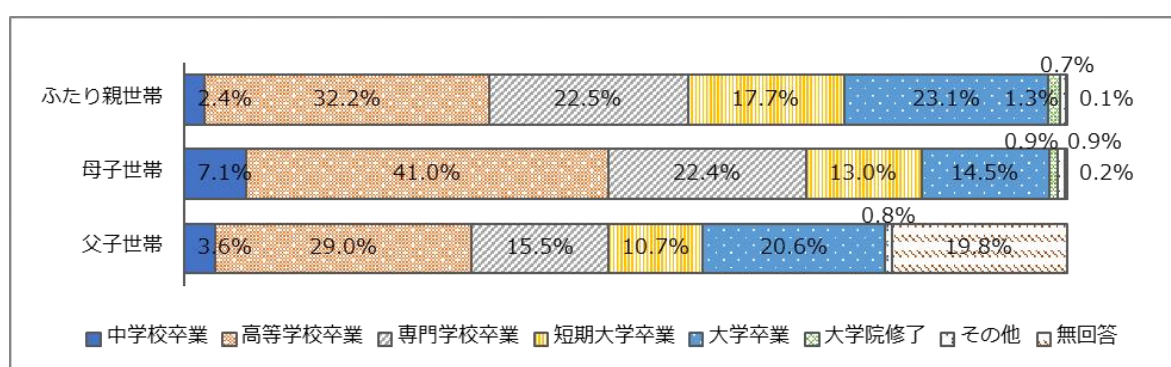
(母)



<世帯類型別>
(父)



(母)



3. 経済状況

■12. お子さんの父の現在の就業状況を教えてください。

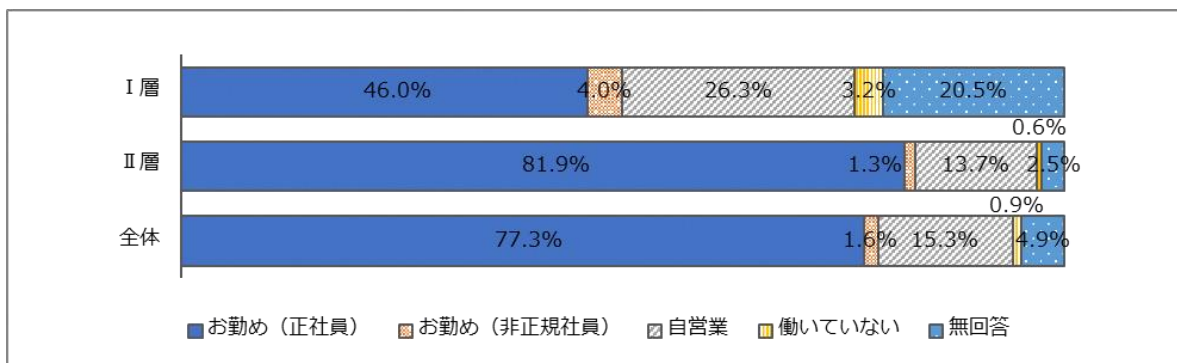
■13. お子さんの母の現在の就業状況を教えてください。

あてはまるものを1つ選択してください。

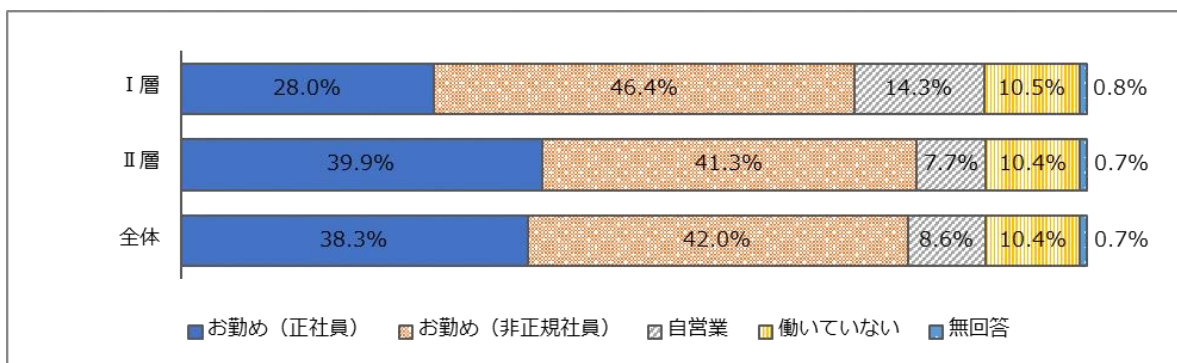
- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層では「お勤め（非正規社員）」、「自営業」の割合が高く、Ⅱ層では「お勤め（正社員）」の割合が高くなっている。
- ・ また、母について、Ⅰ層では「お勤め（非正規社員）」の割合が高く、Ⅱ層では「お勤め（正社員）」の割合が高くなっているが、Ⅱ層でも「お勤め（非正規社員）」の割合は高くなっている。
- ・ 世帯類型別については、母子世帯又は父子世帯では父又は母と同居していないためか、母子世帯における父や父子世帯における母の就業状況の「無回答」の割合が高くなっている。
- ・ なお、父子世帯の父、母子世帯の母ともに「お勤め（正社員）」の割合が最も高いが、続いて父子世帯の父では「自営業」の割合が高く、母子世帯の母では「お勤め（非正規社員）」の割合が高い。

<経済状況別>

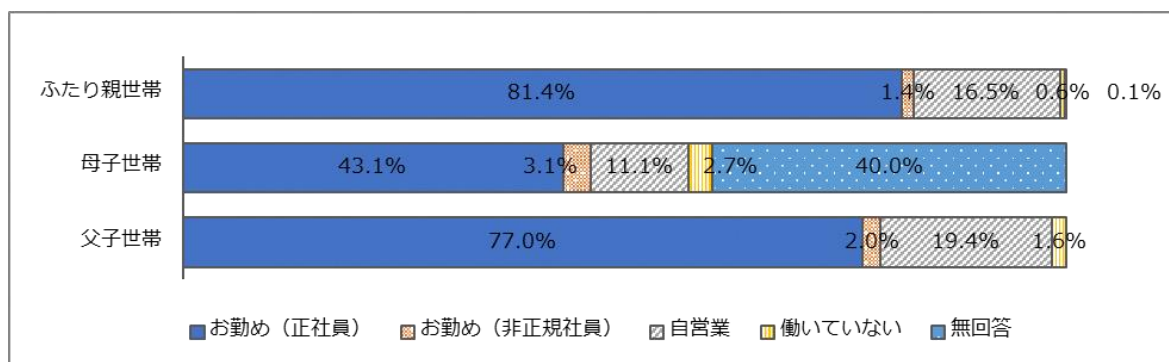
(父)



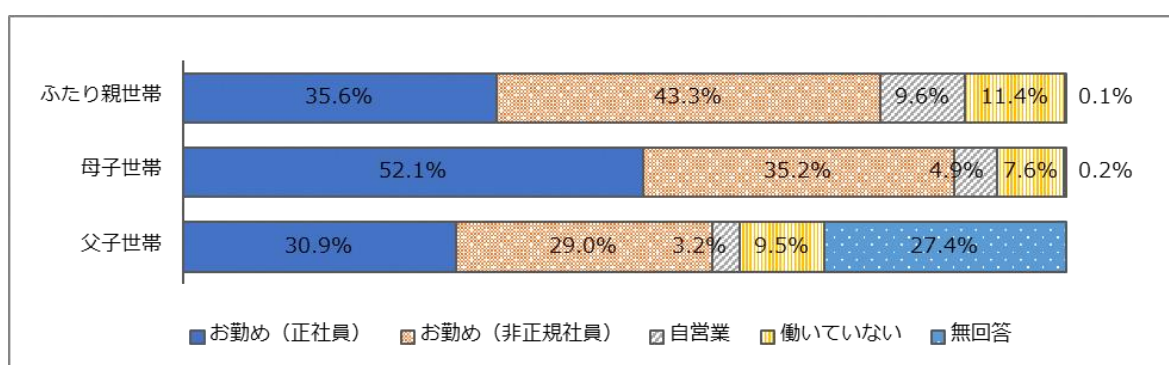
(母)



<世帯類型別>
(父)



(母)



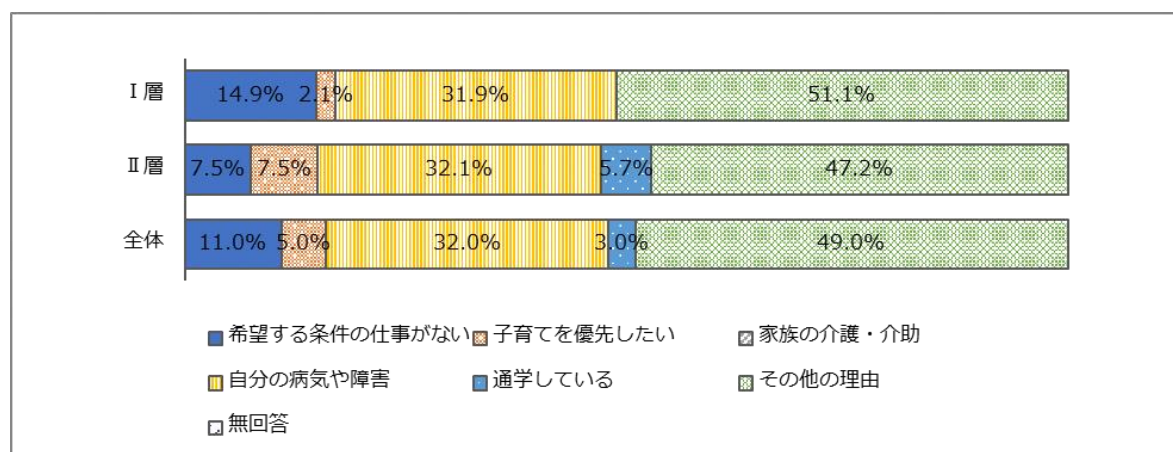
■12-2. 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

■13-2. 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

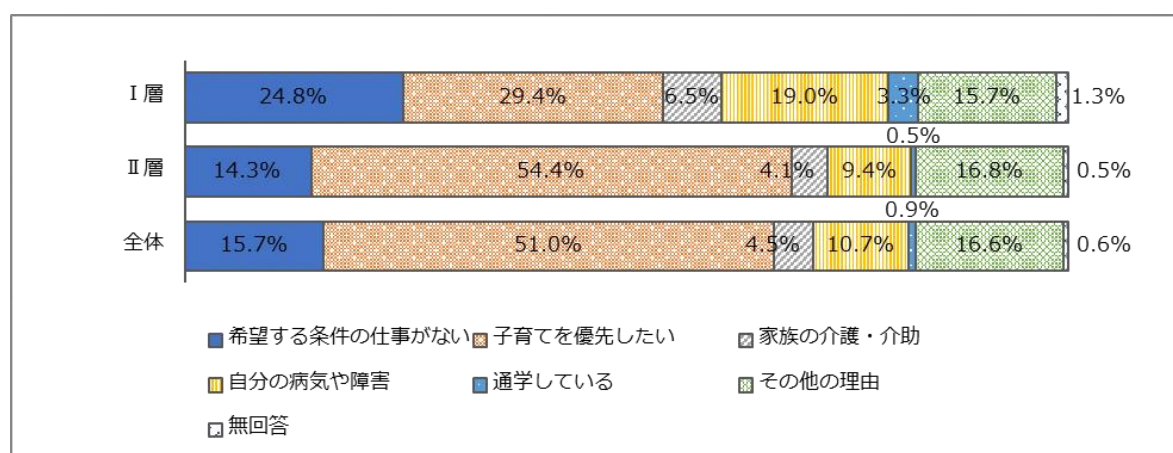
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層では「希望する条件の仕事がない」の割合が高く、Ⅱ層では「子育てを優先したい」及び「通学している」の割合が高くなっている。
- ・ また、母について、Ⅰ層では「希望する条件の仕事がない」、「通学している」及び「自分の病気や障害」の割合が高く、Ⅱ層は「子育てを優先したい」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯の父では「子育てを優先したい」、「自分の病気や障害」及び「通学している」の割合が高く、父子世帯の父では「希望する条件の仕事がない」、母子世帯の母では「希望する条件の仕事がない」「自分の病気や障害」及び「通学している」の割合が高くなっている。

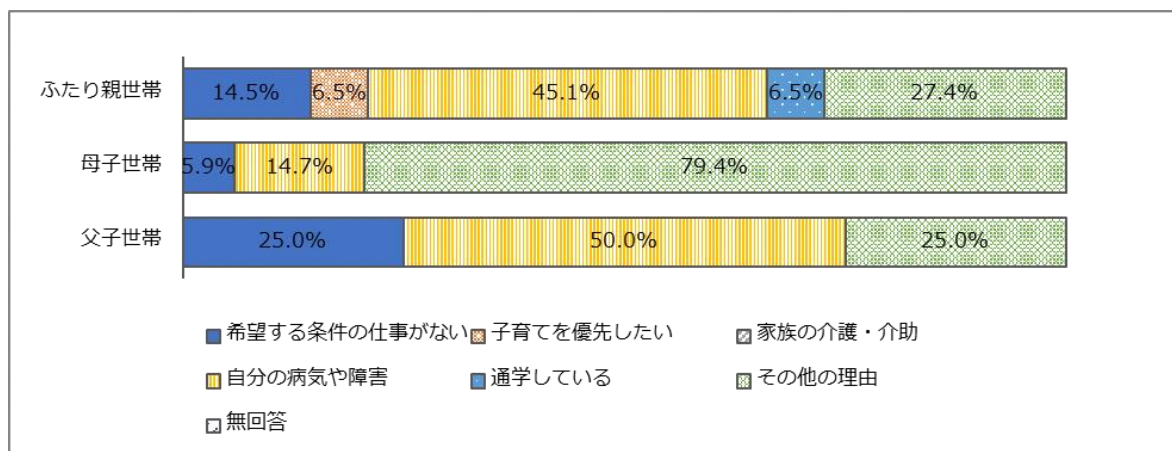
<経済状況別> (父)



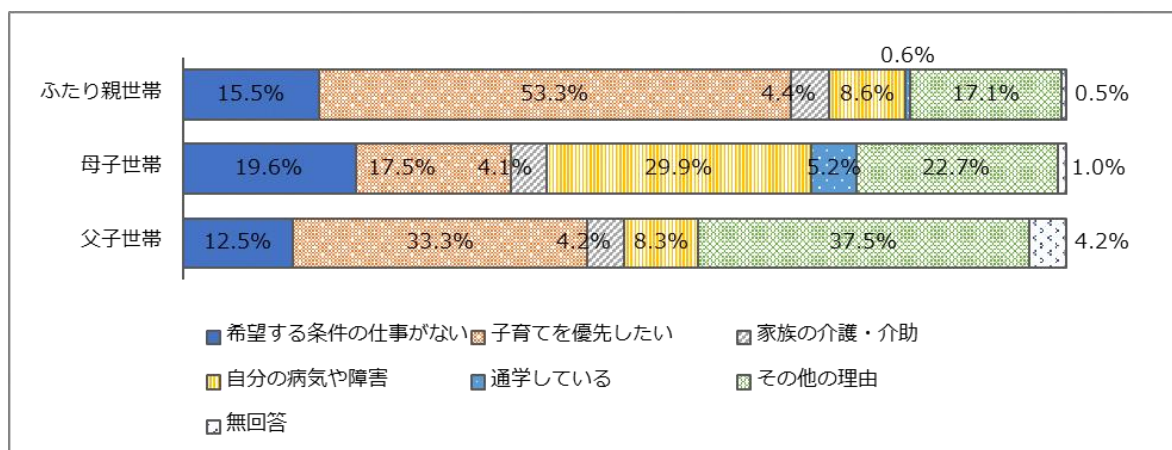
(母)



<世帯類型別>
(父)



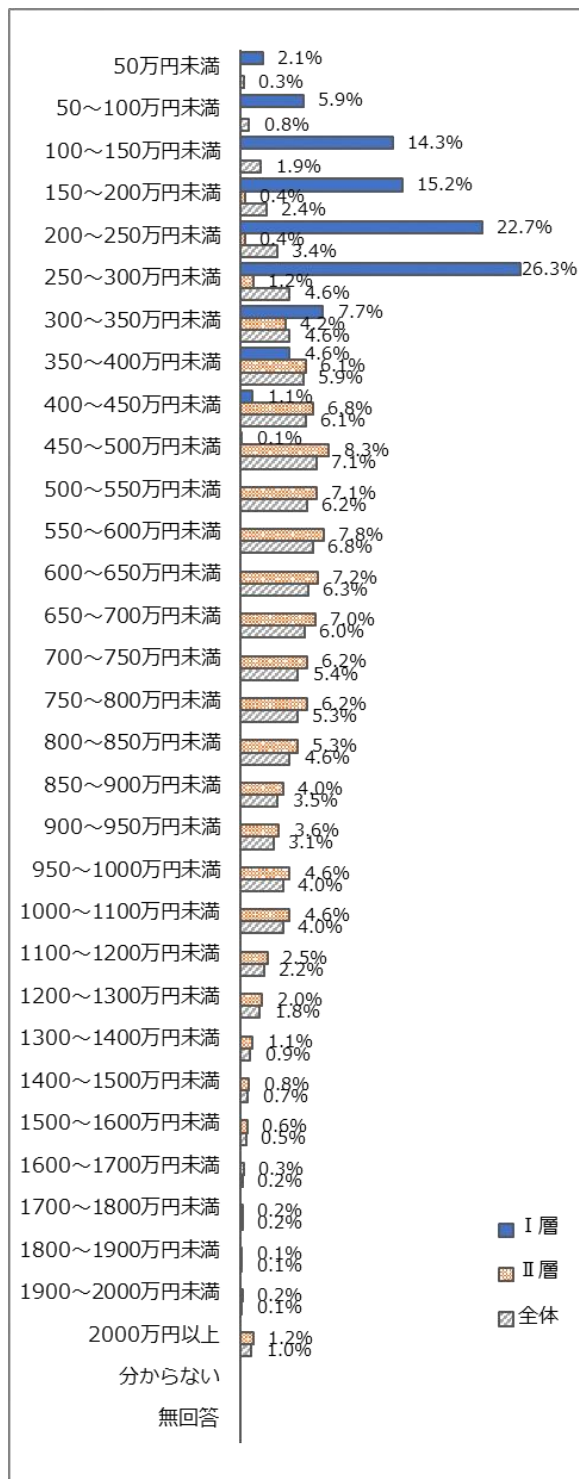
(母)



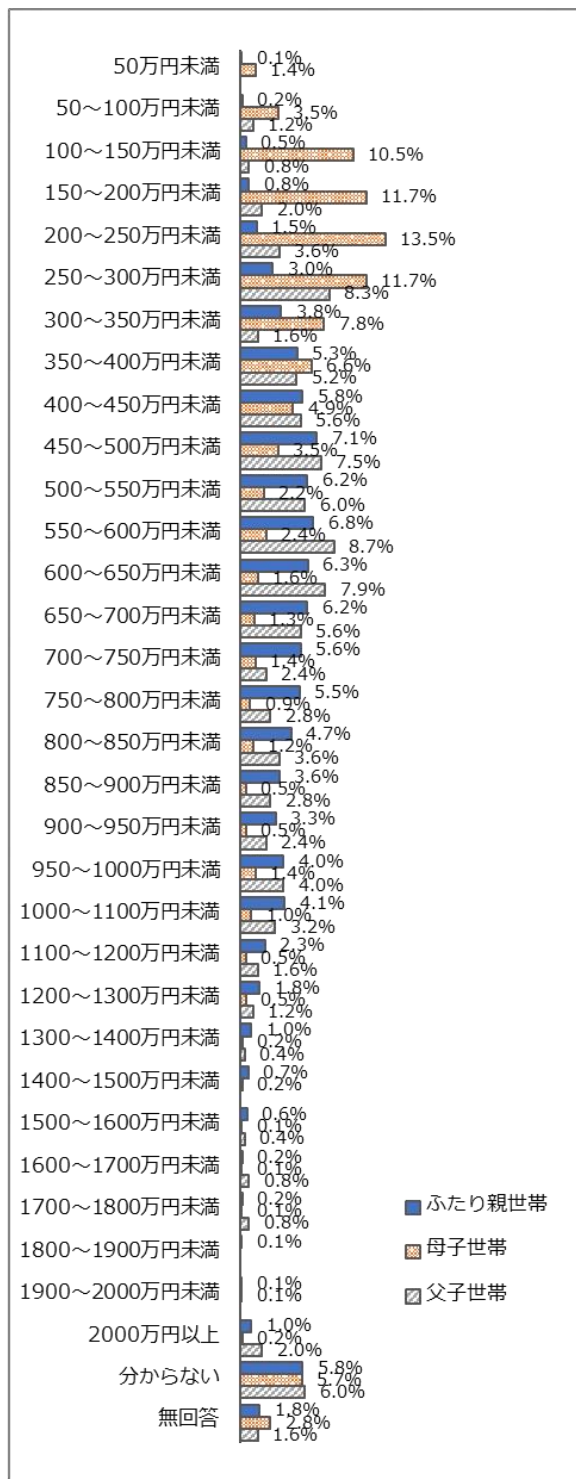
■24. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「50万円未満」～「250～300万円未満」の割合が高く、「500～550万円未満」以上の回答が無かった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯では「100～150万円未満」～「300～350万円未満」の割合が高くなっている。
- ・ また、ふたり親世帯、父子世帯、母子世帯の順に所得が高い傾向が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>



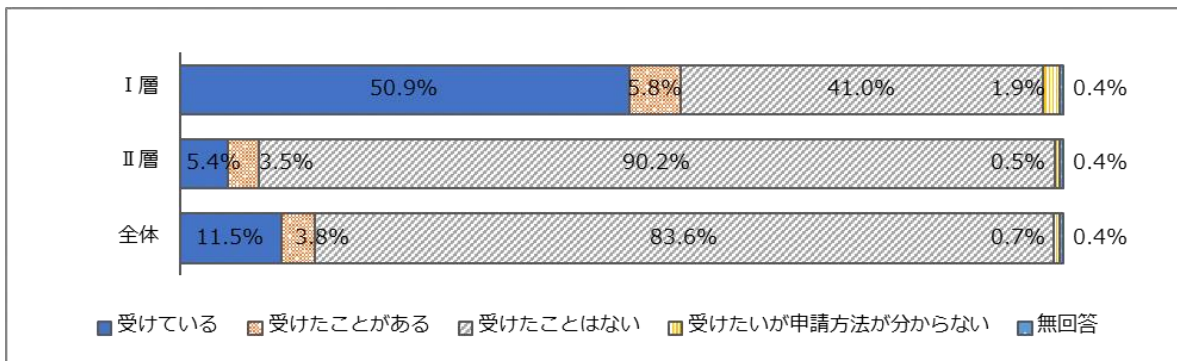
25. あなたの世帯では、以下の手当や援助等を受けたり、窓口等を利用していますか。

a～fの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

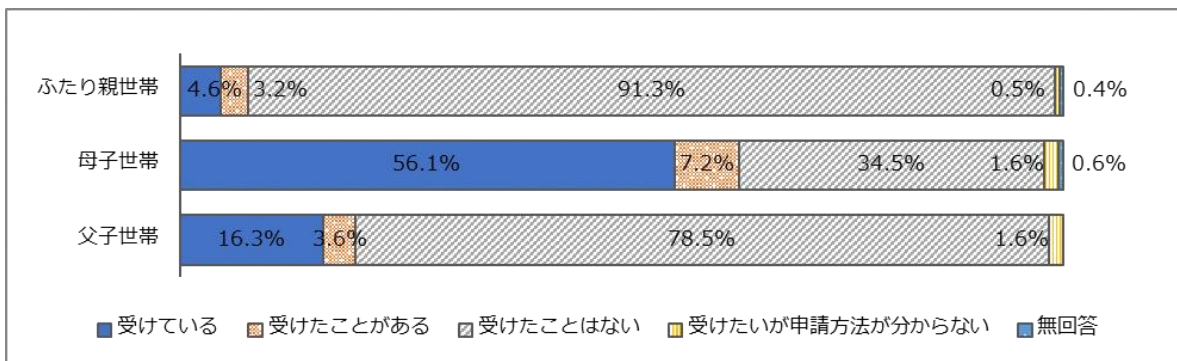
■25-a. 就学援助費

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「受けている」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「受けている」、「受けたことがある」の割合が高くなっている。特に母子世帯で6割弱程度が「受けている」と回答するなど、母子世帯において顕著である。
- ・ また、父子世帯は、ふたり親世帯に比べ「受けている」割合は高いが、母子世帯に比べ割合が低くなっている。

<経済状況別>



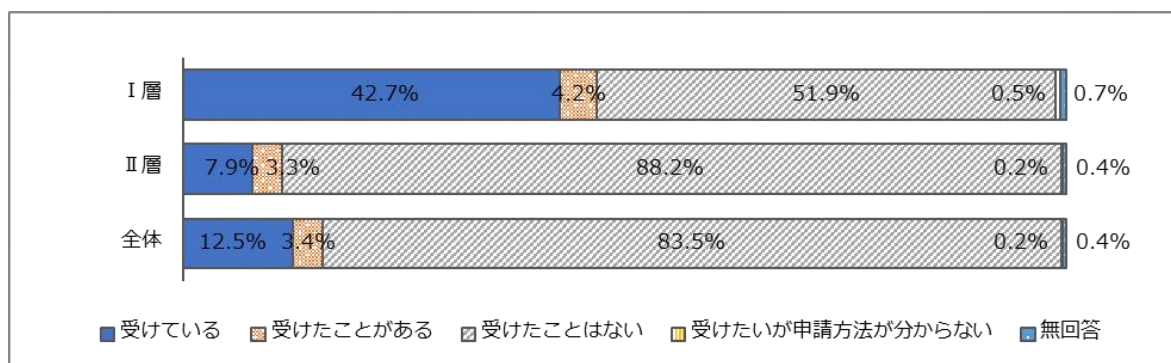
<世帯類型別>



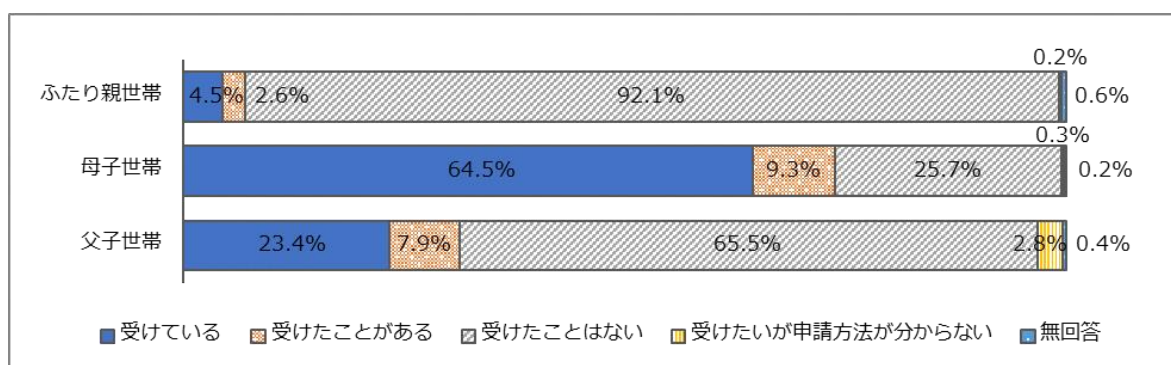
■25－b. 児童扶養手当

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「受けている」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別に母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で6割強程度が「受けている」と回答するなど、母子世帯において割合が高くなっている。なお、児童扶養手当が主に母子世帯又は父子世帯を対象とするものであるため、ふたり親世帯の記載は省略する。

<経済状況別>



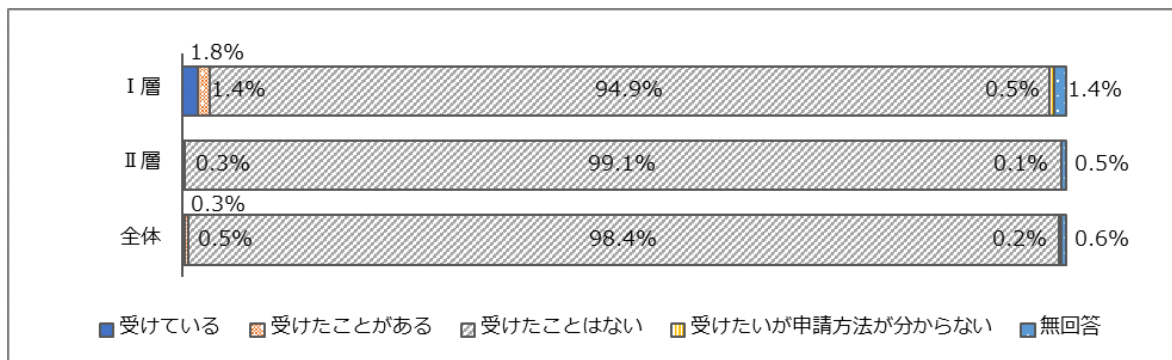
<世帯類型別>



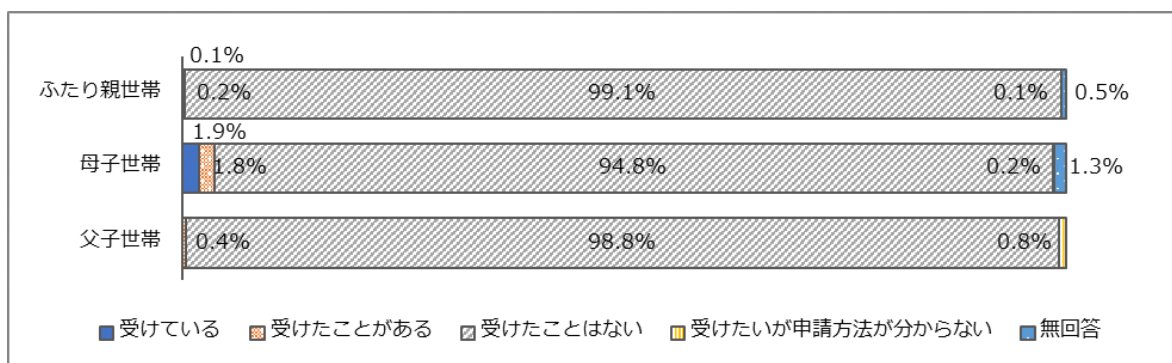
■25－c. 生活保護

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「受けている」及び「受けたことがある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「受けている」及び「受けたことがある」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



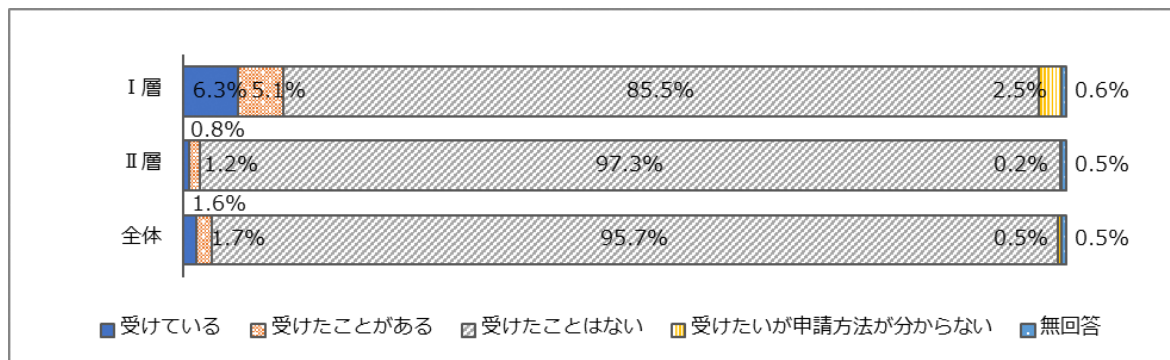
<世帯類型別>



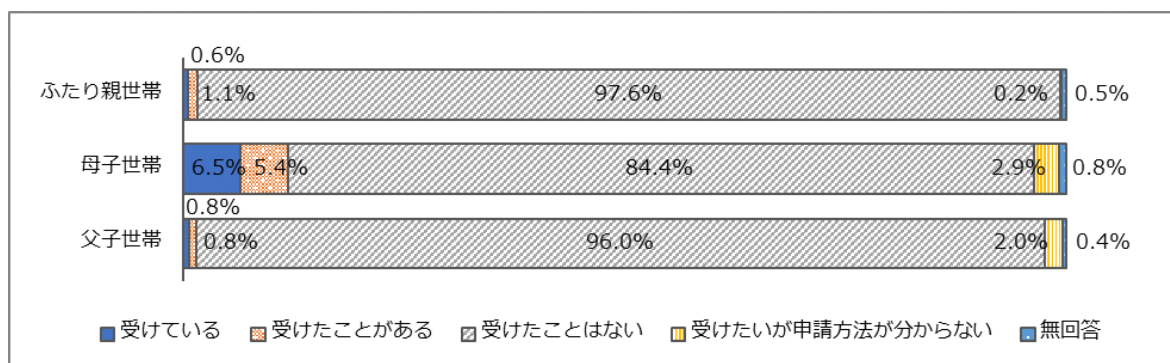
■25－d．行政からの貸付金

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「受けている」及び「受けたことがある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「受けている」及び「受けたことがある」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



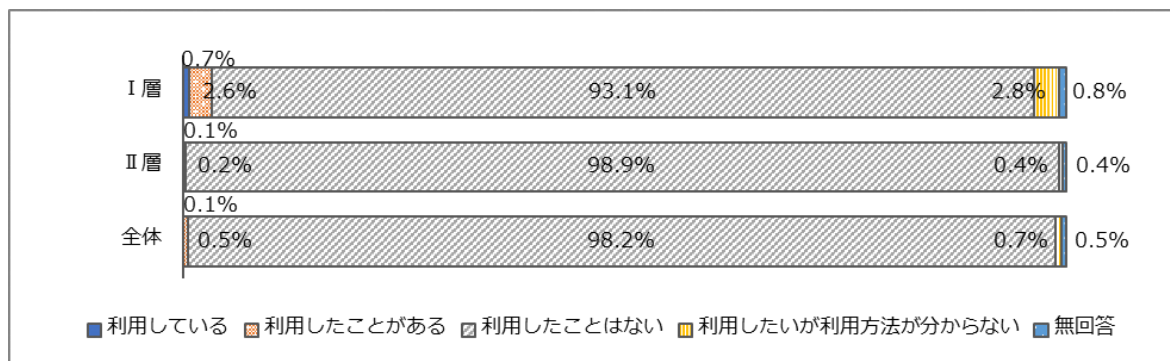
<世帯類型別>



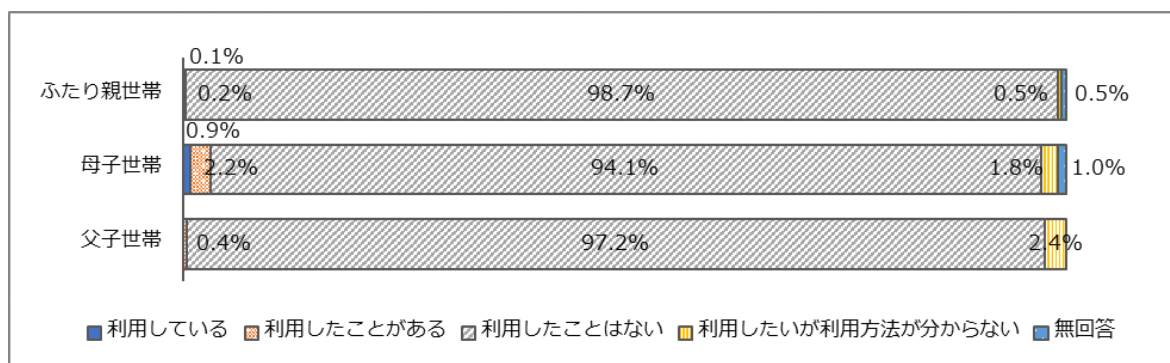
■25－e. 生活困窮者の 自立支援相談窓口

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「利用している」及び「利用したことがある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「利用している」及び「利用したことがある」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



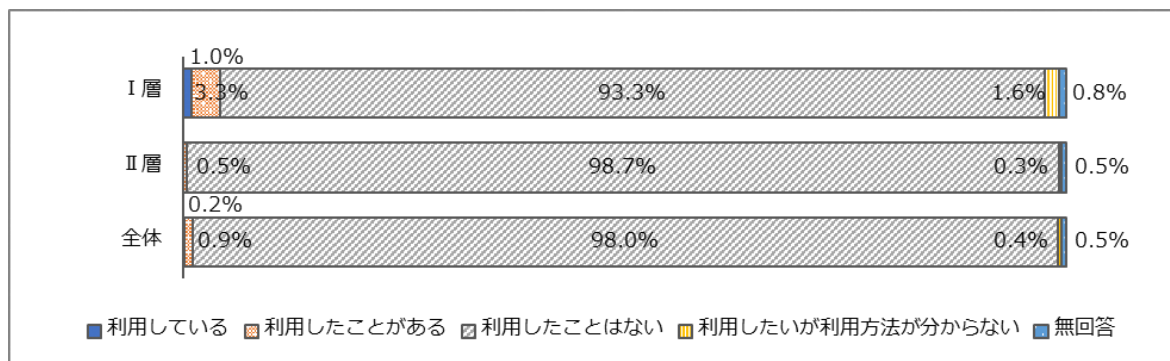
<世帯類型別>



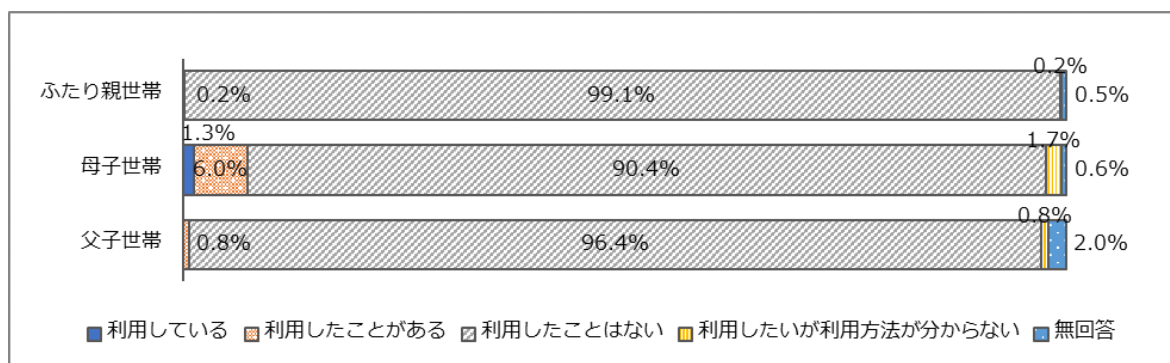
■25－f．母子家庭等就業・自立支援センター

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「利用している」及び「利用したことがある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「利用している」及び「利用したことがある」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

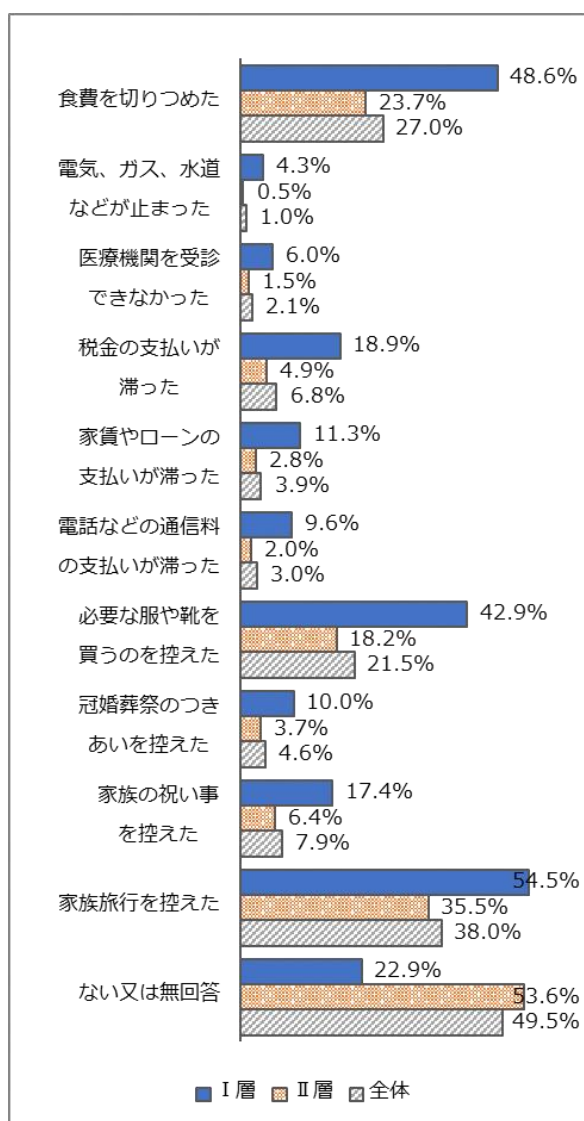


■26. あなたの世帯では、経済的理由で、次のような経験をしたことがありますか。

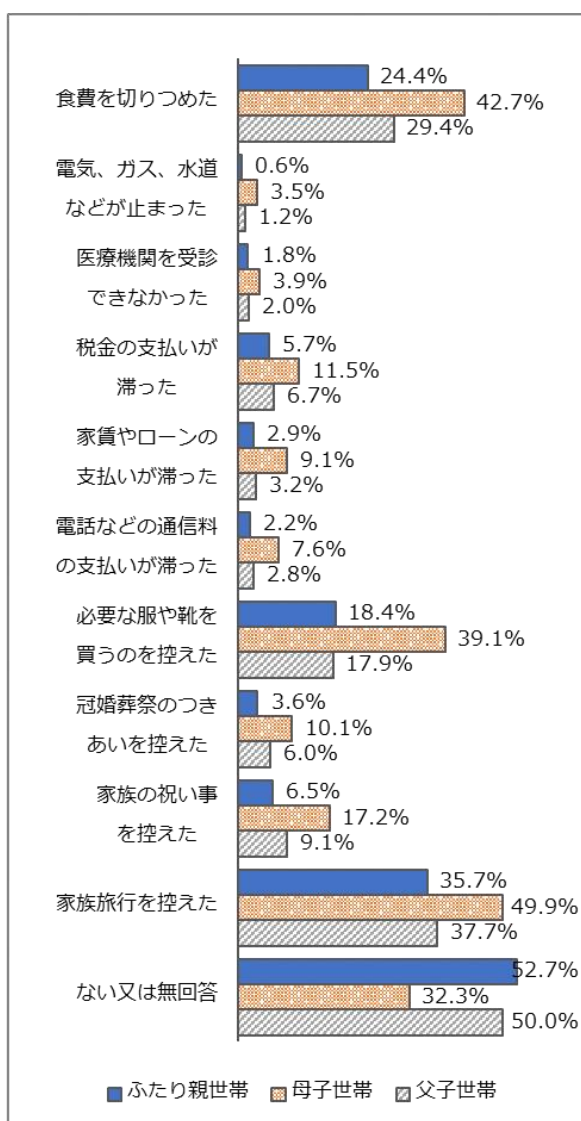
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特に、Ⅰ層で「食費を切りつめた」が48.6%、「電気、ガスなどが止まった」が4.3%、「医療機関を受診できなかった」が6.0%、「必要な服や靴を買うのを控えた」が42.9%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣食住や健康を守るための医療などの局面で大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯において全ての項目（無回答を除く）でふたり親世帯や父子世帯よりも割合が高くなっており、上記経済状況別と同じく、経済的な困難が衣食住等に大きな影響を与えている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

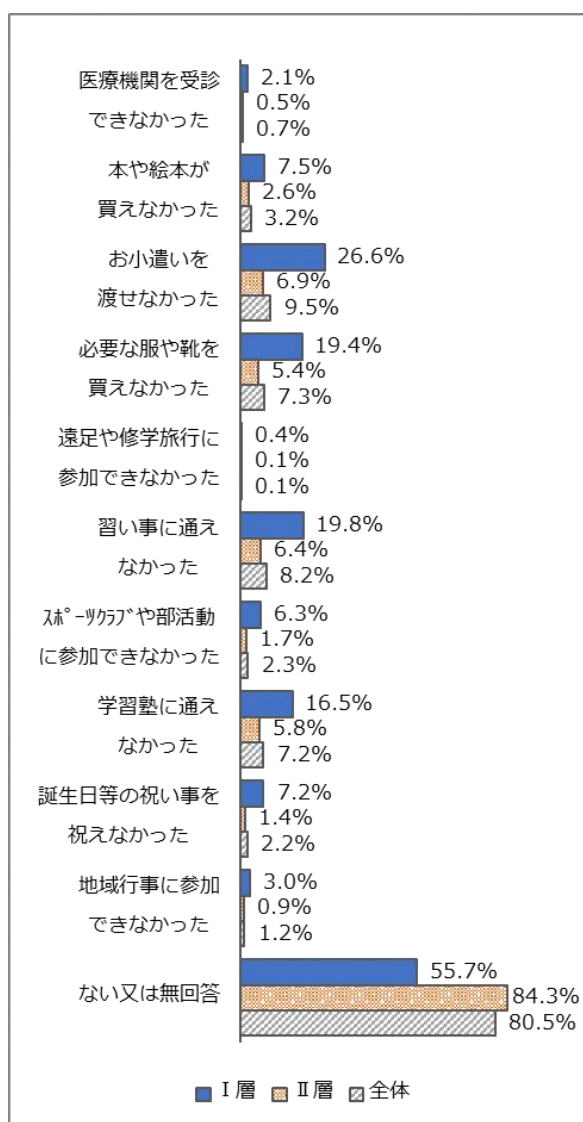


■27. あなたの世帯では、経済的理由で、お子さんが希望したにも関わらず次の経験をしたことがありますか。

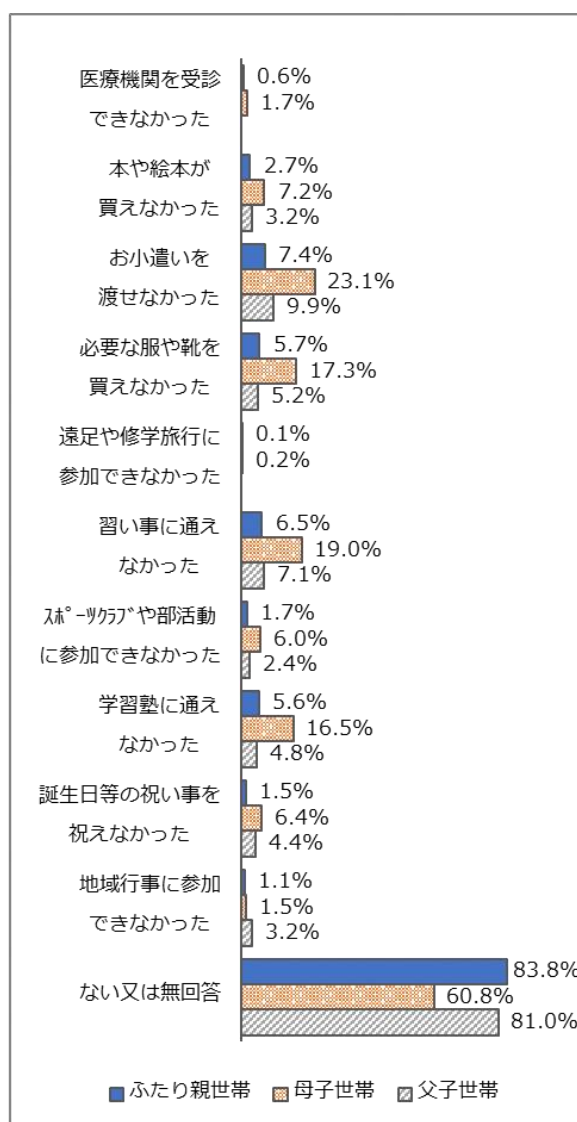
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特に、Ⅰ層で「本や絵本が買えなかった」が7.5%、「必要な服や靴を買えなかった」が19.4%、「習い事に通えなかった」が19.8%、「学習塾に通えなかった」が16.5%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣食住や健康を守るための医療、子どもの学習・文化的環境などの局面で大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯においてほとんど項目でふたり親世帯や父子世帯よりも割合が高くなっており、上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>



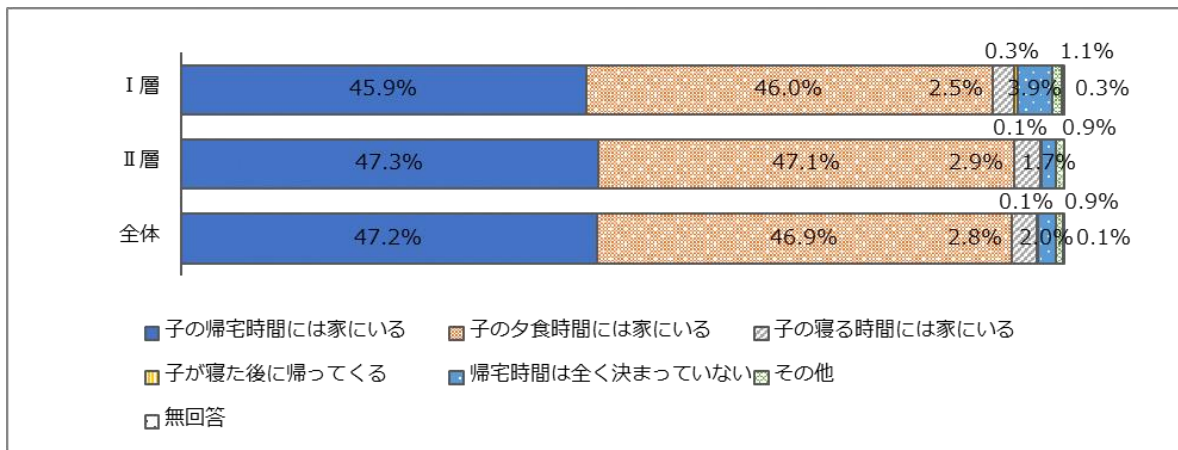
4. 生活環境

■14. あなたの世帯で、お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で多いものを選んでください。

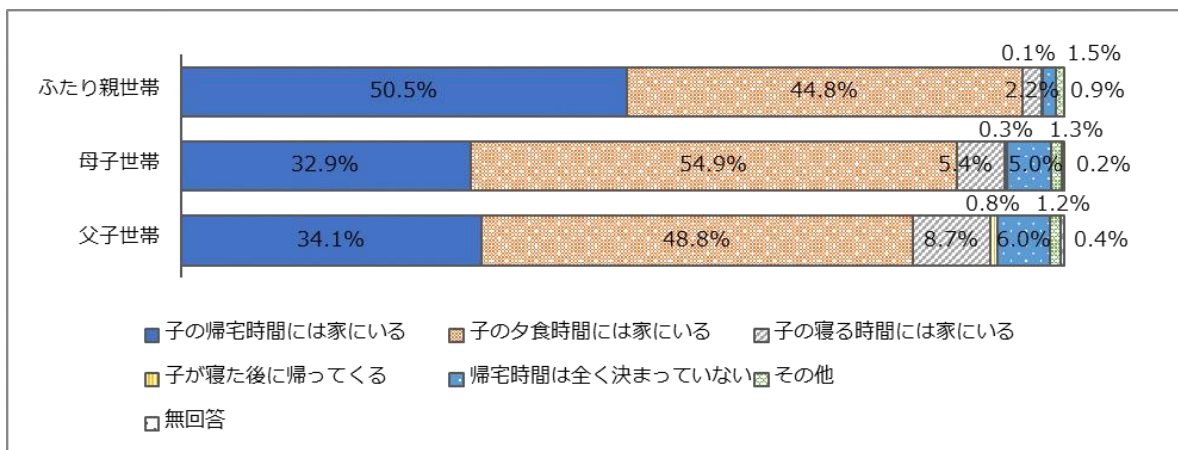
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別に顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯では「子の帰宅時間には家にいる」の割合が低くなっているのみならず、「子の夕食時間には家にいる」までを合わせた割合も低くなっている。

<経済状況別>



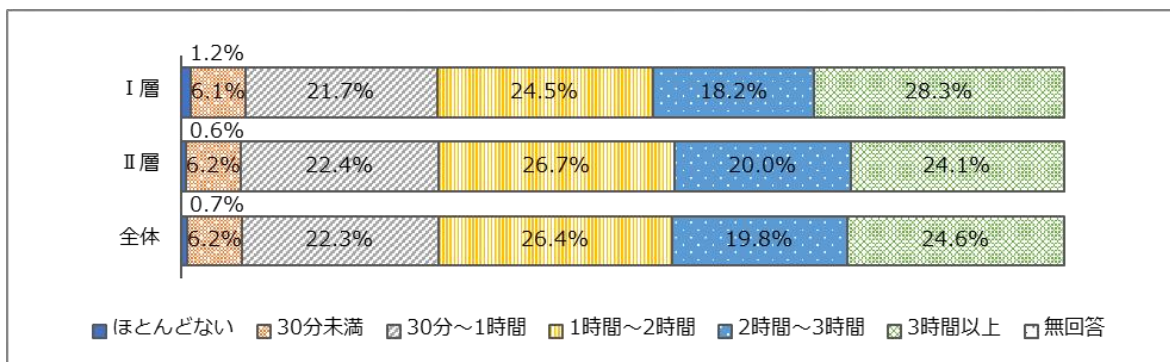
<世帯類型別>



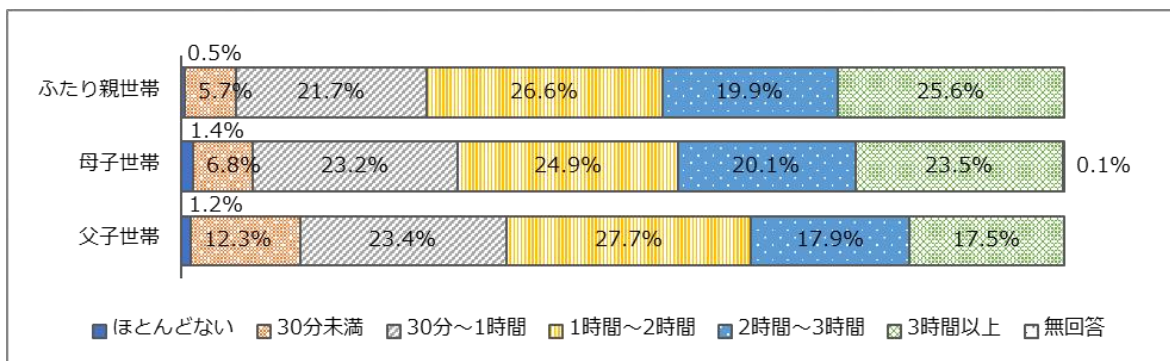
■15. あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は、平日1日あたりどのくらいですか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「3時間以上」の割合が高かった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、父子世帯で「30分未満」の割合が高く、「3時間以上」については割合が低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

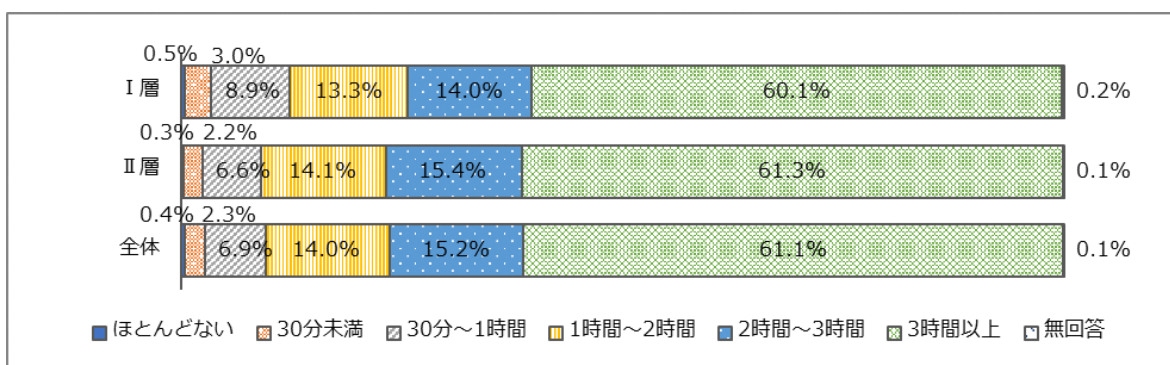


■16. あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は、休日1日あたりどのくらいですか。

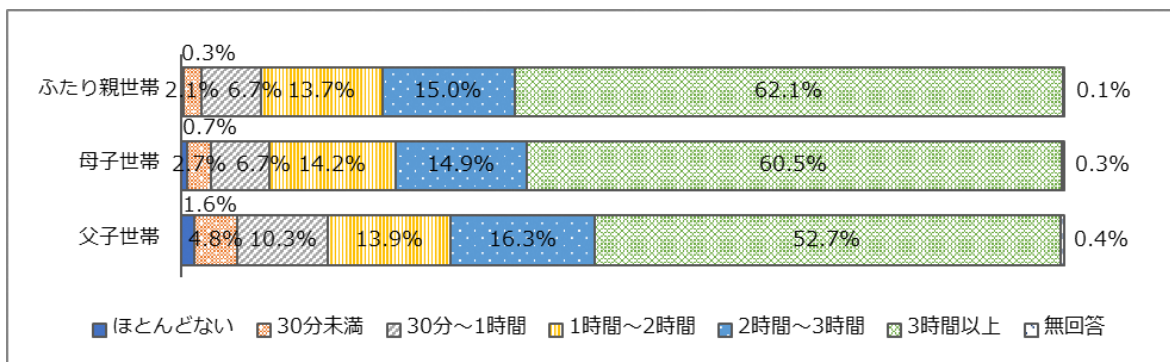
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「30分～1時間」の割合が高く、「ほとんどない」までを合わせた割合は1割程度となっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、父子世帯で「30分～1時間」の割合が高く、「ほとんどない」までを合わせた割合は2割弱程度となっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



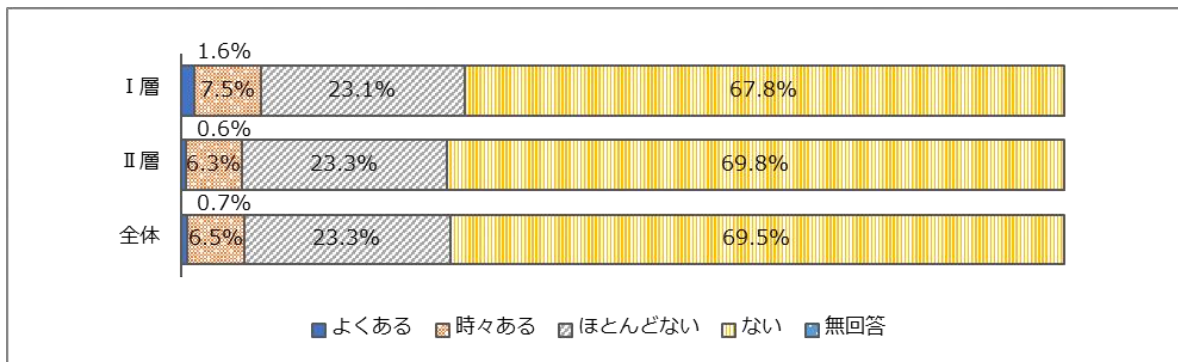
18. あなたの世帯では、以下のようなことがどの程度ありますか。

a～cの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

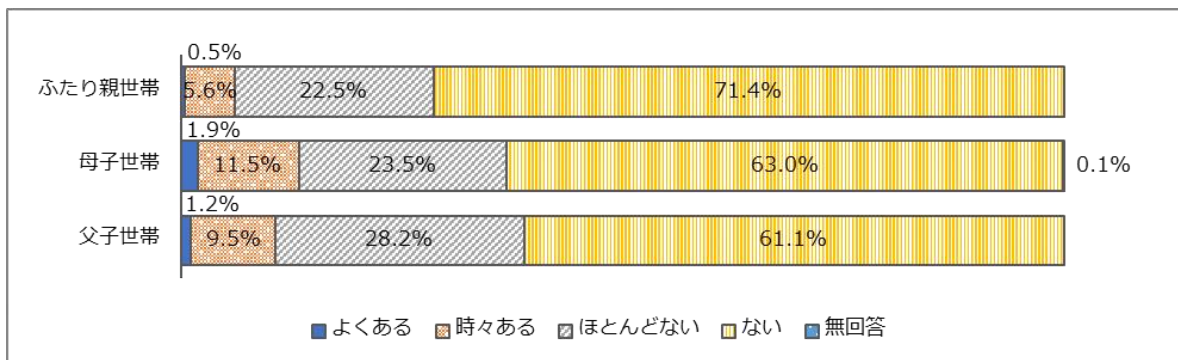
■18－a. 子どもだけで夜間に留守番をする。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「よくある」、「時々ある」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



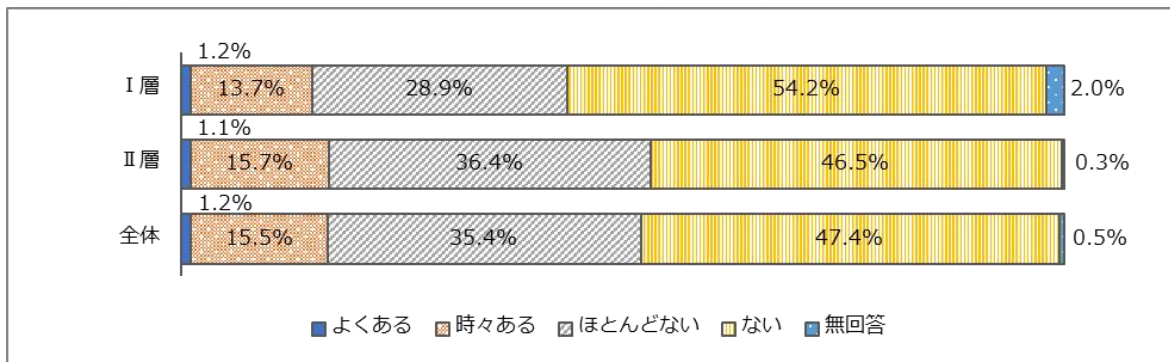
<世帯類型別>



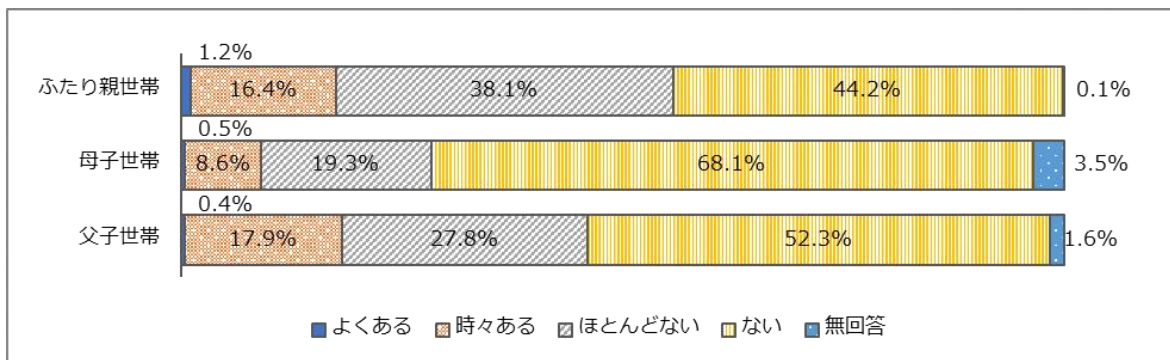
■18－b. 子どもの前で保護者が大喧嘩をする。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、「ほとんどない」、「ない」の割合に違いが見られた。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯（又は父子世帯）では父（又は母）と同居していないためか、子どもの前で保護者が大喧嘩をする頻度の「ない」の割合が高い。

<経済状況別>



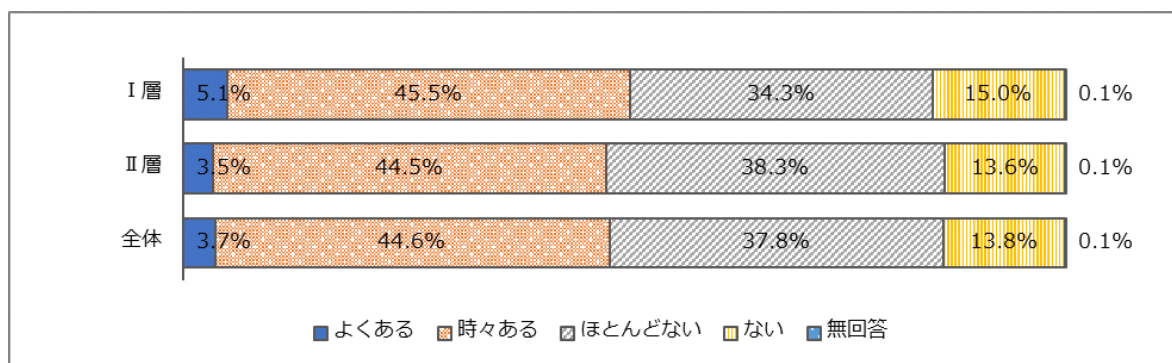
<世帯類型別>



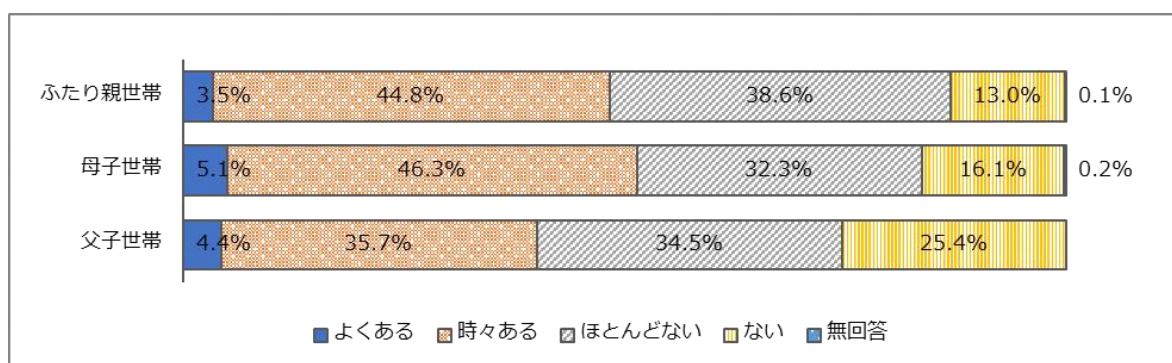
■18－c. 保護者の不安やイライラ等の感情を子どもに向けてしまう。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「よくある」、「時々ある」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯及び母子世帯で「よくある」、「時々ある」を合わせた割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

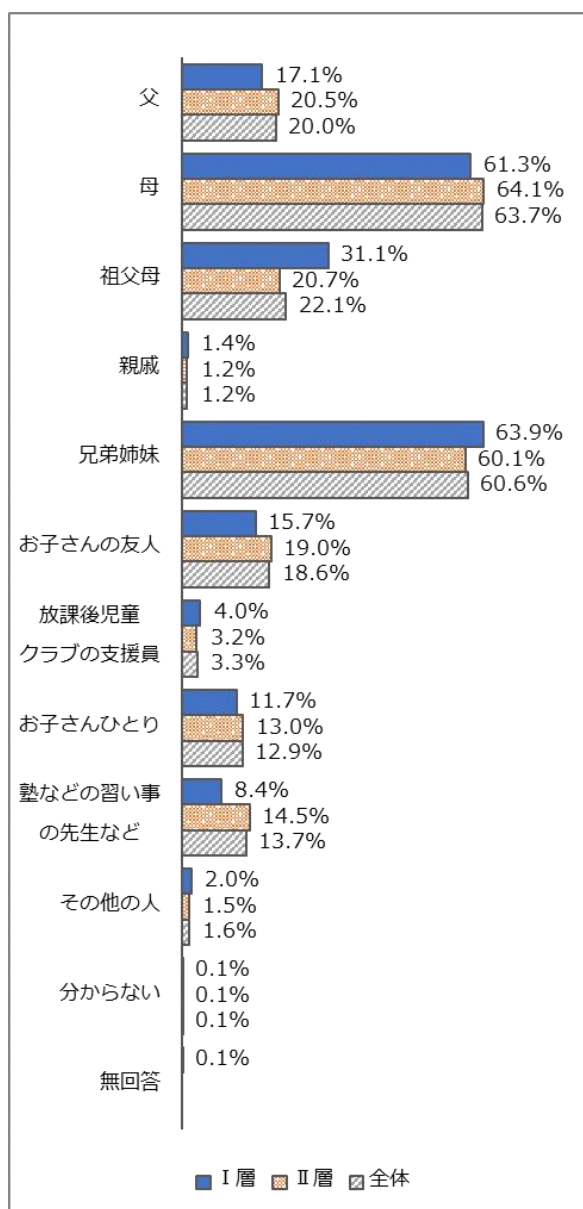


■19. あなたのお子さんは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。

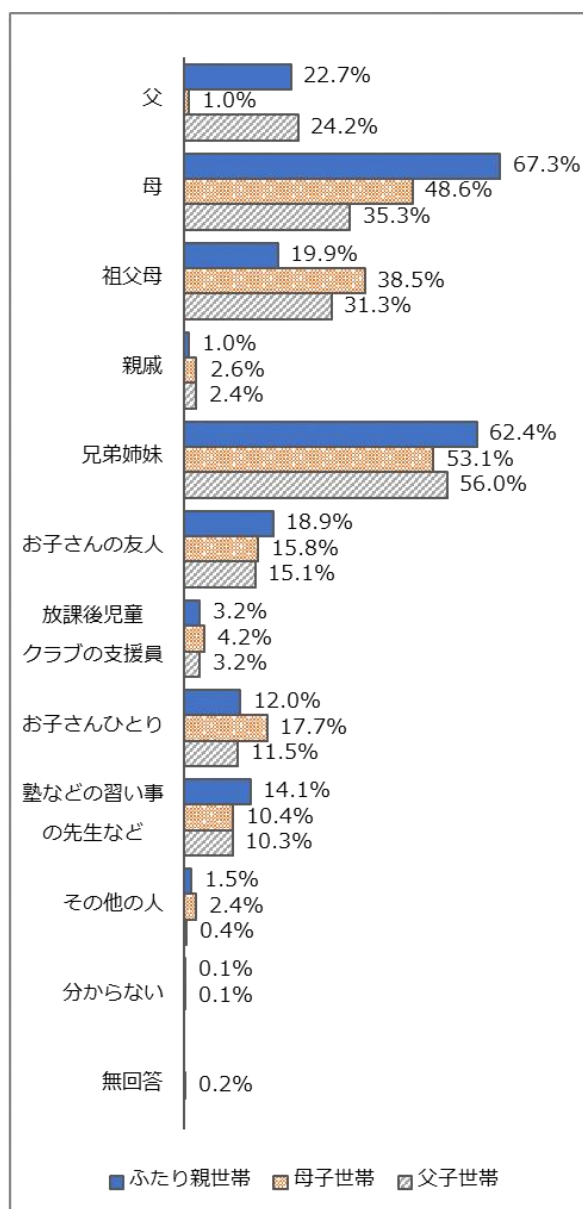
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「塾などの習い事の先生」の割合が低く、「祖父母」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯で「母」、「兄弟姉妹」の割合が高く、母子世帯及び父子世帯で「祖父母」の割合が高くなっている。さらに、母子世帯で「お子さんひとり」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

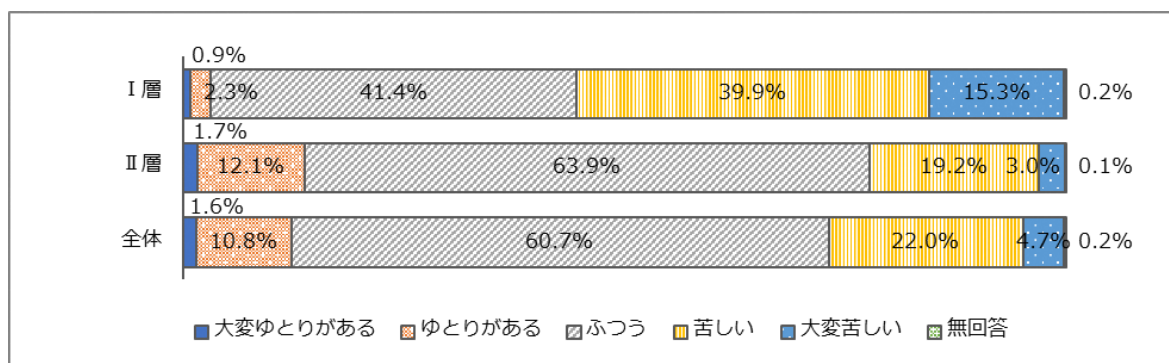


■30. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

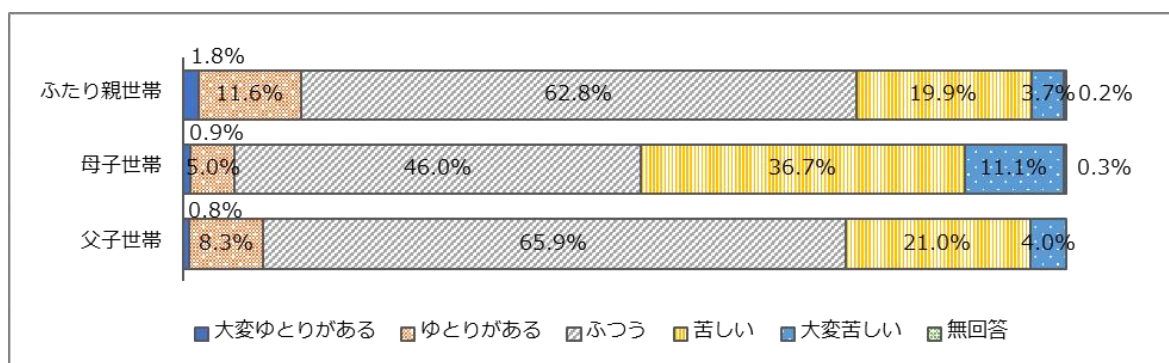
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「苦しい」と「大変苦しい」の割合が高く、合わせた割合は6割弱程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>



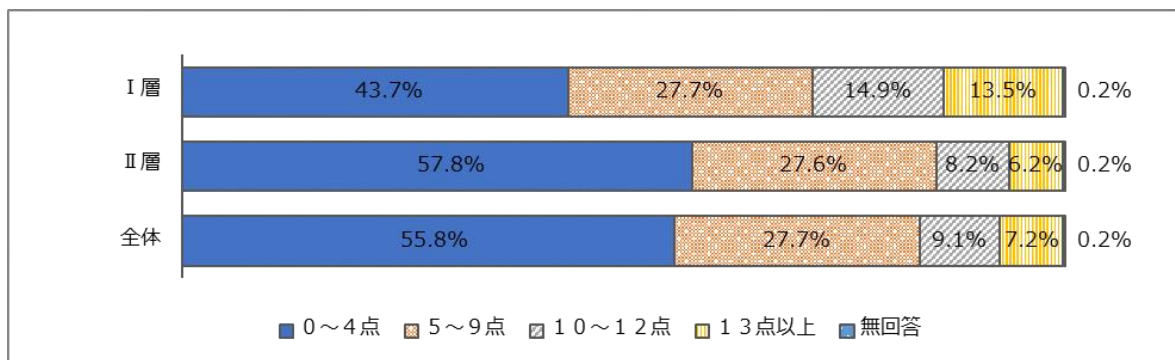
31. 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a～f の項目それぞれについて、あてはまるものを 1 つ選択してください。

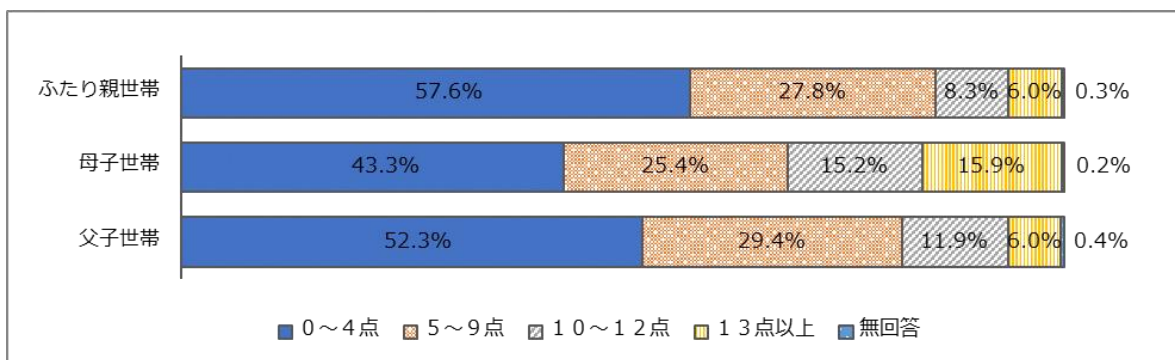
- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

- ・ 「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6¹」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した。この 6 つの調査項目の結果を足し合わせて、K6 のスコアを算出した (0～24 点)。
- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」²の割合が 13.5%と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯では「13 点以上」の割合が、ふたり親世帯及び父子世帯の割合より高く 15.9%と 2 倍以上となっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



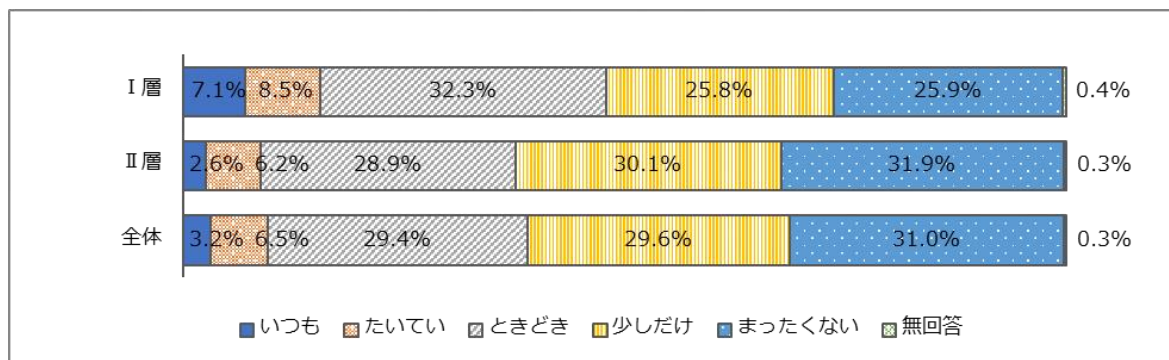
¹ K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。採点方法は、ひとつの質問ごとに 0 点 (5.まったくくない) から 4 点 (1.いつも) を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。厚生労働省による解説・紹介ページ (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kyosa/k-tyosa10/yougo.html>)

² 国立精神・神経医療研究センター「うつ・不安に対するスクリーニングと支援マニュアル」

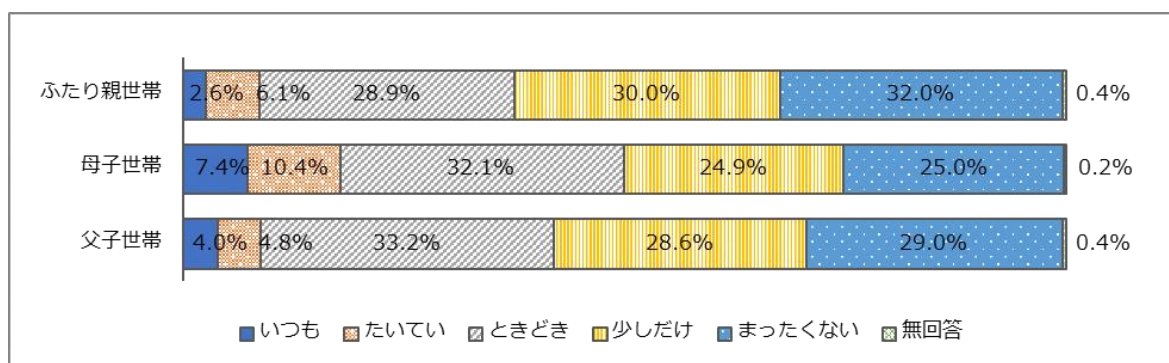
■31－a．神経過敏に感じた。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は2割弱程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



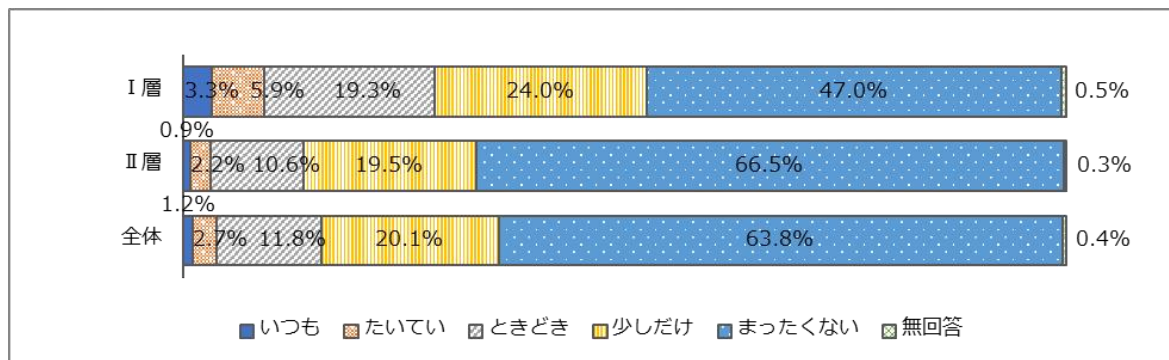
<世帯類型別>



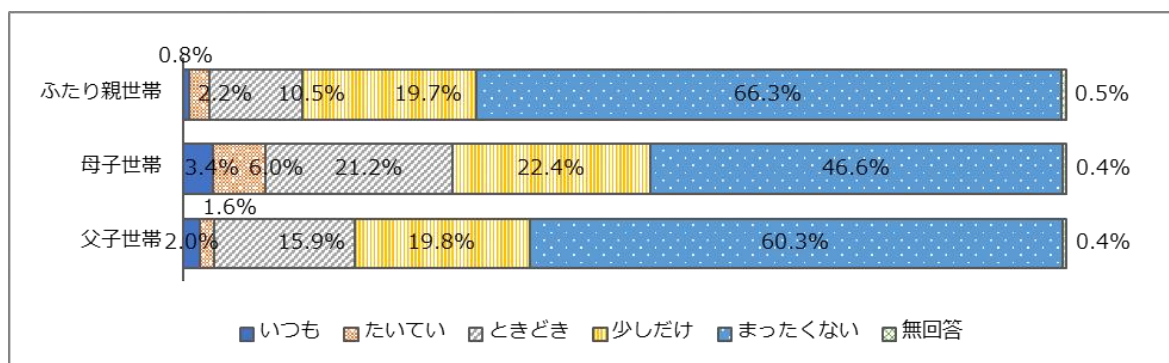
■31－b. 絶望的に感じた。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は1割程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



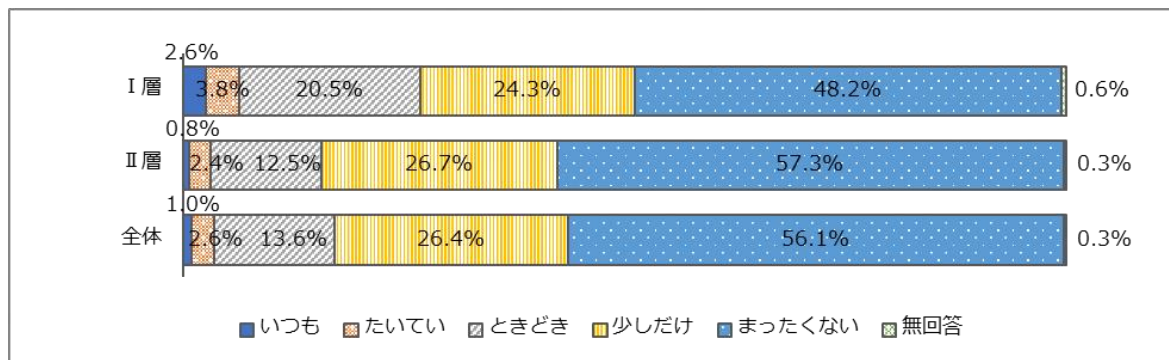
<世帯類型別>



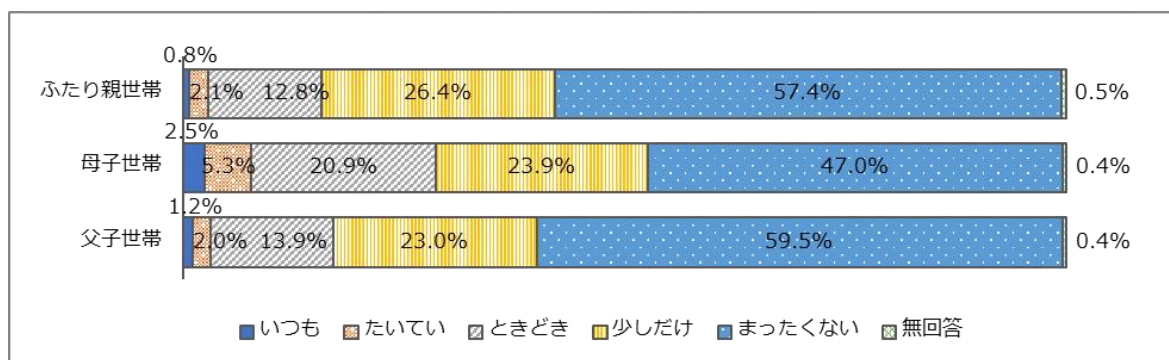
■31－c. そろそろ、落ち着かなく感じた。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は1割弱程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



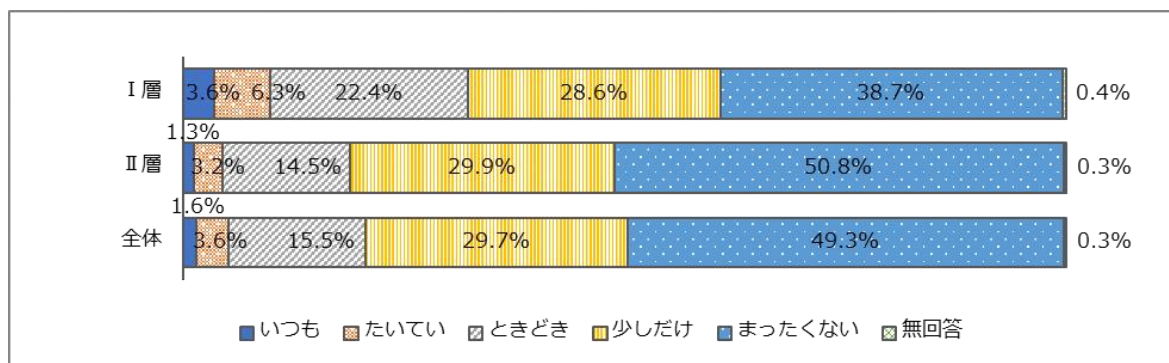
<世帯類型別>



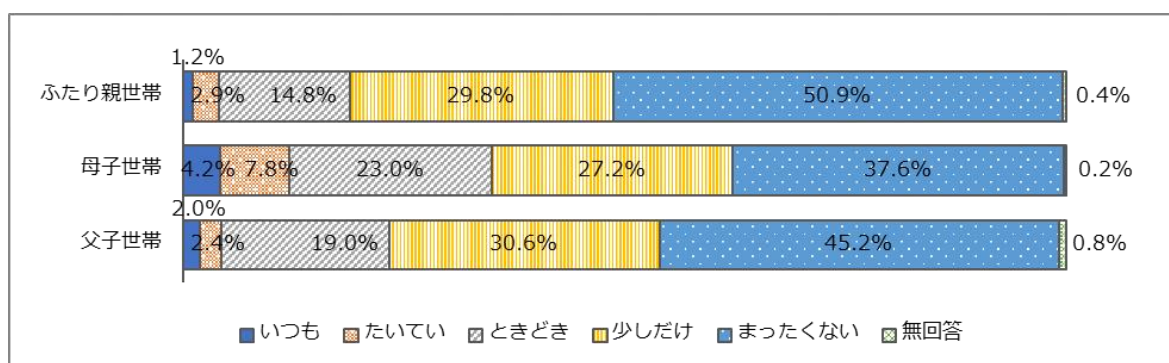
■31－d．気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は1割程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



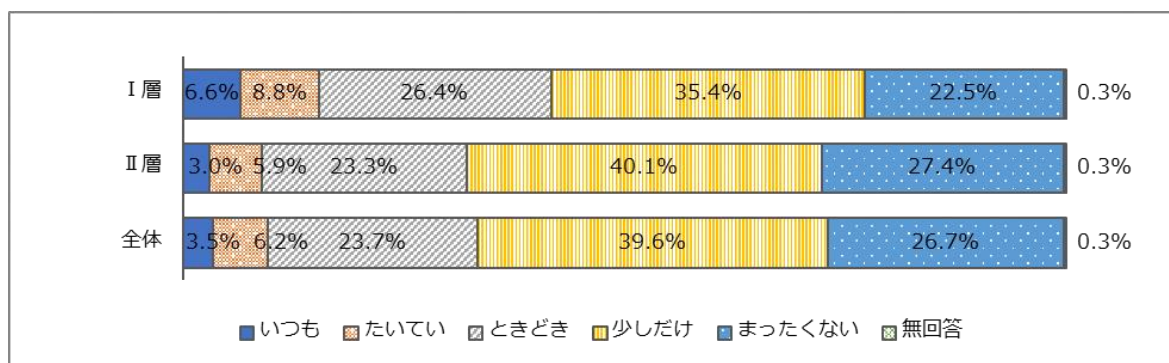
<世帯類型別>



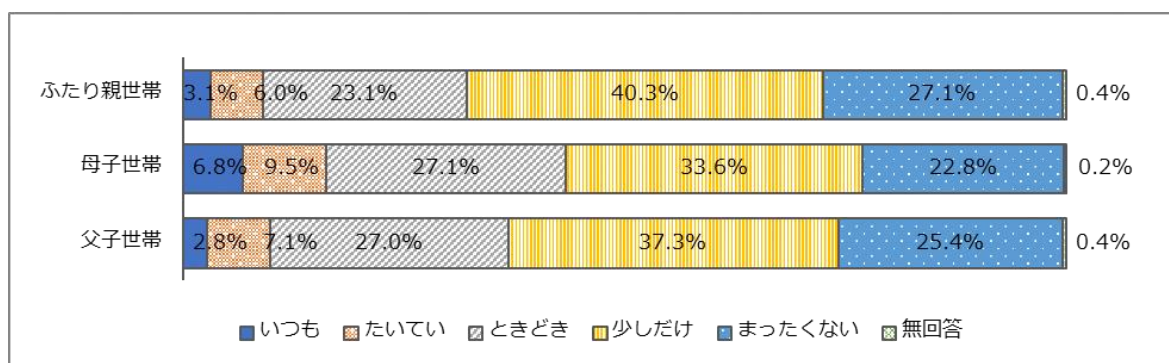
■31－e. 何をするのも面倒だと感じた

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は2割弱程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



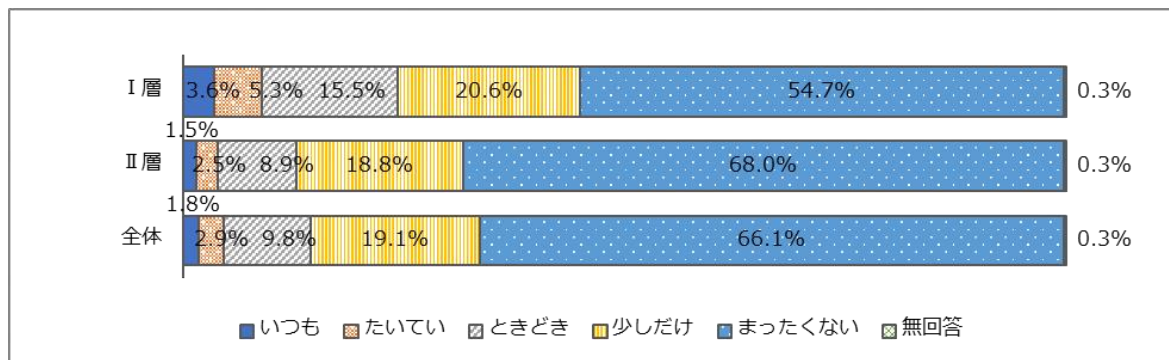
<世帯類型別>



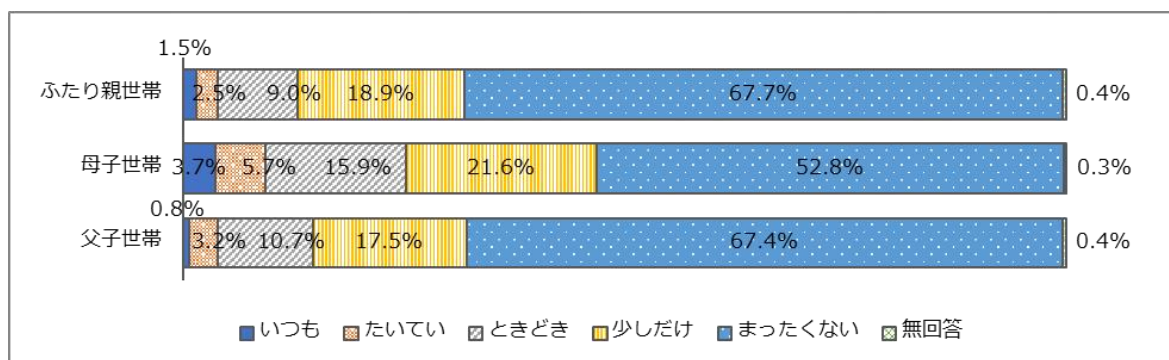
■31－f．自分は価値のない人間だと感じた

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつも」の割合が高く、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合は1割程度と高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



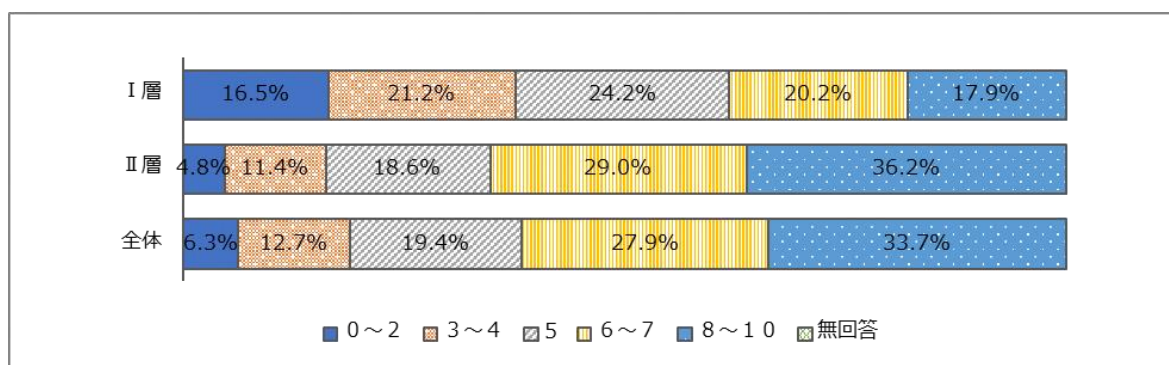
<世帯類型別>



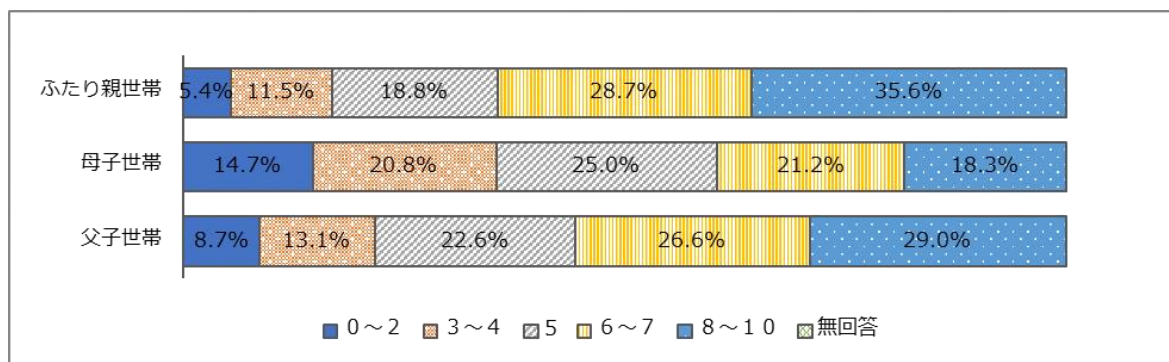
■32. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、最近の生活の満足度については³Ⅰ層では「0～2」及び「3～4」の割合が高く、「4」までを合わせた割合は4割程度となっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>



³ 「0：まったく満足していない」から「10：十分に満足している」の11段階で回答を得たものを、5つの分類に再分類して集計した。

5. 教育環境

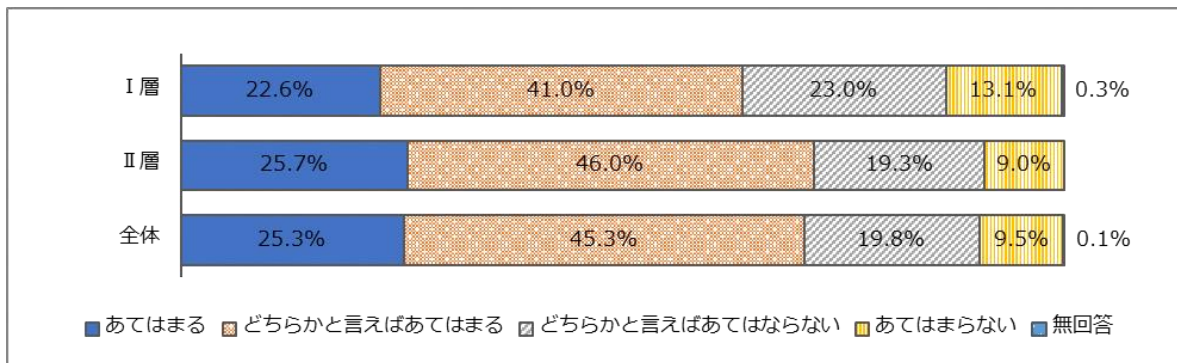
17. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどのくらい当てはまりますか。

a～dの項目それぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。

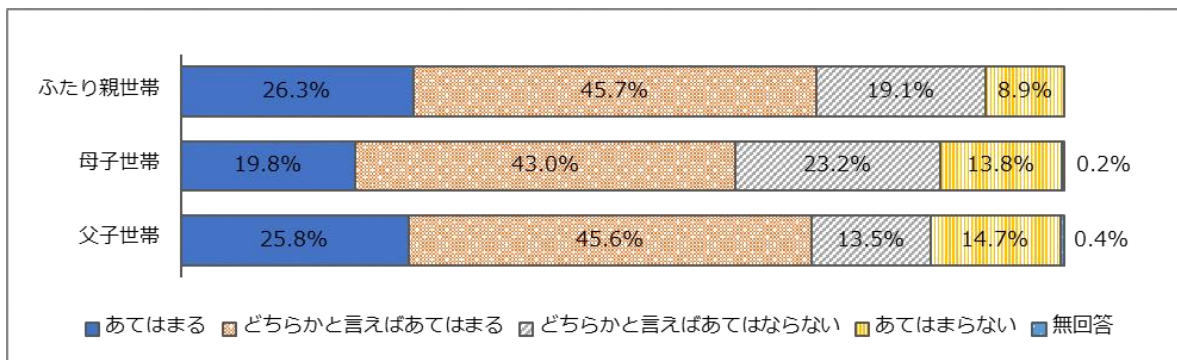
■17-a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯では「あてはまらない」の割合が1割強程度と高く、母子世帯では「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は4割弱程度と上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



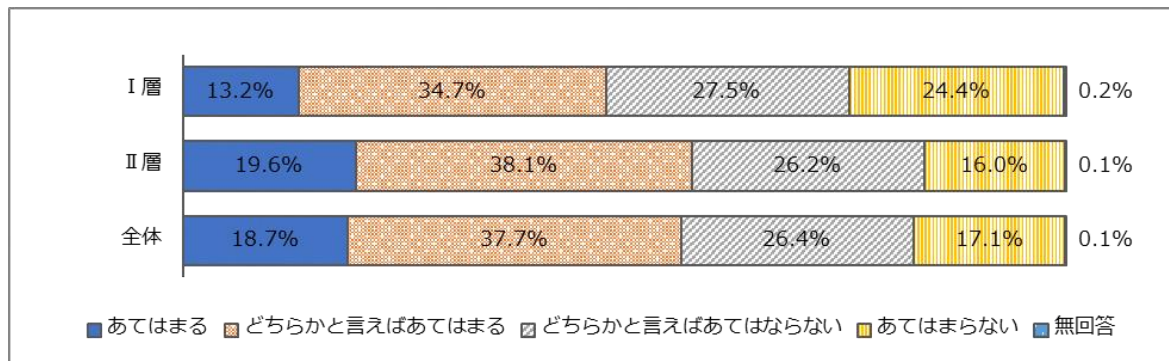
<世帯類型別>



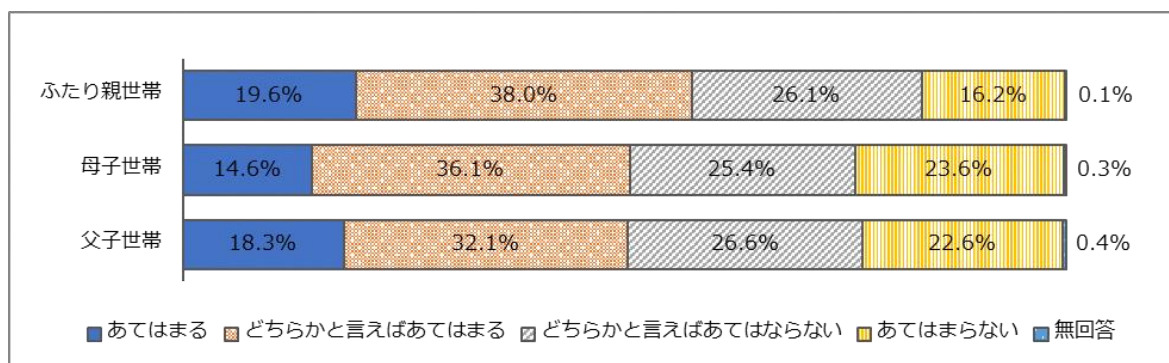
■17-b. お子さんに本や新聞を読むように勧めている。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「あてはまらない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「あてはまらない」の割合が2割強程度と高く上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



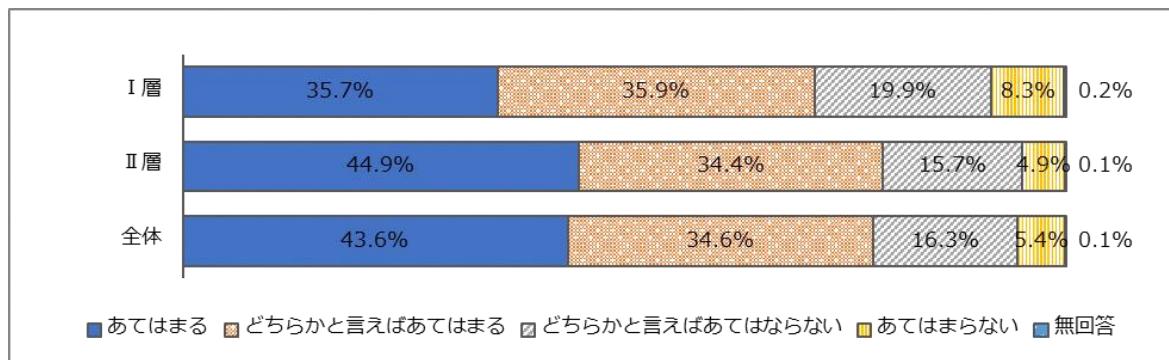
<世帯類型別>



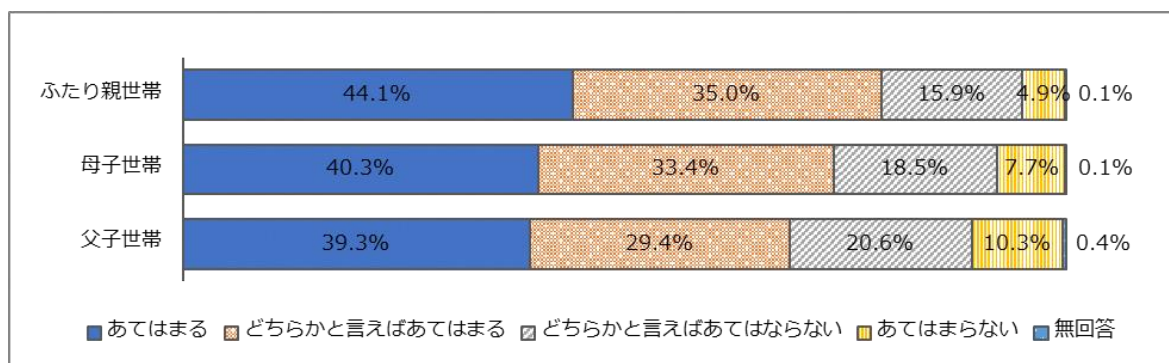
■17－c. お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「あてはまらない」の割合が高く、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合が母子世帯では3割弱程度、父子世帯では3割程度となっている。

<経済状況別>



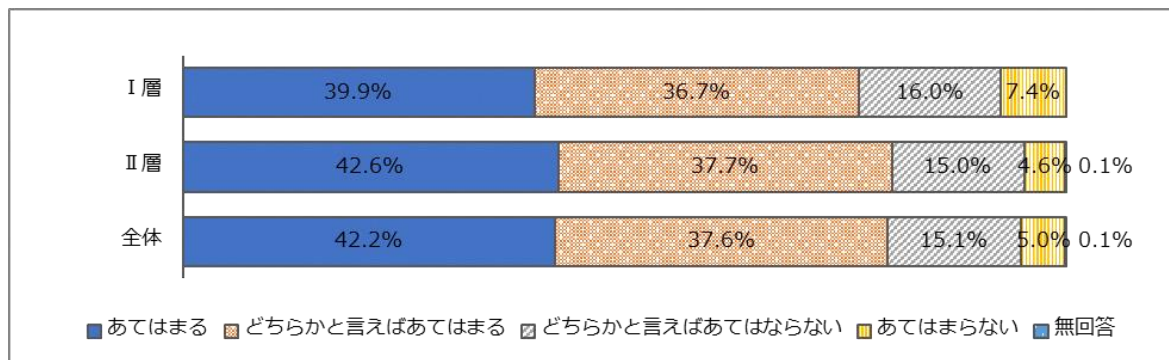
<世帯類型別>



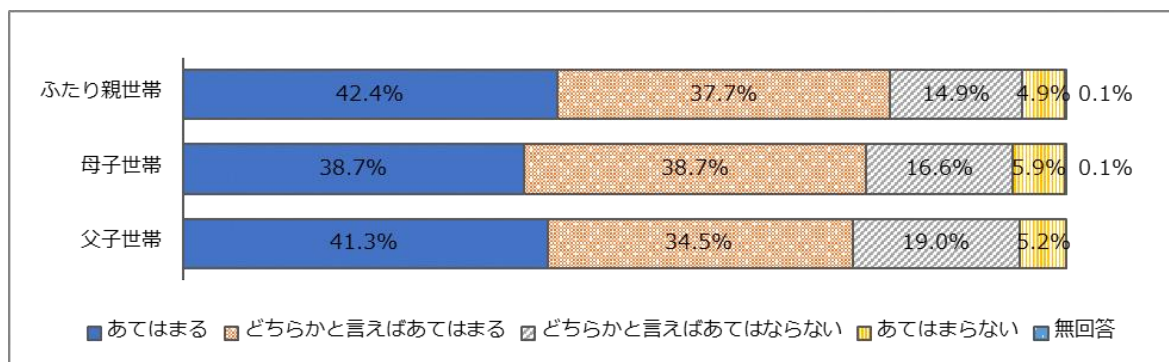
■17－d．お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる。

- ・ 経済状況別において顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯では「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合が2割強程度と高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

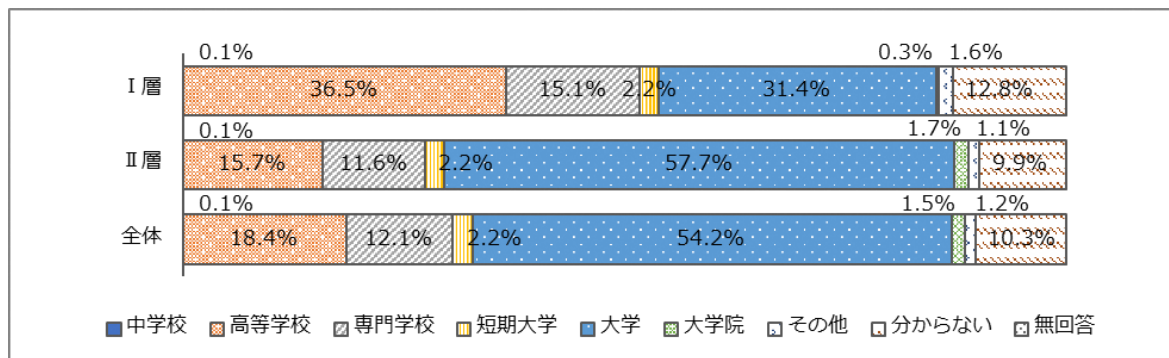


■20. あなたは、お子さんをどの学校まで進学させたいと希望されていますか。

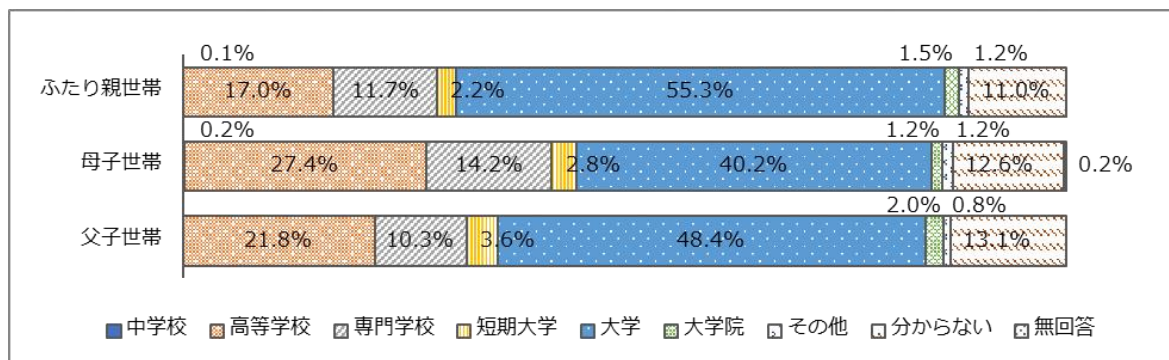
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「高等学校」の割合が高く、Ⅱ層で「大学」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「高等学校」の割合が高く、ふたり親世帯及び父子世帯で「大学」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

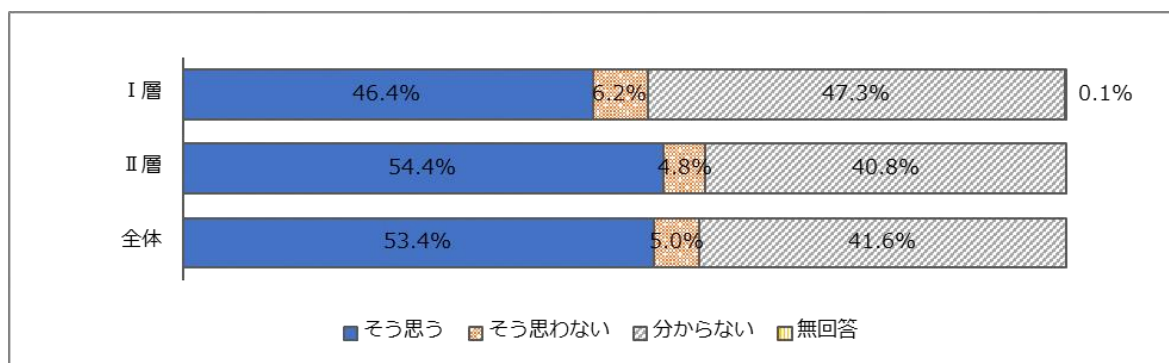


■21. あなたは、前の問で回答した希望どおり、お子さんが進学できそうだとお考えですか。

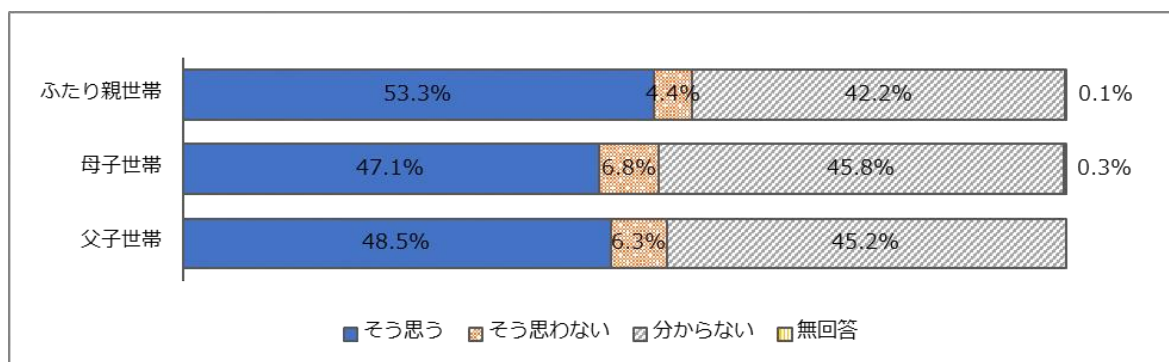
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「そう思う」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯では「そう思う」の割合が低く、上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>

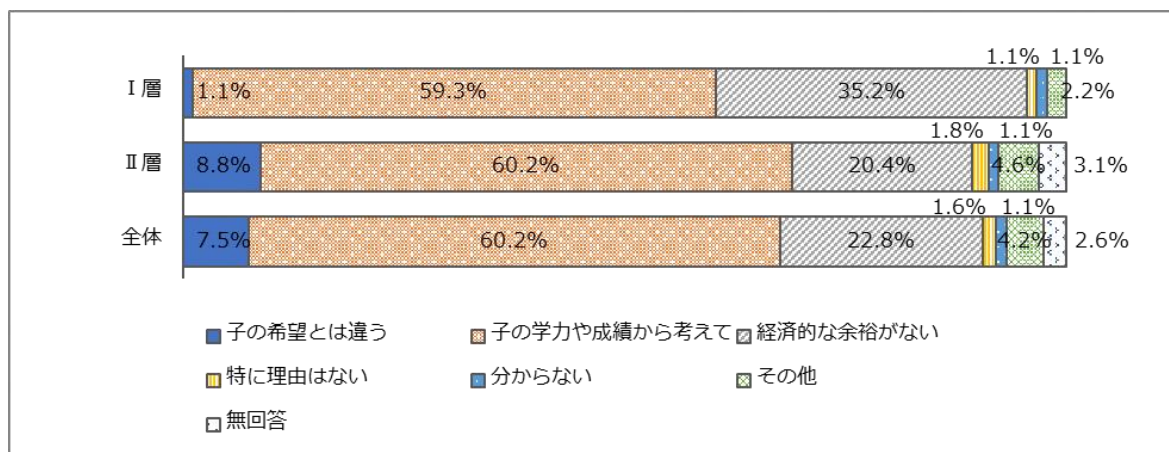


■21-2. そう思わないと回答した理由について教えてください。

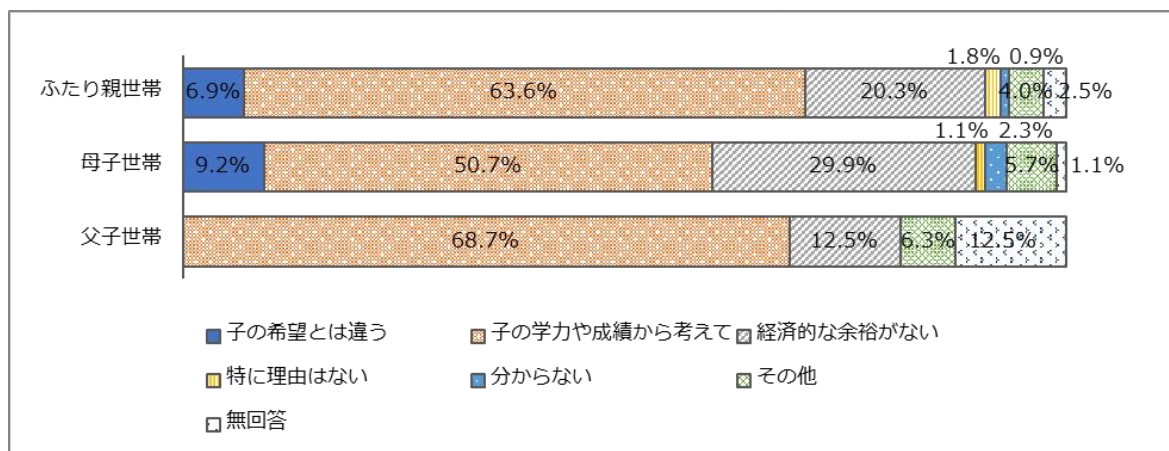
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「経済的な余裕がない」の割合が高く、Ⅱ層で「子の希望と違う」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「経済的余裕がない」の割合が高く、父子世帯では「子の学力や成績から考えて」の割合が高く、「経済的な余裕がない」の割合は低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



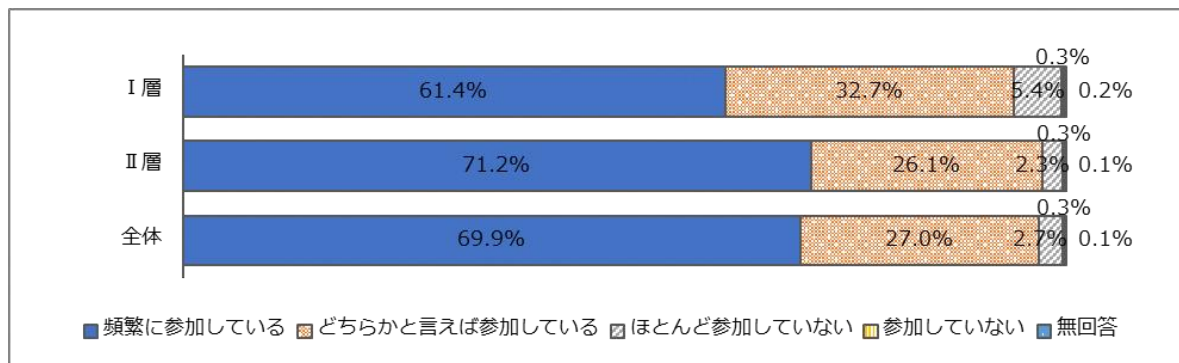
6. 社会環境

■22. あなたは、授業参観や運動会など、お子さんの学校行事にどの程度参加していますか。

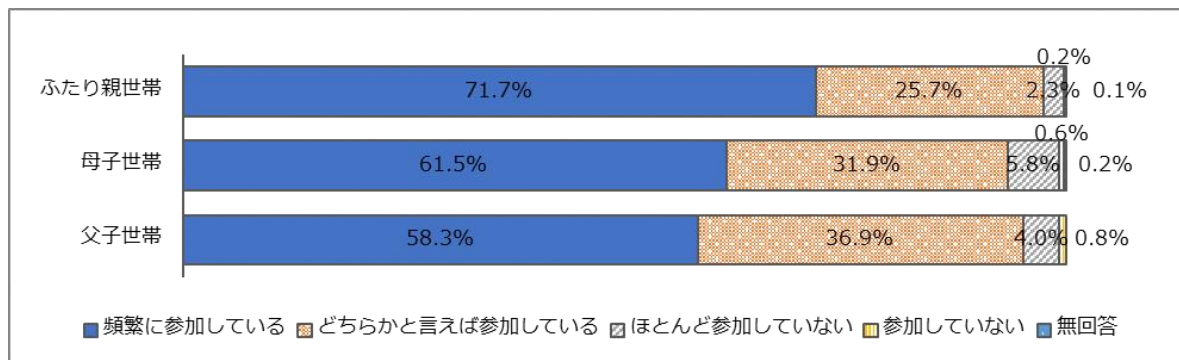
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんど参加していない」、「参加していない」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>

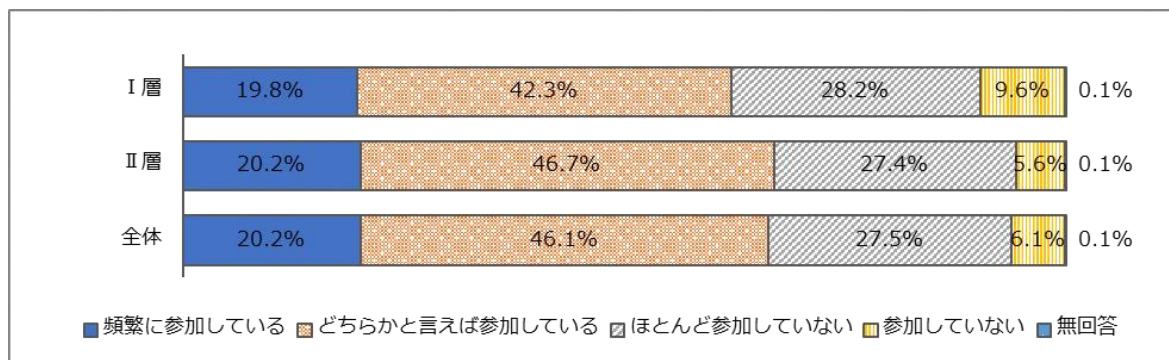


■23. あなたは、地区の祭りなど、地域の行事にどの程度参加していますか。

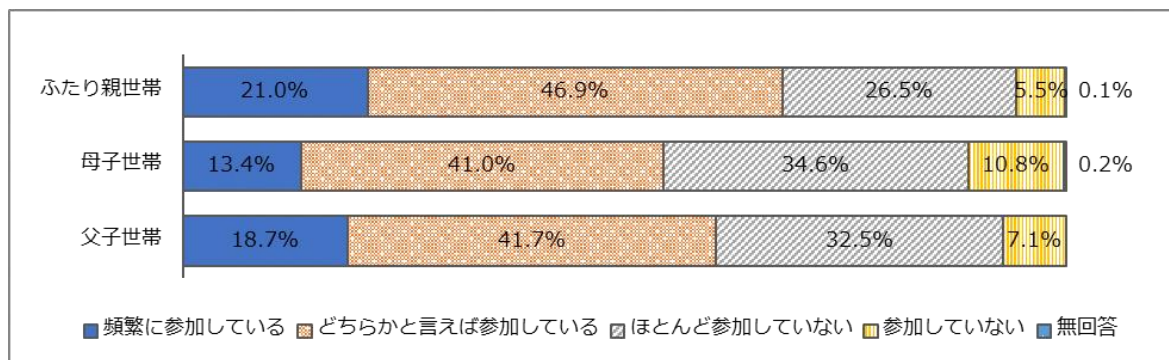
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「参加していない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほとんど参加しない」「参加しない」を合わせた割合が高く、特に母子世帯においてその傾向が高い。

<経済状況別>



<世帯類型別>

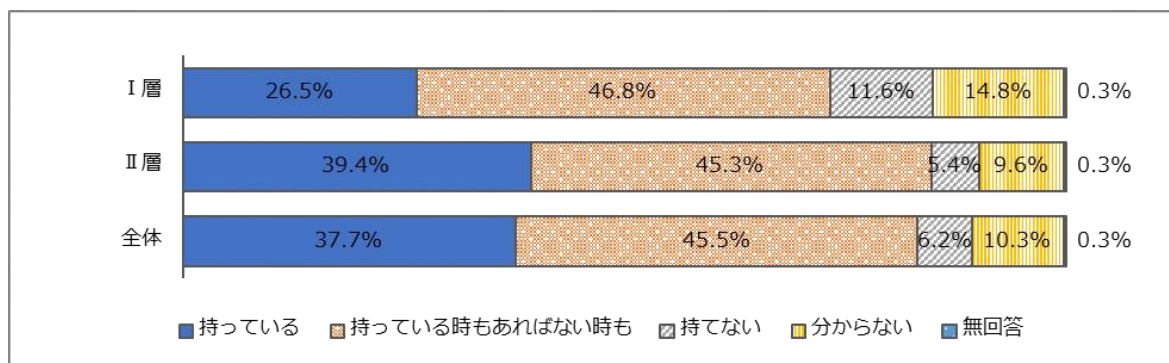


■28. あなたは、自分の将来に対して前向きな希望を持っていますか。

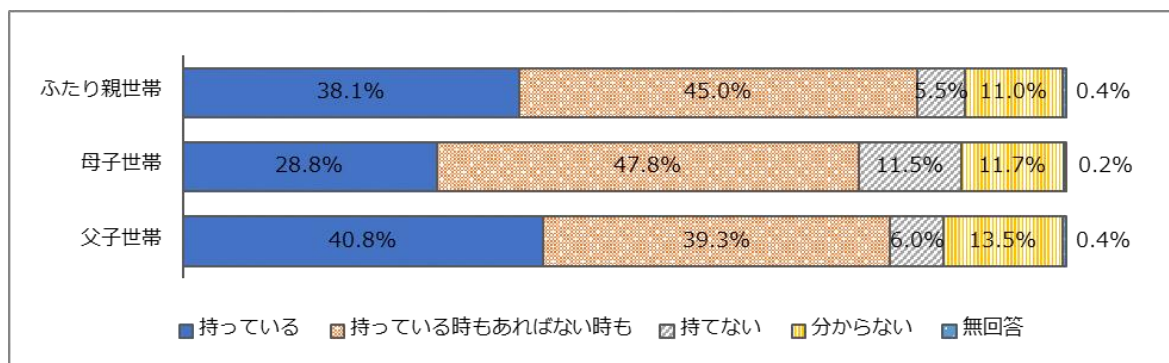
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「持てない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>

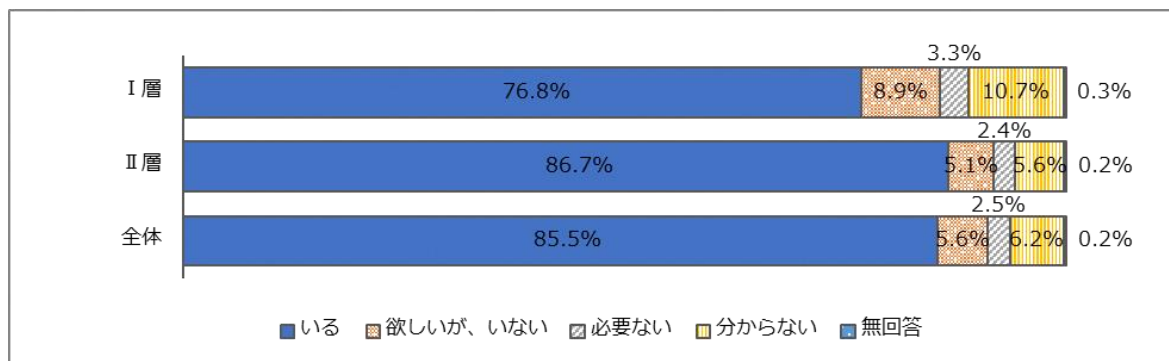


■29. あなたは、悩みや子育ての相談などをできる人はいますか。

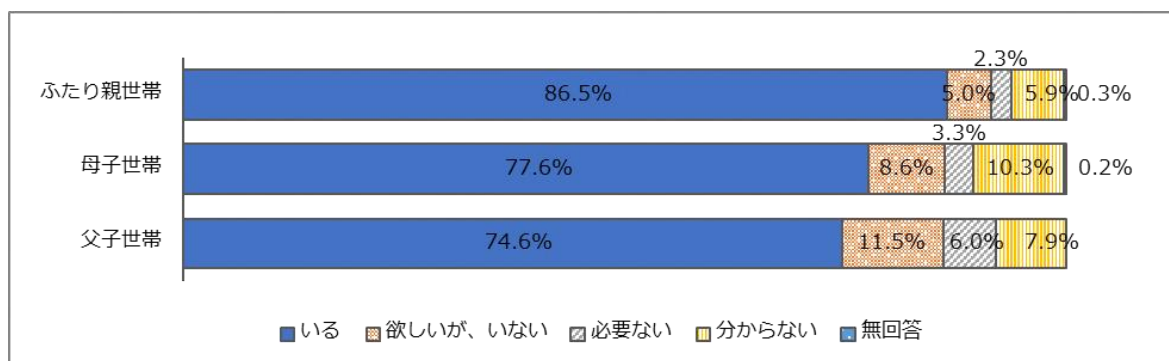
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いる」の割合が低く、「欲しいが、いない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「いる」の割合が低く、「欲しいが、いない」の割合が高くなっているが、父子世帯においては「必要ない」の割合も高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



7. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化

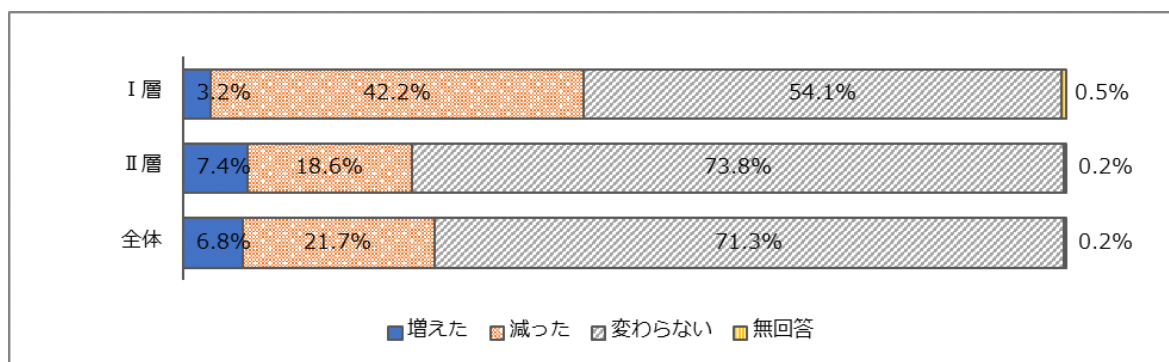
33. 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校による前（2020年2月）に比べてどのように変わったと思いますか。（a～fそれぞれについて、あてはまるものを1つ選択してください。）

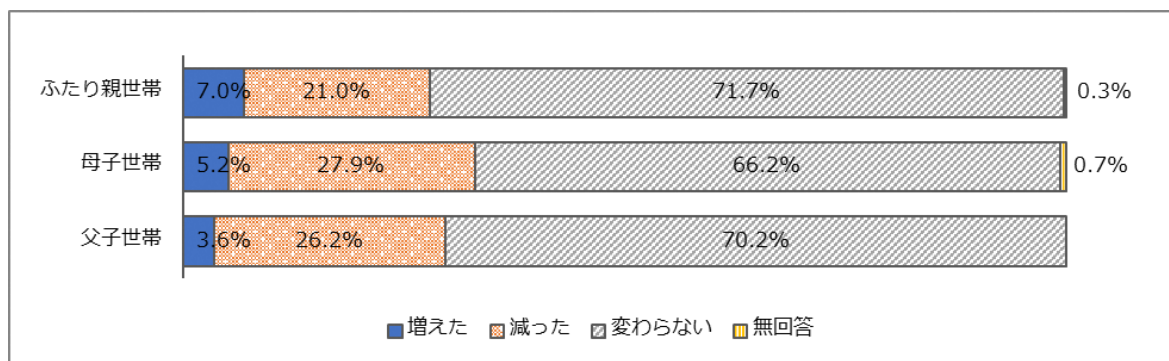
■33－a.世帯全体の収入の変化

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「減った」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「減った」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



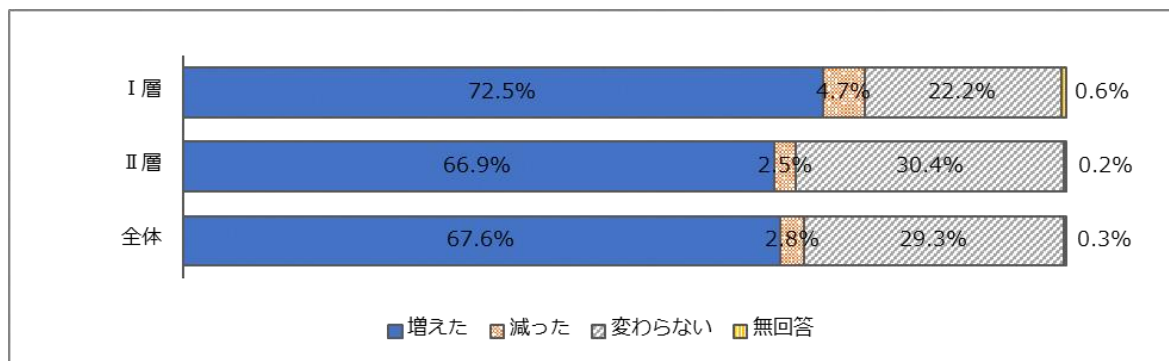
<世帯類型別>



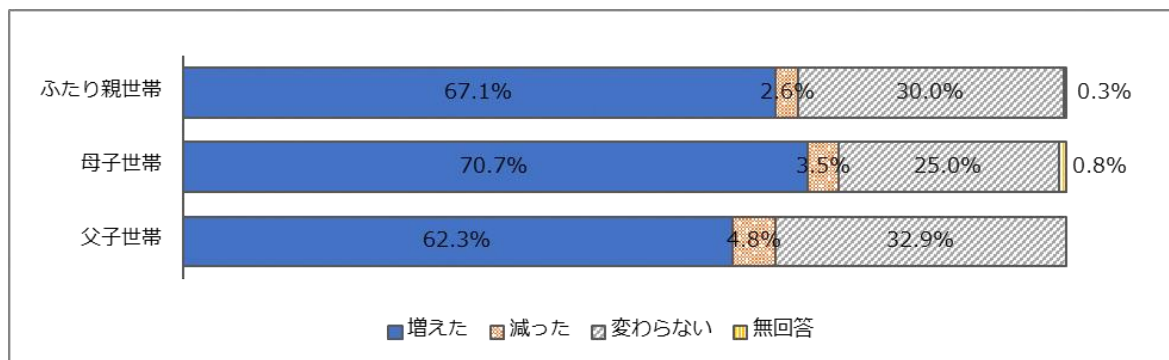
■ 33－b.生活に必要な支出の変化

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「増えた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



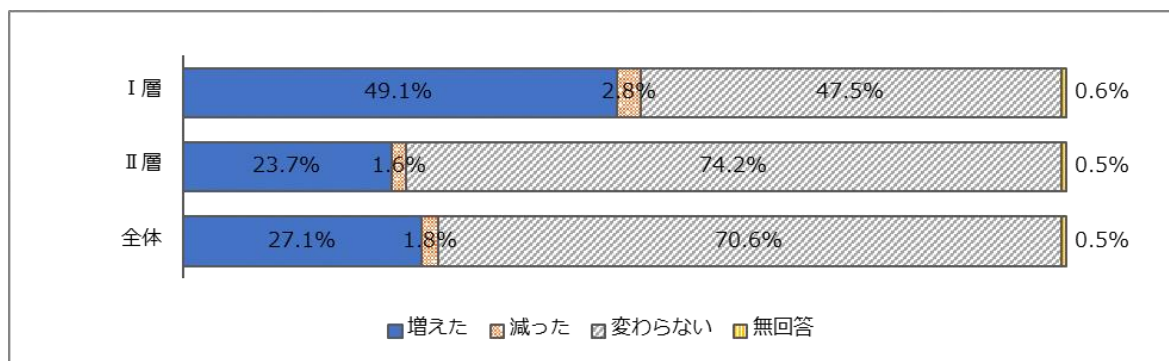
<世帯類型別>



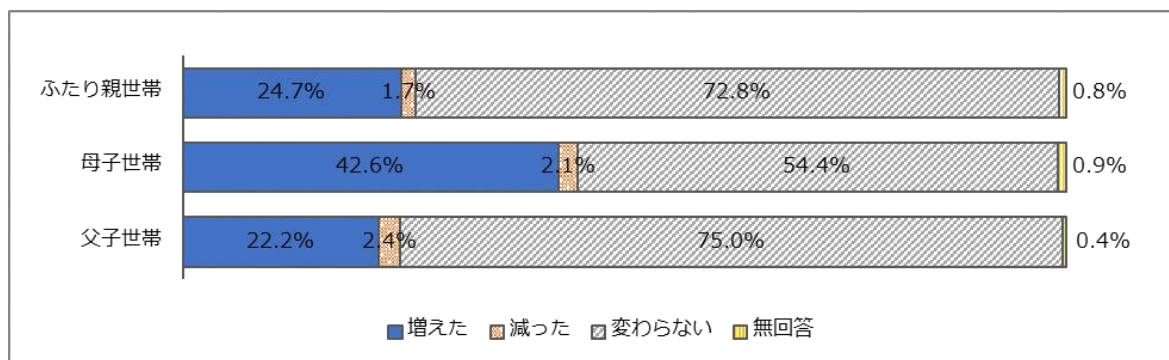
■33－ c.お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「増えた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



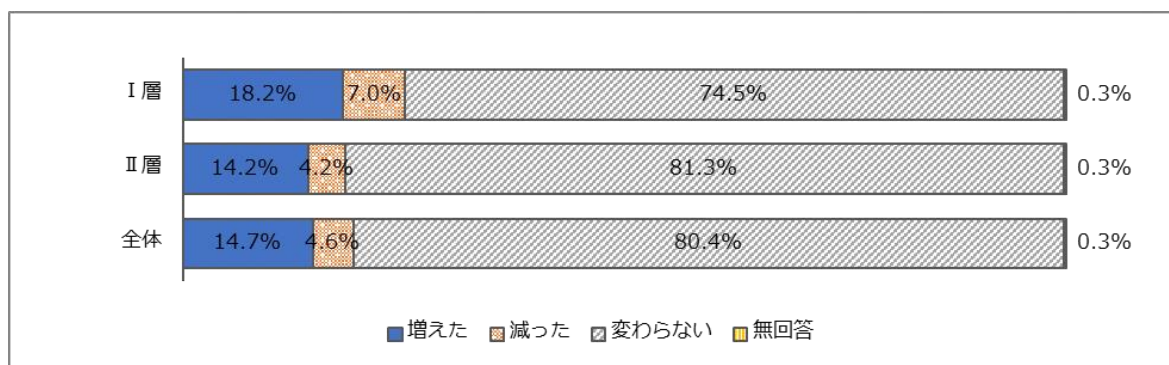
<世帯類型別>



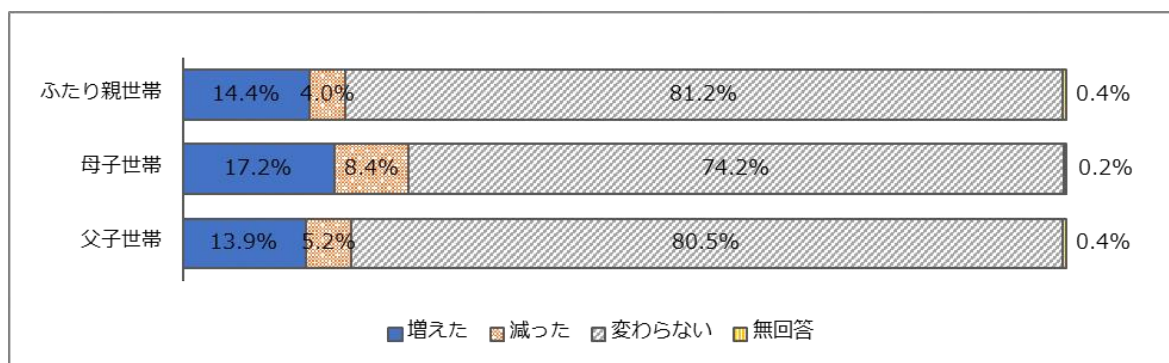
■33－d.お子さんと話をすること

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「増えた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯及び父子世帯が「変わらない」の割合が高いのに対し、母子世帯では「増えた」の割合が高く、「減った」の割合についても高くなっている。

<経済状況別>



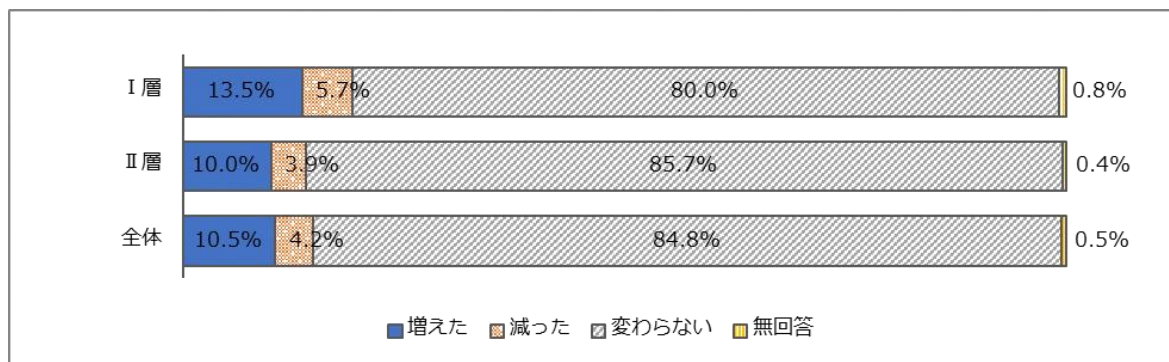
<世帯類型別>



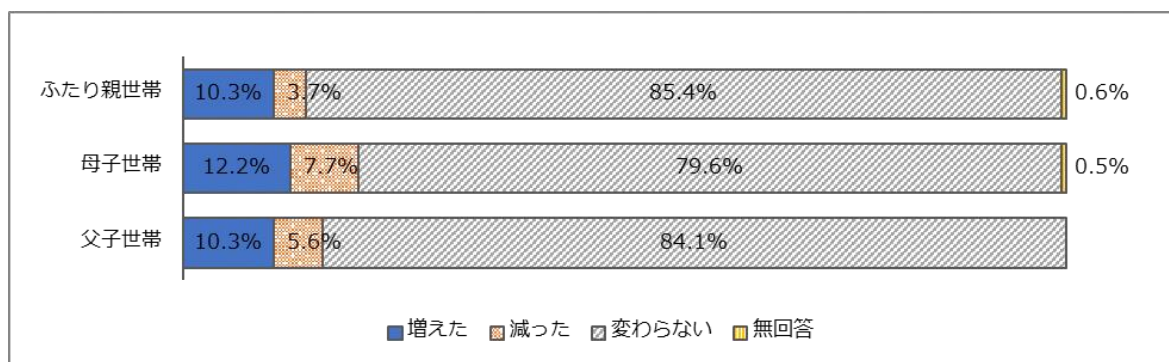
■33－ e.家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「増えた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯及び父子世帯が「変わらない」の割合が高いのに対し、母子世帯では「増えた」の割合が高く、「減った」の割合についても高くなっている。

<経済状況別>



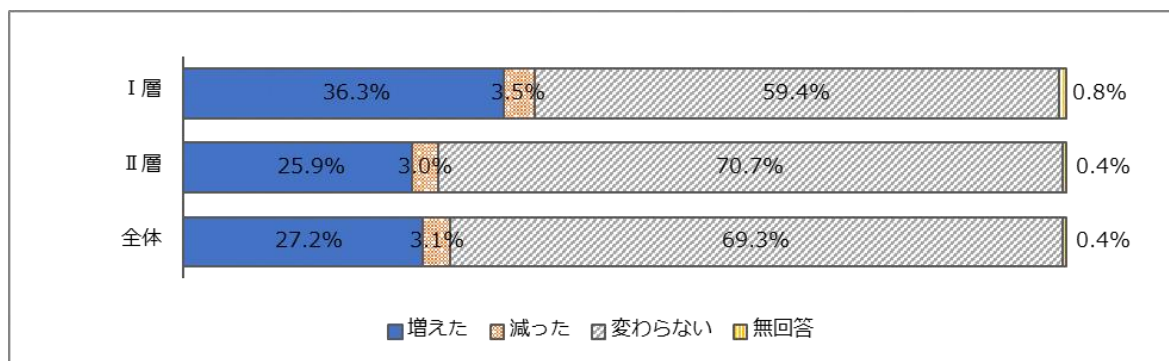
<世帯類型別>



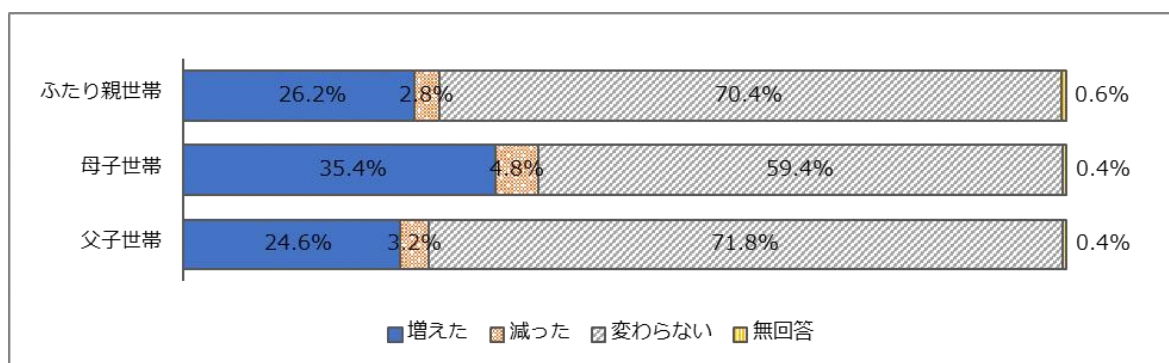
■ 33－ f.あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「増えた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ状況が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>



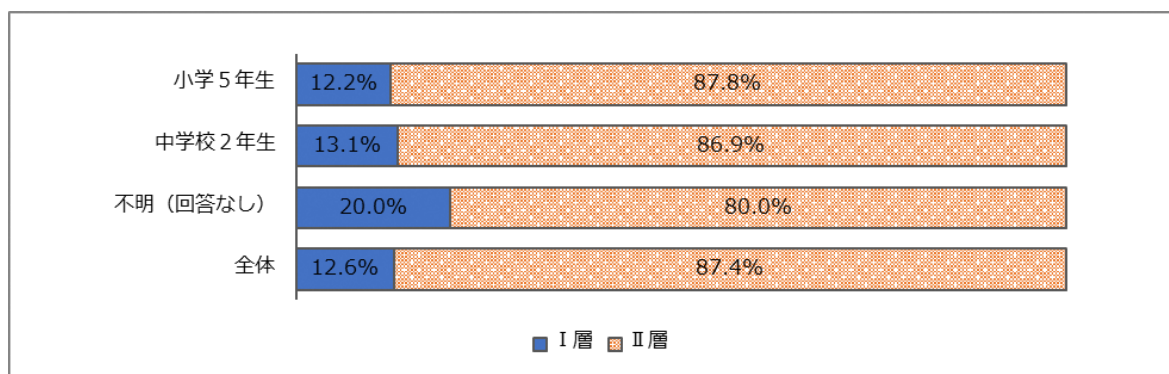
V 調査結果（クロス集計：子ども）

1. 属 性

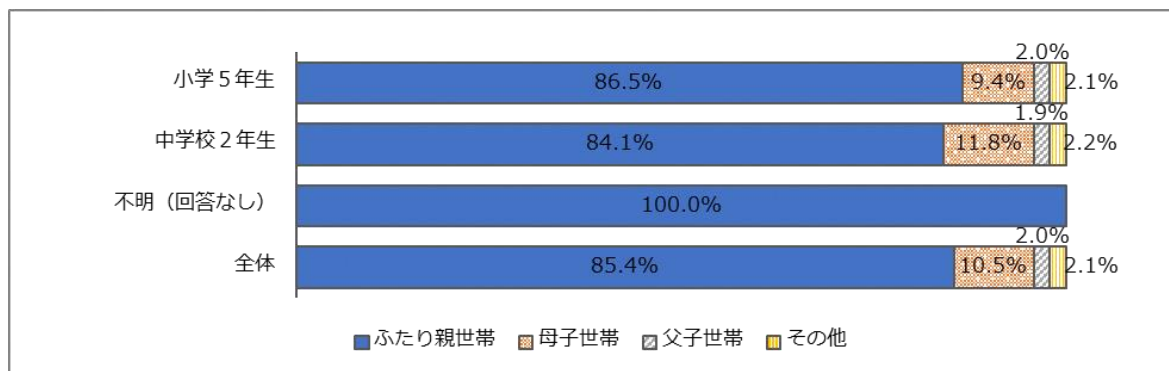
■ 1. 学年

- ・ 経済状況別において、回答者全体では、「Ⅰ層」が12.6%、「Ⅱ層」が87.4%であった。
- ・ 世帯類型別において、回答者全体では、「ふたり親世帯」が85.4%、「母子世帯」が10.5%、「父子世帯」が2.0%、「その他世帯」が2.1%であった。
- ・ なお、Ⅰ層について、小学校5年生に比べ中学校2年生の割合が若干高くなっているが、偶然によるものか、例えば子どもが成長し専業主婦の母が就業したこと等により世帯所得が増えて格差が拡大したのか、あるいは保護者の平均年齢が小学校5年生の保護者よりも相対的に高くなったことによる格差拡大なのかなど様々な要因が考えられるが、はっきりしたことは分からない。

<経済状況別>



<世帯類型別>



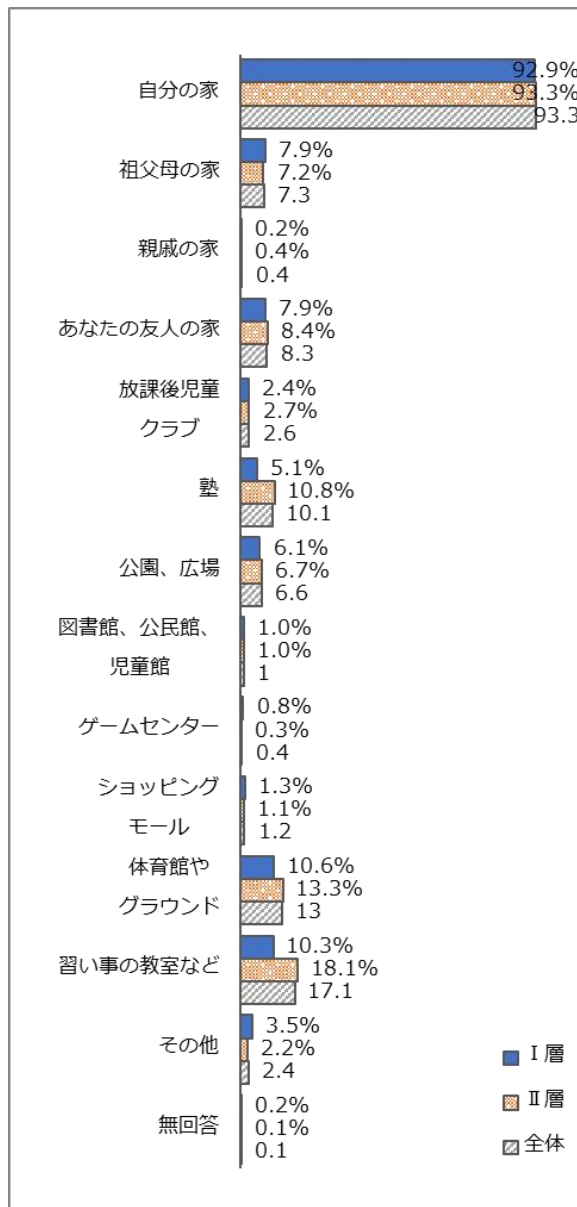
2. 生活環境

■10. あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にどこで過ごしていますか。

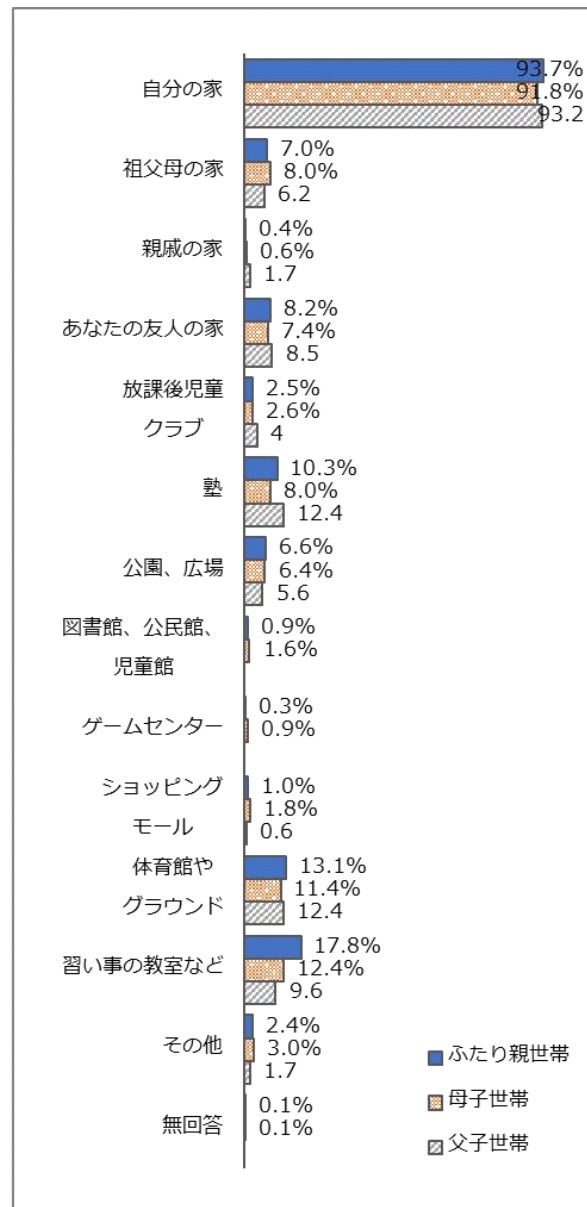
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「塾」、「習い事の教室など」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「習い事の教室など」の割合が低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

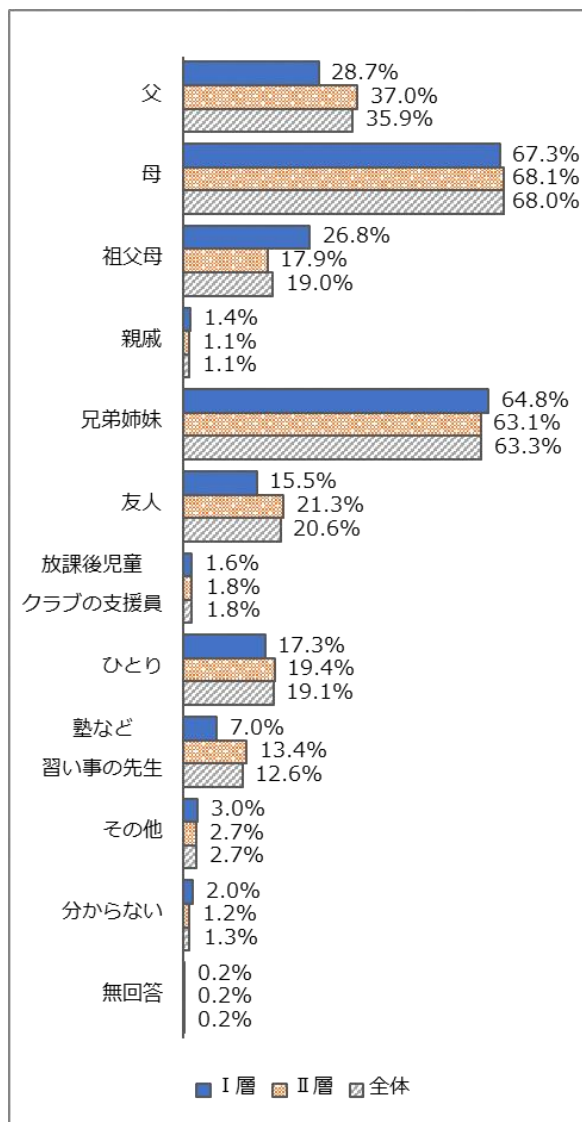


■ 11. あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にだれとすごしていますか。

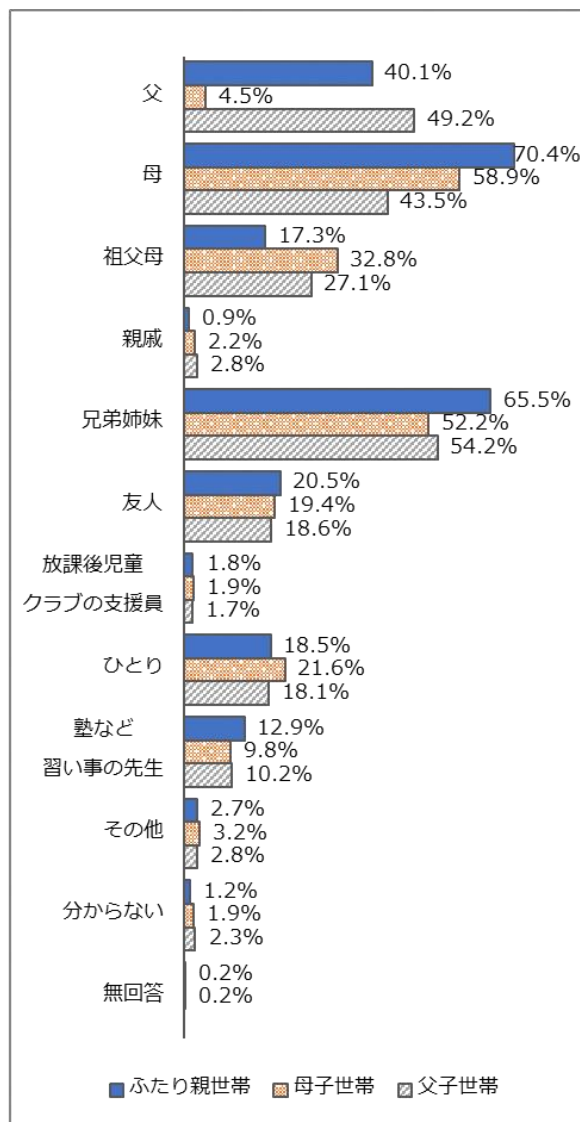
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「祖父母」の割合が高く、「父」、「友人」及び「塾などの習い事の先生」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯で「母」及び「兄弟姉妹」の割合が高く、「祖父母」の割合が低くなっているのに対し、母子世帯で「祖父母」及び「ひとり」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

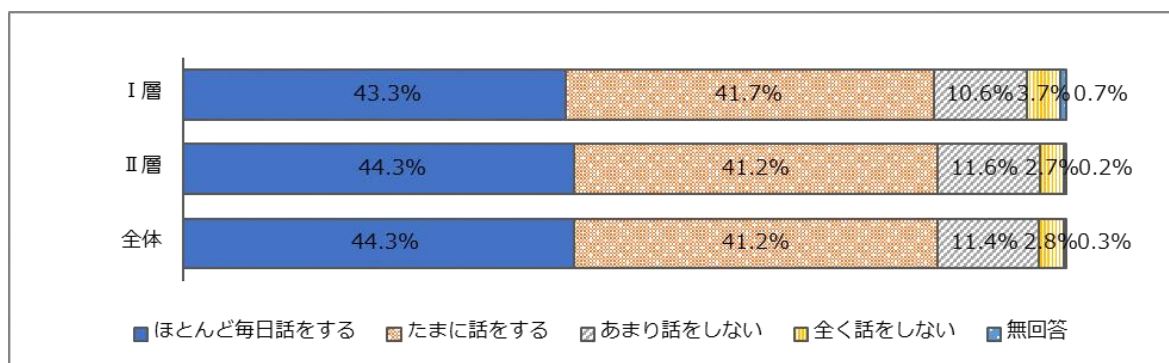


■12. あなたは、保護者の方と学校の出来事について話をしますか。

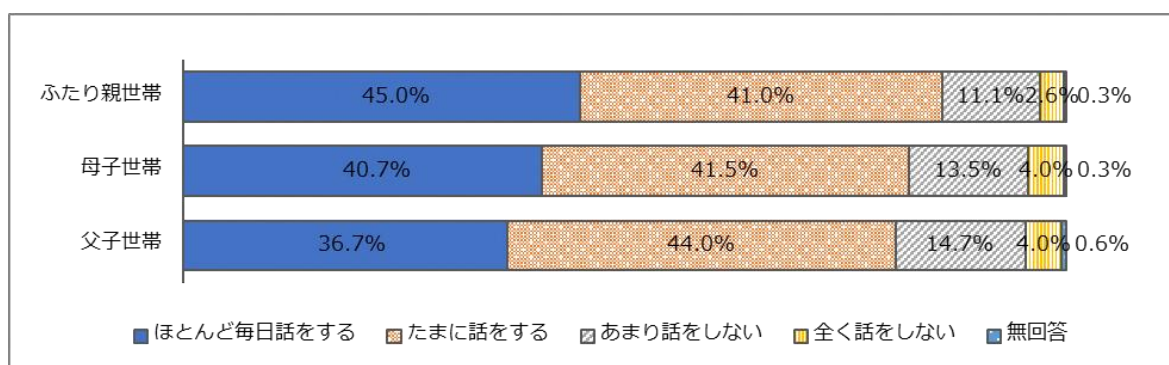
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、各項目において顕著な差はみられなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほとんど毎日話をする」の割合が低くなっており、特に父子世帯においてその傾向が高い。
- ・ 全世帯において保護者との会話の頻度と子どもの自己実現の意識の関係性を見ると、保護者との会話の頻度が高いほど、子どもの自己実現の意識が高くなっている。
- ・ また、本調査におけるひとり親世帯の約4割程度がⅠ層であること、とりわけ、ひとり親世帯の中でも約8割を占める母子世帯においても、上記の全世帯における保護者の会話の頻度と子どもの自己実現の意識の関係性と同じ傾向が見られた。以下、子どもの自己実現の意識と生活環境等との関係性や、保護者の関わりと子どもの自己実現の意識の関係性について、世帯の経済状況による差異があるのかどうかを確認するため、母子世帯における状況をいくつかの設問で集計・分析した。

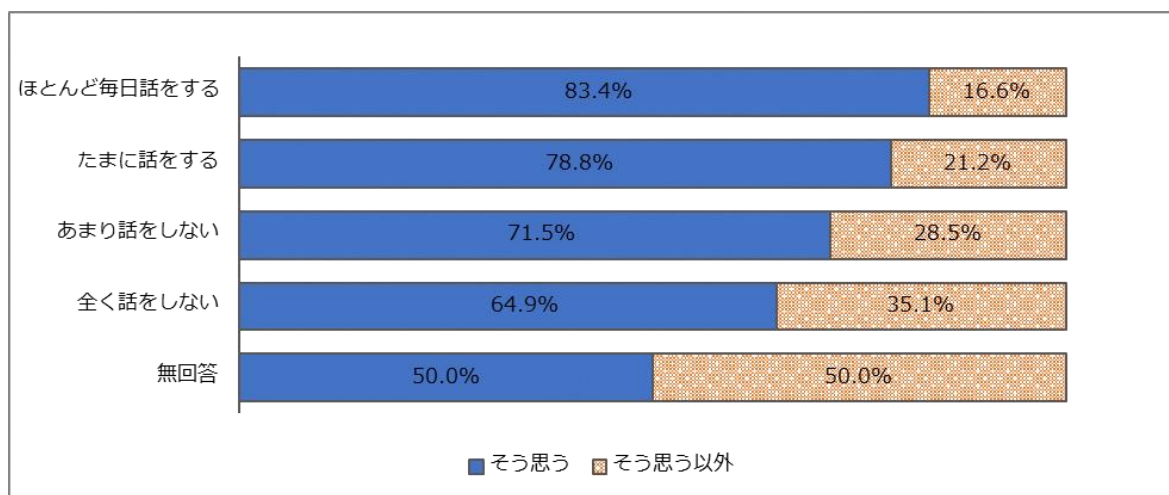
<経済状況別>



<世帯類型別>

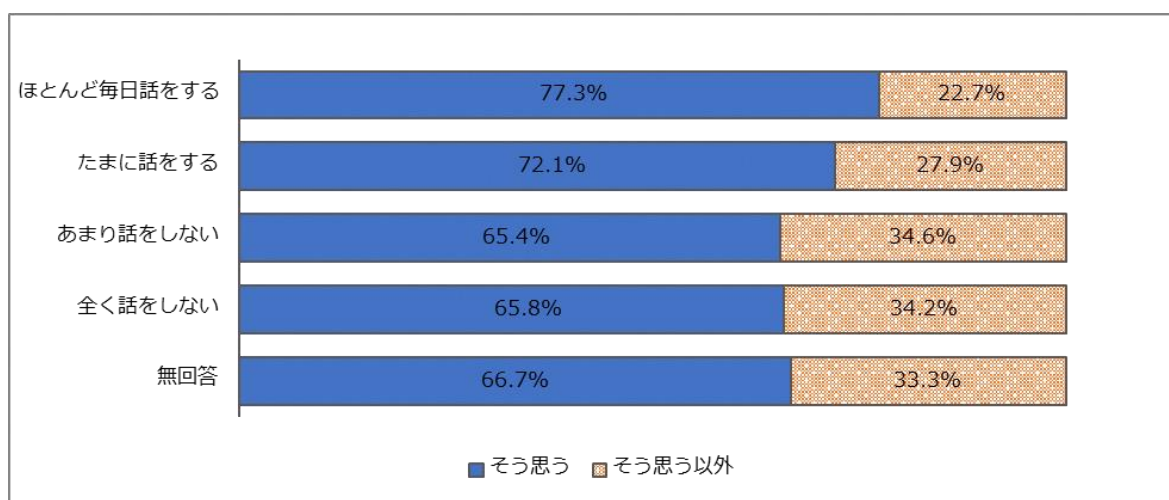


<保護者との会話の頻度と子どもの自己実現の意識の関係（全世帯）※>



※ 調査票（子ども）「25. 将来のためにも、今、スポーツ・特技を頑張りたいと思うか」について、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の回答者を『そう思う』に分類し、それ以外の回答者を『そう思う以外』に分類（以下、同じ）。

<保護者との会話の頻度と子どもの自己実現の意識の関係（母子世帯）>

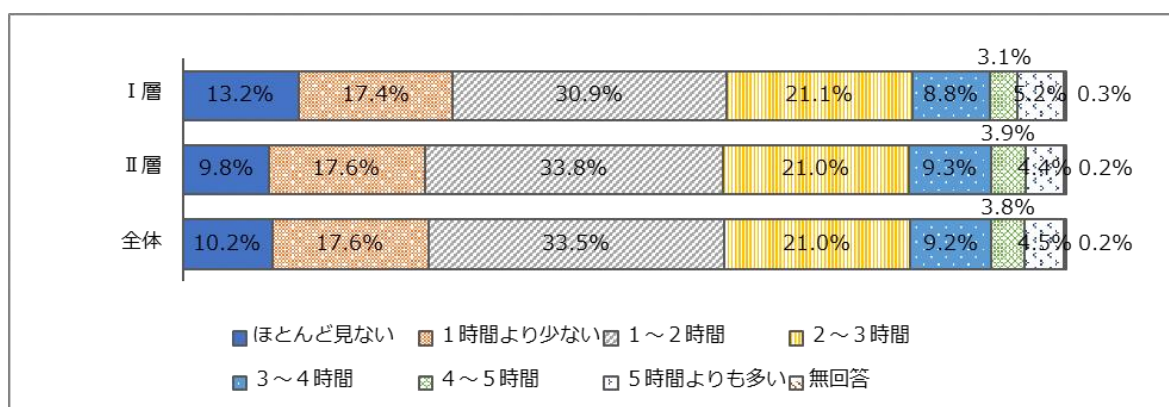


■13. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいテレビを見ますか。

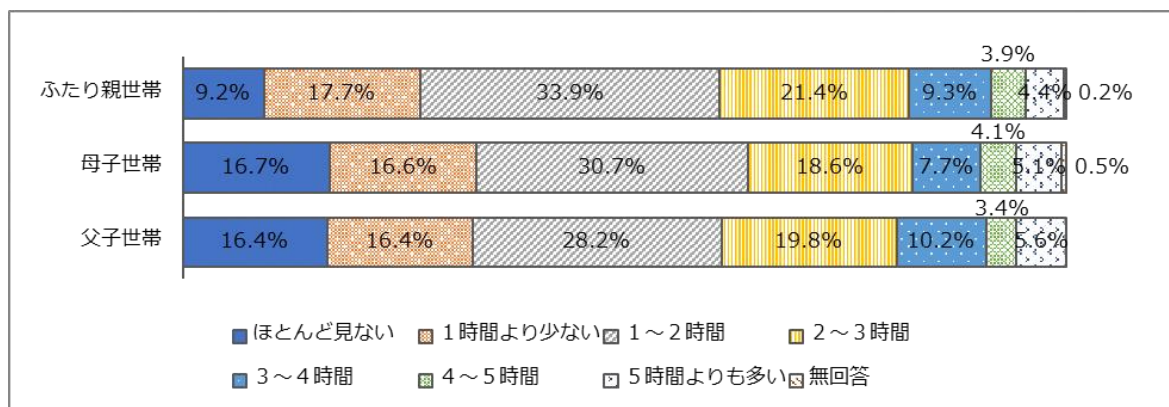
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんど見ない」の割合が高く、「ほとんど見ない」～「1時間より少ない」を合わせた割合が3割程度となっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯と父子世帯で「ほとんど見ない」～「1時間より少ない」を合わせた割合が高く、ふたり親世帯については、「ほとんど見ない」～「1時間より少ない」を合わせた割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において、自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「ほとんど見ない」～「1時間より少ない」を合わせた割合が高くなっている。

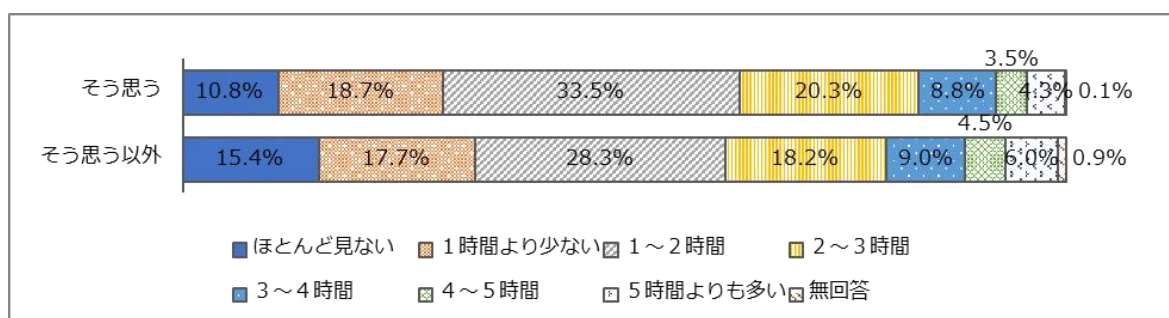
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

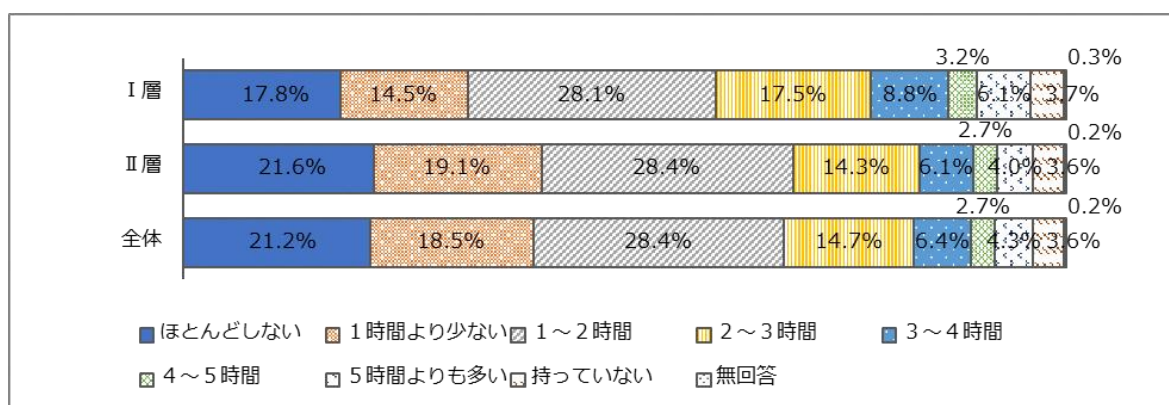


■14. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいゲームをしますか。

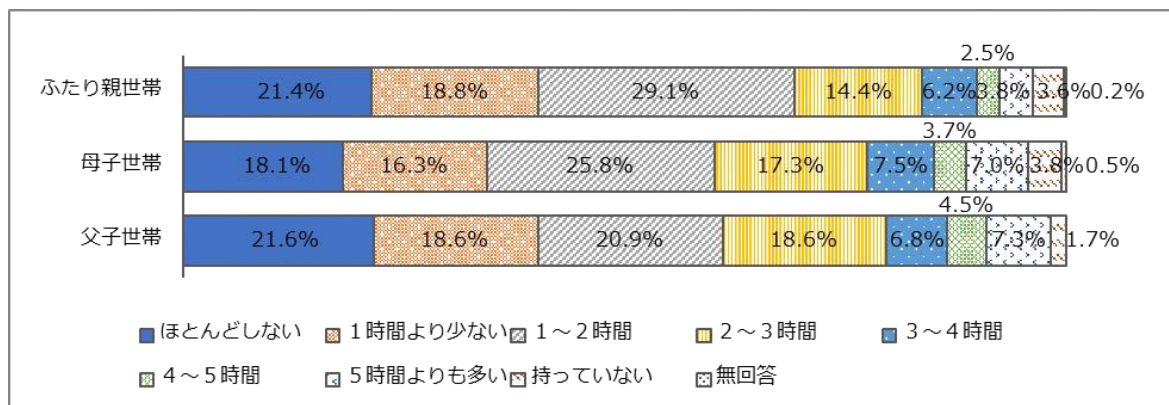
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「ほとんどしない」～「1～2時間」を合わせた割合が低く、「2～3時間」～「5時間よりも多い」を合わせた割合が高く、ゲームをする時間が長い割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「ほとんどしない」～「1時間より少ない」を合わせた割合が低く、「1～2時間」～「5時間よりも多い」を合わせた割合が高くなっている。また、母子世帯及び父子世帯で、ゲームをする時間が長い割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

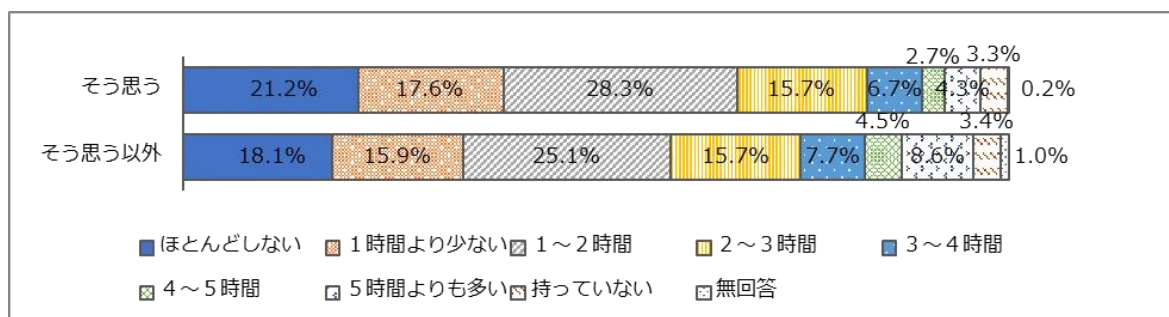
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

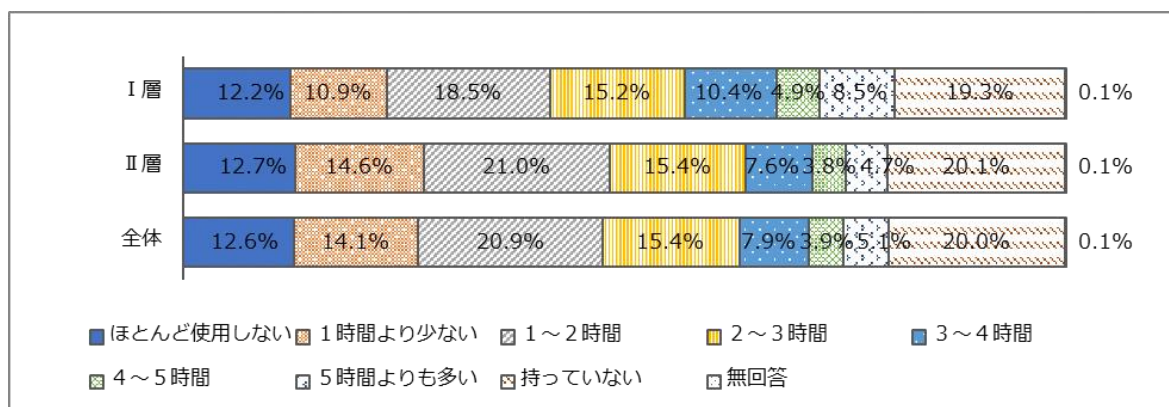


■15. あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらい携帯電話を使用しますか。

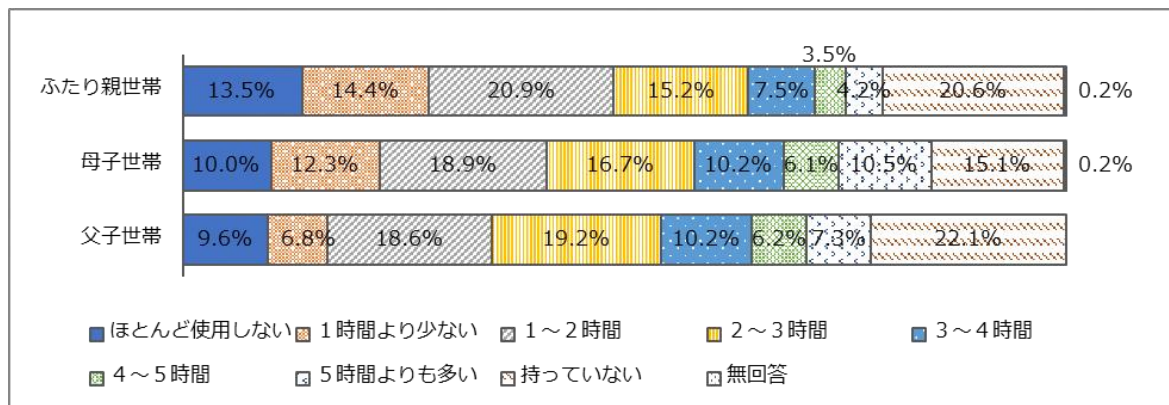
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんど使用しない」～「1～2時間」を合わせた割合が低く、「2～3時間」～「5時間よりも多い」を合わせた割合が高く、使用する時間が長い割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯と父子世帯で上記Ⅰ層と同じ傾向が見られ、特に父子世帯において顕著である。なお、母子世帯で「持っていない」の割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別に差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

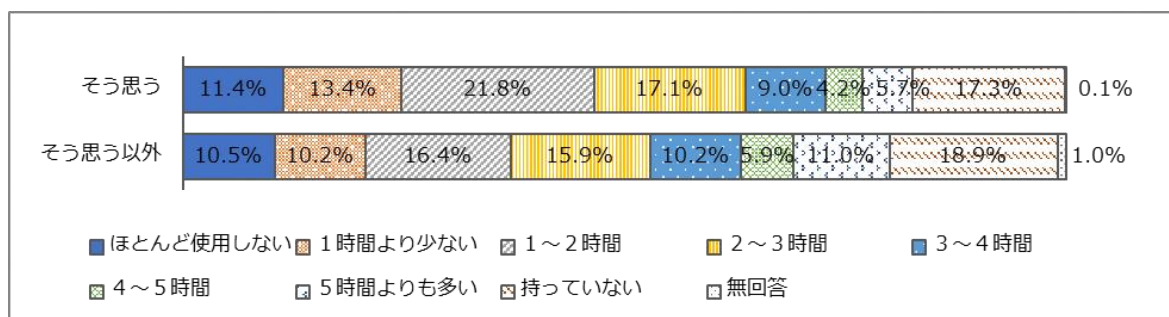
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

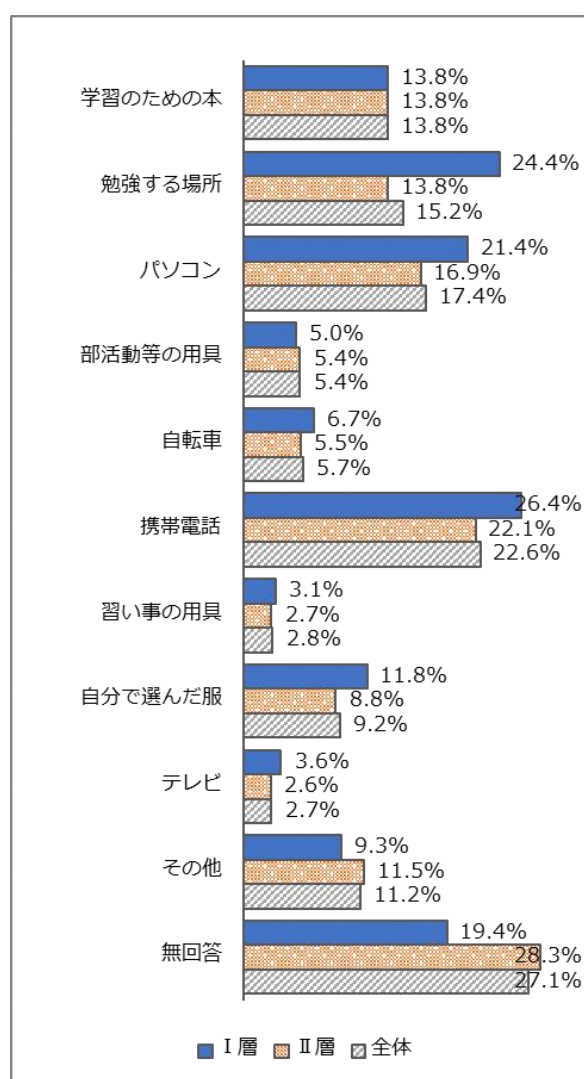


■16. あなたが必要と思っても、持っていないものはありますか。

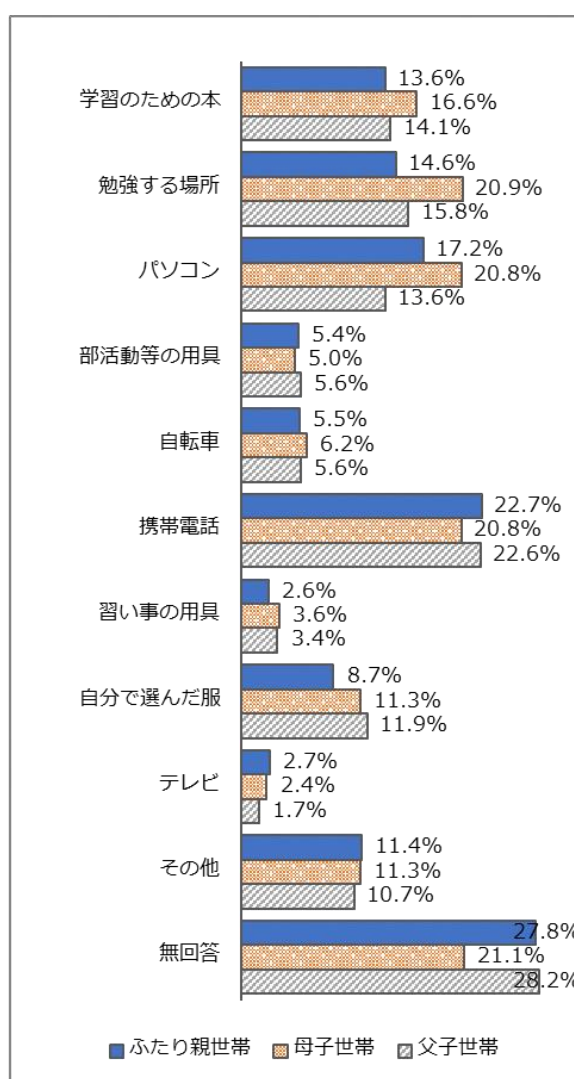
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、ほとんどの項目でⅠ層の割合が高くなっているが、特にⅠ層で「勉強する場所」、「パソコン」の割合が高く、「無回答」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「勉強する場所」、「パソコン」の割合が高く、「無回答」の割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「学習のための本」及び「部活動等の用具」、「習い事の用具」の割合が高いのに対し、「そう思う以外」層では「パソコン」、「携帯電話」及び「テレビ」の割合が高くなっている。

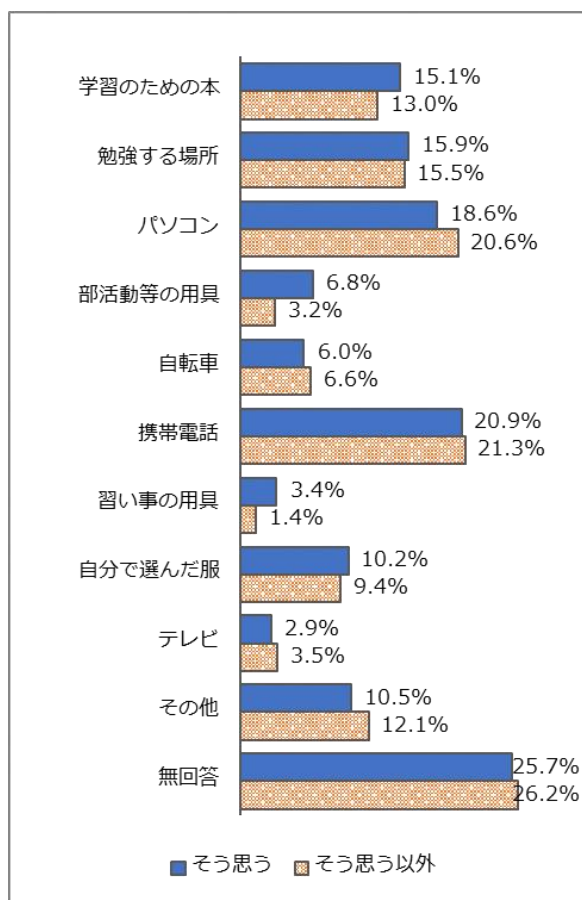
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

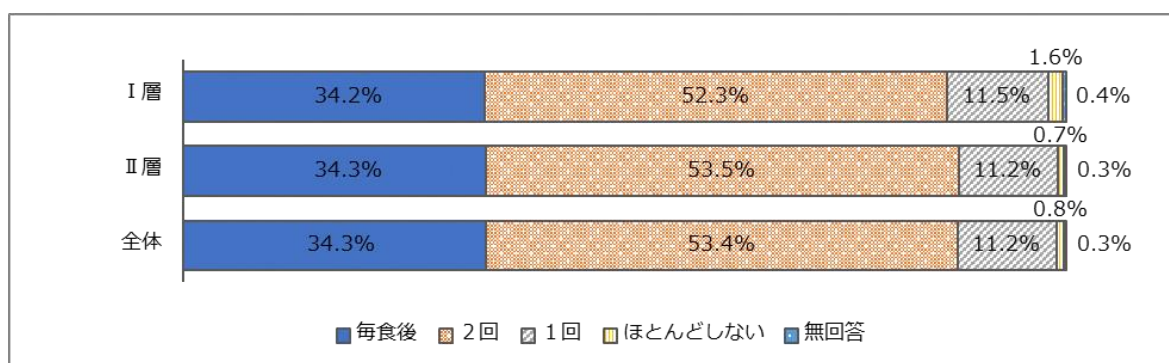


■17. あなたは、毎日どのくらい歯みがきをしますか。

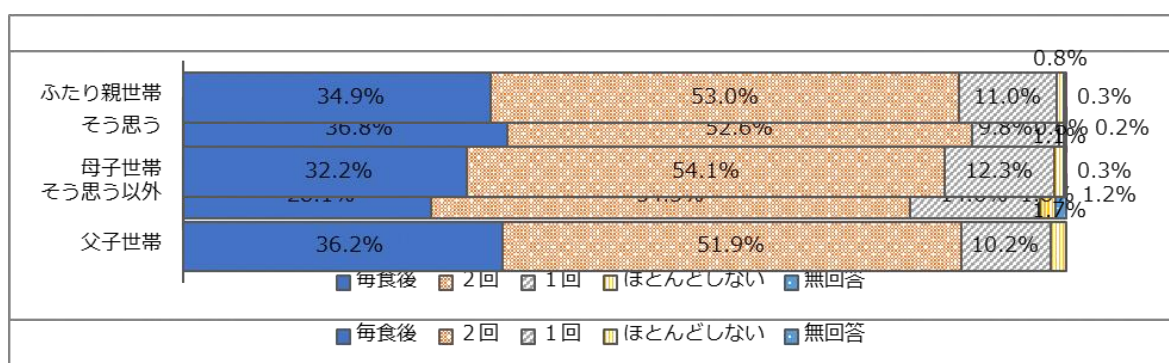
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別に顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「毎食後」の割合が低く、「2回」までを合わせた割合も低くなっており、「1回」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「毎食後」の割合が高く、「2回」までを合わせた割合も高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



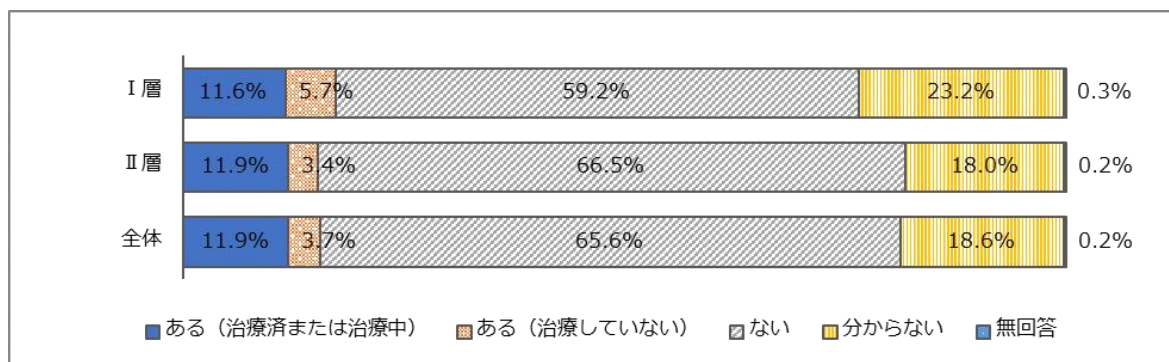
<自己実現の意識別（全世帯）>

■18. あなたには、現在むし歯がありますか。

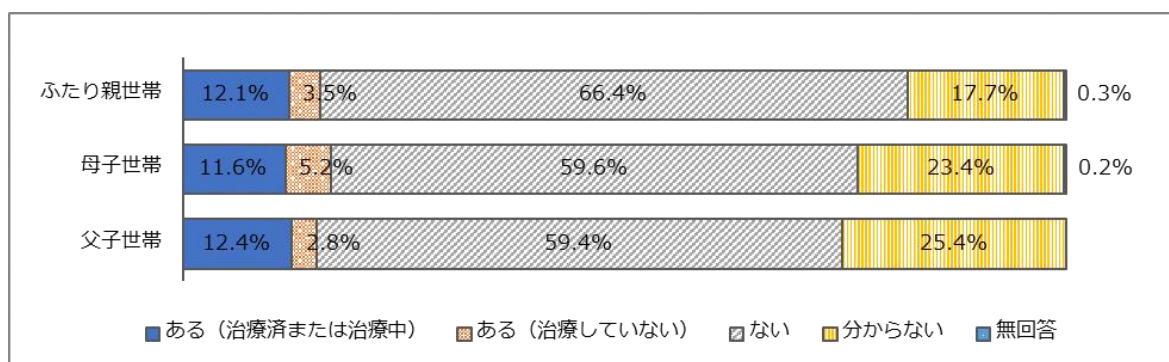
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ある（治療していない）」及び「分からない」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯と父子世帯で「ない」の割合が低く、「分からない」の割合が高くなっており、母子世帯については「ある（治療していない）」の割合も高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「ない」の割合が高くなっており、「そう思う以外」層では「分からない」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっている。

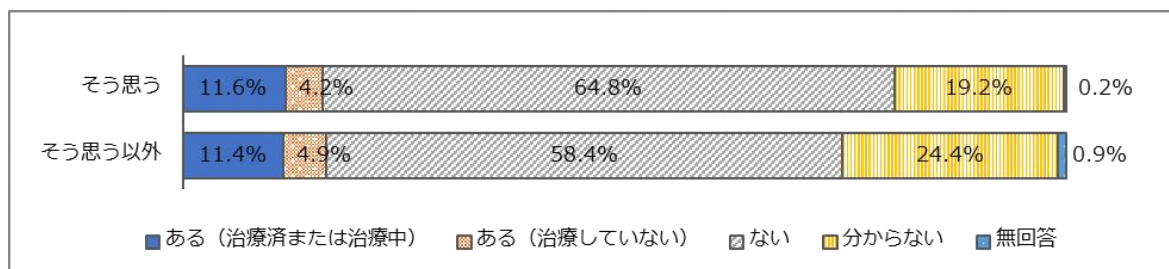
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

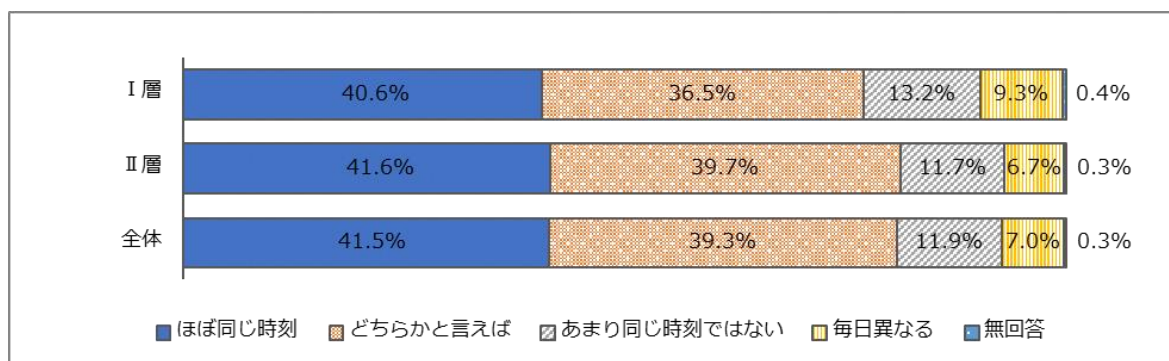


■19. あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に寝ていますか。

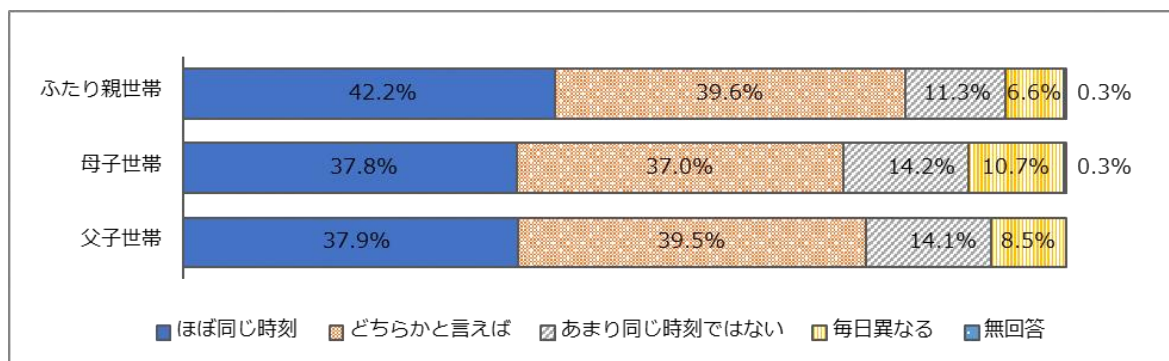
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ同じ時刻」、「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」を合わせた割合が低く、「あまり同じ時刻に寝ていない」、「毎日異なる」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で上記Ⅰ層と同じ傾向が見られる。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

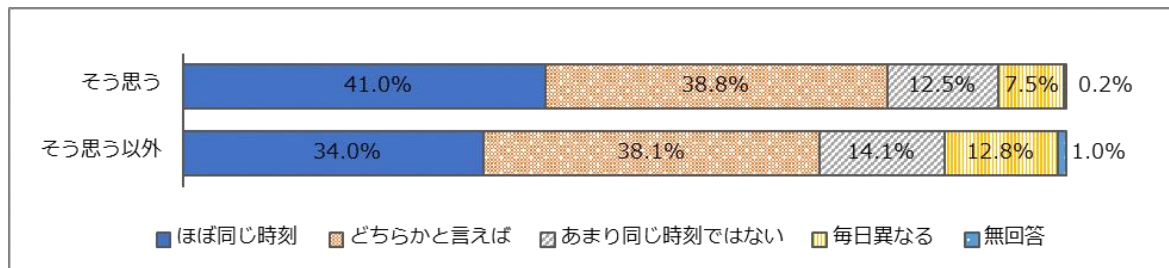
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

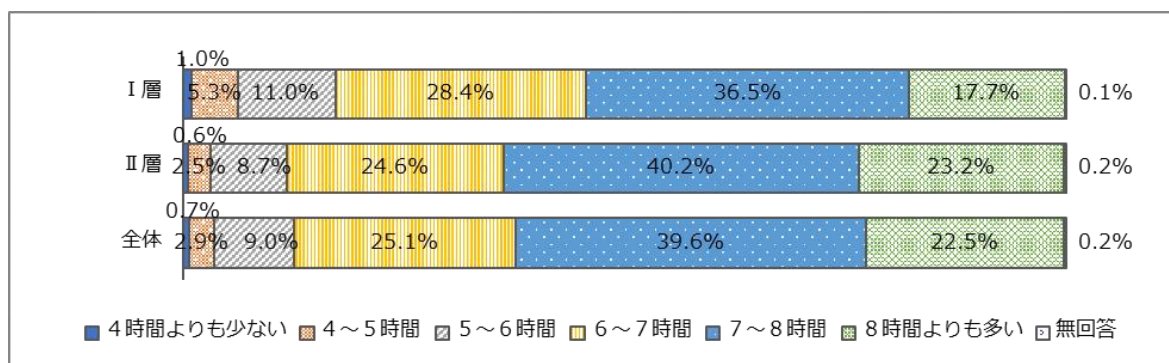


■20. あなたは、平日(月～金曜日)は、平均して何時間くらい寝ていますか。

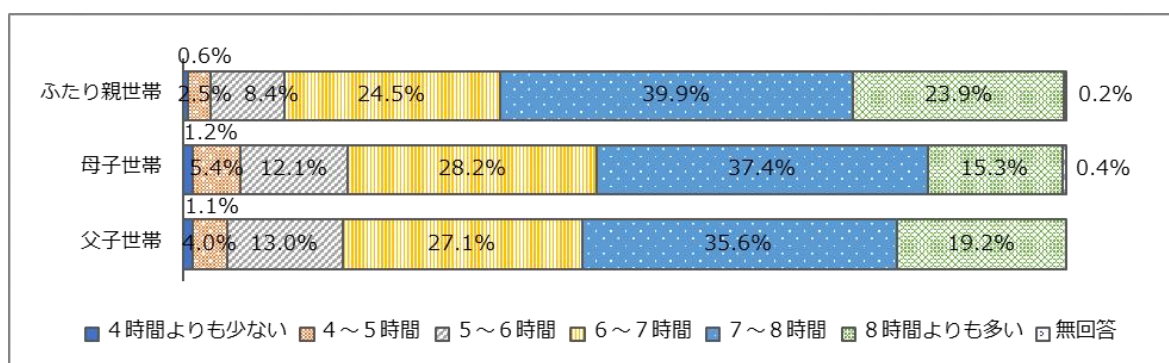
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「4時間よりも少ない」～「6～7時間」を合わせた割合が高く、「7～8時間」、「8時間よりも多い」を合わせた割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯及び父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で上記経済状況別Ⅰ層と同じ傾向が見られる。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

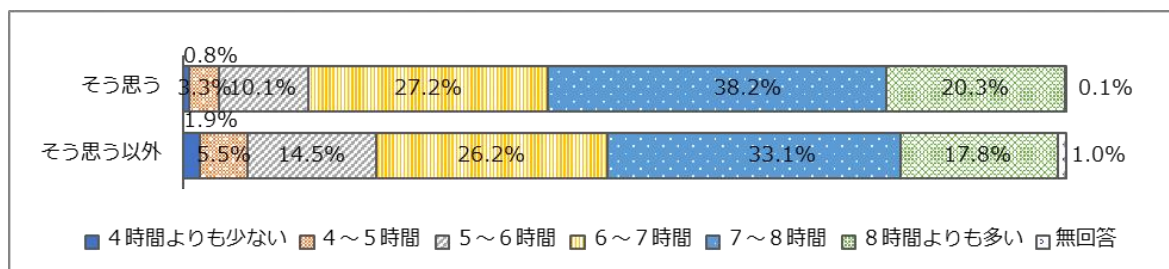
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

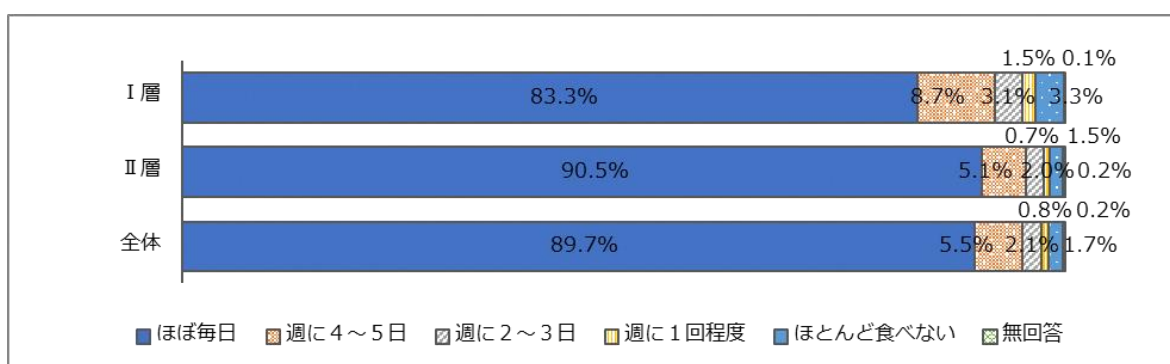


■21. あなたは、週にどのくらい朝食を食べますか。

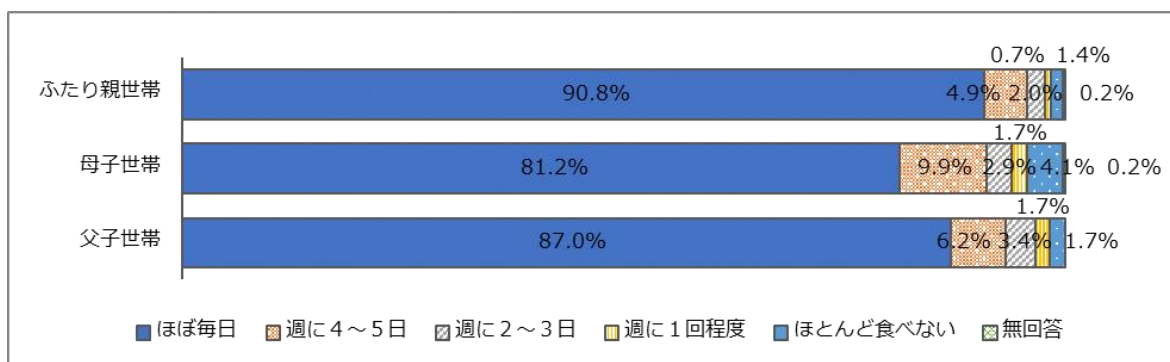
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ毎日」、「週に4～5日」を合わせた割合が低く、食べる頻度が低い割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。特に母子世帯で「週に4～5日」～「ほとんど食べない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。また、「そう思う以外」層で「ほとんど食べない」の割合が高くなっており、母子世帯においても同様の傾向であった。

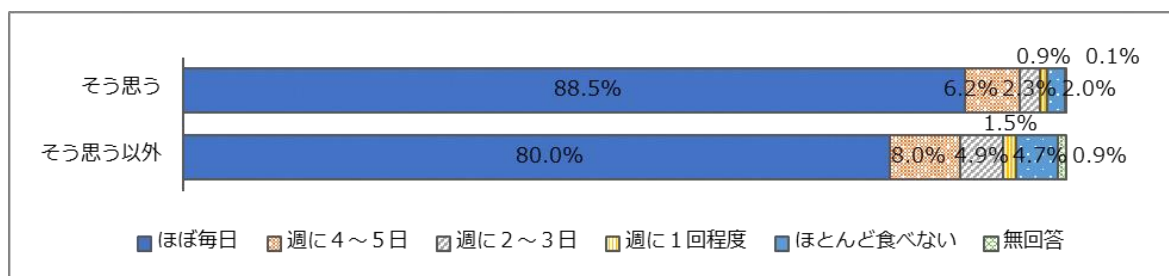
<経済状況別>



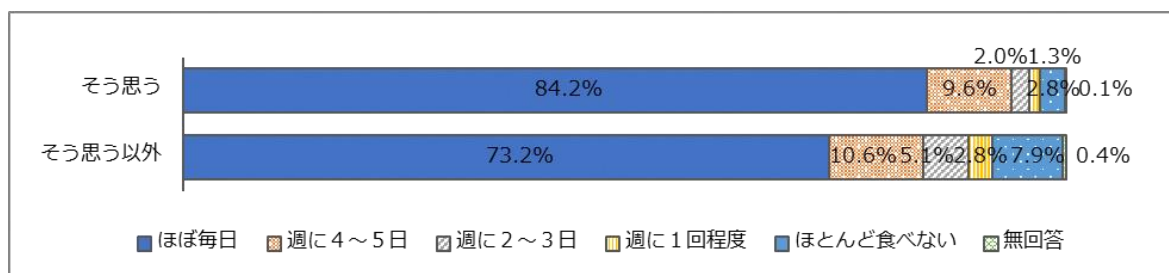
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

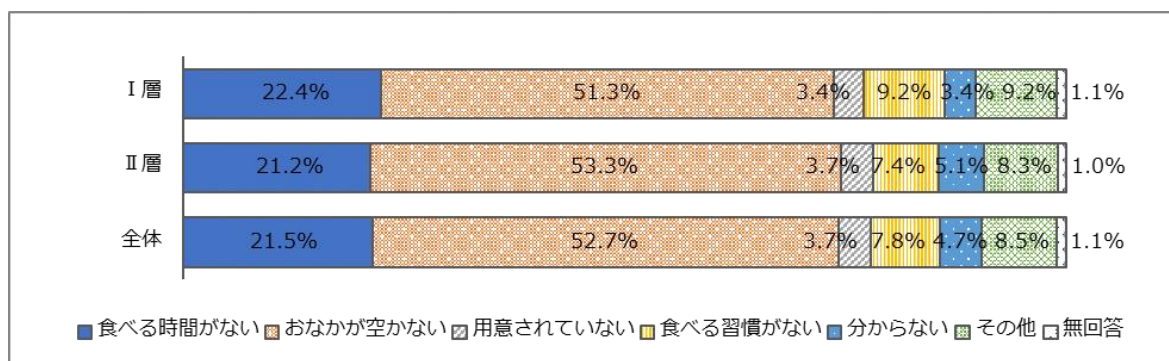


■21-2. あなたが朝食を食べない理由を教えてください。

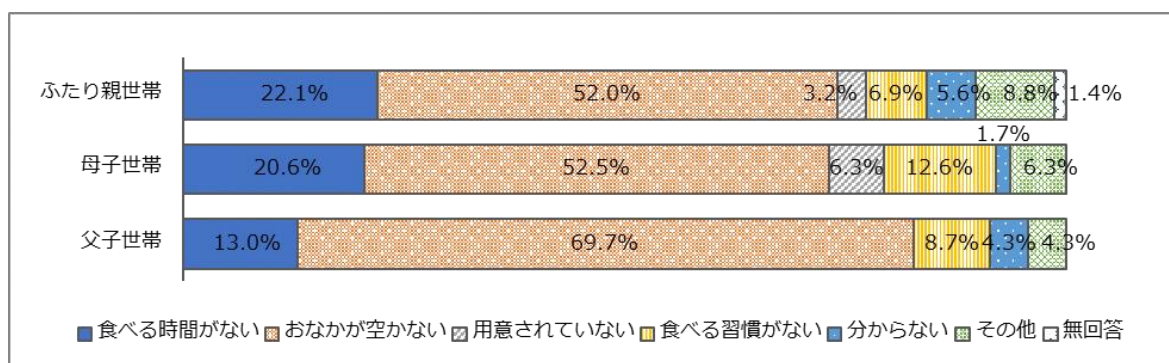
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別に顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「食べる時間がない」、「おなかが空かない」の割合が高いが、母子世帯において「食べる習慣がない」が1割強程度と割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「食べる時間がない」の割合が高く、「そう思う以外」層で「用意されていない」、「分からない」の割合が高くなっている。

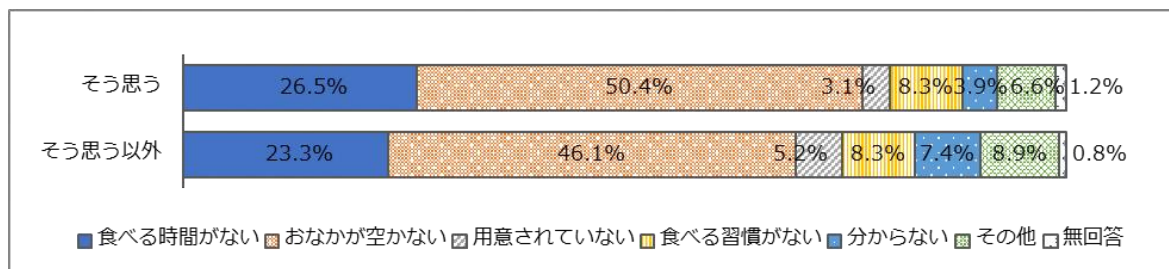
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

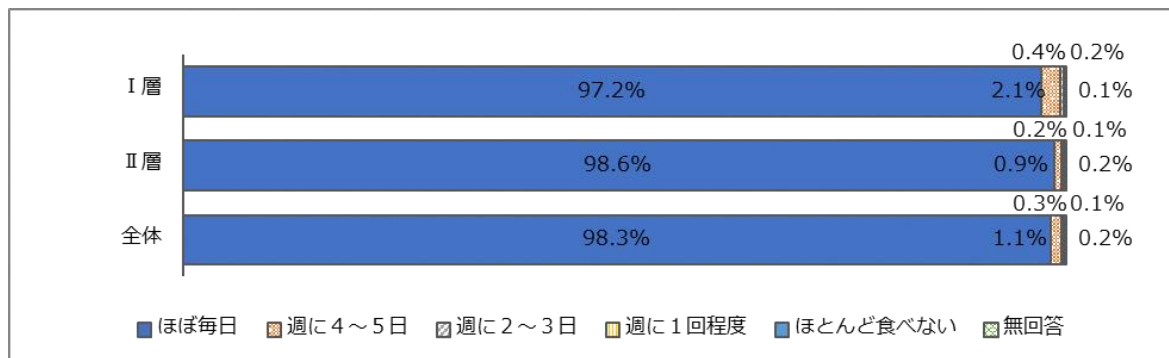


■22. あなたは、週にどのくらい夕食を食べますか。

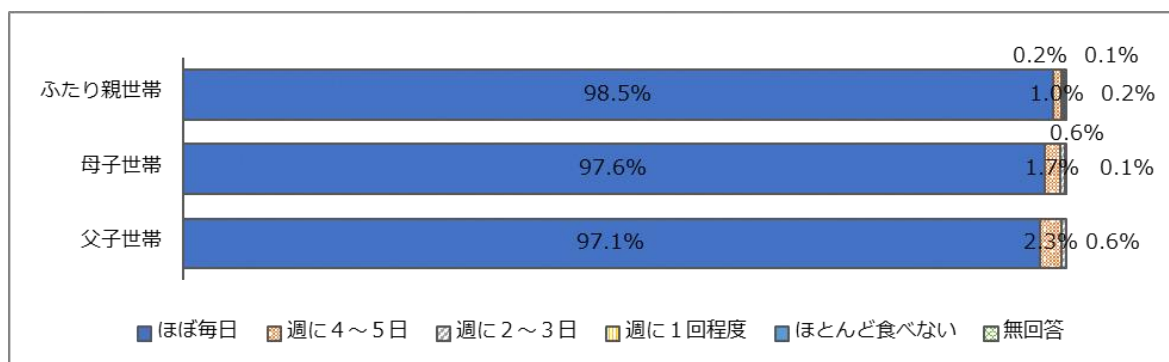
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別、世帯類型別及び全世帯において自己実現の意識別のいずれも顕著な差は見られなかった。

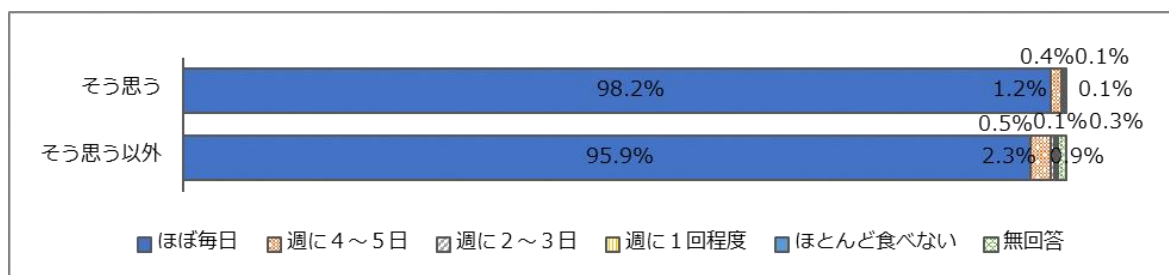
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

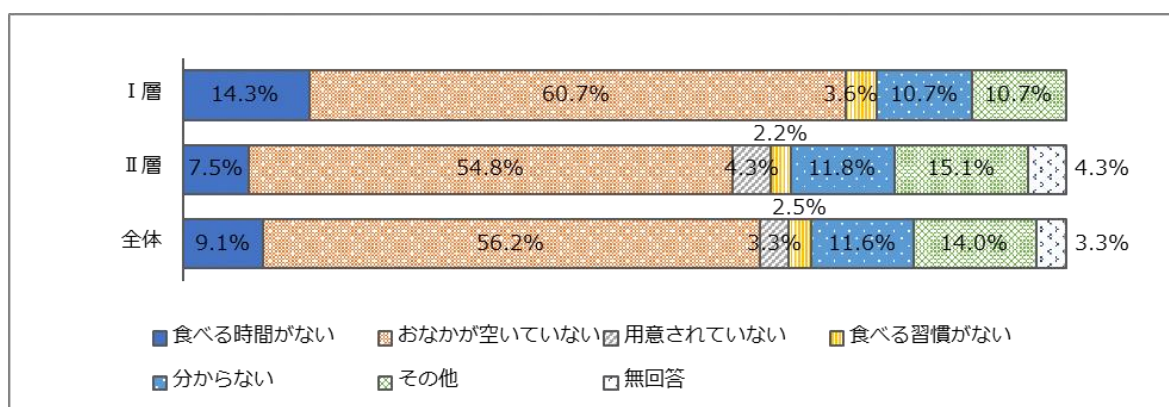


■22-2. あなたが夕食を食べない理由を教えてください。

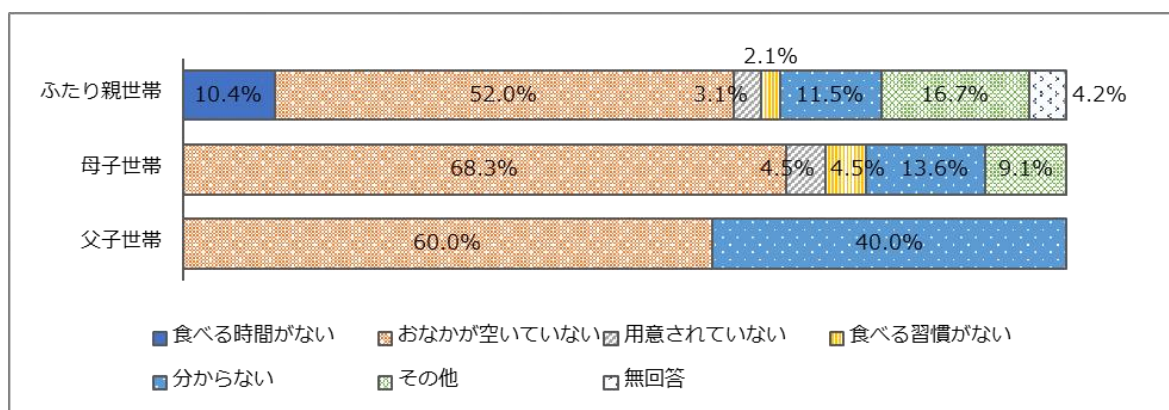
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「食べる時間がない」、「おなかが空いていない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「おなかが空いていない」の割合が高くなっている。また、母子世帯で「用意されていない」、「食べる習慣がない」の割合が高く、父子世帯では「分からない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「食べる時間がない」の割合が高く、「そう思う以外」層で「分からない」の割合が高くなっている。

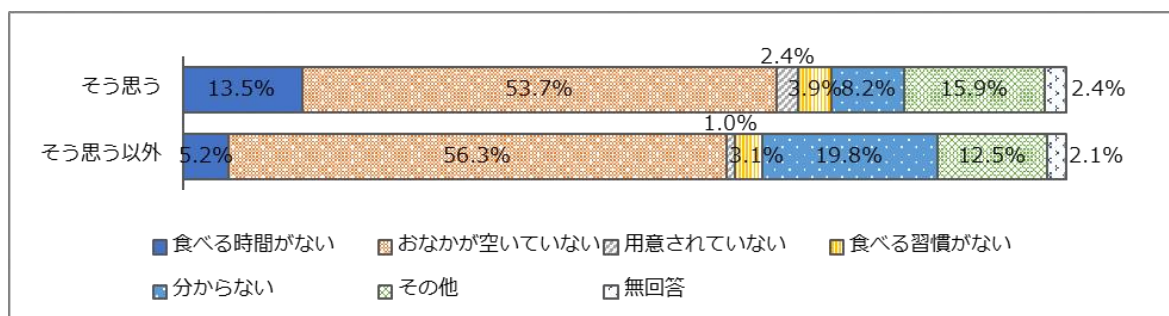
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>

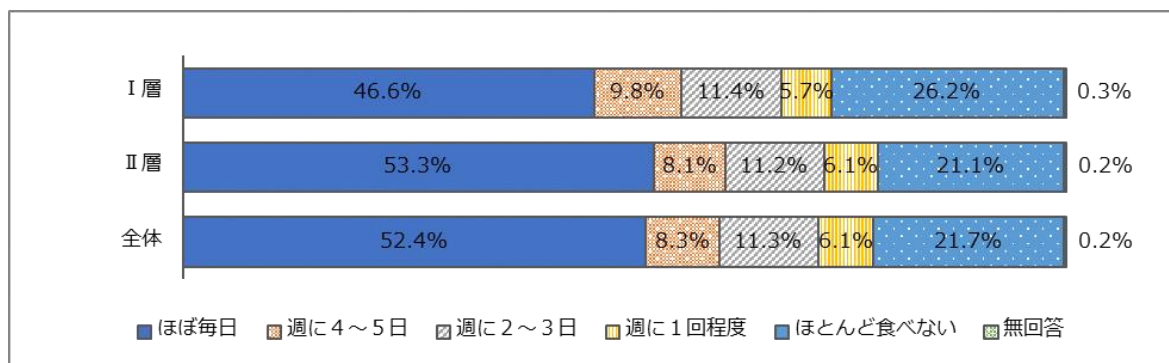


■23. あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に朝食を食べますか。

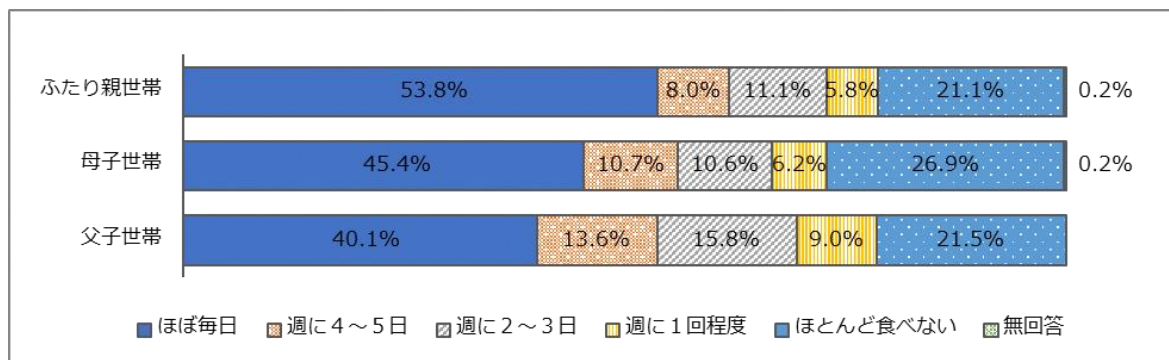
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ毎日」の割合が低く、「ほとんど食べない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほぼ毎日」の割合が低く、特に母子世帯では「ほとんど食べない」の割合が高く、保護者と一緒に朝食を摂る頻度が低くなっている。
- ・ 全世帯において保護者と一緒に朝食を食べる頻度と自己実現の意識の関係性に注目すると、保護者との朝食の摂取頻度が高いほど、子どもの自己実現の意識が高くなっており、母子世帯においても同様であった。

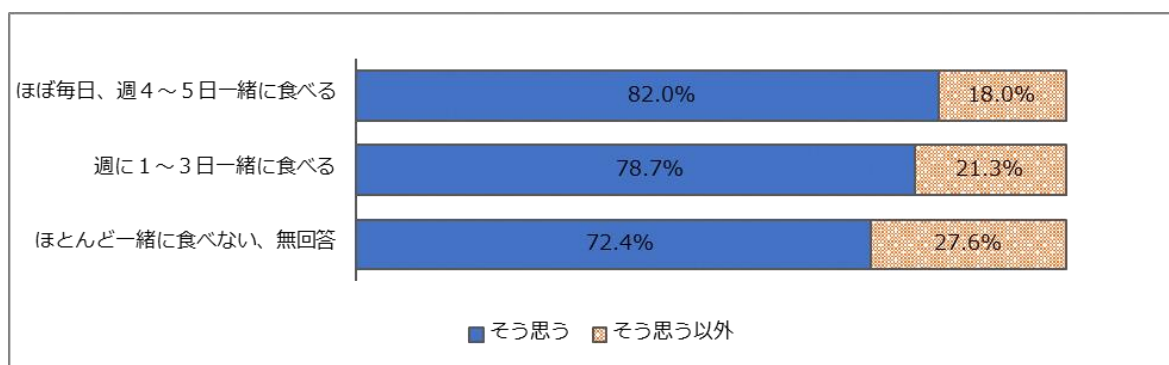
<経済状況別>



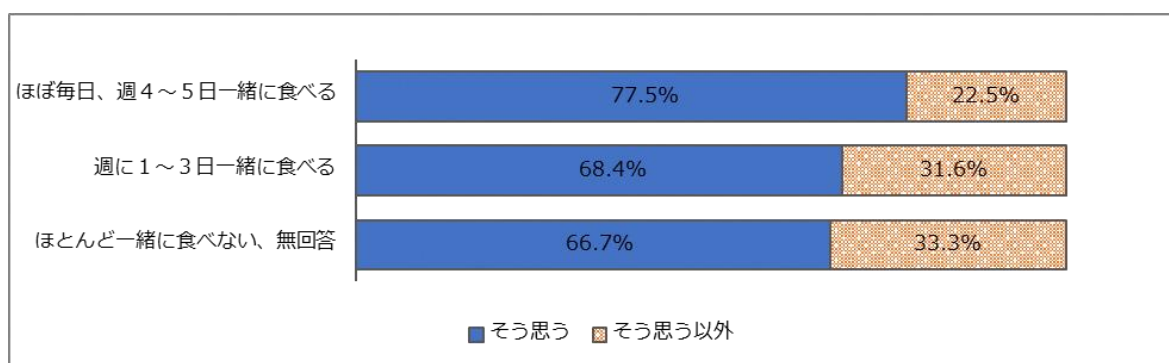
<世帯類型別>



<保護者と一緒に朝食を食べる頻度と子どもの自己実現の意識の関係性（全世帯）>



<保護者と一緒に朝食を食べる頻度と子どもの自己実現の意識の関係性（母子世帯）>

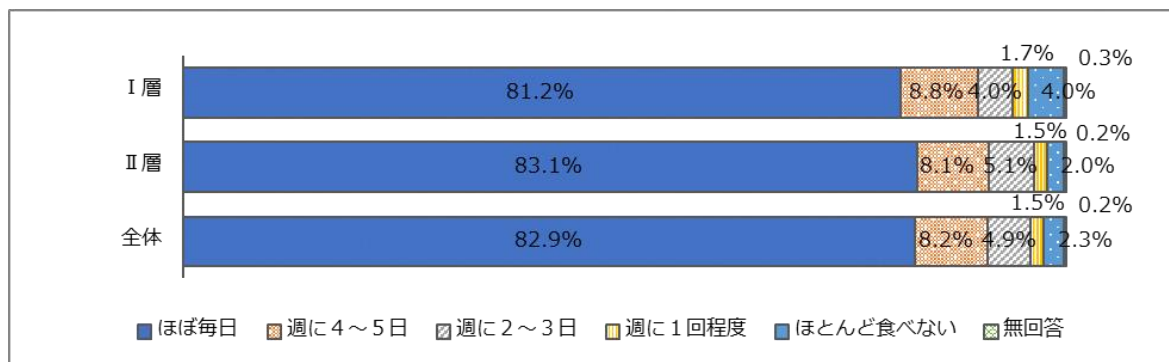


■24. あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に夕食を食べますか。

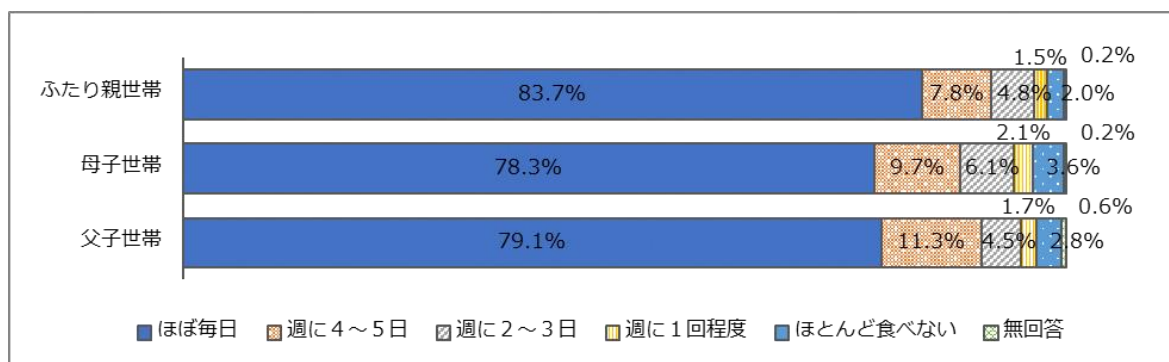
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別では、各項目において顕著な差はみられなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において保護者と一緒に夕食を食べる頻度と子どもの自己実現の意識の関係性に着目すると、保護者との夕食の摂取頻度が高いほど、子どもの自己実現の意識が高くなっており、母子世帯においても同様であった。

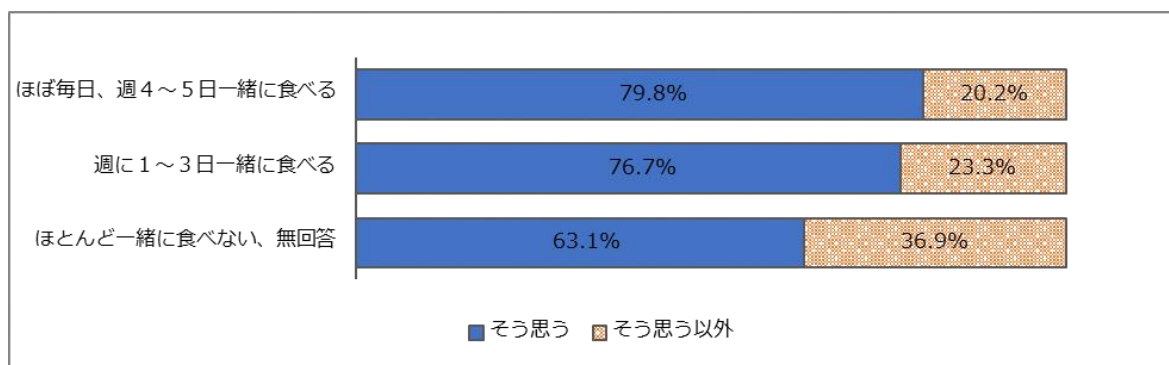
<経済状況別>



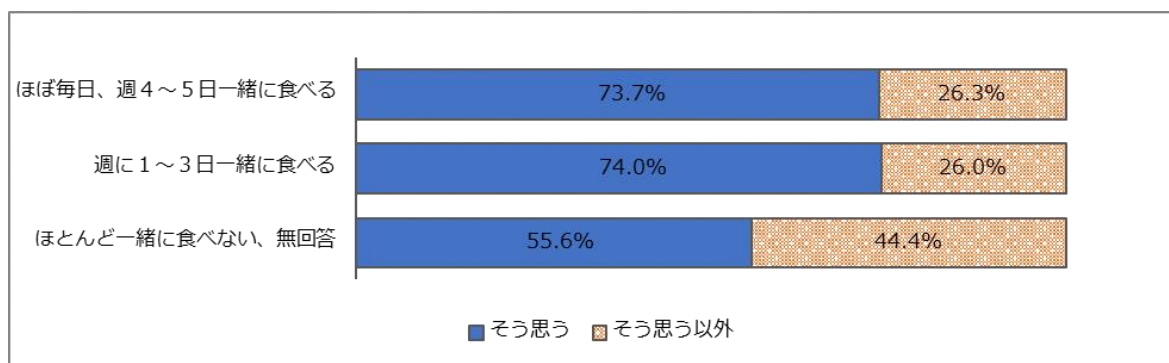
<世帯類型別>



<保護者と一緒に夕食を食べる頻度と子どもの自己実現の意識の関係性（全世帯）>



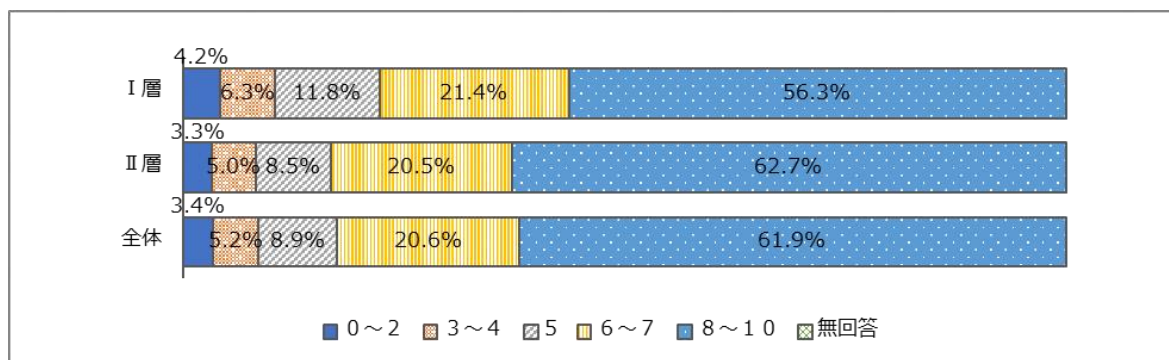
<保護者と一緒に夕食を食べる頻度と子どもの自己実現の意識の関係性（母子世帯）>



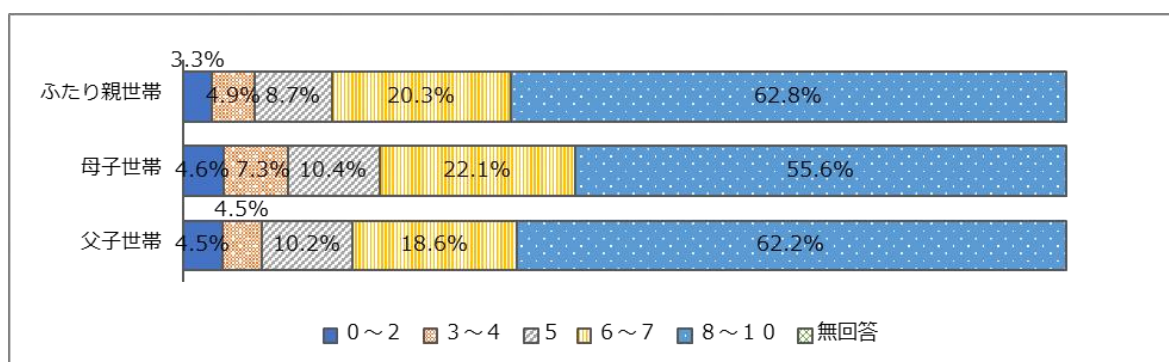
■28. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「8～10」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。
- ・ 全世帯及び母子世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

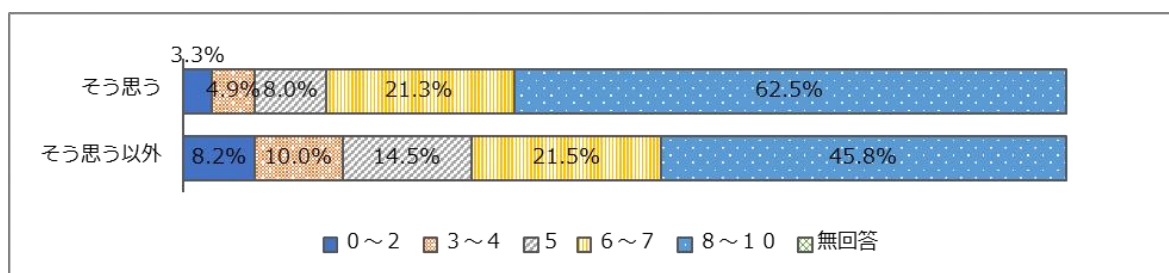
<経済状況別>



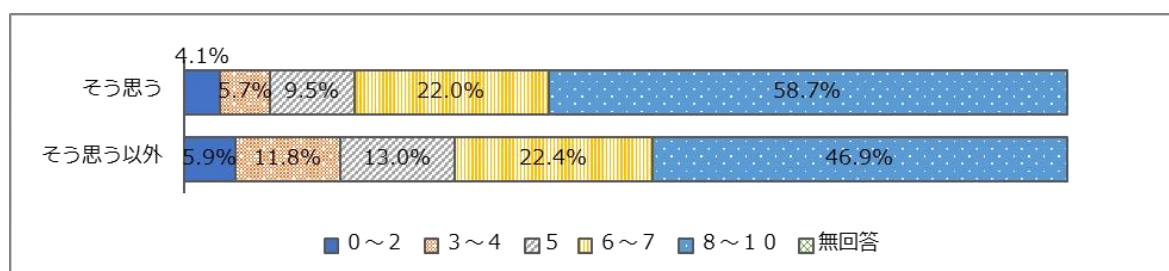
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



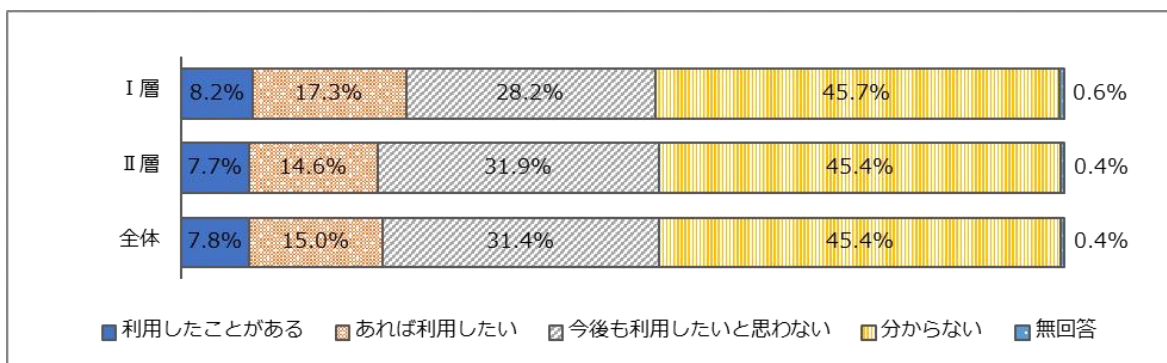
30. あなたは、次の a～c のような場所を利用したことがありますか。

■30－a. (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

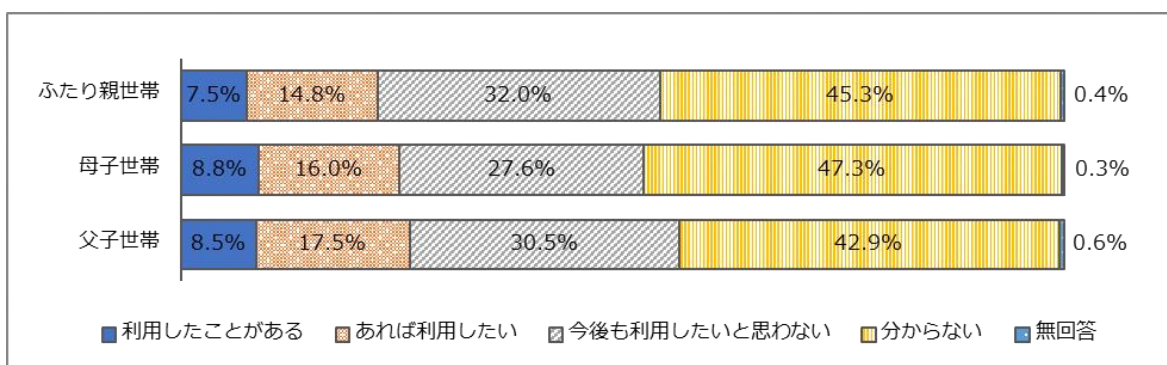
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「あれば利用したい」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「今後も利用したいと思わない」の割合が低く、「分からない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「あれば利用したい」の割合が高くなっているが、母子世帯において顕著な差はみられなかった。

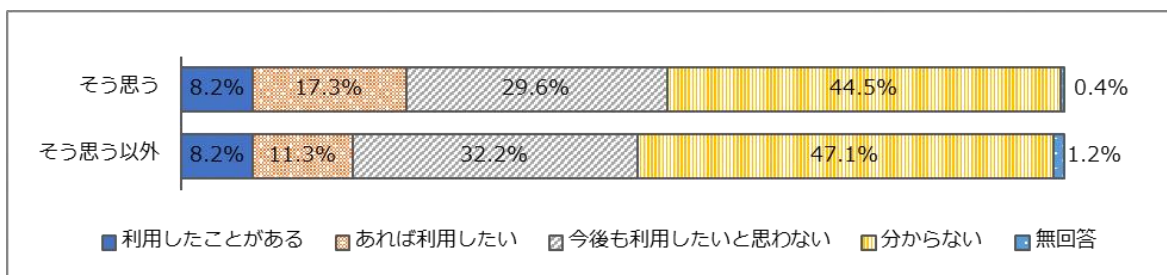
<経済状況別>



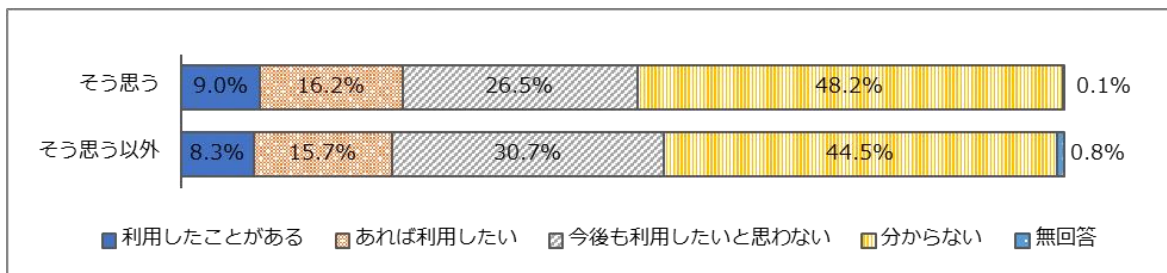
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

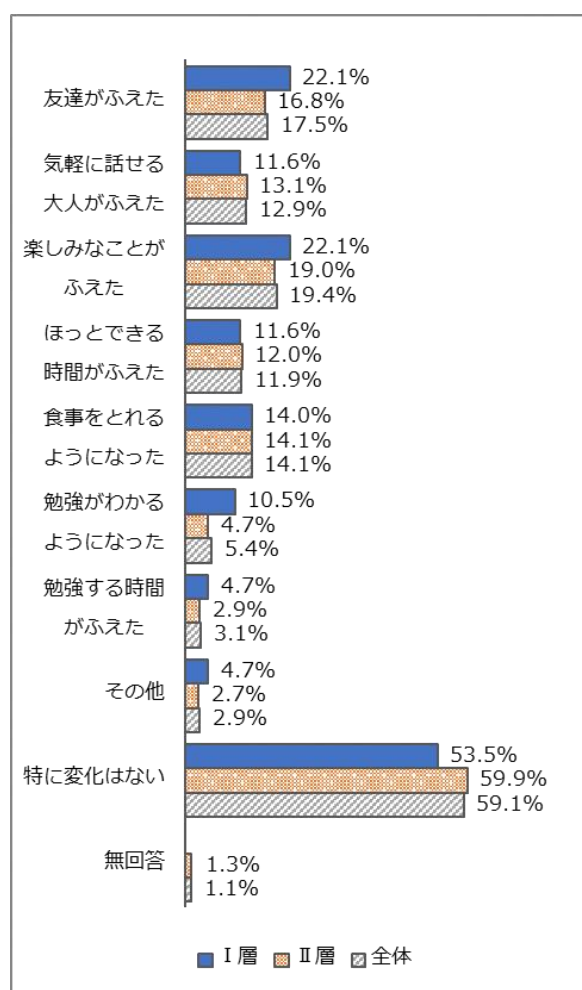


■30－a－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

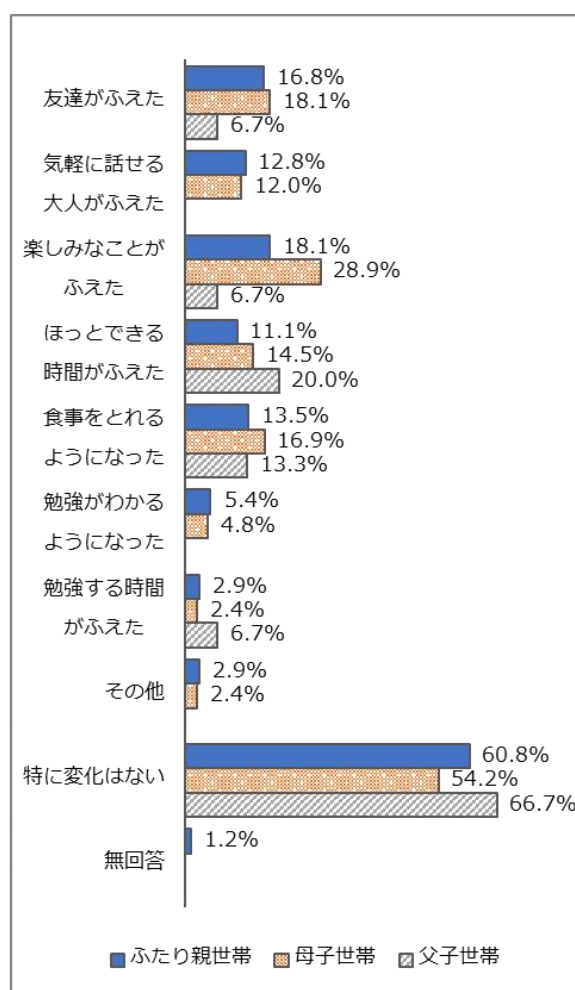
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で特に「勉強がわかるようになった」の割合が高く、「友達がふえた」、「楽しみなことがふえた」の割合も高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「楽しみなことがふえた」、「食事がとれるようになった」の割合が高く、父子世帯では「ほっとできる時間がふえた」、「勉強する時間がふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層では「その他」、「特に変化はない」以外の全ての項目において「そう思う以外」層の割合より高くなっている。また、母子世帯でも同じ傾向が見られる。

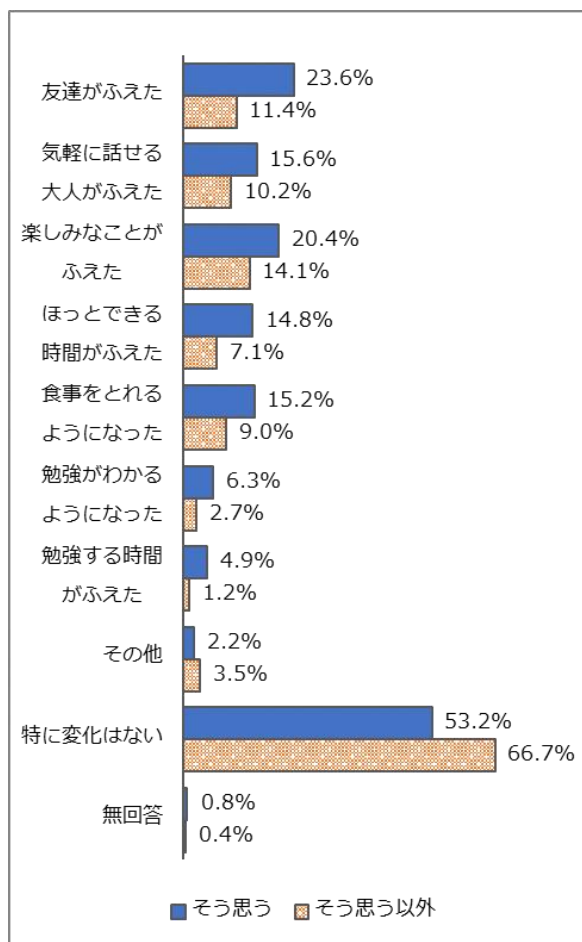
<経済状況別>



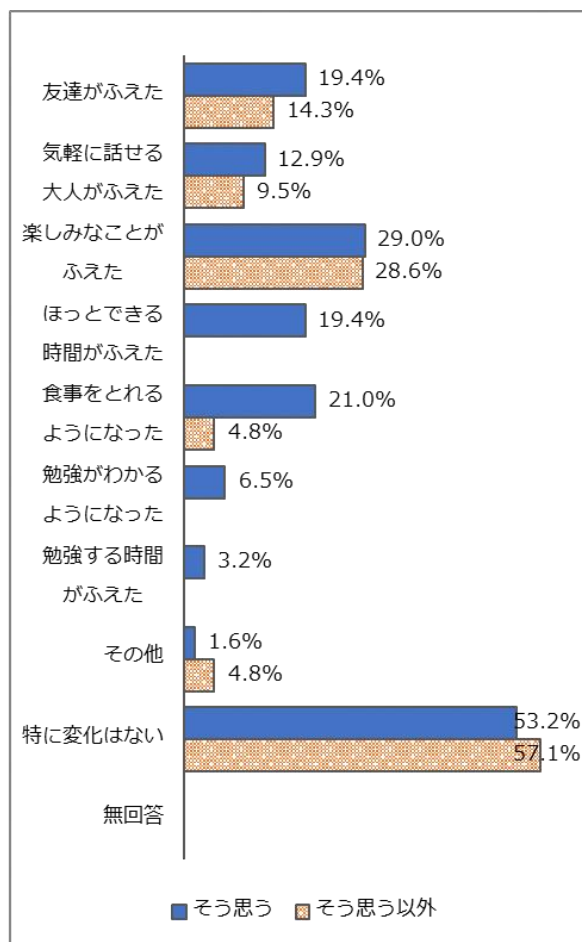
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

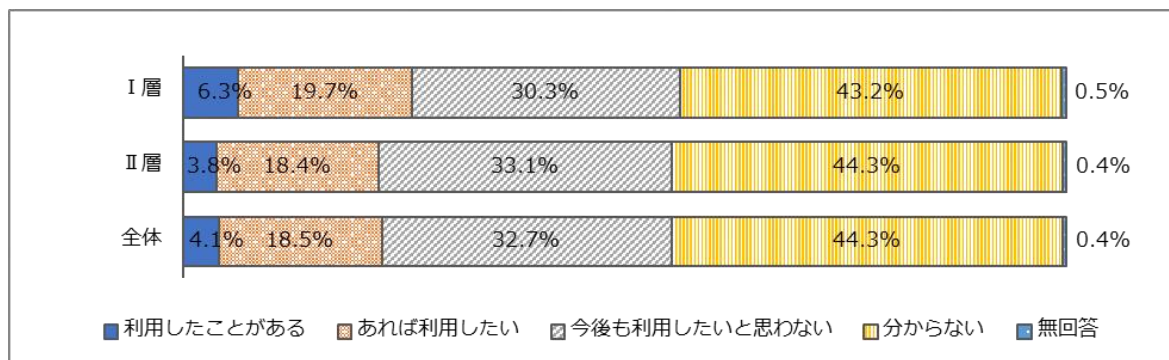


■30－b.勉強を無料でみてくれる場所

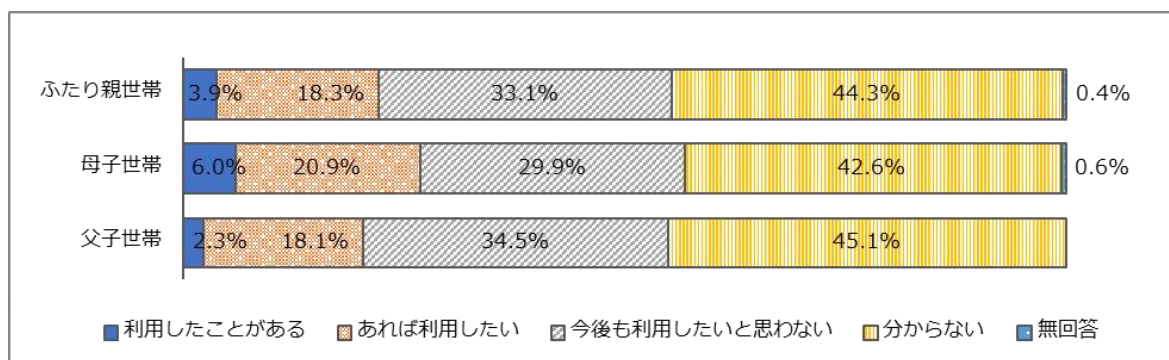
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「利用したことがある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「利用したことがある」、「あれば利用したい」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「あれば利用したい」の割合が高くなっている。また、母子世帯でも同じ傾向が見られる。

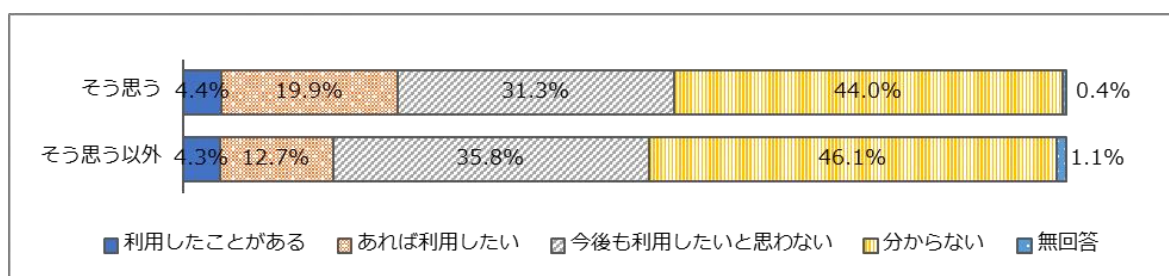
<経済状況別>



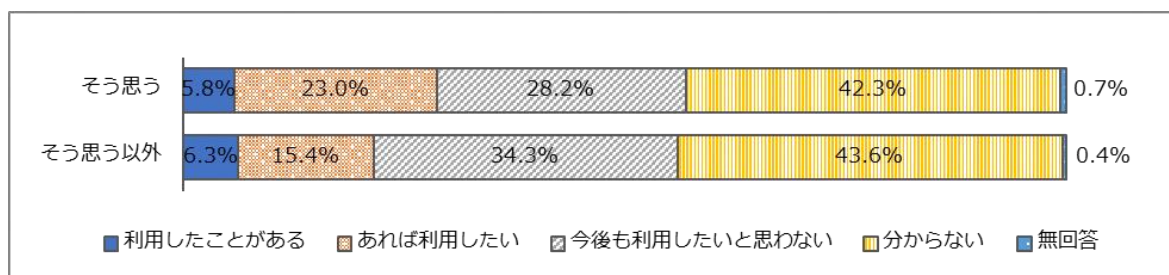
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

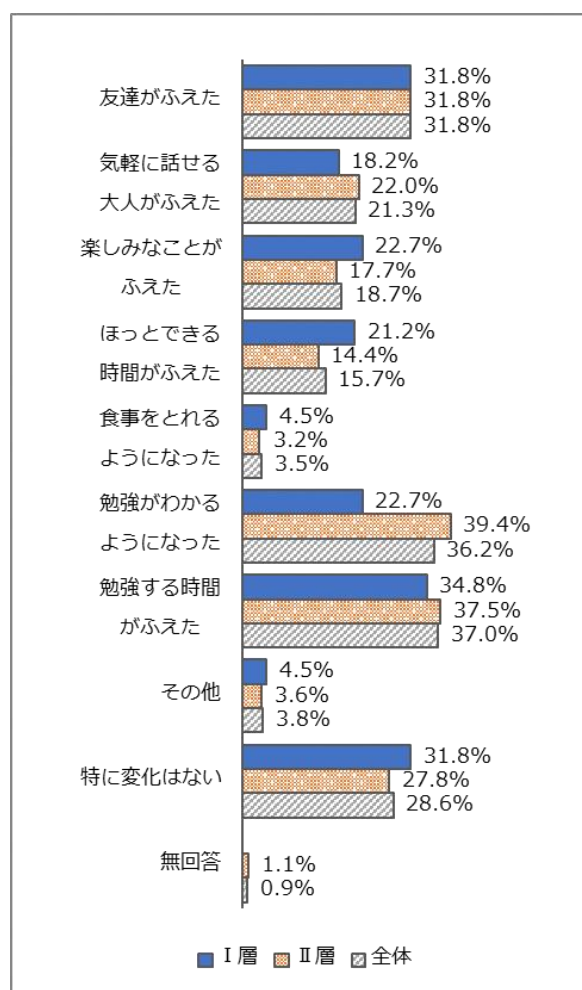


■30－b－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

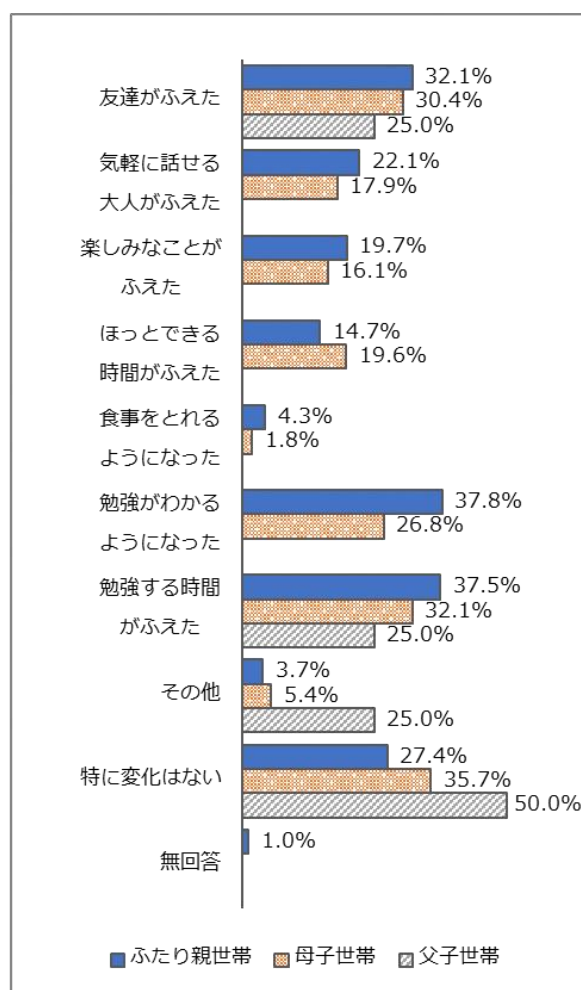
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「楽しみなことがふえた」、「ほっとできる時間がふえた」、の割合が高く、Ⅱ層で「勉強がわかるようになった」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯で「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間がふえた」、「友達がふえた」の割合が高く、母子世帯では「特に変化はない」、「勉強する時間がふえた」、「友達がふえた」の割合が高く、父子世帯で「特に変化はない」、「その他」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間がふえた」、「友達がふえた」の割合が高くなっている。また、「そう思う以外」層では「特に変化はない」、「勉強する時間がふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 母子世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「特に変化はない」、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間がふえた」の割合が高く、「そう思う以外」層で「友達がふえた」、「勉強する時間がふえた」、「特に変化はない」の割合が高くなっている。

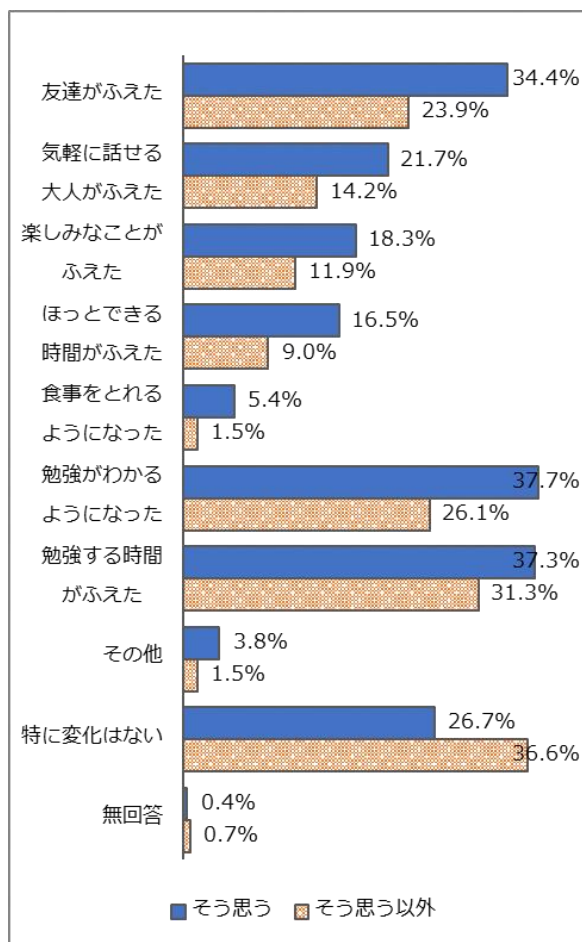
<経済状況別>



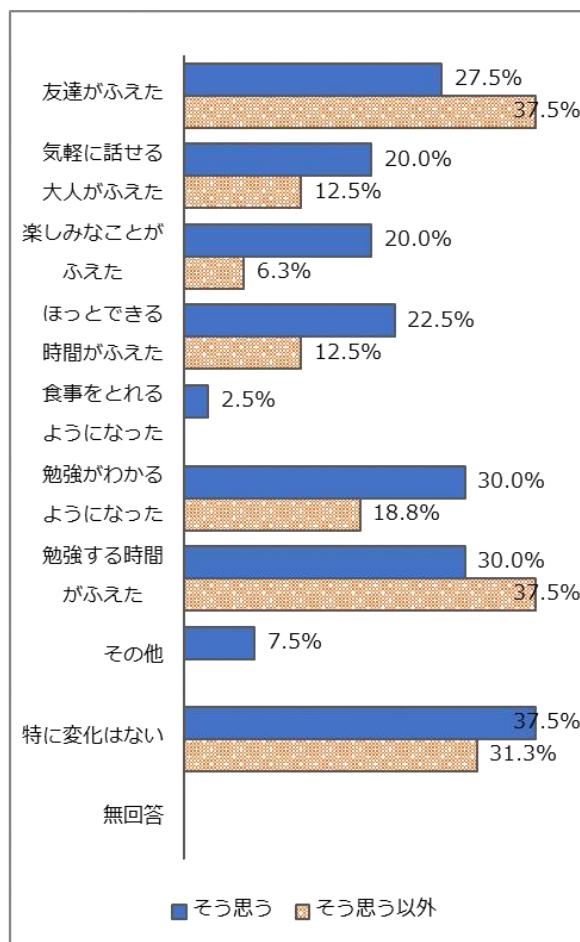
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

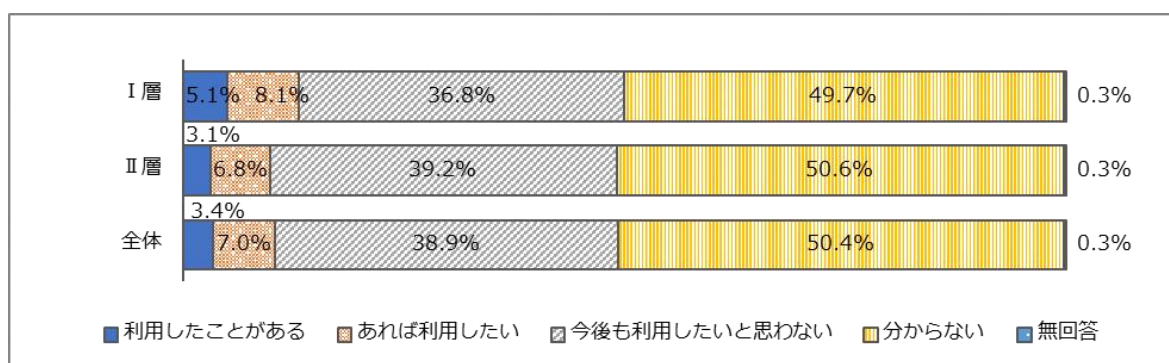


■30－c.（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

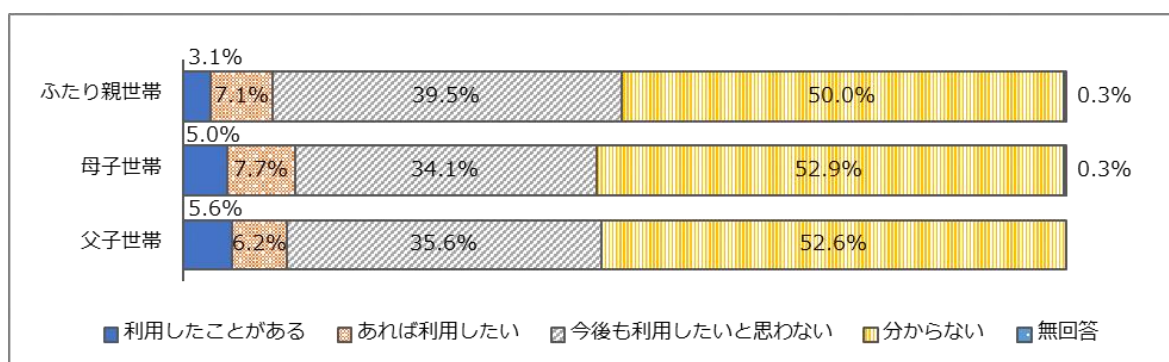
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「利用したことがある」と「あれば利用したい」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯で「今後も利用したいと思わない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別では、顕著な差はみられなかった。
- ・ 母子世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「分からない」の割合が高くなっている。

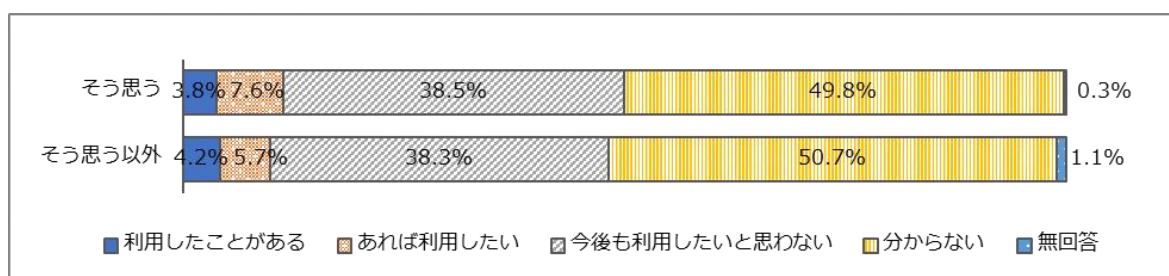
<経済状況別>



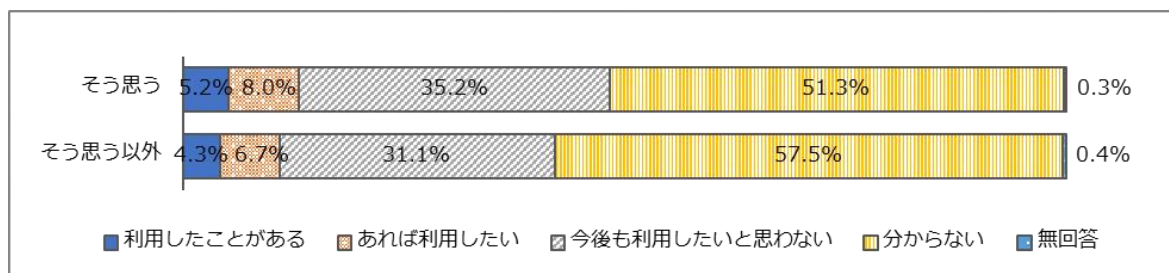
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>

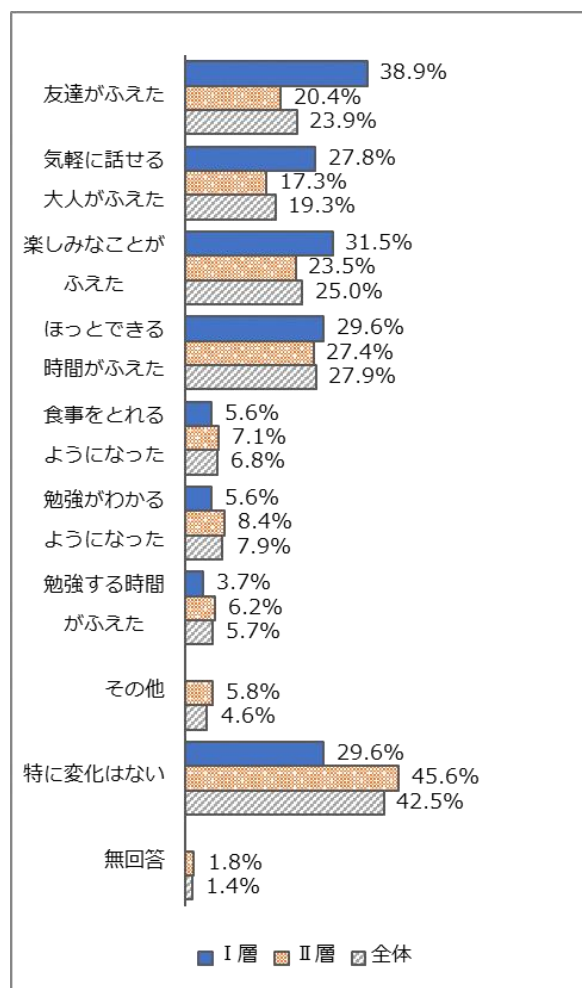


■30－c－2．利用したことで以下のような変化がありましたか。

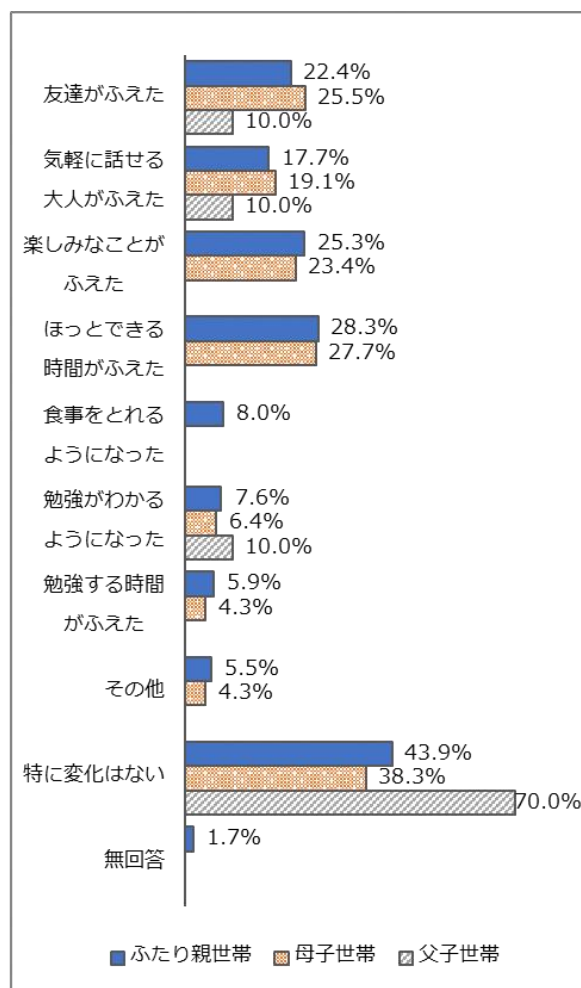
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「友達がふえた」、「楽しいことがふえた」、「ほっとできる時間がふえた」、「気軽に話せる大人がふえた」の割合が高くなっている。Ⅱ層で「特に変化はない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯、母子世帯、父子世帯いずれも「特に変化はない」の割合が高く、特に父子世帯では7割となっている。また、ふたり親世帯、母子世帯では「ほっとできる時間がふえた」、「友達がふえた」、「楽しいことがふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層、「そう思う以外」層いずれも「特に変化はない」の割合が高くなっているが、「そう思う」層では「友達がふえた」、「ほっとできる時間がふえた」が3割程度の割合となっている。
- ・ なお、母子世帯でも同じ傾向が見られる。

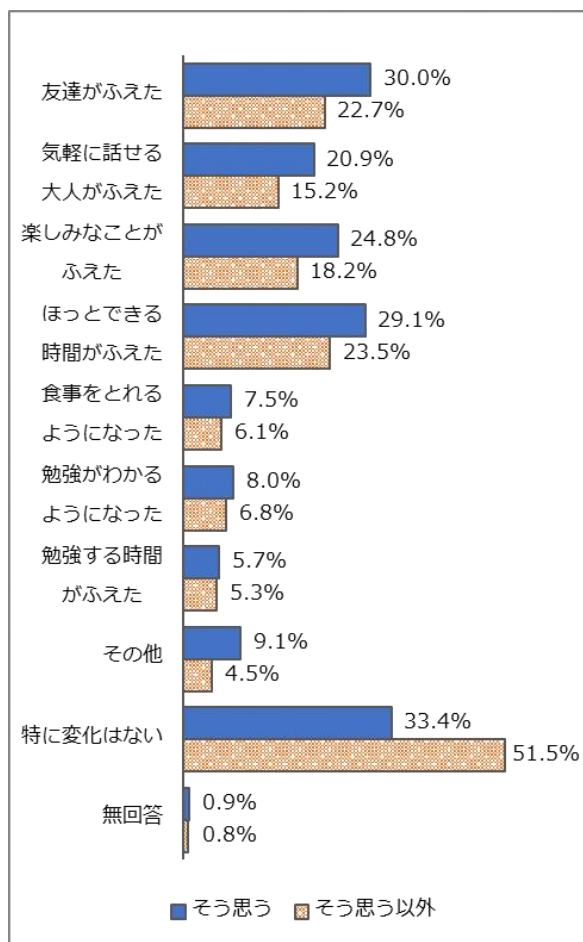
<経済状況別>



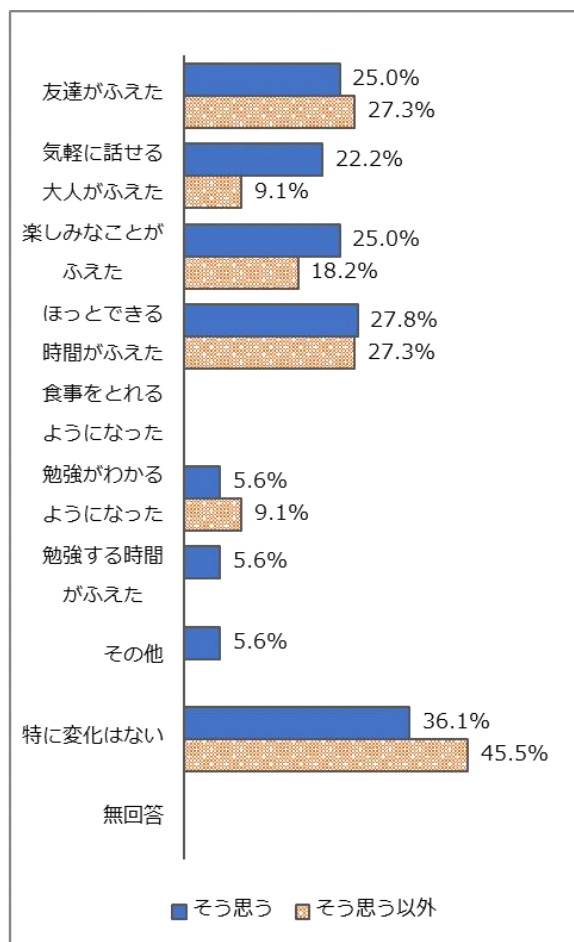
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



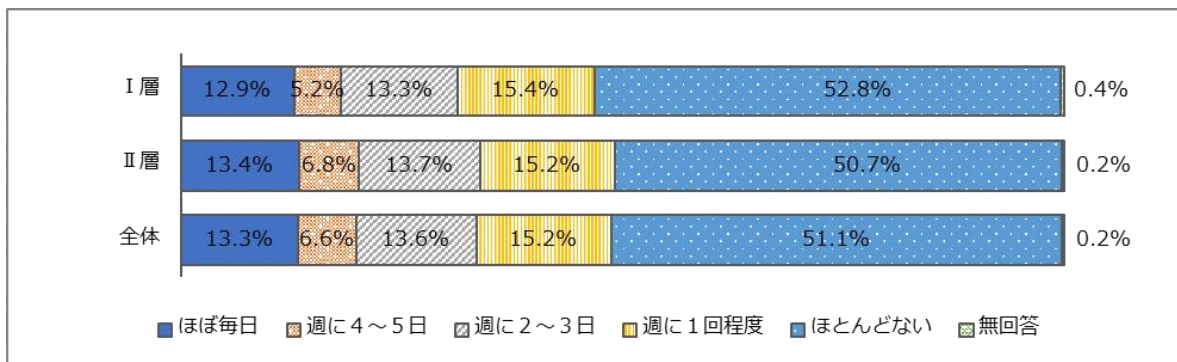
3. 教育環境

■ 2. あなたは、週にどのくらい保護者の方に宿題（勉強）を見てもらいますか。

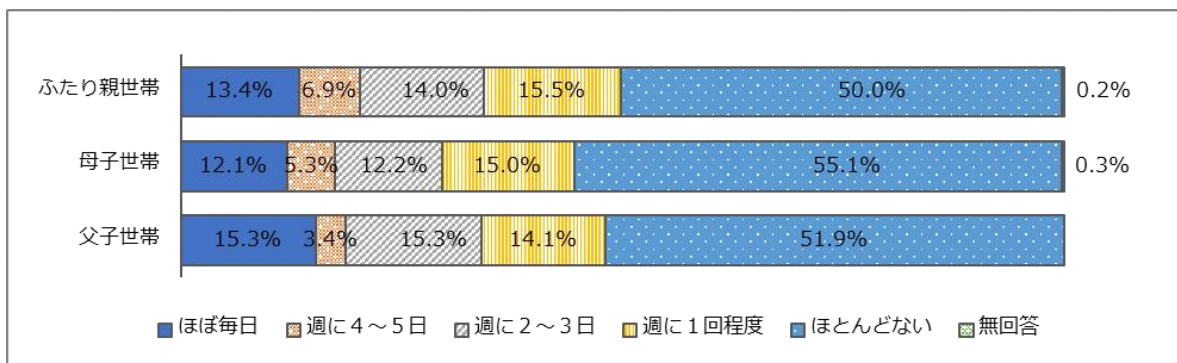
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別では、顕著な差はみられなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、父子世帯で「ほぼ毎日」の割合が高く、母子世帯では「ほとんどない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯の小学校5年生において、保護者が子どもの勉強を見る頻度と子どもの自己実現意識の関係性を見ると、保護者が子どもの勉強を見る頻度が高いほど、子どもの自己実現意識が高い傾向が見られる。

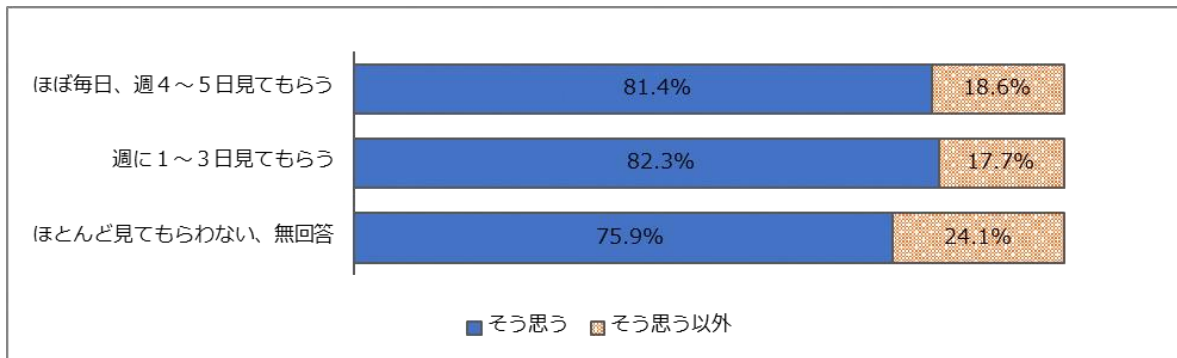
<経済状況別>



<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯の小学校5年生）>

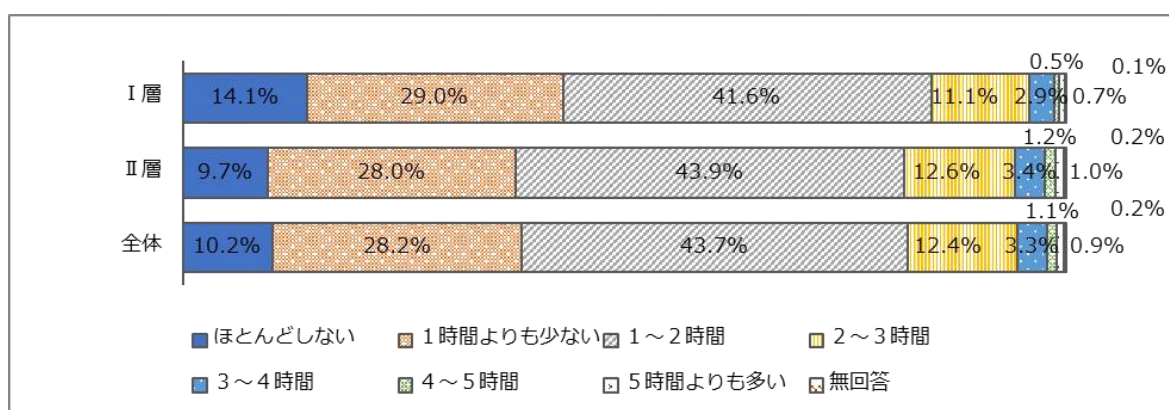


■ 3. あなたは、平日（月～金曜日）は、学校の授業以外にどのくらい勉強しますか。

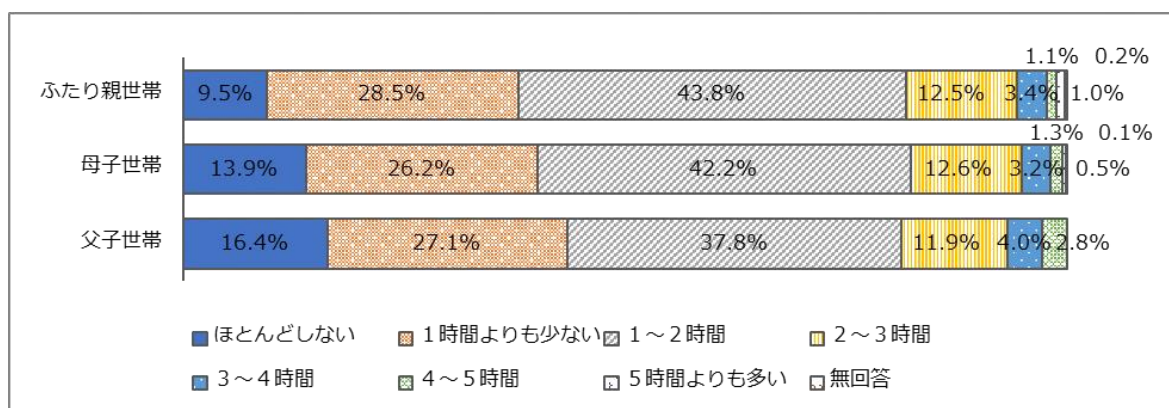
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんどしない」、「1時間よりも少ない」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ほとんどしない」、「1時間よりも少ない」を合わせた割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られ、母子世帯においても同様であった。
- ・ 全世帯において規則的な起床習慣別で差が大きい項目に着目すると、「不規則」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

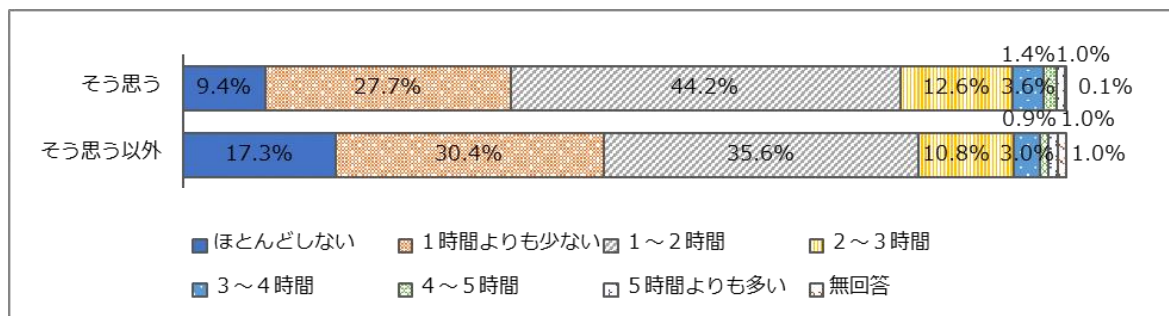
<経済状況別>



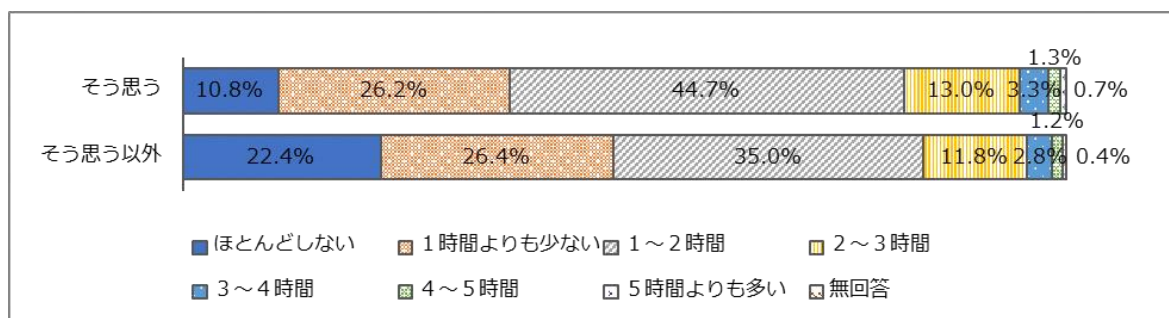
<世帯類型別>



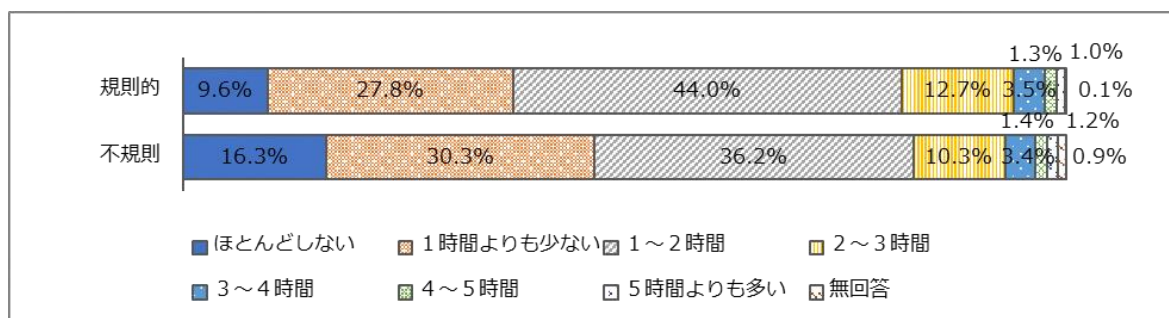
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<規則的な就寝習慣別（全世帯）※>



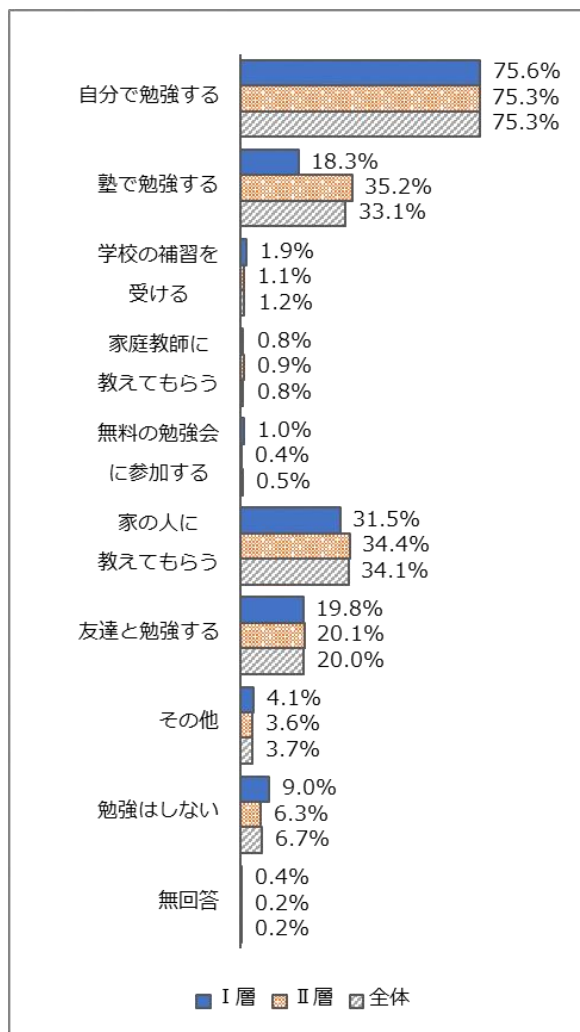
※ 調査票（子ども）「19. 平日は、ほぼ同じ時刻に寝ているか」について、「ほぼ同じ時刻に寝ている」と「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」の回答者を『規則的』に分類し、それ以外の回答者を『不規則』に分類（以下、同じ）。

■ 4. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

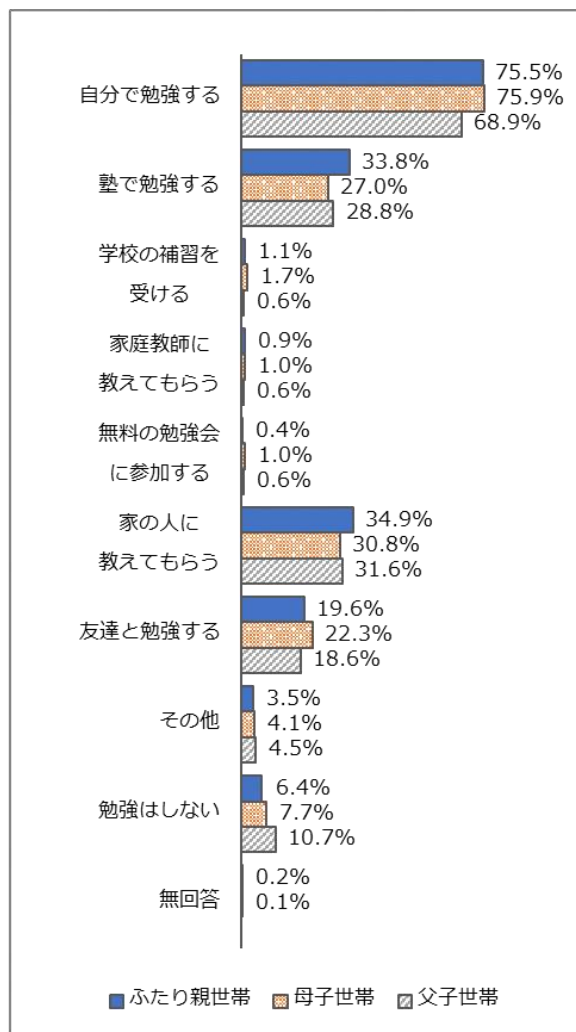
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「塾で勉強する」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯では「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」の割合が高く、母子世帯では「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」の割合が低くなっている。なお、父子世帯については「自分で勉強する」の割合も低く、「勉強はしない」の割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

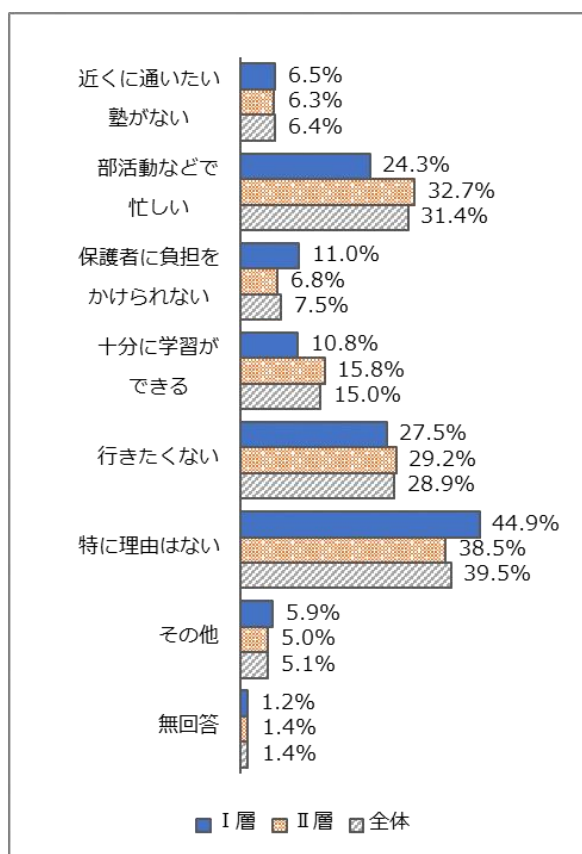


■ 4－2. 塾に通っていない理由を教えてください。

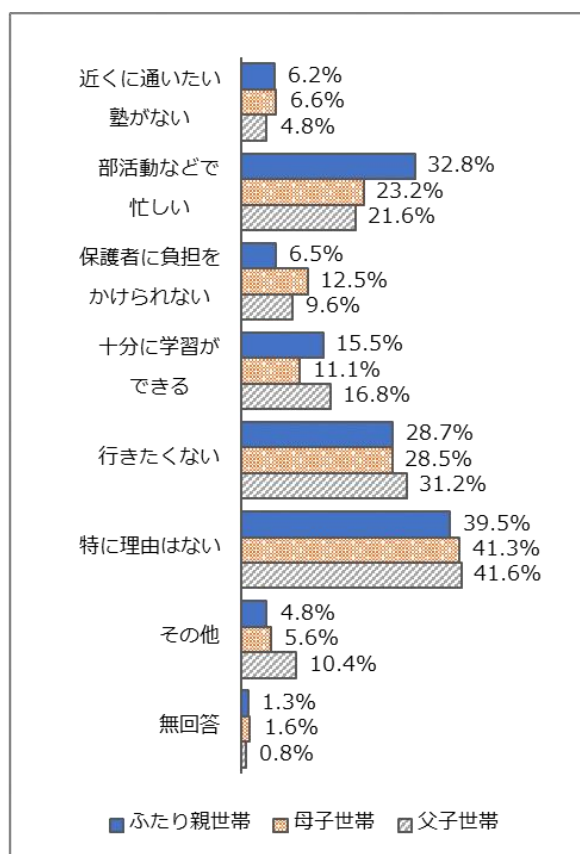
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「保護者に負担をかけられない」、「特に理由はない」の割合が高く、Ⅱ層で「部活などで忙しい」、「十分学習ができる」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「保護者に負担をかけられない」の割合が高く、ふたり親世帯で「部活などで忙しい」、「十分学習ができる」の割合が高くなっており、それぞれ上記経済状況別のⅠ層とⅡ層と同じ傾向が見られる。

<経済状況別>



<世帯類型別>

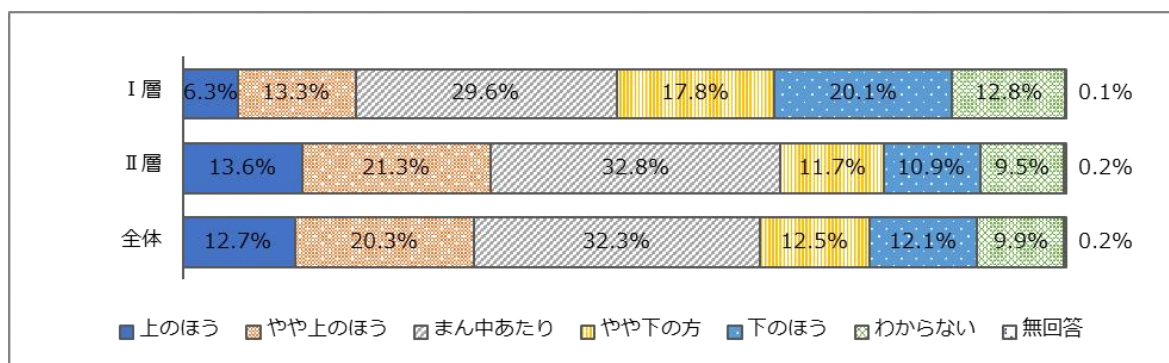


■ 5. あなたの成績はクラスの中でどのくらいだと思いますか。

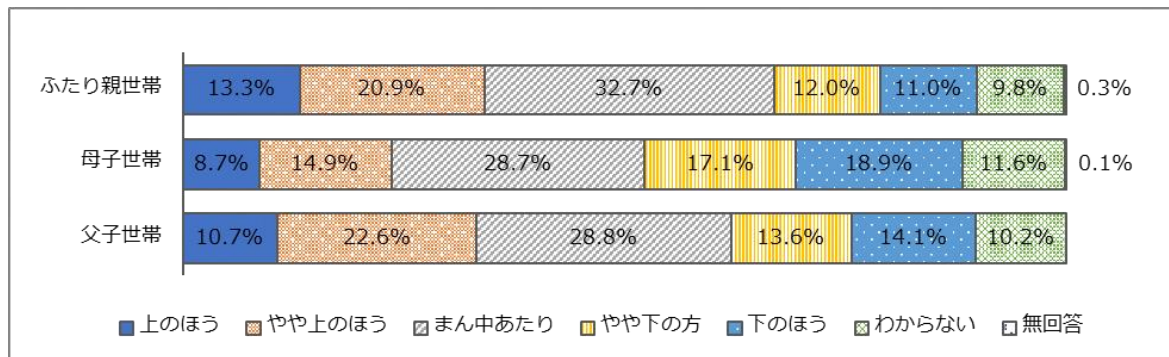
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「やや下のほう」～「下のほう」が、Ⅱ層では「上のほう」～「やや上のほう」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記Ⅰ層と同じ傾向が見られ、ふたり親世帯及び父子世帯では上記Ⅱ層と同じ傾向が見られる。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で上記Ⅱ層と同じ傾向が見られる。また、母子世帯及び全世帯（小学校5年生）においても同様であった。

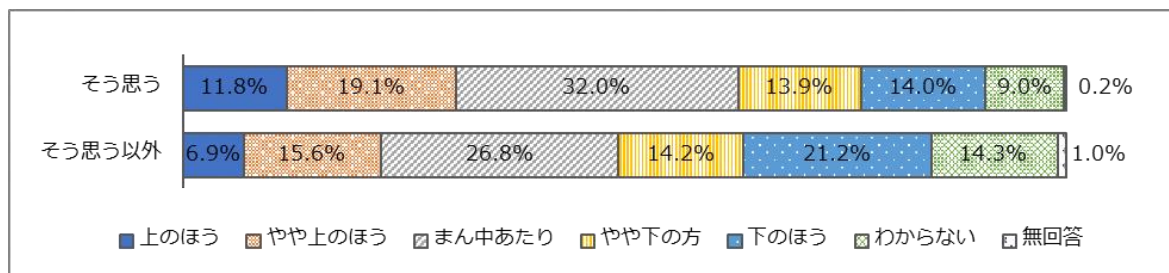
<経済状況別>



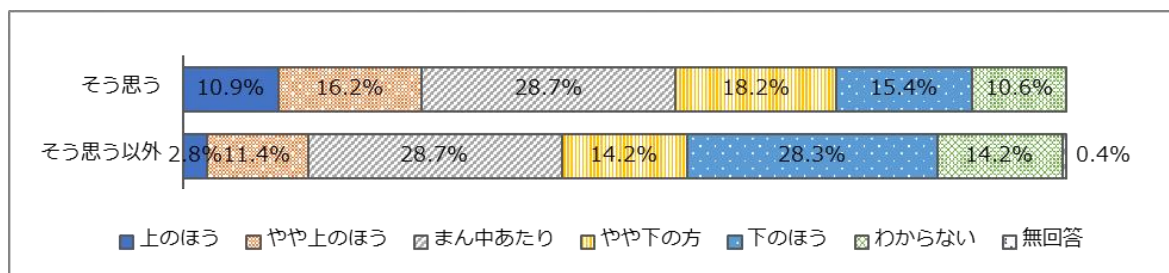
<世帯類型別>



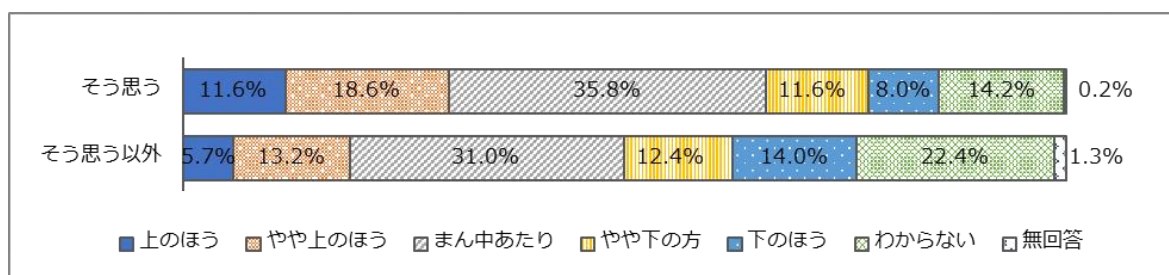
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<自己実現の意識別（全世帯の小学校5年生）>

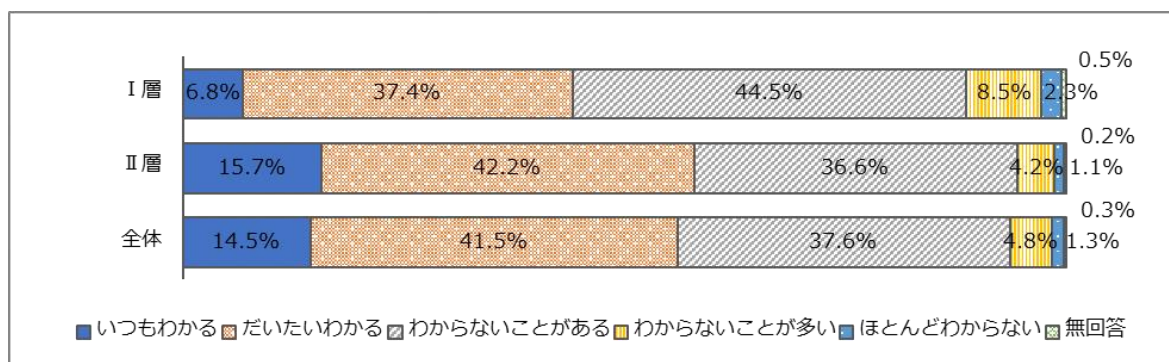


■ 6. あなたは、学校の授業が分からないことがありますか。

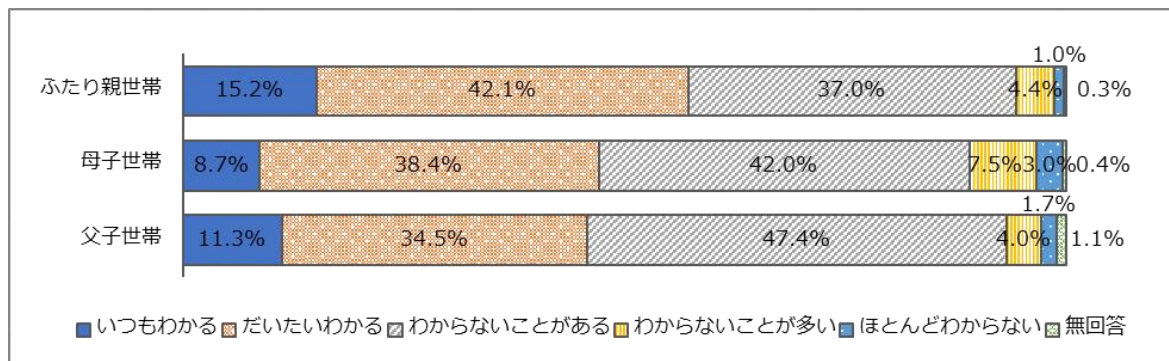
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いつもわかる」の割合が低く、「いつもわかる」、「だいたいわかる」を合わせた割合も低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で上記Ⅰ層と同じ傾向が見られ、母子世帯では「わからないことが多い」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記Ⅰ層と同じ傾向が見られる。また、母子世帯及び全世帯（小学校5年生）においても同様であった。

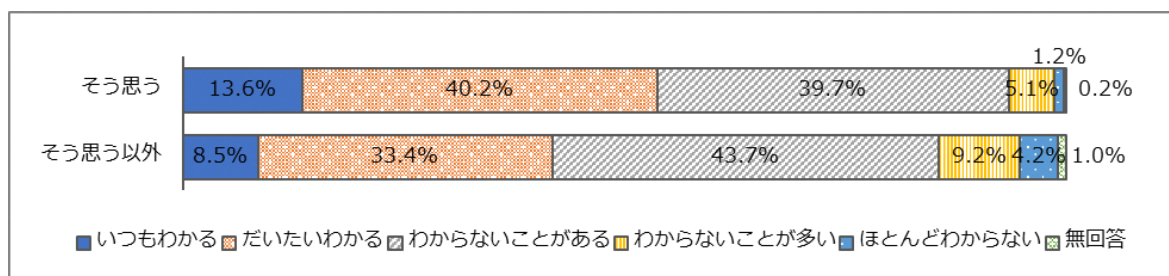
<経済状況別>



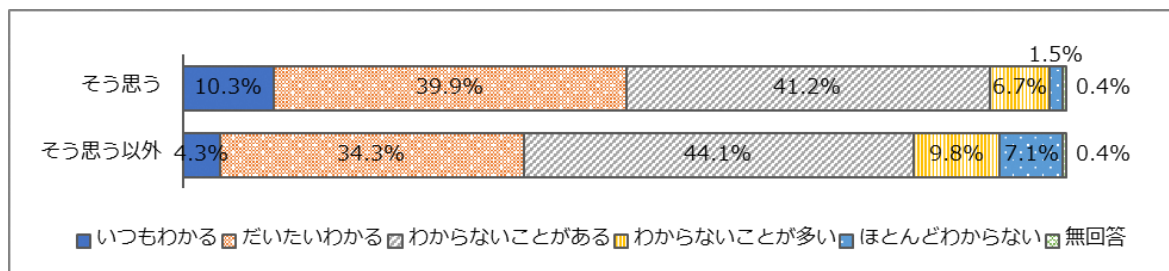
<世帯類型別>



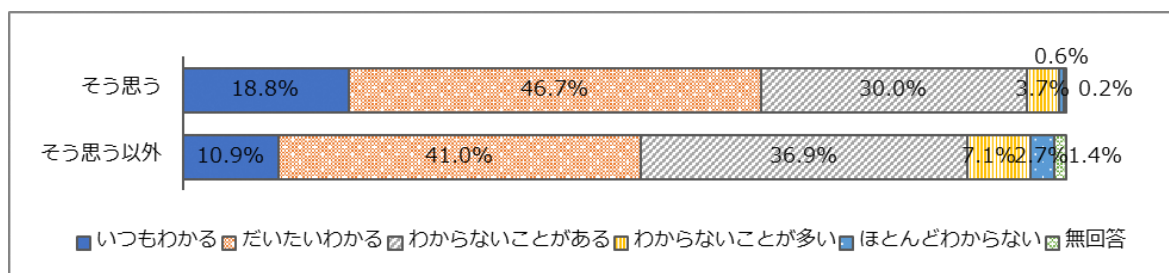
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<自己実現の意識別（全世帯の小学校5年生）>

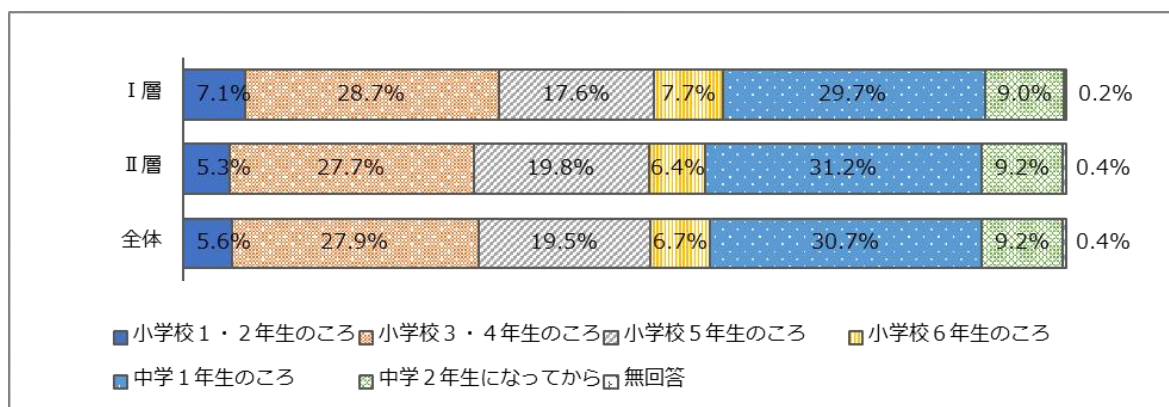


■ 6－2. いづれから授業が分からないことがあるようになりましたか。

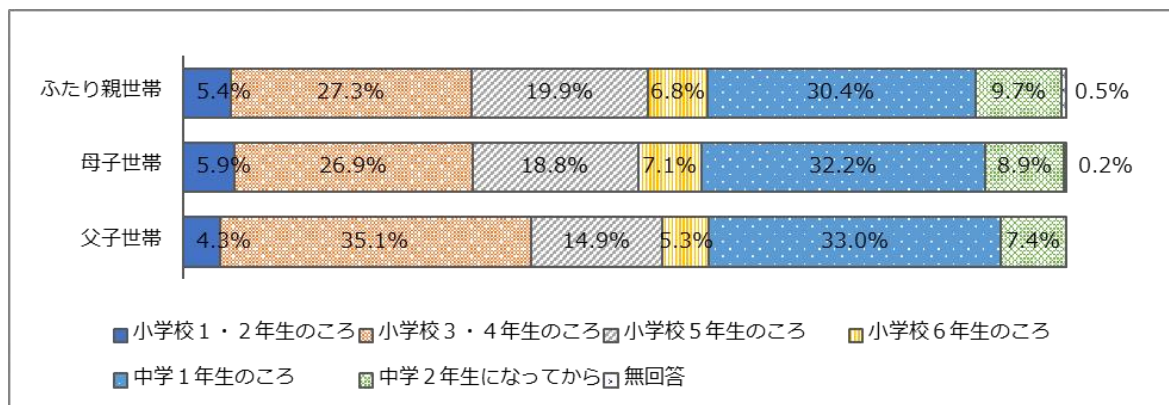
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「小学校1・2年生のころ」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、父子世帯で「小学校3・4年生のころ」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。また、全世帯（小学校5年生）においても同じ傾向が見られるが、母子世帯については「そう思う以外」層の「小学校1・2年生のころ」の割合が低く、「小学校3・4年生のころ」の割合が高くなっている。

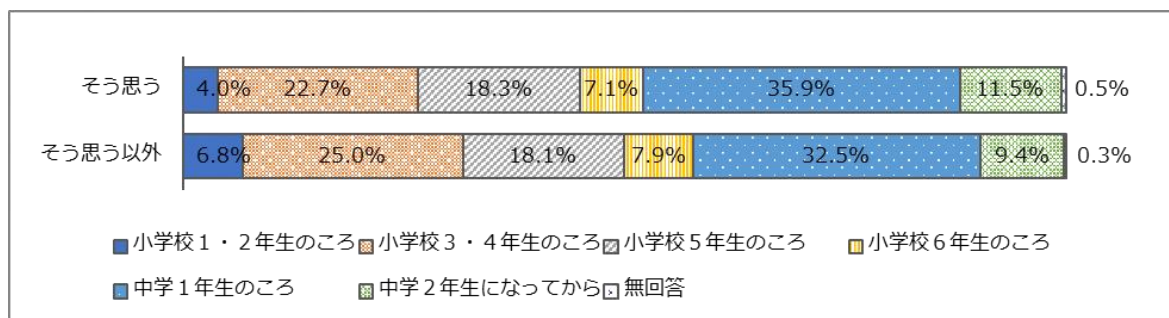
<経済状況別>



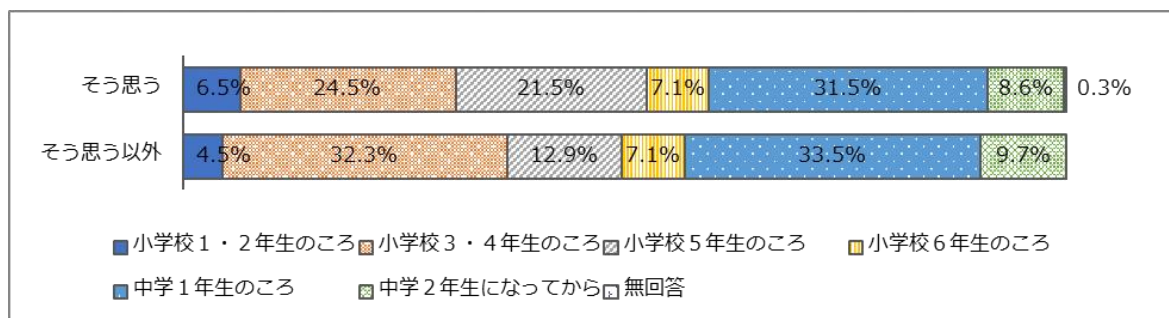
<世帯類型別>



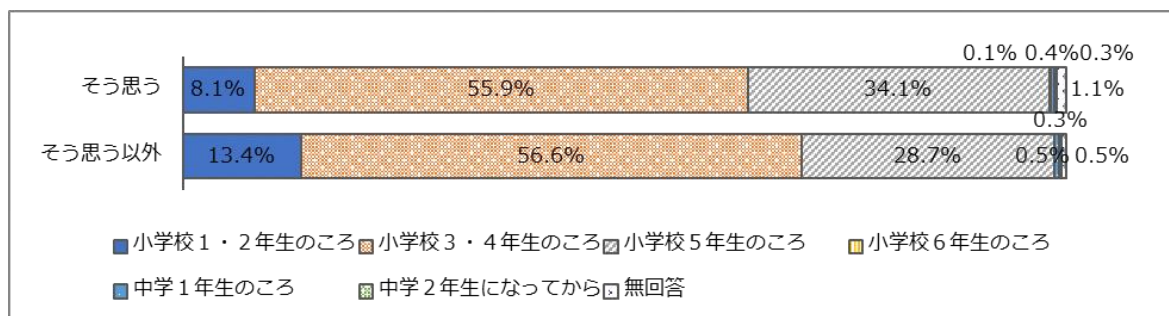
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<自己実現の意識別（全世帯の小学校5年生）>

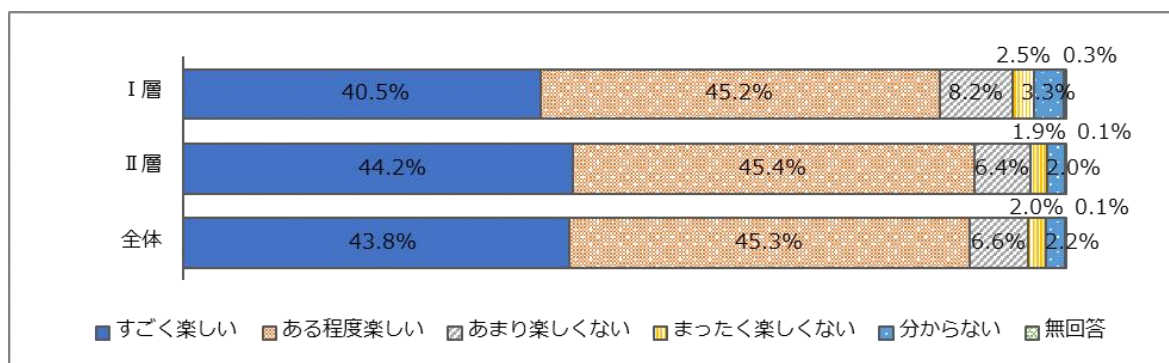


■ 7. あなたは、学校は楽しいと思いますか。

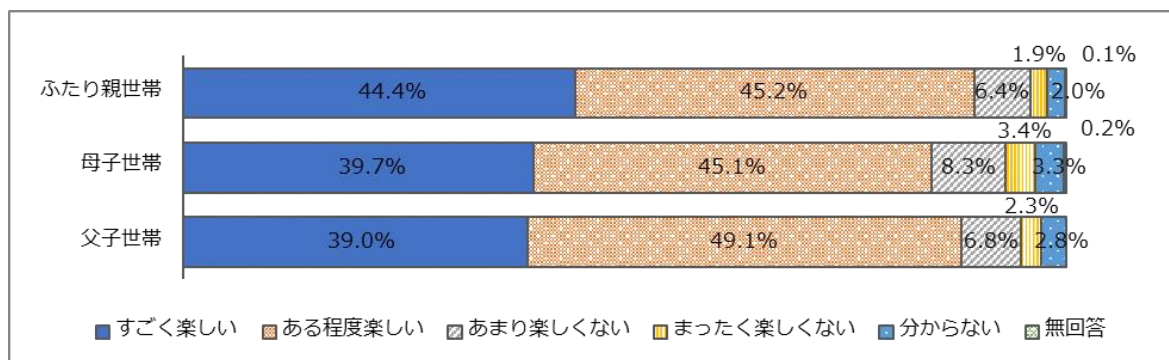
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「すごく楽しい」、「ある程度楽しい」を合わせた割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「すごく楽しい」、「ある程度楽しい」を合わせた割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られ、母子世帯においても同様であった。
- ・ 全世帯において規則的な就寝習慣別で差が大きい項目に着目すると、「不規則」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。

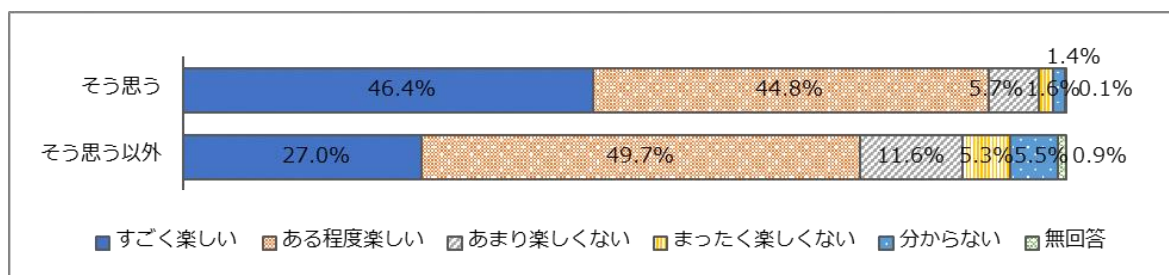
<経済状況別>



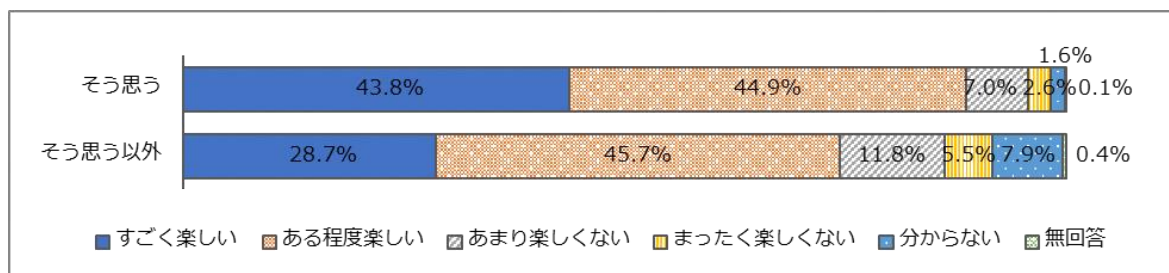
<世帯類型別>



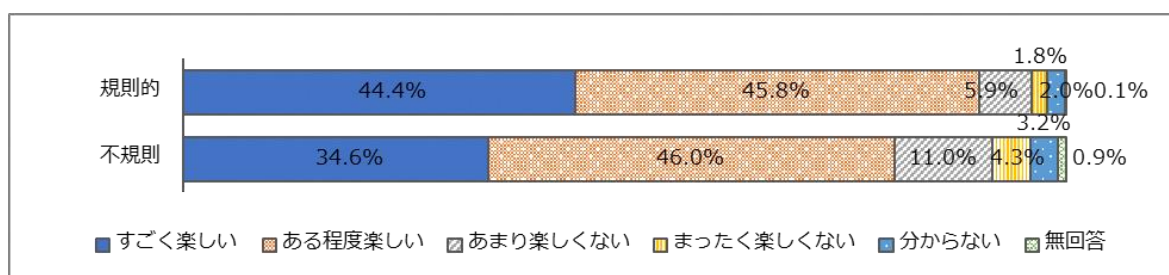
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<規則的な就寝習慣別（全世帯）>

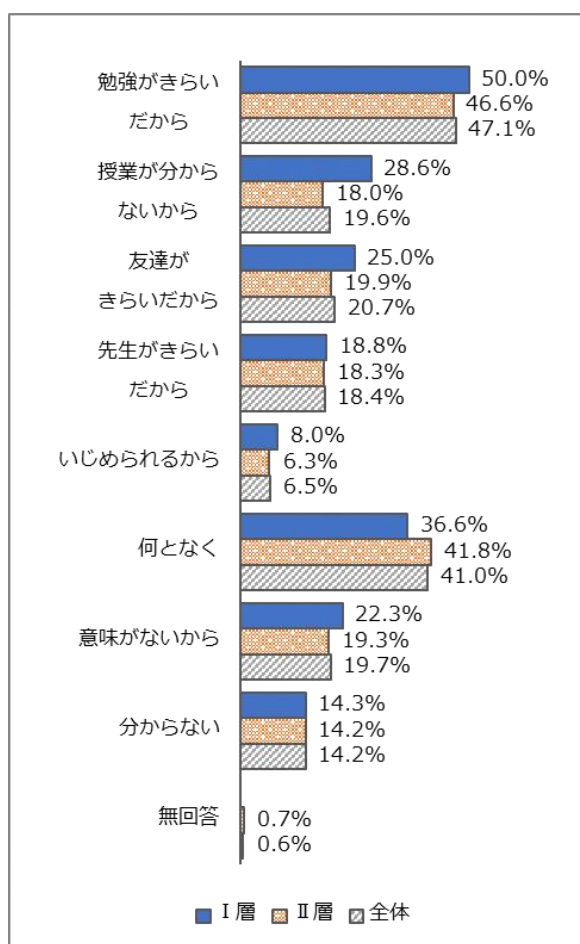


■ 7-2. あなたがそう思う理由を教えてください。

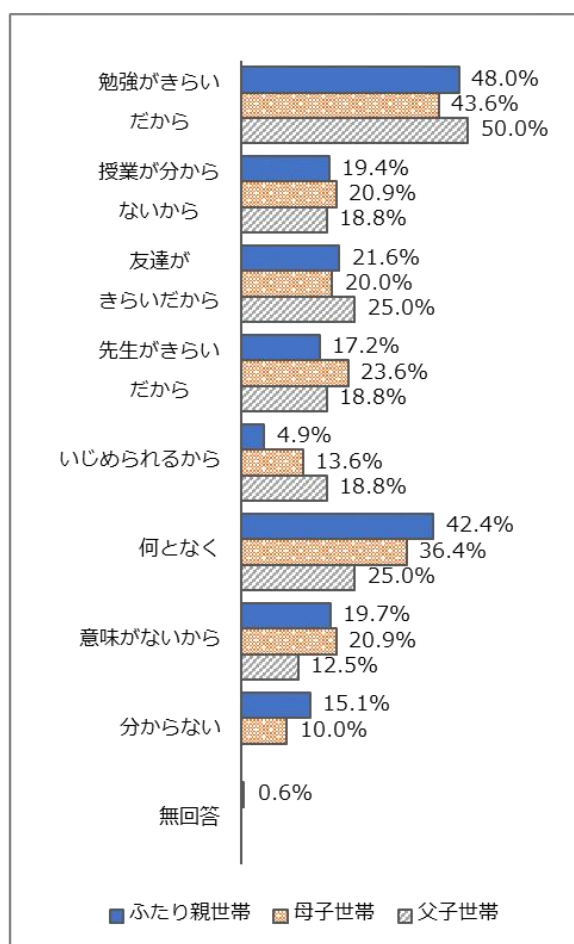
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「勉強がきらいだから」、「授業が分からないから」、「友達がきらいだから」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯及び父子世帯で「勉強がきらいだから」の割合が高く、母子世帯で「授業が分からないから」、「先生がきらいだから」の割合が高くなっている。また、母子世帯及び父子世帯で「いじめられるから」の割合が高く、父子世帯については2割程度となっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「勉強がきらいだから」、「授業が分からないから」、「何となく」、「意味がないから」の割合が高くなっている。また、「そう思う」層では「友達がきらいだから」、「先生がきらいだから」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において規則的な就寝習慣別で差が大きい項目に着目すると、「不規則」層で「勉強がきらいだから」、「授業が分からないから」、「先生がきらいだから」、「意味がないから」の割合が高く、「規則的」層では「何となく」「友達がきらいだから」の割合が高くなっている。

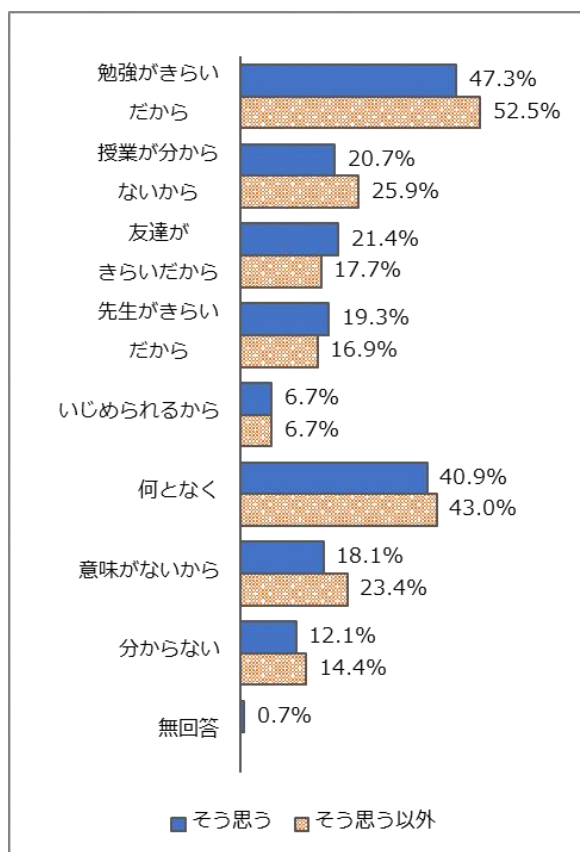
<経済状況別>



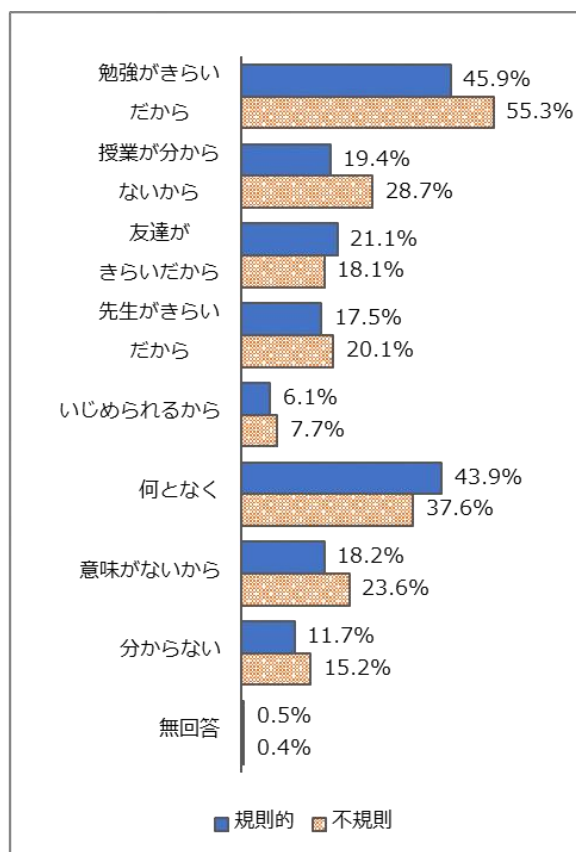
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<規則的な就寝習慣別（全世帯）>

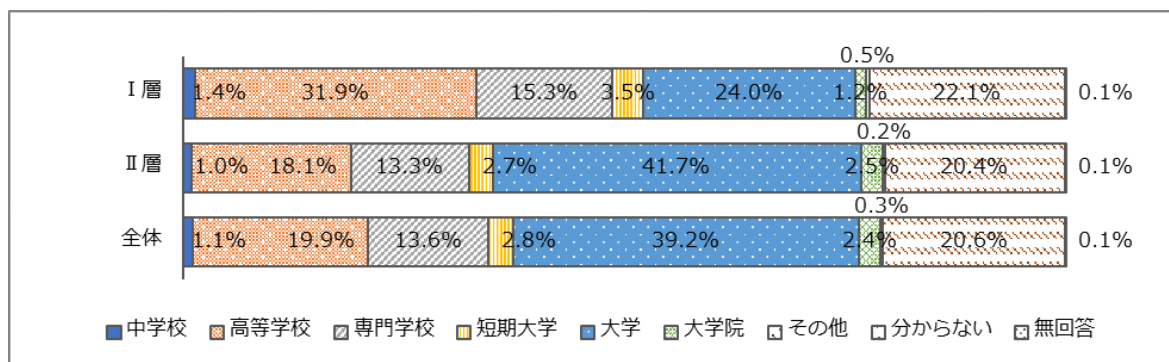


■ 8. あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。

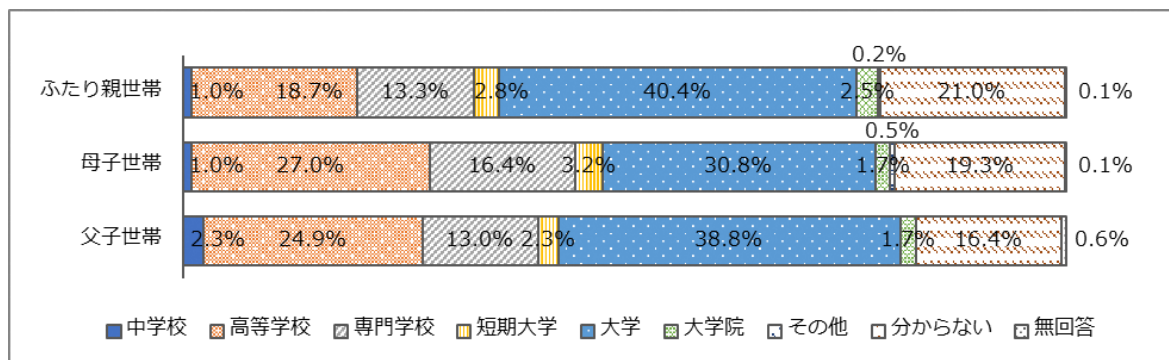
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「高等学校」、「専門学校」の割合が高く、「大学」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「高等学校」の割合が高く、母子世帯では「大学」の割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別に差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「高等学校」、「分からない」の割合が高く、「そう思う」層で「大学」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において規則的な就寝習慣別に差が大きい項目に着目すると、「不規則的」層で「高等学校」、「分からない」の割合が高く、「規則的」層で「大学」の割合が高くなっている。

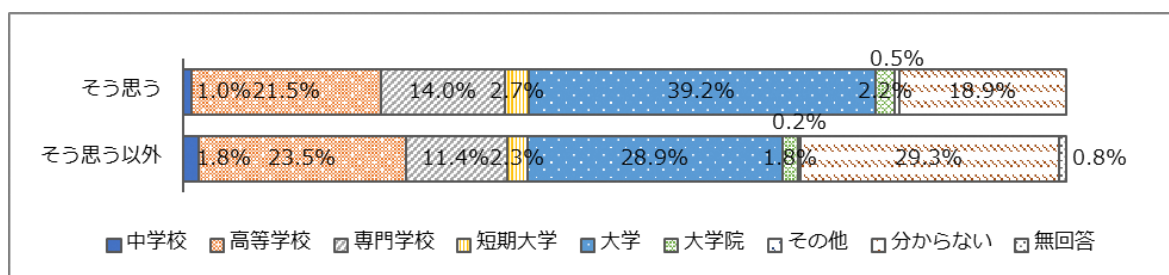
<経済状況別>



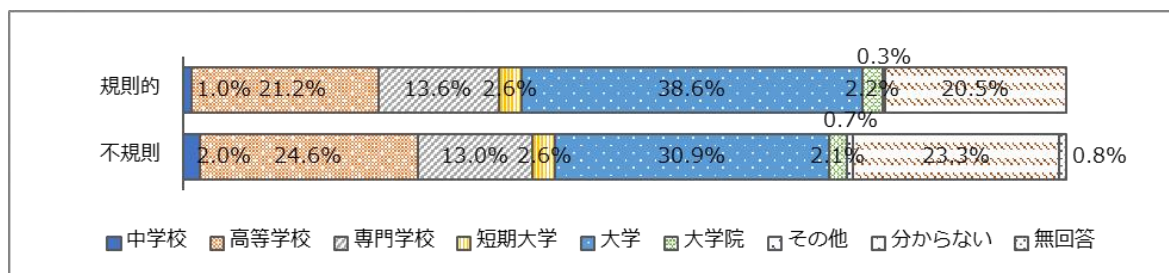
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



<規則的な就寝習慣別（全世帯）>

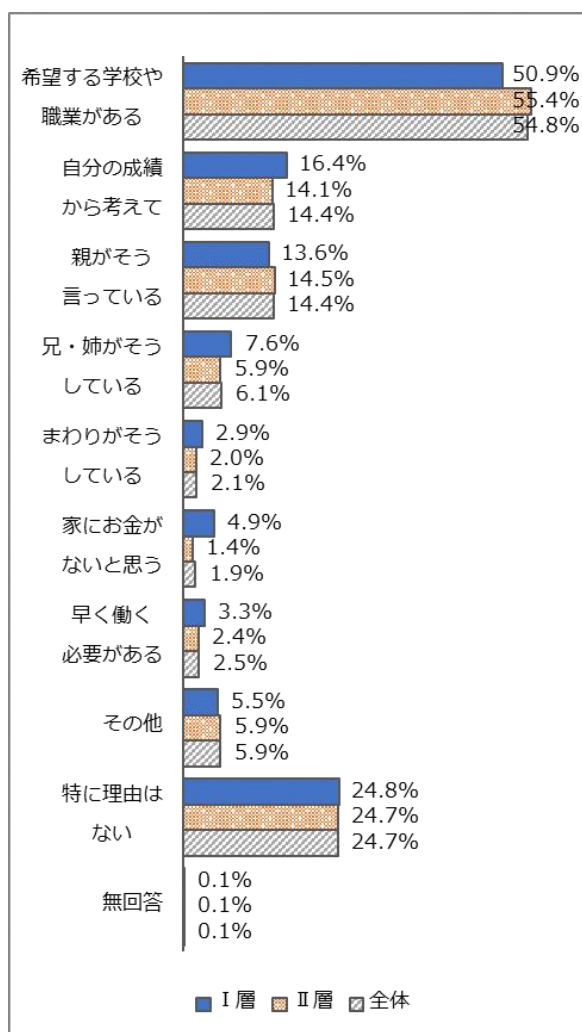


■ 8-2. その理由を教えてください。

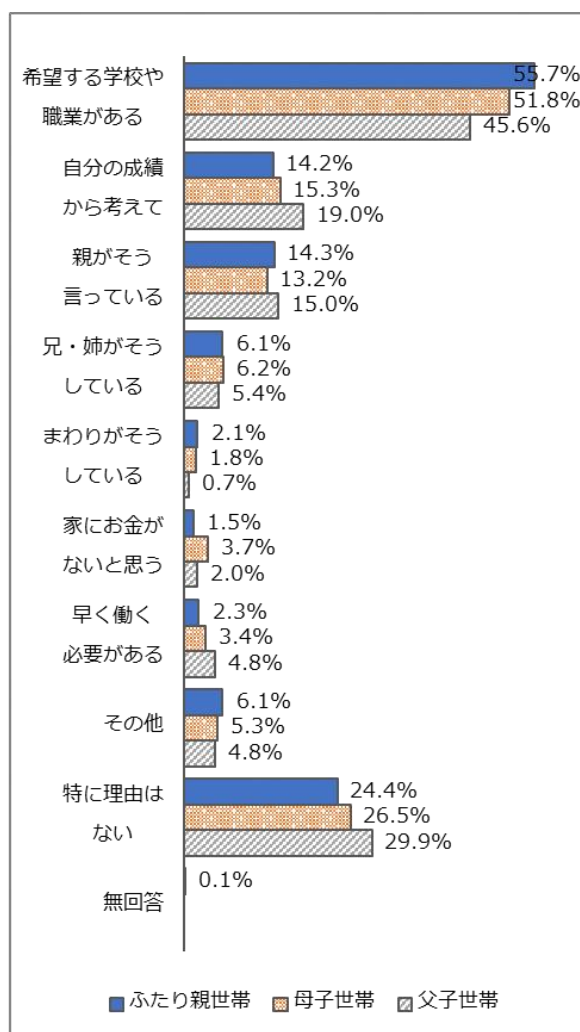
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「家にお金がないと思う」の割合が高く、また「自分の成績から考えて」、「兄・姉がそうしている」、「早く働く必要がある」の割合が高くなっている。Ⅱ層では「希望する学校や職業がある」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間に差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯で「希望する学校や職業がある」の割合が高く、母子世帯で「家にお金がないと思う」の割合が高く、父子世帯で「自分の成績から考えて」、「働く必要がある」の割合が高く、母子世帯及び父子世帯では経済的理由が影響していることが考えられる。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「希望する学校や職業がある」の割合が高く、「そう思う以外」層で「特に理由はない」、「親がそう言っている」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において規則的な就寝習慣別で差が大きい項目に着目すると、「規則的」層で「希望する学校や職業がある」の割合が高く、「不規則」層で「特に理由はない」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っている」の割合が高くなっている。

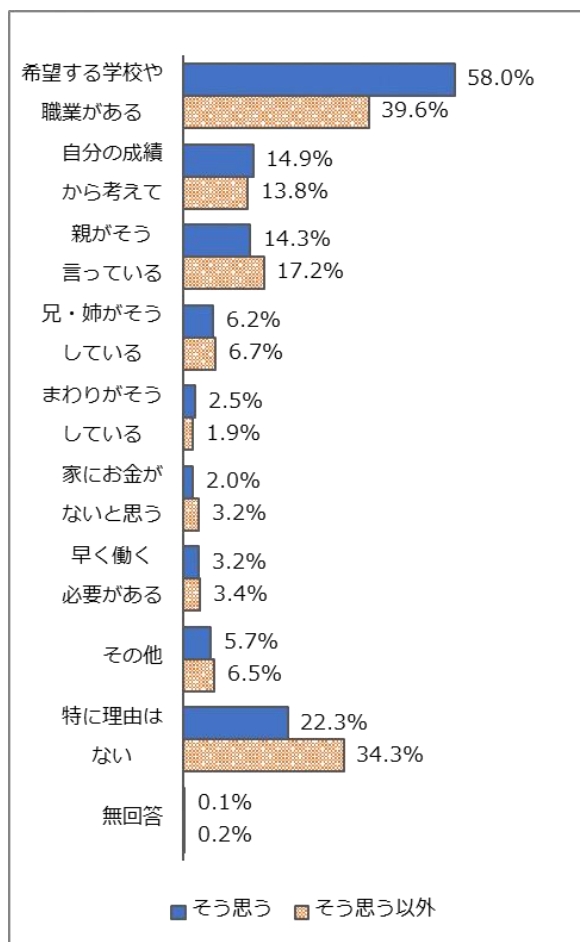
<経済状況別>



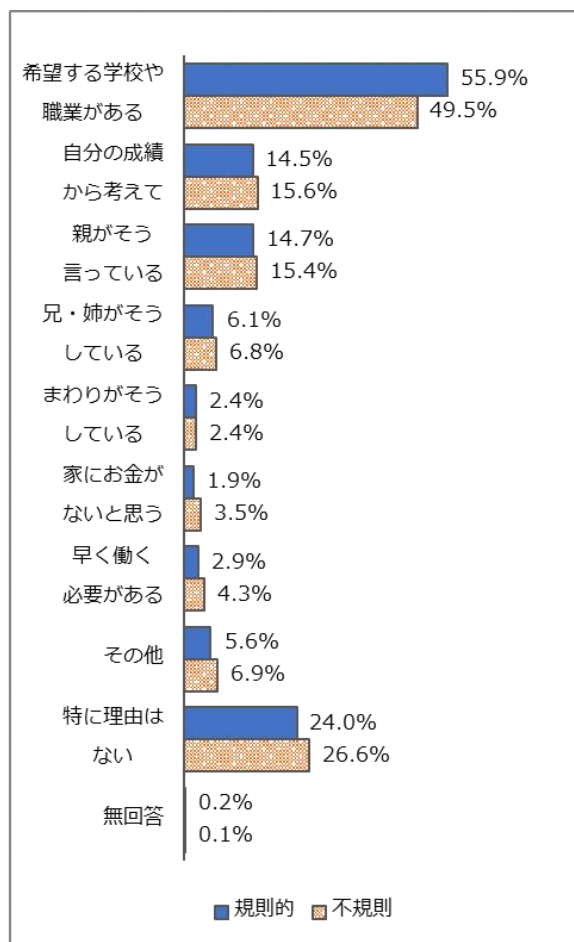
<世帯類型別>



<自己実現の意識別（全世帯）>



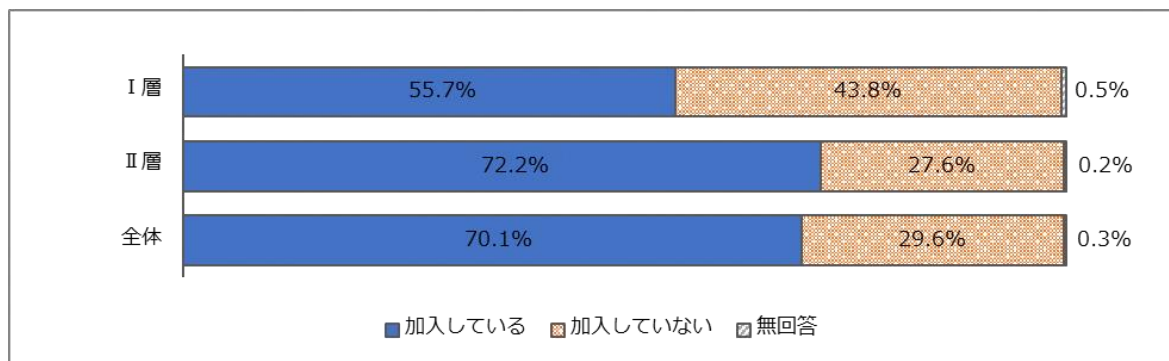
<規則的な就寝習慣別（全世帯）>



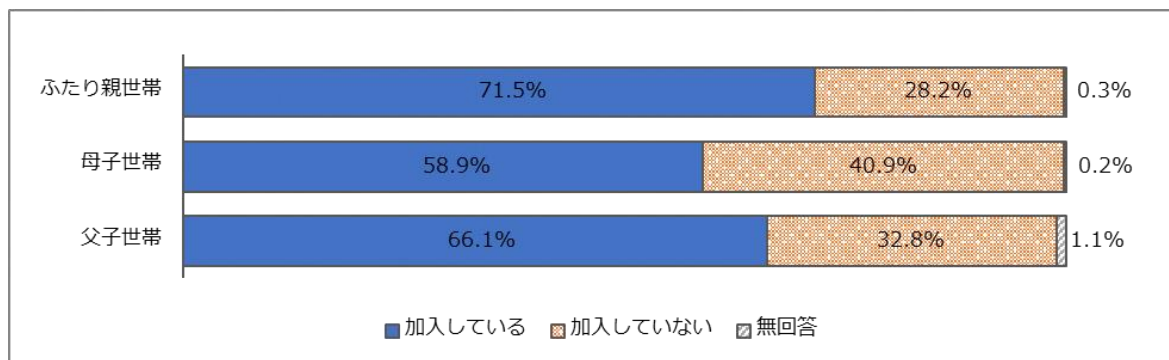
■ 9. あなたは、スポーツクラブや部活動に加入していますか。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「加入している」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「加入している」の割合が低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

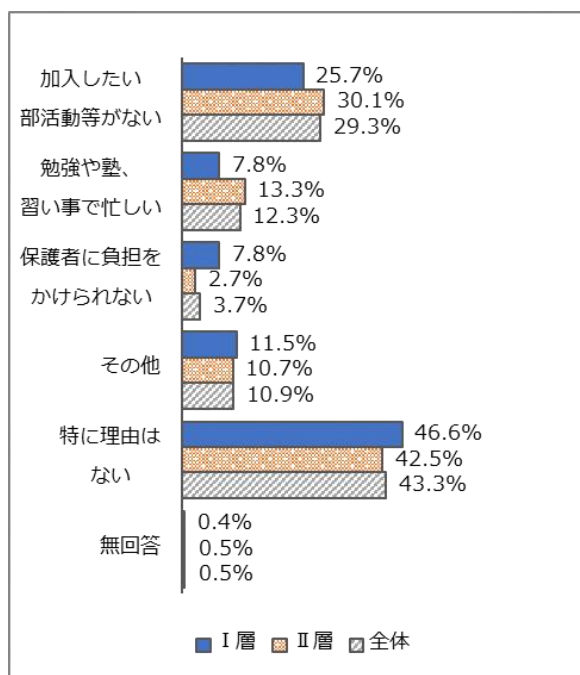


■ 9-2. 加入していない理由を教えてください。

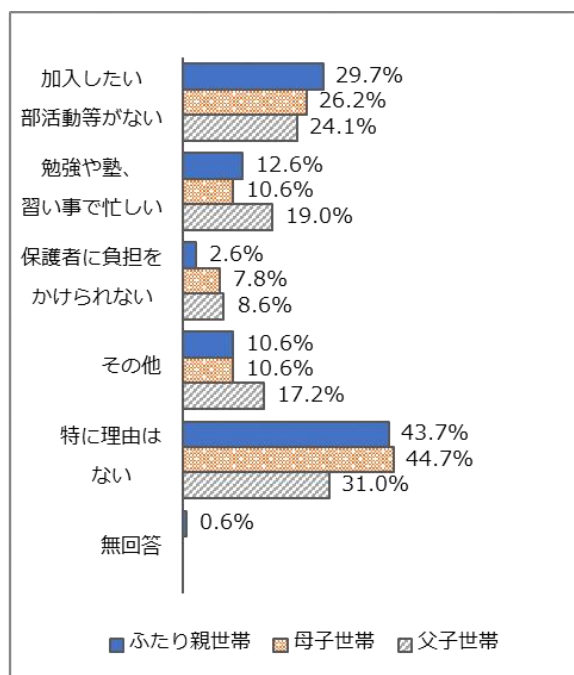
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「保護者に負担をかけられない」の割合が高く、Ⅱ層で「勉強や塾、習い事で忙しい」、「加入したい部活動等がない」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、ふたり親世帯では「加入したい部活動等がない」の割合が高く、母子世帯で及び父子世帯で「保護者に負担をかけられない」の割合が高くなっている。なお、父子世帯では「勉強や塾、習い事で忙しい」、「その他」の割合も高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



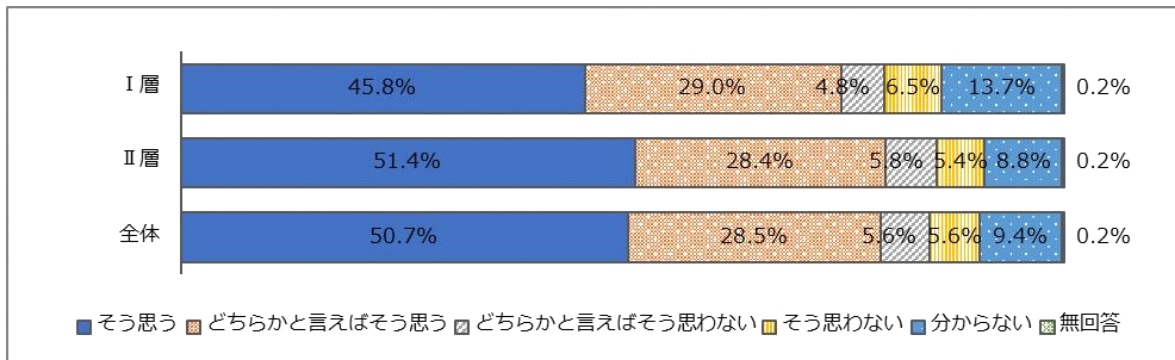
4. 社会環境

■25. あなたは、将来のためにも、今、スポーツ・特技をがんばりたいと思いますか。

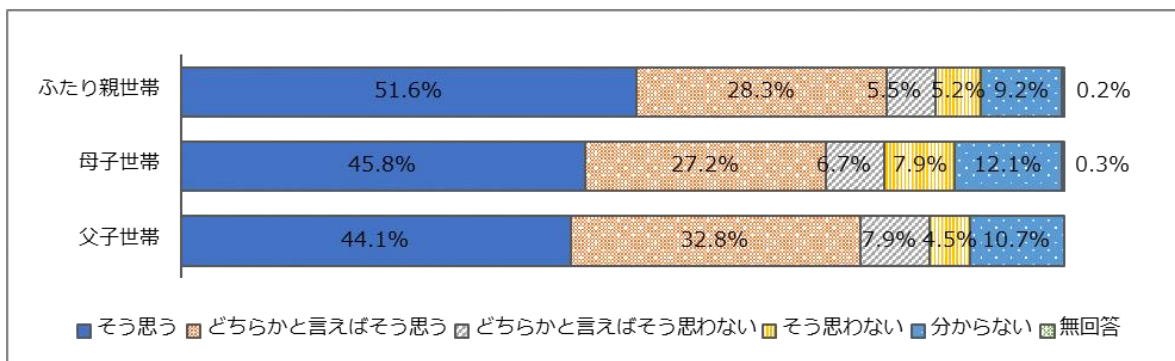
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「そう思う」の割合が低く、母子世帯では「どちらかと言えばそう思う」の割合が低く、母子世帯では「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合についてもふたり親世帯及び父子世帯よりも低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

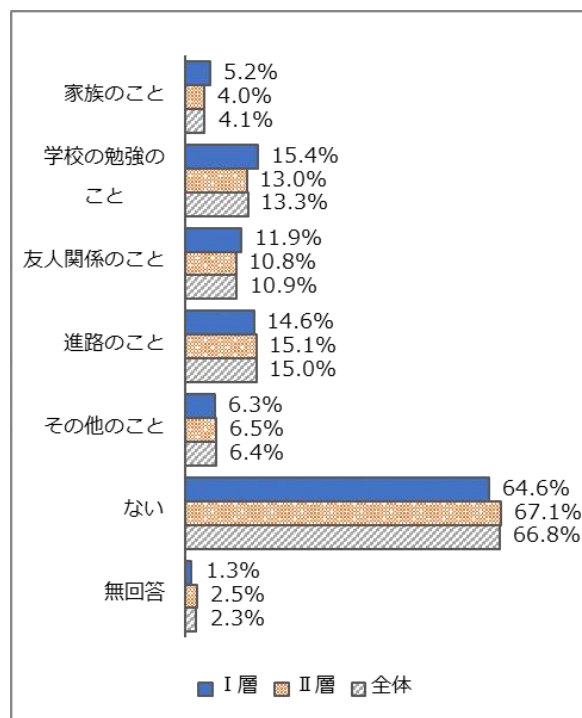


■26. 今なやんでいることや心配なこと、困っていることやだれかに相談したいことはありますか。

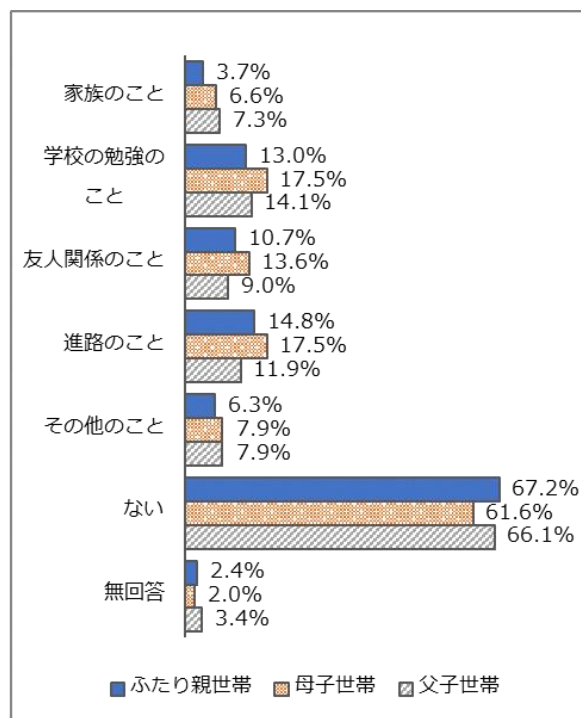
あてはまるものを全て選択してください。

- ・ 経済状況別では、各項目で顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「学校の勉強のこと」、「友人関係のこと」、「進路のこと」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

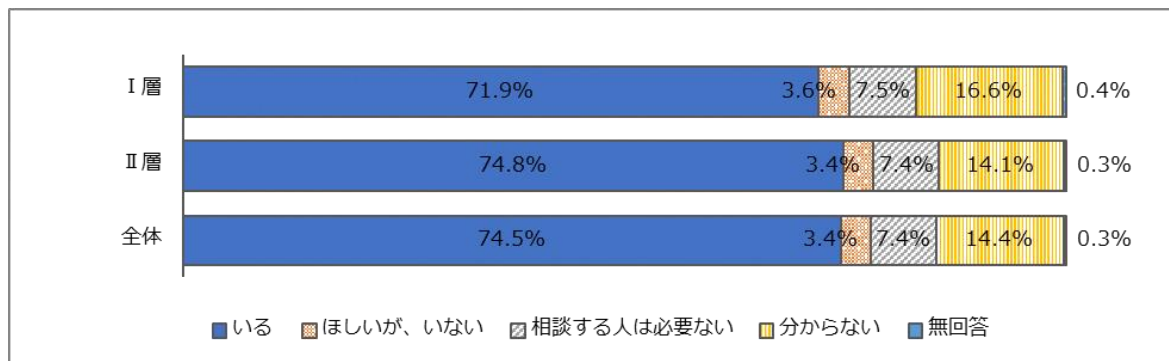


■27. あなたは、なやみなどを相談できる人はいいますか。

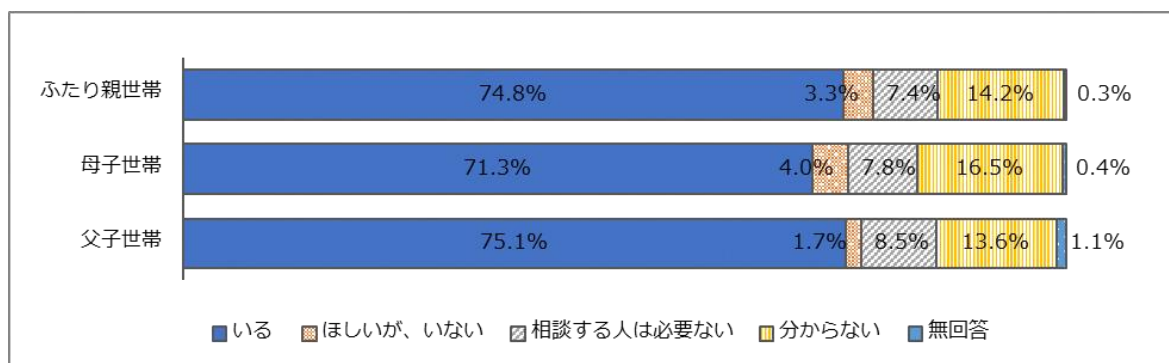
あてはまるものを1つ選択してください。

- ・ 経済状況別では、各項目において顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「いる」の割合が低くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>



5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化

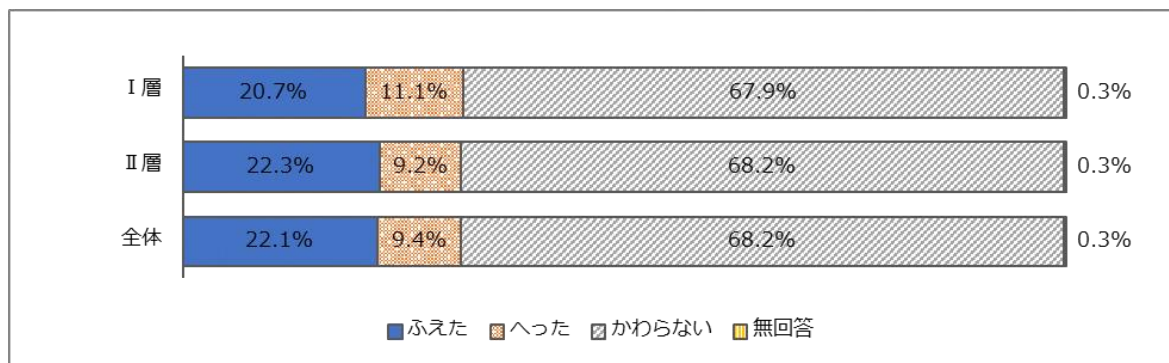
29. 新型コロナウイルス感染症の影響について

あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月）に比べてどのように変わったと思いますか。（a～gそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。）

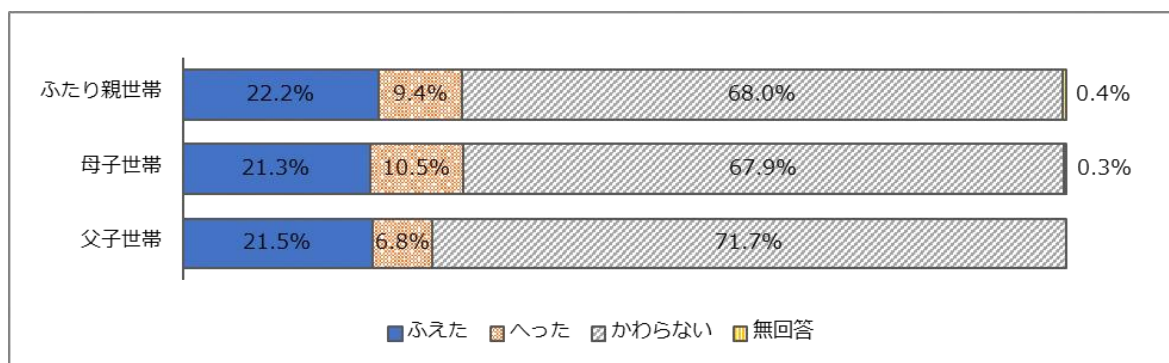
■29－a.学校の授業以外で勉強する時間

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「へった」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「へった」の割合が高く、父子世帯で「かわらない」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「ふえた」の割合が高く、母子世帯及び小学校5年生でも同じ傾向が見られる。

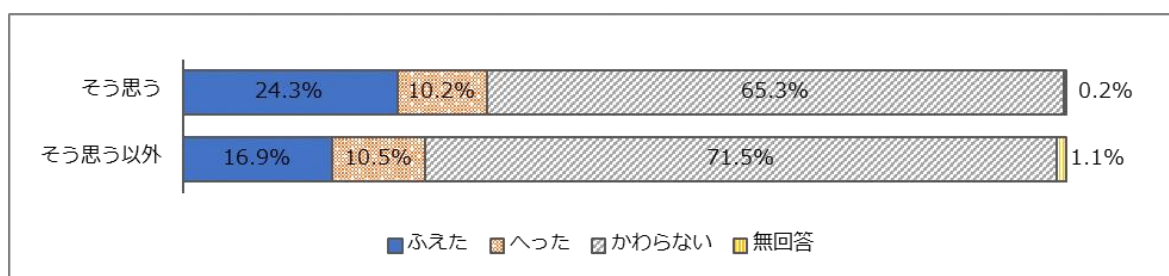
<経済状況別>



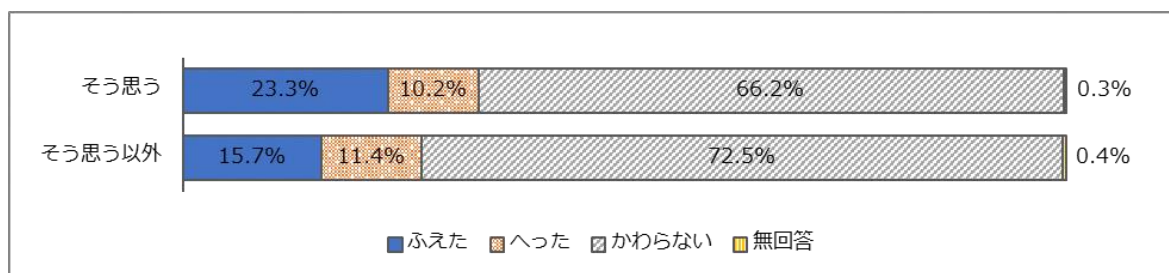
<世帯類型別>



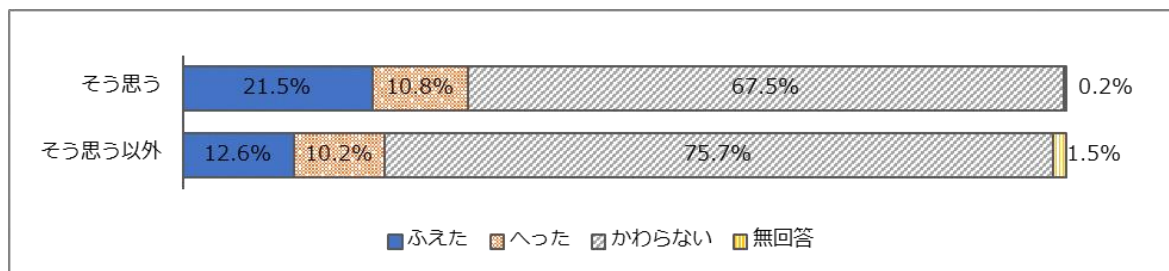
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



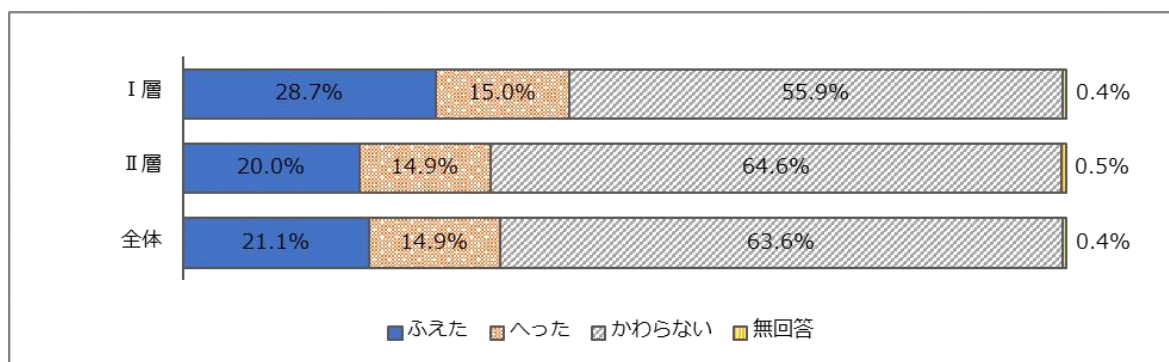
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



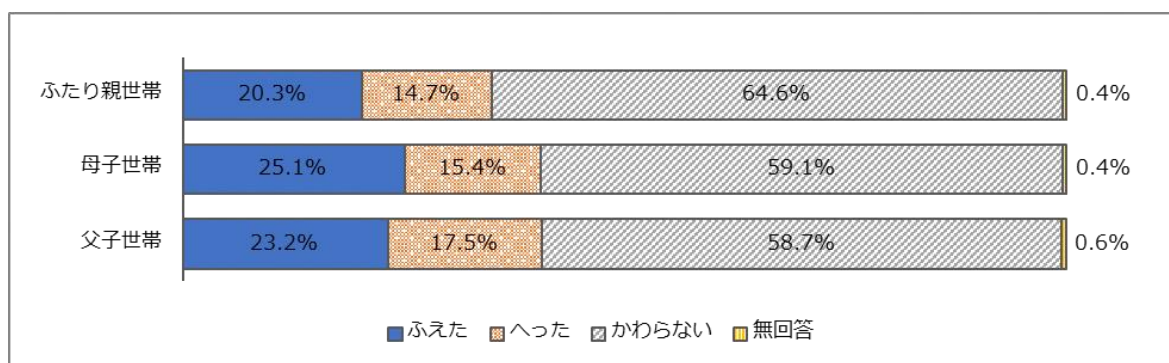
■ 29－b. 学校の授業でわからないと感じること

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で「ふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「ふえた」の割合が高く、母子世帯及び小学校5年生でも同じ傾向が見られる。

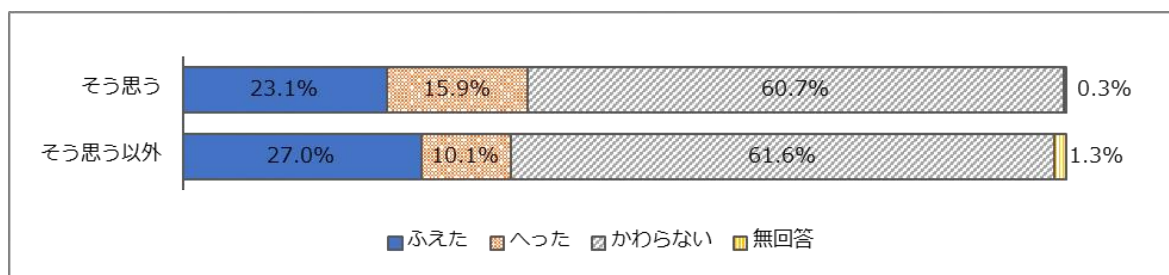
<経済状況別>



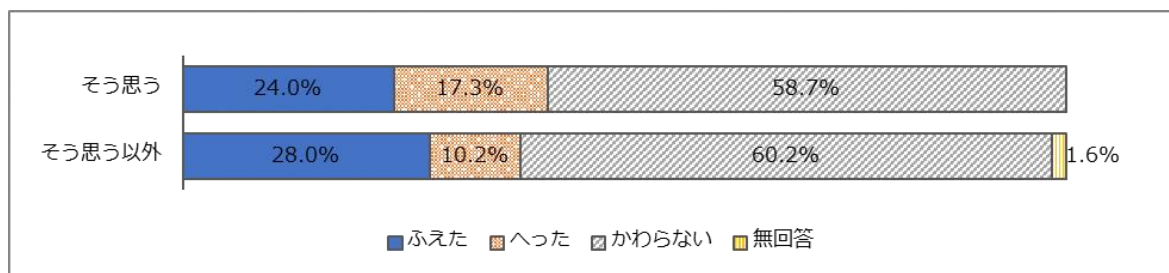
<世帯類型別>



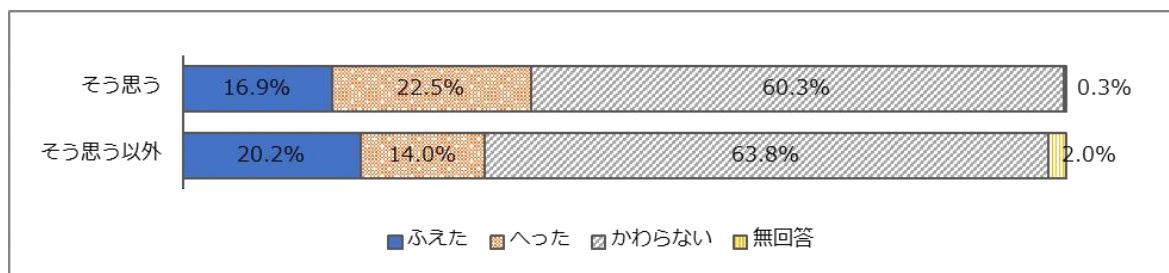
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



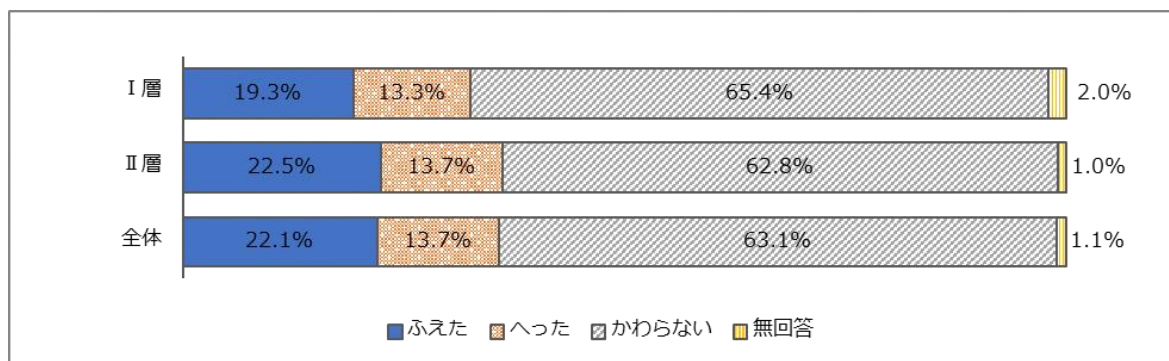
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



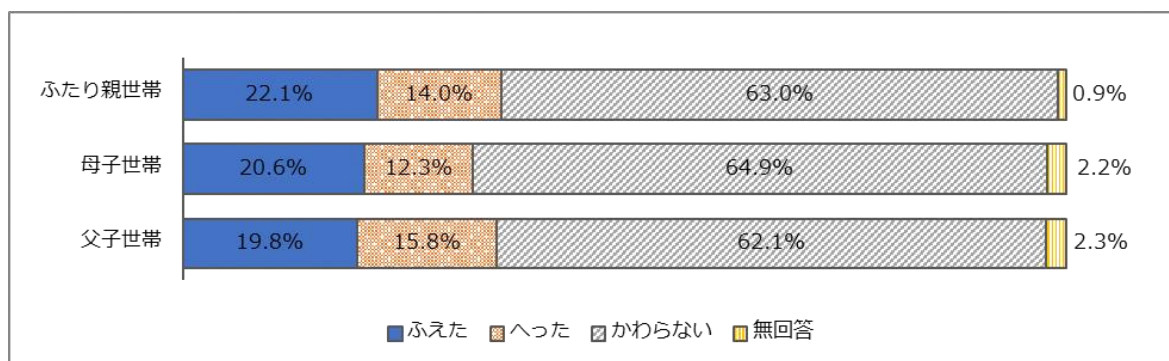
■ 29－ c .地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ふえた」の割合が低くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ふえた」の割合が低くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「ふえた」の割合が低く、1割程度となっている。また、母子世帯及び小学校5年生でも同じ傾向が見られる。

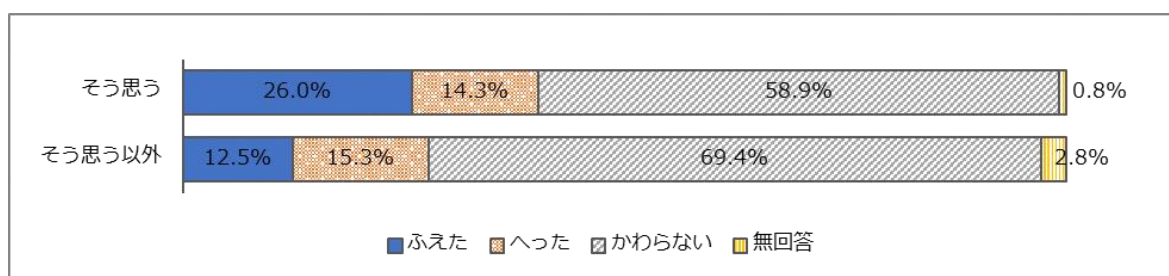
<経済状況別>



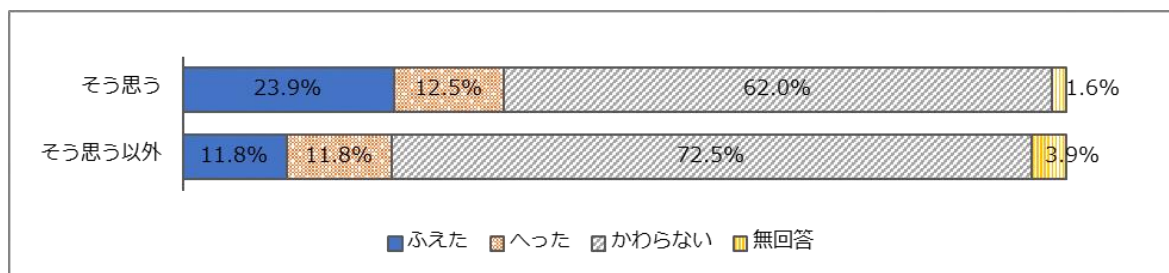
<世帯類型別>



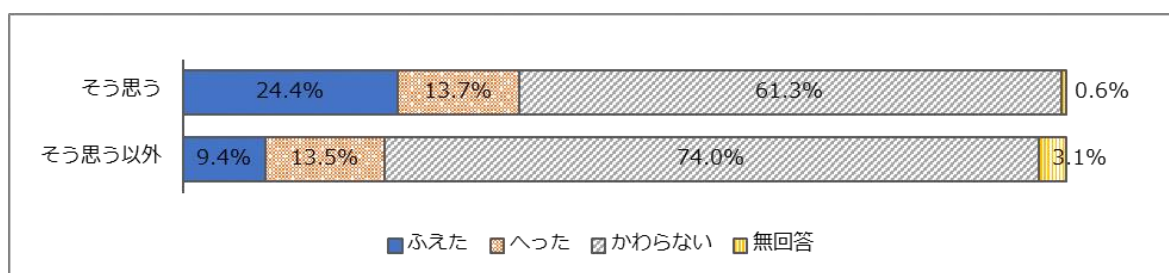
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



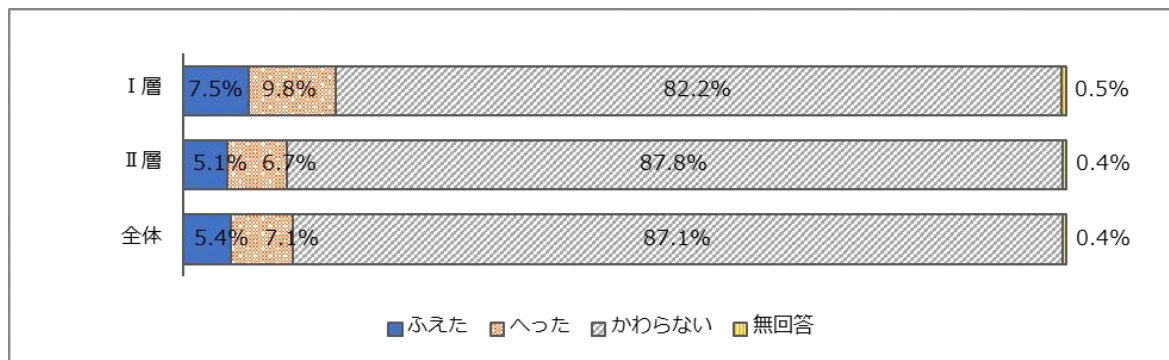
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



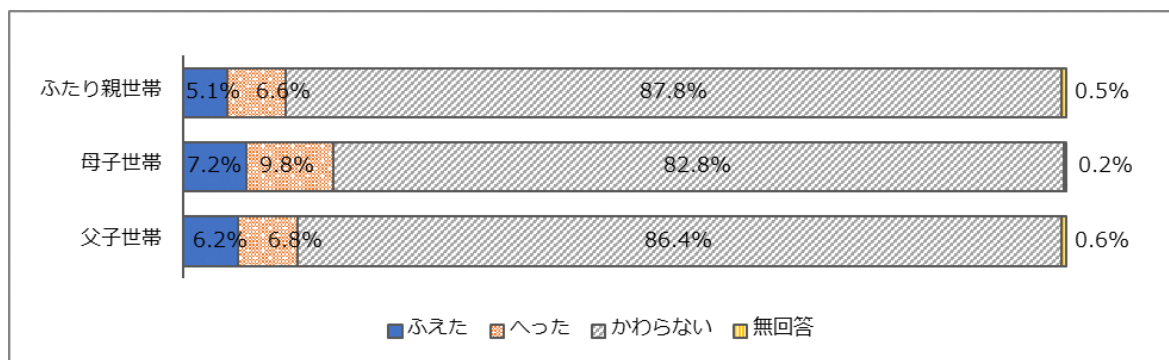
■ 29－ d.食事を抜く回数

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間に差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で上記経済状況別と同じ傾向が見られる。なお、母子世帯及び小学校5年生では顕著な差は見られない。

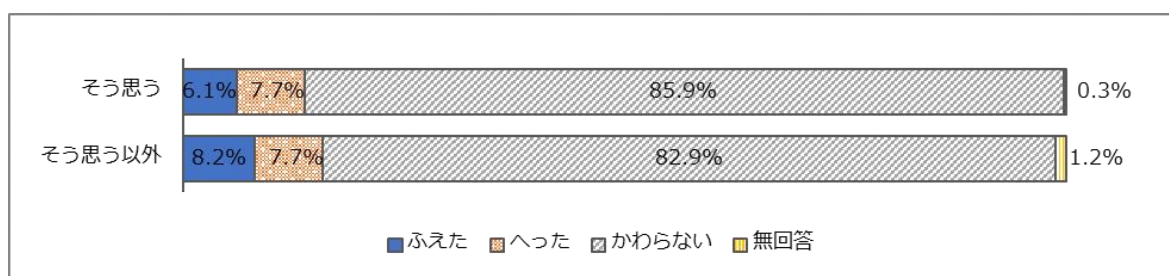
<経済状況別>



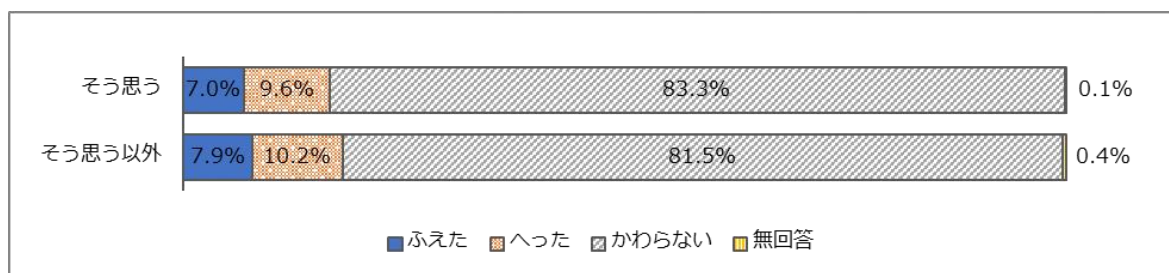
<世帯類型別>



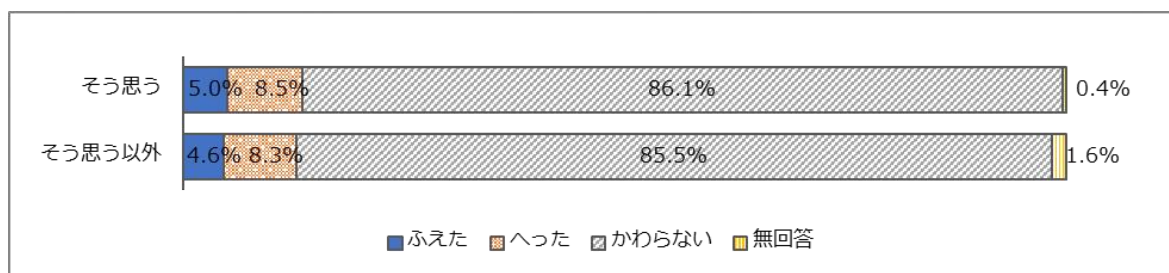
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



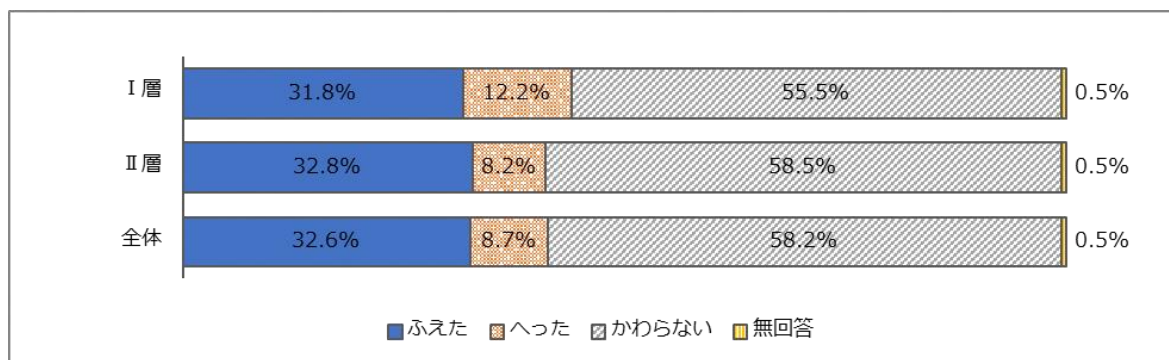
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



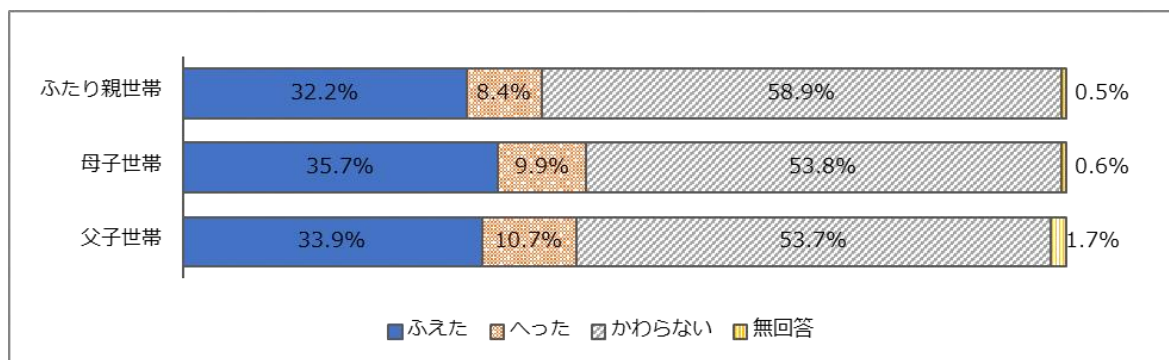
■29－ e.夜遅くまで起きている回数

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「へった」の割合が高くなっている。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯及び父子世帯で「ふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「ふえた」の割合が高くなっている。また、母子世帯及び小学校5年生も同じ傾向が見られる。

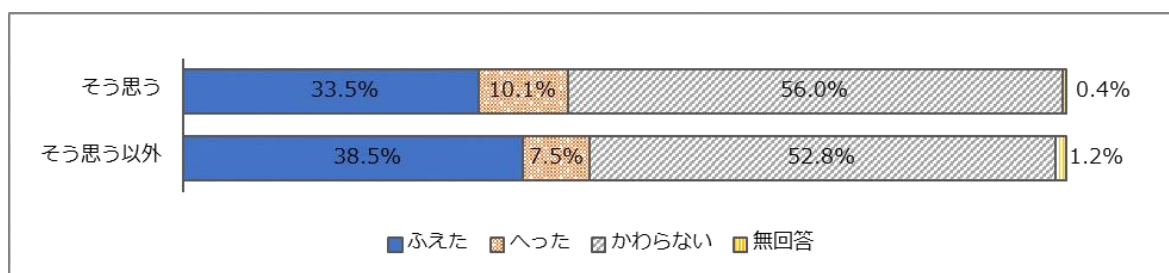
<経済状況別>



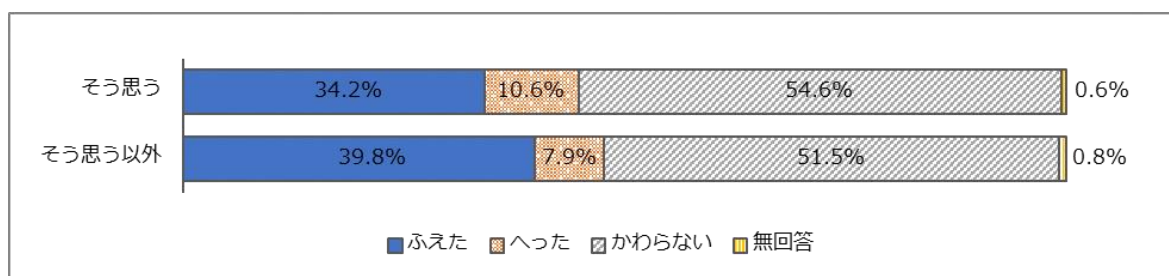
<世帯類型別>



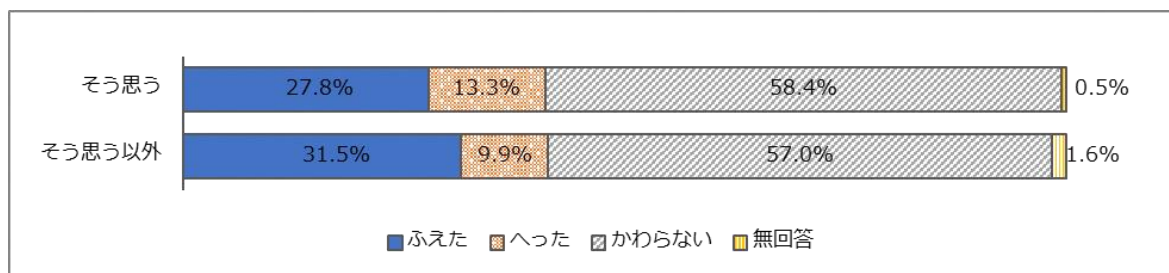
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



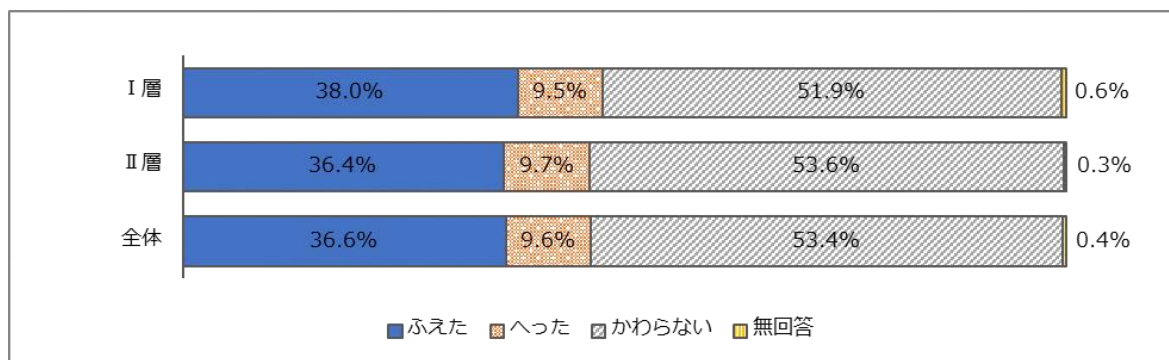
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



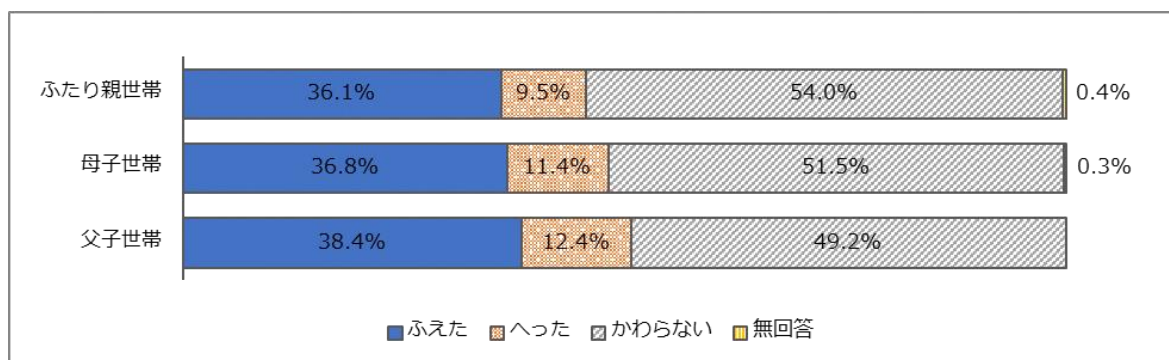
■29－f.親以外の大人や友達と話をすること

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、各項目において顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、父子世帯で「ふえた」及び「へった」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う」層で「ふえた」の割合が高くなっている。また、母子世帯及び小学校5年生でも同じ傾向が見られる。

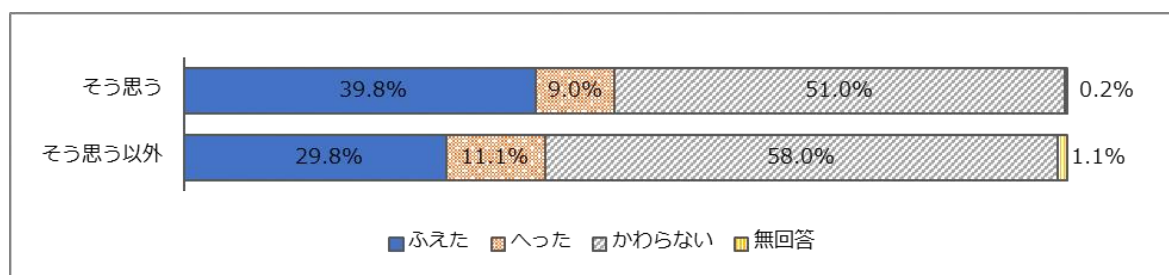
<経済状況別>



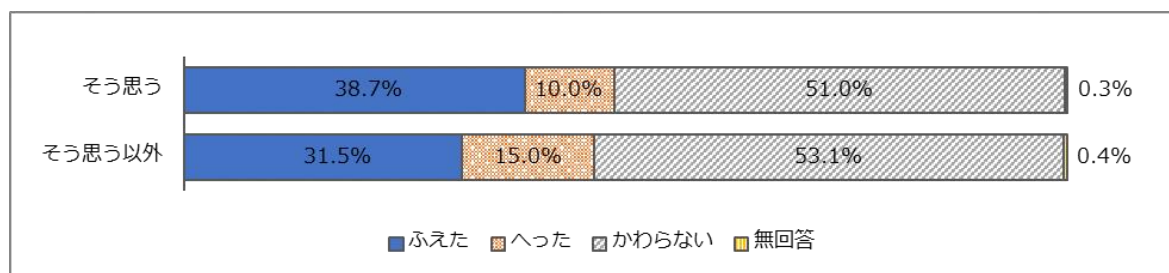
<世帯類型別>



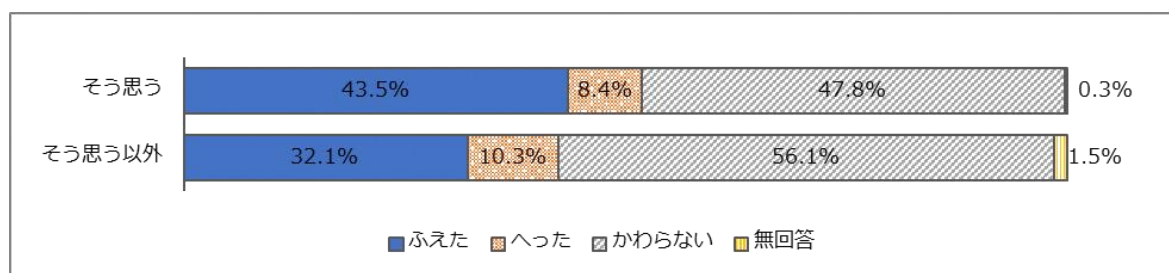
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



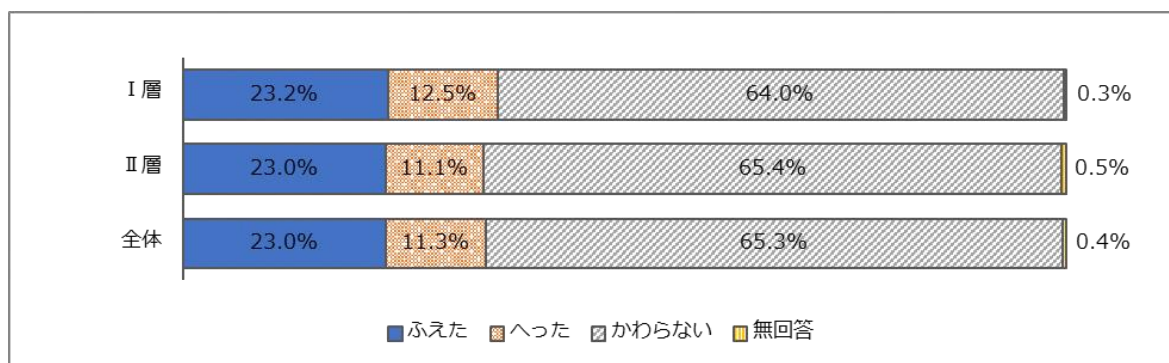
<自己実現の意識別（小学校5年生）>



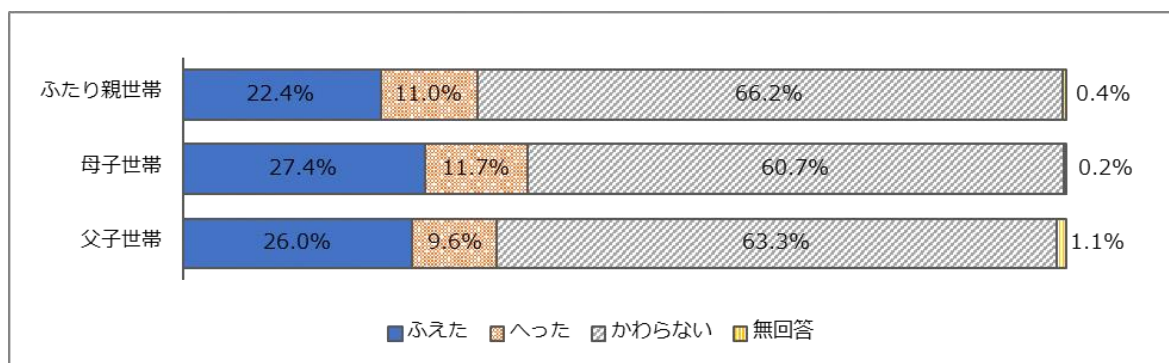
■29－g.イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

- ・ 経済状況別では、各項目において顕著な差は見られなかった。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯の「ふえた」の割合が高くなっている。
- ・ 全世帯において自己実現の意識別で差が大きい項目に着目すると、「そう思う以外」層で「ふえた」の割合が高くなっている。また、母子世帯及び小学校5年生でも同じ傾向が見られる。

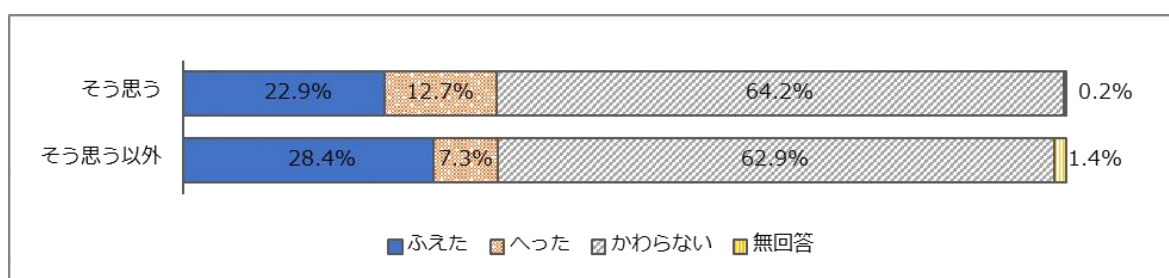
<経済状況別>



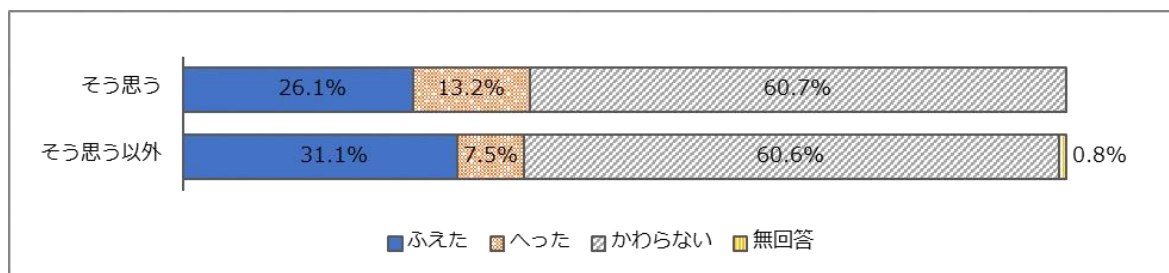
<世帯類型別>



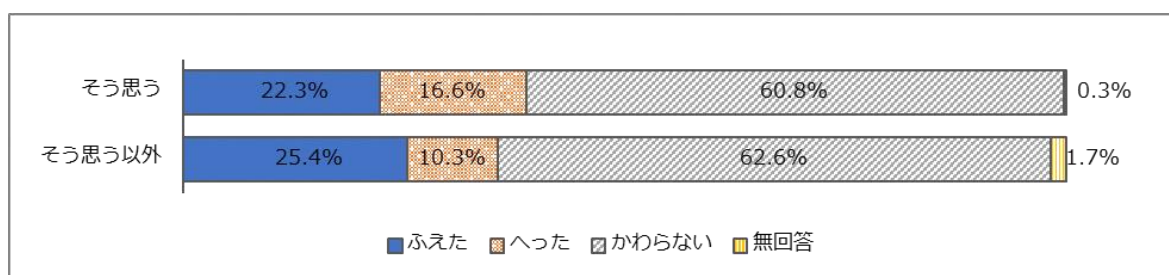
<自己実現の意識別（全世帯）>



<自己実現の意識別（母子世帯）>



<自己実現の意識別（小学校5年生）>



VI 調査結果分析、課題と方向性

1. 経済状況

- ・ 本調査においては、内閣府の令和3年子供の生活状況調査分析報告書における相対的貧困率等の算出手法を参考に、等価世帯収入の中央値を求め、その「中央値の2分の1未満」とそれ以外との境界線を相対的な貧困線として、「中央値の2分の1未満」に該当する層をⅠ層、それ以外の層をⅡ層と区分し、集計・分析を行った。
 - ・ その結果、「貧困」の課題を抱えている世帯と考えられるⅠ層の割合は13.3%となり、ひとり親世帯における同層の割合は40.9%であった。
 - ・ 参考として、内閣府の同報告書の分析では、全体における「中央値の2分の1未満」に属する層（本調査ではⅠ層）の割合は12.9%であり、ひとり親世帯における同割合は50.2%となっていることから、相対的な貧困率は、概ね全国と同水準にあることが窺える。
 - ・ なお、調査対象者や調査手法等が異なるため単純に比較できるものではないが、本県が前回平成29年に行った「子どもの生活に関する実態調査」においては、全体におけるⅠ層の割合が15.0%、ひとり親世帯における同割合は43.8%であった。
 - ・ 前回調査の結果と比べると、相対的貧困率の減少が見られるが、ひとり親世帯における貧困層の割合は、依然として4割程度と高い状態が続いていることが窺える。
-
- ・ 子どもの貧困問題を考えるうえで、保護者や世帯の経済状況の要素は大きいですが、その基礎となる父母の就業状況について、父母のいずれもⅠ層において「非正規社員」及び「自営業」の割合が高く、「正社員」の割合が低くなっており、特に父が正社員である割合においてⅠ層とⅡ層で顕著な差が見られた。（父が正社員の割合：Ⅰ層46.0%、Ⅱ層81.9%）
 - ・ 保護者が「働いていない」理由については、父母いずれもⅠ層で「希望する条件の仕事がない」及び「自分病気や障害」の割合が高い傾向にあった。（「希望する条件の仕事がない」父Ⅰ層：14.9%、母Ⅰ層：24.8%、「自分病気や障害」父Ⅰ層：31.9%、母Ⅰ層：19.0%）
 - ・ また、父母の最終学歴については、父母のいずれもⅠ層において「中学校」の割合が高く、「専門学校」、「大学」の割合が低くなっており、就業状況と同じく父において顕著な差が見られる。（父が大学卒業の割合：Ⅰ層14.4%、Ⅱ層34.3%）
 - ・ 世帯全員を合わせた年間の収入について、各世帯で同居人数や世帯構成等が異なるため、単純に比較できるものではないが、Ⅰ層で「300万円」未満の割合が高く、「450万円」以上の区分では該当者が存在しない結果となった。
 - ・ このことから、保護者の就業形態や学歴が、所得分布にあらわれていると言える。
 - ・ 子どもと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況については、Ⅰ層で「離婚」、「死別」、「未婚」の割合が高く、つまり、ひとり親家庭の割合が高いことが分かる。
 - ・ ひとり親家庭の経済的安定に資する養育費について、父母いずれも、取り決めの有無に関わらず受け取っていない割合が高くなっている。（「取り決めて、受け取っていない」及び「取り決めていない、受け取っていない」の合計 母子世帯の母：60.3%、父子世帯の父：92.7%）
-
- ・ 世帯の現在の暮らしの状況について、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、Ⅰ層で55.2%となっており、Ⅱ層の22.2%と比べて2倍以上に及んでおり、母子世帯でも同様の傾向が見られる。
 - ・ こうした中で、手当や支援制度等の利用状況について、Ⅰ層で利用割合が高い状況であるが、各支援制度について「利用したいが申請方法が分からない」割合を見ると、「就学援助費」で1.9%、「行政からの貸付金」で2.5%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」で2.8%、「母子家庭等就業自立支援センター」で1.6%と、支援につながっていない層が一定数存在することが明らかである。
 - ・ 手当や支援制度等の利用状況は、相対的に困窮度の高いⅠ層に着目されることが多いが、Ⅱ層においても、「就学援助費」を受けている世帯が5.4%、「児童扶養手当」を受給している世帯が7.9%存在している。

- ・ 後述のとおり、Ⅱ層において、「経済的理由で医療機関を受診できなかった」世帯が1.5%存在することなどから、今回境界とした貧困線を上回る世帯であっても、必ずしも生活に余裕があるとはいえないと考えられる。
- ・ そのため、各地域における状況を詳細に把握するためにも、本調査で行った相対的貧困線を境にした2区分による集計・分析のみならず、各市町村において更に詳細な分析を行うことが望ましい。
- ・ 世帯における経済的理由による経験について、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特に、Ⅰ層で「食費を切りつめた」が48.6%、「電気、ガス・水道などが止まった」が4.3%、「医療機関を受診できなかった」が6.0%、「必要な靴や服を買うのを控えた」が42.9%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣食住や健康を守るための医療などに大きな影響を与えていることが分かる。このことは、母子世帯においても同じ傾向が見られる。
- ・ 経済的理由により、子どもが希望したにもかかわらずできなかった経験について、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特に、Ⅰ層で「医療機関を受診できなかった」が2.1%、「誕生日等の祝い事を祝えなかった」が7.2%、「本や絵本が買えなかった」が7.5%、「学習塾に通えなかった」が16.5%、「習い事に通えなかった」が19.8%、「必要な服や靴を買えなかった」が19.4%存在するなど、世帯の経済状況が、子どもの生活環境、教育環境にも大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 以上のことから、子どもの生活に大きな影響を及ぼす保護者や世帯の経済状況の改善に取り組む必要がある。まずは、県や市町村などの各事業主体において、各種手当や就学援助費、貸付金をはじめとする現行制度の周知強化等による捕捉率を高めることが重要である。
- ・ また、ひとり親家庭においては、Ⅰ層の割合が4割程度であることから、職業紹介や資格取得等の支援により、安定的な雇用による就労所得を増加させるとともに、養育費履行確保の取組を推進し、確実な受給につなげることが重要である。
- ・ 経済的に困窮している世帯が各種支援に繋がることによって、経済的自立を実現することにより、子どもの生活環境、教育環境の改善にも繋げることが求められる。

2. 生活環境

- ・ Ⅰ層において、規則的な睡眠や食事の習慣が身に付いておらず、放課後や食事時に親と共に過ごす割合が低く、ゲームや携帯電話（スマートフォン）の使用時間が長い傾向があった。
- ・ 平日の就寝時刻について、Ⅰ層で「あまり同じ時刻に寝ていない」、「毎日異なる」の割合が22.5%であるのに対し、Ⅱ層で18.4%となっており、Ⅰ層で睡眠習慣が不規則である傾向が見られる。なお、平均睡眠時間について、「4時間よりも少ない」～「6～7時間」を合わせた割合が、Ⅰ層で45.7%、Ⅱ層で36.4%となっていることから、Ⅰ層においては睡眠時間が短い傾向も見られる。
- ・ また、朝食を「ほぼ毎日」食べる割合について、Ⅰ層が83.3%であるのに対し、Ⅱ層では90.5%となっており、Ⅰ層で朝食を食べる頻度が低い傾向がある。
- ・ なお、子どもが朝食を保護者と一緒に朝食を食べる習慣については、「ほぼ毎日」の回答がⅠ層で46.6%、Ⅱ層で53.3%となっており、Ⅰ層では朝食を保護者と一緒に食べることが少ない傾向がある。
- ・ 平日のゲームに費やす時間については、「ほとんどしない」～「1時間よりも少ない」を合わせた割合が、Ⅰ層で32.3%であるのに対し、Ⅱ層で40.7%となっており、Ⅰ層でゲームをする時間が長い傾向がある。
- ・ また、平日の携帯電話（スマートフォン）の使用に費やす時間について、「ほとんどしない」～「1～2時間」を合わせた割合が、Ⅰ層で41.6%であるのに対し、Ⅱ層で48.3%となっており、Ⅰ層では携帯電話を使用する時間が長い傾向も見られた。

- これらの傾向は、ひとり親世帯において強く見られるが、保護者の就労時間が長いなどにより、子どもとの会話の時間が少ないなどの理由から、子どもとの関わりが希薄な状態が考えられ、そのことが子どもの不規則な生活習慣等に影響を及ぼしていると考えられる。
- 保護者の子どもとの関わりに着目すると、全世帯における子どもの自己実現の意識別のクロス集計結果において、自己実現の意識は高い子どもは、保護者と学校の出来事について話をする頻度が高い、あるいは保護者と一緒に食事を食べる頻度が高いなど、保護者との関わりが多く、また、生活習慣等が身に付いている傾向が見られる。
- これらの傾向は、睡眠習慣、朝食・夕食の摂取頻度において顕著であり、特に就寝時間が規則的である子どもにおいては、学校の授業以外に勉強する時間が長く、学校が楽しいと感じる割合が高い傾向が見られた。このことから、保護者の子どもとの関わり方と子どもの生活習慣及び子どもの学習習慣には関連性があると言える。
- 生活習慣が不規則である傾向は、Ⅰ層やひとり親世帯において顕著であるものの、Ⅱ層やふたり親世帯でも一定の存在が見られた。
- 例えば、単純集計において、子どもだけで夜間に留守番をする頻度について、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は全体で7.2%（Ⅱ層：6.9%、ふたり親世帯：6.1%）となっている。
- また、平日に子どもの相手をする時間の長さについて、「ほとんどない」と「30分未満」を合わせた割合は全体で6.9%（Ⅱ層：6.8%、ふたり親世帯：6.2%）となっている。
- さらに、朝食や夕食の摂取状況について、朝食を食べる頻度が「ほぼ毎日ではない」割合は全体で8.6%（Ⅱ層：9.3%、ふたり親世帯：9.0%）、同じく夕食で「ほぼ毎日ではない」割合は全体で1.5%（Ⅱ層：1.2%、ふたり親世帯：1.3%）となっている。
- このように、子育て世帯の一部において、子どもの健全な成長に資する適切な生活・養育環境が確保されていない実態が見られたことから、世帯の生活環境の改善につながる支援について、経済的に厳しい状況にある家庭においてより必要性が高いものの、広く一般的に取り組んでいく必要がある。
- 具体的な支援策として、保護者に対しては、就労と子育てを両立するための生活支援が効果的な取組みの一つと考えられる。例えば、ひとり親家庭に家庭生活支援員を派遣し家事支援等を行う日常生活支援事業や、共働き世帯等を対象としたファミリー・サポート・センター事業等の現行の事業を引き続き実施し、拡充させていくことが必要と考えられる。
- 子どもに対しても、学校における健康教育等の強化を進めるとともに、家庭における子どもの生活環境の向上をより確実に進めるため、家庭教育の推進にも取り組み、広く意識啓発を図っていくことが必要である。

3. 教育環境

- ・ I 層において、保護者が子どもの宿題や勉強を見る頻度が低いなど、保護者の子どもとの関わりが希薄な傾向があり、子どもが学校以外で勉強をしない割合が高くなっている。
- ・ その結果、I 層では子どもの学習理解度が低い傾向が見られ、学校が楽しくない理由として「勉強が嫌い」や「授業が分からない」の割合が高く、ひいては後述のとおり生活満足度も低い傾向がある。
- ・ 例えば、保護者が子どもの宿題や勉強を見る頻度について、「ほとんどない」の割合は I 層で 52.8%であるのに対し、II 層で 50.7%となっている。
- ・ 保護者の子どもとの関わり方の中で、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルール（を決めているか）」について、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合が I 層で 36.1%、II 層で 28.3%となっており、I 層で視聴時間等のルールを決めていない世帯が多い傾向がある。
- ・ また、「子どもに本や新聞を読むように勧めている」にあてはまらない割合は、I 層で 24.4%、II 層で 16.0%となっており、I 層で本や新聞を読むよう勧めていない傾向がある。同様に「子どもが小さい頃に絵本の読み聞かせをしていた」にあてはまらない割合は、I 層で 8.3%、II 層で 4.9%であり、I 層でその割合が高い傾向がある。
- ・ さらに、「子どもから保護者に勉強や成績のことについて話をしてくれる」にあてはまらない割合は、I 層で 7.4%、II 層で 4.6%であり、I 層でその割合が高い傾向がある。
- ・ 子どもの「平日の学校以外での勉強時間の長さ」について、「1 時間未満」の割合は I 層で 43.1%（うち「ほとんどしない」が 14.1%）であるのに対し、II 層で 37.7%（うち「ほとんどしない」が 9.7%）となっている。
- ・ なお、生活環境にも関連するが、子どもが「必要だと思っけていても、持っていないもの」として、「勉強する場所」の回答が、I 層で 24.4%、II 層で 13.8%となっており、I 層では家庭内で勉強する環境が整っていない可能性も考えられる。
- ・ 子どもの学校が楽しくない理由について、「勉強が嫌いだから」の割合は I 層で 50.0%であるのに対し、II 層で 46.6%となっている。同じく「授業が分からないから」の割合は I 層で 28.6%であるのに対し、II 層で 18.0%となっている。
- ・ 子どもの希望する進学先については、親子共に、I 層は「高等学校まで」、II 層は「大学まで」を回答する割合が高かった。また、進学の実現可能性も I 層で低く、その理由として「子の学力や成績を考えて」の次に「経済的な余裕がない」の割合が高かった。
- ・ 例えば、保護者が、子どもをどの学校まで進学させたいかについて、I 層で「高等学校」が 36.5%、「大学」が 31.4%であるのに対し、II 層で「高等学校」が 15.7%、「大学」が 57.7%となっている。同じく子ども自身がどの学校まで進学したいかについて、I 層で「高等学校」が 31.9%、「大学」が 24.0%であるのに対し、II 層で「高等学校」が 18.1%、「大学」が 41.7%となっている。
- ・ また、子どもが、保護者の希望どおり進学できそうだと思うかについて、I 層の保護者で「そう思わない」が 6.2%、II 層の保護者で 4.8%となっている。「そう思わない」理由について、I 層の保護者で「子の学力や成績を考えて」が 59.3%、「経済的な余裕がない」が 35.2%であるのに対し、II 層の保護者で「子の学力や成績を考えて」が 60.2%、「経済的な余裕がない」が 20.4%となっている。
- ・ これらのことから、I 層において、世帯の経済状況等を踏まえた進路選択の断念、あるいは保護者と子どもの学習面での関わり方が希薄であることによって、進学による将来的な経済力向上を図るイメージが湧かないといった可能性も考えられる。
- ・ このような進路に関する意識については、全世帯の子どもにおける自己実現の意識別のクロス集計結果にもあらわれており、自己実現の意識が低い層は「分からない」、「無回答」の割合が高く、自己実現の意識が高い層は「専門学校まで」、「大学まで」の割合が高くなっていることから、子どもの意識によって、近い将来の進路の希望について顕著な差が見られた。

- ・ 学習塾やスポーツクラブ等への加入状況について、Ⅰ層で通塾していない、スポーツクラブ等に参加していない割合が高く、その理由として経済的負担を上げる割合が高い傾向にあった。
- ・ 例えば、学習塾に通っていない理由について、Ⅰ層で「保護者に負担をかけられない」が11.0%（Ⅱ層は6.8%）であるのに対し、Ⅱ層で「部活動などで忙しい」が32.7%（Ⅰ層は24.3%）、「十分に学習ができる」が15.8%（Ⅰ層は10.8%）となっている。
- ・ また、スポーツクラブや部活動に参加していない理由についても、Ⅰ層で「保護者に負担をかけられない」が7.8%（Ⅱ層は2.7%）と学習塾と同じく経済的理由が多かった。
- ・ このように、家庭の経済状況等が、進学をはじめとした将来展望や子どもの学習面における機会の差となってあらわれやすいことから、貧困問題が世代を超えて連鎖する可能性が読み取れた。
- ・ そのため、就学援助制度や奨学金、貸付金等による経済的支援によって学習機会の確保・充実を図るとともに、子どもに対して教育により将来への希望を持つことができるよう、様々な情報の提供を始め啓発に取り組んでいくことが重要である。
- ・ 特に取組みの必要性が高い経済的に困難な世帯に対しては、貧困の連鎖を防止する観点から、学校教育による学力向上、ひとり親家庭や生活困窮世帯等への学習支援などを単体で進めるだけに留まらず、「福祉と教育」の更なる連携を図り、効果を高めていくことが必要と考える。
- ・ また、経済状況で差異が見られた保護者と子どもの関わり方について、学習面への影響につながっていることから、2. 生活環境でも触れたとおり就労と子育てへの支援が必要であるとともに、家庭教育の推進に取り組むことも重要である。

4. 社会環境

- ・ 保護者に関して、現在の暮らし向きが苦しい世帯では、保護者の心理状態も悪い傾向にあり、生活満足度が低い傾向が見られた。
- ・ 例えば、1. 経済状況で述べたとおり、現在の暮らしの状況について、「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、Ⅰ層で55.2%となっており、Ⅱ層の22.2%と比べて2倍以上に及んでいる。これについては、母子世帯でも同様の傾向であった。
- ・ 保護者の心理的な状況に関して、「うつ・不安障害相当」にあると考えられる割合は、Ⅰ層で13.5%であり、Ⅱ層の6.2%と比べて2倍以上に及んでいる。
- ・ また、生活の満足度については、満足度が高い方の回答「6～10」に該当する割合は、Ⅰ層では38.1%であるのに対し、Ⅱ層では65.2%であり、Ⅱ層はⅠ層の2倍近くに及ぶなど大きな差異が見られる。
- ・ このことから、世帯の暮らし向きと保護者の心理的状況、生活満足度には関連性が見られたが、このことは母子世帯においても同様の傾向であった。
- ・ 保護者の周囲との関わり方に着目すると、学校や地域行事へ参加する頻度について、Ⅱ層と比べてⅠ層では「ほとんど参加していない」及び「参加していない」を合計した割合が高い。（学校行事：Ⅰ層5.7%、Ⅱ層2.6% 地域行事：Ⅰ層37.8%、Ⅱ層33%）
- ・ 保護者が将来について前向きな希望を持っているかについて、Ⅰ層で「持てない」が11.6%、Ⅱ層で5.4%であり、Ⅰ層で将来について前向きな希望を持てない傾向がある。
- ・ このように、Ⅰ層では、保護者が、学校や地域行事へ参加する頻度が低いとともに、将来に前向きな希望を持てない傾向があるなど、生活状況及びそれに起因する心理状況の不安定さが、周囲との関わりや自身の将来展望に影響を与えていることがうかがえる。
- ・ さらに、保護者が悩みや子育ての相談などをできる人の有無について、「いる」と回答した割合がⅠ層で76.8%、Ⅱ層で86.7%であり、Ⅰ層では社会的に孤立しやすい傾向が見られる。
- ・ 子どもに関して、Ⅰ層やひとり親世帯の子どもにおいて、自己実現の意識が低い傾向があり、そのことが学習等に悪影響を与えていることがうかがわれる。

- 例えば、将来のためにも、今、スポーツや特技を頑張りたいと思うかについて、Ⅰ層で「そう思う」が45.8%であるのに対し、Ⅱ層で51.4%となっている。ひとり親世帯においても同様の傾向があり、母子世帯：45.8%、父子世帯44.1%であるのに対し、ふたり親世帯で51.6%となっている。
- 自己実現の意識が及ぼす学習等への影響について、全世帯の子どもにおける自己実現の意識別のクロス集計では、自己実現の意識が低い層は学習時間が短く、授業の理解度も低い傾向がある。
- また、自己実現の意識が低い層は、「学校が楽しくない」と回答する割合が高くなっている。その理由としては、「勉強が嫌いだから」、「授業が分からないから」、「学校に行っても意味がないから」と回答する割合が高く、子どもの自己実現の意識と学習習慣等との関係性が見られる。
- なお、3. 教育環境でも触れたとおり、自己実現の意識が高い層は、保護者との関わりが多く、生活満足度が高い傾向がある。
- 例えば、保護者との会話の頻度が高い傾向があり、保護者と一緒に朝食又は夕食を食べる頻度が高く、そうした生活面での充実が自己実現意識の高さにもあらわれており、現在の生活の満足度も高くなっていると言える。
- 子どもの社会的孤立を防ぐことは、子どもの貧困対策を講じるうえで重要であるが、相談相手の有無や悩みの種別等について、「相談相手が欲しいが、いない」や、「家族のこと」や「学校の勉強のこと」などの項目で、Ⅰ層がⅡ層よりも高くなっていることから、家庭生活や学習面で、不安を抱えている子ども達にきめ細かな支援を行う必要がある。
- 例えば、世帯類型別で見ると、母子世帯の子どもほど相談したいことが多い傾向にあるが、その一方で、「相談相手が欲しいが、いない」と回答した割合が4.0%（ひとり親世帯3.3%、父子世帯1.7%）となっている。
- 子どもが抱く生活や学習に関する悩みや将来への意欲等は、多くの要因が重なって形成されるものであり、簡単に解決することは難しいが、きめ細かな支援を張り巡らすことで、子どもが将来に夢や希望を持ってない状態を改善するきっかけを作ることが、子どもの貧困対策を進めるうえで重要である。
- そのためには、前述の経済的支援、生活環境向上のための支援、学習面での支援等により重層的な支援に取り組みながら、子どもや保護者の悩み・気持ちに寄り添った丁寧なサポートを行っていく必要がある。
- そのための取組みとして、例えば、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置等による福祉と教育の連携、各種相談窓口の開設・充実や、民間団体等と連携した子どもたちの居場所づくり、地域における見守りの強化等が重要である。

5. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化

- Ⅰ層の保護者においては、新型コロナウイルス感染症の影響で世帯の経済状況の変化や、生活や心理面での影響が顕著に見られた。
- Ⅰ層の子どもにおいては、「学校の授業でわからないと感じることが増えた」という学習面での影響が見られるとともに、特にひとり親世帯で生活や心理面での影響が顕著に表れている。
- 保護者において、Ⅰ層は「非正規社員」及び「自営業」の割合が高いためか、世帯全体の収入の変化について、「減った」の回答が42.2%と、Ⅱ層の18.6%に比べて2倍以上に及んでいた。
- また、Ⅰ層では、「生活に必要な支出の変化」について、「増えた」の回答が72.5%（Ⅱ層で66.9%）であり、「お金が足りなくて、必要な衣服や食料を買えないこと」について「増えた」の割合が49.1%（Ⅱ層で23.7%）と高くなっている。
- 保護者自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むことについて、Ⅰ層では「増えた」の回答が36.3%（Ⅱ層で25.9%）と高くなっており、母子世帯においても同様の傾向が見られた。

- また、子どもとの関わりに関連する部分では、Ⅰ層で「子どもとの会話が増えた」という回答が18.2%であり、Ⅱ層の14.2%よりも高い一方で、「家庭内での言い争いやもめごとの発生が増えた」との回答も13.5%であり、Ⅱ層の10.0%よりも高くなっている。
- 子どもにおいては、「学校の授業でわからないと感じること」について、「増えた」と回答した割合は、Ⅰ層で28.7%、Ⅱ層で20.0%となっている。
- このほかの項目について、世帯類型別にデータをみると、ひとり親世帯において、「食事を抜く回数が増えた」、「夜遅くまで起きている回数が増えた」、「親以外の大人や友達と話をすることが減った」の割合が高くなっている。また、「イライラしたり不安を感じたり、気分が沈むことが増えた」の回答も高くなっている。
- このように新型コロナウイルス感染症の影響は、世帯の経済状況の悪化や子どもの授業への理解度など、様々な影響を及ぼしたことが読み取れたが、Ⅰ層や母子世帯においては、Ⅰ層や母子世帯において、保護者のイライラや不安、気分が沈むなど心理面の不安定が強く表れており、それが家庭内のもめごとの発生につながり、ひいては子どもの心理面の不安定に影響を及ぼしていることが推察された。

6. まとめ

- これまで述べたとおり、世帯の経済状況と生活環境、教育環境、社会環境には一定の関係性が見られる。今回は相対的な貧困線をもとにⅠ層とⅡ層に分類の上、分析を行ったところであるが、経済的に厳しい世帯は、そうではない世帯と比べて、経済的支援のみに留まらず、子どもの生活環境、教育環境、社会環境に対する複合的、重層的な支援が必要な場合が多いと考えられる。
- 今回の調査においては、平成29年に実施した前回の調査から一部項目を追加し、より子どもの生活実態を詳細に把握しようと試みるとともに、新型コロナウイルスの蔓延といった非常事態が、子どもの生活にどのような変化をもたらしたのか分析したところである。
- 特に、新型コロナウイルスの影響については、保護者の経済状況の悪化や心理面での不安定さが、子どもの生活や心理面にも影響を及ぼしていることが推察される結果が得られた。
- 新型コロナウイルスによる非常事態の前から、子ども達に対する様々な支援が行われてきたところであるが、子ども食堂などの「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」、「勉強を無料でみてくれる場所」、電話やネットの相談を含む「何でも相談できる場所」の利用について、Ⅰ層の子ども達ではⅡ層と比べて「利用したことがある」、「あれば利用したい」の回答の割合が高かった。
- これらの支援を利用したことによる変化については、Ⅰ層で「友達がふえた」、「楽しみなことがふえた」、「ほっとできる時間がふえた」、「気軽に話せる大人がふえた」といった回答の割合が高かったことから、一定の効果を挙げていると言える。
- しかしながら、こうした支援に繋がっている子ども達がいる一方で、「あれば利用したい」と回答した層の背景には、「近くにそうした支援の場所がない」又は「支援に関する情報が届いていない」といった状態が考えられる。
- きめ細かく子ども達への支援を展開していくためには、行政、学校、民間団体、地域住民等、子どもに関わるあらゆる機関・団体等が、子どもとその世帯の抱える貧困問題に対する支援の重要性を認識し、連携を強化しつつ、支援場所の拡大や広報活動等をより一層取り組んでいくことが必要である。
- 今後、県としては、調査結果を踏まえ、学習支援の取組強化や相談体制の充実など各種事業の加速化を図るとともに、国、市町村、企業・民間団体等と連携しながら、さらにきめ細かな子ども達への支援に取り組んでいく。
- より住民に近い基礎的自治体である市町村におかれては、県が実施した調査のデータ等をもとに、相対的貧困線を境にした2区分による集計・分析のみならず、さらにⅡ層の中でもⅠ層に近い層などの詳細な分析を行うなど、地域毎の実情を反映させた施策を展開していくことが望ましいと考える。